
KDDI Smart Mobile Safety Manager

Android キットニングマニュアル

最終更新日 2024 年 4 月 24 日

Document ver.3.13

(Web サイト ver.9.18.0)

変更履歴

日付	ver	変更箇所	変更内容
2018/12/13 ~ 2020/6/18	1.0 ~ 2.4		新規作成、以降 10 回変更
2020/9/29	3.0	全体	改善にともなう構成、記載の見直し
2021/2/21	3.1	1.2 OS サポートポリシー	サポート対象を最新に更新
		1.3 動作環境	対象 OS、本体メモリ変更
		10.2.1 設定セットを作成する	上限値件数を追加
		6.4 ゼロタッチ登録 (Google アカウント利用) でキッティングする	接続についての注記を追加
		3.3 afw 識別子でキッティングする	ユーザーデータ確認画面追加 モバイルデータネットワークについて注記追加
		5.3.1 既存のユーザーに Google Workspace アカウントを登録する	
		6.4 ゼロタッチ登録 (Google アカウント利用) でキッティングする	
		7.5 ゼロタッチ登録 (Google Workspace アカウント利用) でキッティングする	
		8.6 KME (Google アカウント利用) でキッティングする	
		9.7 KME (Google Workspace アカウント利用) でキッティングする	
		10.1.2 QR コードを端末に読み込む	ユーザーデータ確認画面追加
10.2.3 子機を設定する			
2021/7/25	3.2	2 キッティング方法を選択する	G Suite を Google Workspace (旧 G Suite) に変更 Google 管理コンソール画面と手順の変更
		5 Google Workspace アカウントで Android Enterprise 連携を行う	
		7 Google Workspace アカウントでゼロタッチ登録を利用して Android Enterprise 連携を行う	
		9 Google Workspace アカウントで KME を利用して Android Enterprise 連携を行う	
		11 KDDI Smart Mobile Safety Manager - Google 間の連携設定を変更する	
		6.2.4 API 設定および JSON ファイルのダウンロードを行う	API 設定画面と手順の変更
		7.3.4 API 設定および JSON ファイルのダウンロードを行う	
		3.3 afw 識別子でキッティングする	モバイルデータネットワークについて注記削除

日付	ver	変更箇所	変更内容
		5.3.1 既存のユーザーに Google Workspace アカウントを登録する	
		6.4 ゼロタッチ登録 (Google アカウント利用) でキッティングする	
		7.5 ゼロタッチ登録 (Google Workspace アカウント利用) でキッティングする	
		8.6 KME (Google アカウント利用) でキッティングする	
		9.7 KME (Google Workspace アカウント利用) でキッティングする	
		10.1.2 QR コードを端末に読み込む	モバイルデータネットワークについて注記追加
		3.4.2 企業コード・認証コードで認証する	初期登録について記載追加
		5.5.2 企業コード・認証コードで認証する	
		6.5.2 企業コード・認証コードで認証する	
		7.6.2 企業コード・認証コードで認証する	
		10.3.2 企業コード・認証コードで認証する	
		全体	Windows 10 Mobile を削除
2021/10/12	3.3	6.2.5 JSON ファイルをアップロードする	警告画面を追加
		7.3.5 JSON ファイルをアップロードする	
2021/12/3	3.4	5.1 トークンを発行する	手順を変更
		7.1 トークンを発行する	
		9.1 トークンを発行する	
2022/2/20	3.5	1.2 OS サポートポリシー	サポート対象を最新に更新
		1.3 動作環境	対象 OS 変更
		2.1 各キッティング方法の概要	所有機器数の注記を追加
		全体	サポート対象バージョンの注記を修正、削除 Android 12 の説明追加
		8.6.1 Android 10 未満の場合	Android 10 未満の KME キッティング手順修正
		9.7.1 Android 10 未満の場合	
2022/6/12	3.6	6.2.5 JSON ファイルをアップロードする	手順削除とそれに伴う画像修正
		7.3.5 JSON ファイルをアップロードする	
		3.3 afw 識別子でキッティングする	「付近のデバイス権限」を画像に追加、関連する注記を追加

日付	ver	変更箇所	変更内容
		4.3 afw 識別子でキッティングする	
		5.4 Google Workspace アカウントでキッティングする	
		6.4 ゼロタッチ登録（Google アカウント利用）でキッティングする	
		7.5 ゼロタッチ登録（Google Workspace アカウント利用）でキッティングする	
		8.6 KME（Google アカウント利用）でキッティングする	
		9.7 KME（Google Workspace アカウント利用）でキッティングする	
		10.1.2 QR コードを端末に読み込む	
		4 Google アカウントで Android Enterprise 連携を行い、Google Workspace アカウントを併用する	セクション追加
		2.1 各キッティング方法の概要	新規追加のキッティング方法を追加
		6.2.5 JSON ファイルをアップロードする	規約に従い、同一画面の画像を修正
		7.3.5 JSON ファイルをアップロードする	
2022/7/24	3.7	全体	Google Play の表記を Google Play ストアに統一
		1.3 動作環境	ネットワーク接続を更新
		11.1 Google アカウントを削除する	Android Enterprise に関する注記を修正
		11.2 Google アカウントを再登録する	
2022/11/20	3.8	はじめに	前改修
		1.2 OS サポートポリシー	サポート対象変更
		1.3 動作環境	対象 OS 変更
		2.1 各キッティング方法の概要	Wi-Fi 専用端末について注記追加
		6 Google アカウントでゼロタッチ登録を利用して Android Enterprise 連携を行う	
		7 Google Workspace アカウントでゼロタッチ登録を利用して Android Enterprise 連携を行う	
		3.3 afw 識別子でキッティングする	Android 13 以上かつエージェントバージョン 9.16.0 以上の権限要求の画面追加
		4.3 afw 識別子でキッティングする	
		5.4 Google Workspace アカウントでキッティングする	

日付	ver	変更箇所	変更内容
		6.4 ゼロタッチ登録（Google アカウント利用）でキッティングする	
		7.5 ゼロタッチ登録（Google Workspace アカウント利用）でキッティングする	
		8.6 KME（Google アカウント利用）でキッティングする	
		9.7 KME（Google Workspace アカウント利用）でキッティングする	
		10.1.2 QR コードを端末に読み込む	
		2.1 各キッティング方法の概要	動作保証変更
		10 その他のキッティング方法	
		10.2 NFC でキッティングする	
		10.1.2 QR コードを端末に読み込む	有線 LAN 接続の説明追加
		2023/3/26	3.9
		3.3 afw 識別子でキッティングする	≪管理サイトでポータルの設定を表示にしている場合≫に入力可能文字数を追加
		3.4.2 企業コード・認証コードで認証する	
		4.3 afw 識別子でキッティングする	
		4.4.2 企業コード・認証コードで認証する	
		5.4 Google Workspace アカウントでキッティングする	
		5.5.2 企業コード・認証コードで認証する	
		6.4 ゼロタッチ登録（Google アカウント利用）でキッティングする	
		6.5.2 企業コード・認証コードで認証する	
		7.5 ゼロタッチ登録（Google Workspace アカウント利用）でキッティングする	
		7.6.2 企業コード・認証コードで認証する	
		8.6 KME（Google アカウント利用）でキッティングする	
		9.7 KME（Google Workspace アカウント利用）でキッティングする	
		10.1.2 QR コードを端末に読み込む	
		10.3.2 企業コード・認証コードで認証する	

日付	ver	変更箇所	変更内容
2023/8/6	3.10	全体	構成変更に伴う参照先の修正 手順の記載整理 「組織 ID」表示に伴う記載と画像の修正 (旧 G Suite) を削除 任意権限設定に関する注記の修正・追加
		はじめに	名称・呼称、用語集を追加 商標登録修正
		1 Android クライアントについて	1.1 ~1.3 のリード文を修正
		3.3 afw 識別子でキッティングする	初期登録の手順、画面を追加
		3.4.2 企業コード・認証コードで認証する	
		4.3 afw 識別子でキッティングする	
		4.4.2 企業コード・認証コードで認証する	
		5.4 Google Workspace アカウントでキッティングする	
		5.5.2 企業コード・認証コードで認証する	
		6.4 ゼロタッチ登録 (Google アカウント利用) でキッティングする	
		6.5.2 企業コード・認証コードで認証する	
		7.5 ゼロタッチ登録 (Google Workspace アカウント利用) でキッティングする	
		7.6.2 企業コード・認証コードで認証する	
		8.6 KME (Google アカウント利用) でキッティングする	
		9.7 KME (Google Workspace アカウント利用) でキッティングする	
		10.1.2 QR コードを端末に読み込む	
		10.3.2 企業コード・認証コードで認証する	
		1.2 OS サポートポリシー	Android 8.x のベストエフォート期間を削除
		3.3 afw 識別子でキッティングする	モバイルネットワークと SIM 挿入に関する補足追加、一部注記削除
		4.3 afw 識別子でキッティングする	
5.4 Google Workspace アカウントでキッティングする			
2024/2/1	3.11	1.2 OS サポートポリシー	サポート対象変更
		1.3 動作環境	対象 OS 変更

日付	ver	変更箇所	変更内容
		10 その他のキッティング方法	注意の動作保証の対象変更
		3.1 Google アカウントを登録する	管理サイト画面メニュー名変更のため差し替え
		4.1 Google アカウントを登録する	
		5.2 Google Workspace アカウントを登録する	
		6.1 Google アカウントを登録する	
		7.2 Google Workspace アカウントを登録する	
		8.1 Google アカウントを登録する	
		9.2 Google Workspace アカウントを登録する	
		11.1 Google アカウントを削除する	
		11.2 Google アカウントを再登録する	
		11.2 Google アカウントを再登録する	
		3.3.1 Android 12 未満の場合	
		3.4 ライセンス認証を行う	
		4.3.1 Android 12 未満の場合	
		4.4 ライセンス認証を行う	
		5.4.1 Android 12 未満の場合	
		5.5 ライセンス認証を行う	
		6.4.1 Android 10 未満の場合	
		6.5 ライセンス認証を行う	
		7.5.1 Android 10 未満の場合	
		7.6 ライセンス認証を行う	
		8.6.1 Android 10 未満の場合	
		9.7.1 Android 10 未満の場合	
		10.1.2.1 Android 10 未満の場合	
		3.3 afw 識別子でキッティングする	「Android 12 以上の場合」「Android 10 以上の場合」見出しを削除 キッティング手順の変更 ネットワーク接続についての注記を追加
		4.3 afw 識別子でキッティングする	
		5.4 Google Workspace アカウントでキッティングする	
		6.4 ゼロタッチ登録（Google アカウント利用）でキッティングする	
		7.5 ゼロタッチ登録（Google Workspace アカウント利用）でキッティングする	
		8.6 KME（Google アカウント利用）でキッティングする	

日付	ver	変更箇所	変更内容
		9.7 KME (Google Workspace アカウント利用) でキッティングする	
		10.1.2 QR コードを端末に読み込む	
		10.3 ライセンス認証を行う	
2024/2/21	3.12	7.5 ゼロタッチ登録 (Google Workspace アカウント利用) でキッティングする	手順追加
2024/4/24	3.13	3.1 Google アカウントを登録する	BTE 対応の手順を追加
		4.1 Google アカウントを登録する	
		6.1 Google アカウントを登録する	
		8.1 Google アカウントを登録する	
		11.2 Google アカウントを再登録する	

はじめに

本マニュアルでは、KDDI Smart Mobile Safety Manager（以下、本製品と呼ぶ）の操作ほか、各機能の概要、画面の説明、設定操作について説明しています。

また、要点となる各種の内容を以下に記載しています。これらの内容をご理解のうえ、マニュアルをお読みください。



名称・呼称

本マニュアルに登場する特定の企業、人について、以下の定義で記載しています。

名称	説明
サービス企業	本製品を提供する企業。
管理者	本製品の管理サイト（機器の管理・運用を行う Web サイト）を運用する者。
端末使用者	本製品で管理している端末を使用する者。
システム管理者	企業の社内システム（サーバー・インフラなど）を管理する者。

注意・ポイントマーク

操作を行う場合に注意する点や、操作のポイントとなる点を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	データの破損や消失など、特に注意していただきたい内容を記載しています。
	操作のポイントや知っておくと便利な内容を記載しています。




記号

画面に表示されるボタンやメニュー、キーボードのキーなどを示す場合は、以下の記号で記載しています。

マーク	説明
[]	ボタン、メニュー、タブ、リンク、チェックボックス、ラジオボタンなどの名称を示しています。
「 」	画面名、機能名、項目名、マニュアル内の参照先などを示しています。
『 』	マニュアルや資料などの名称を示しています。
< >	キーボードなどのハードキー名称（スペースキーは〈スペース〉と表記）を示しています。


参照マーク

他のマニュアルや他のページへなどの参照を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	他のページや Web サイトへの参照を示しています。クリックすると該当箇所にジャンプします。
	セクション内の画面への参照を示しています。クリックすると該当の画面にジャンプします。
	他のマニュアルや資料への参照を示しています。

用語集

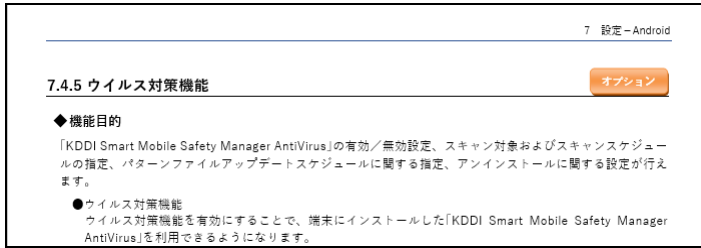
不明な用語については、『よくあるご質問（FAQ）』を参照してください。

 <https://smsmfaq.smartmanager.jp/kddiproduct/ausl/web/knowledgeList.html?keyword=%E7%94%A8%E8%AA%9E%E9%9B%86%E4%B8%80%E8%A6%A7&searchMethod=0&searchCondition=0&searchCategory=1&searchItem=1&searchTag=1>

オプション機能

オプション機能は、オプション契約をした場合に使用できる機能です。

本マニュアルでは、オプション機能の説明の見出しに **オプション** (オプションマーク) を表示しています。



免責事項

- 本マニュアルは、ユーザー種別が [管理者] のユーザーを対象としています。[管理者] 以外のユーザー種別でログインした場合は、操作が制限されます。
- iPad OS の操作は iOS と同様です。差異がある場合は iPad OS 用の記載をしています。
- 画面上のバージョン表記は、実際の表示と異なる場合があります。
- 本マニュアルに記載されている Web サイトの URL は、予告なく変更される場合があります。
- OS のバージョンやブラウザーにより、一部の画面や操作が異なる場合があります。本マニュアルでは、Google Chrome を例に説明しています。

商標登録

- Apple、iPad、iPadOS、iPhone、Mac、macOS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
- iOS は、Apple Inc.の OS 名称です。
IOS は、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- App Store は、Apple Inc.のサービスマークです。
- Android、Google Chrome、Google Cloud、Google マップ、Google Play、Google Workspace は、Google LLC の商標です。
- Microsoft、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載の会社名、製品名は、各社の登録商標および商標です。

目次

[1 Android クライアントについて](#)

[2 キット方法を選択する](#)

[3 Google アカウントで Android Enterprise 連携を行う](#)

[4 Google アカウントで Android Enterprise 連携を行い、Google Workspace アカウントを併用する](#)

[5 Google Workspace アカウントで Android Enterprise 連携を行う](#)

[6 Google アカウントでゼロタッチ登録を利用して Android Enterprise 連携を行う](#)

[7 Google Workspace アカウントでゼロタッチ登録を利用して Android Enterprise 連携を行う](#)

[8 Google アカウントで KME を利用して Android Enterprise 連携を行う](#)

[9 Google Workspace アカウントで KME を利用して Android Enterprise 連携を行う](#)

[10 その他のキット方法](#)

[11 KDDI Smart Mobile Safety Manager – Google 間の連携設定を変更する](#)

1 Android クライアントについて	15
1.1 概要	16
1.2 OS サポートポリシー	16
1.3 動作環境	16
2 キット方法を選択する	17
2.1 各キット方法の概要	18
3 Google アカウントで Android Enterprise 連携を行う	21
3.1 Google アカウントを登録する	22
3.1.1 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合.....	22
3.1.2 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合.....	32
3.1.3 Gmail のメールアドレスを登録する場合	36
3.2 ユーザーを作成する	43
3.3 afw 識別子でキットする	45
3.4 端末にユーザーを割り当てる	54
4 Google アカウントで Android Enterprise 連携を行い、Google Workspace アカウントを併用する	56
4.1 Google アカウントを登録する	57
4.1.1 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合.....	57
4.1.2 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合.....	67
4.1.3 Gmail のメールアドレスを登録する場合	71
4.2 ユーザーを作成する	78
4.3 afw 識別子でキットする	80
4.4 端末にユーザーを割り当てる	89
4.5 Google Workspace アカウントを併用する	91
4.5.1 Google Workspace アカウントを設定する.....	91
4.5.2 Google Workspace アカウントを追加する.....	95
4.5.3 アカウントの追加を禁止する	98

5 Google Workspace アカウントで Android Enterprise 連携を行う	99
5.1 トークンを発行する	100
5.2 Google Workspace アカウントを登録する	106
5.3 ユーザーを作成する	109
5.3.1 既存のユーザーに Google Workspace アカウントを登録する	111
5.4 Google Workspace アカウントでキッティングする	113
6 Google アカウントでゼロタッチ登録を利用して Android Enterprise 連携を行う	123
6.1 Google アカウントを登録する	124
6.1.1 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合	124
6.1.2 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合	134
6.1.3 Gmail のメールアドレスを登録する場合	138
6.2 Google API の認証設定を行う	145
6.2.1 メールアドレスを Google アカウントとして登録する	145
6.2.2 ゼロタッチポータルにログインする	148
6.2.3 利用規約に同意する	149
6.2.4 API 設定および JSON ファイルのダウンロードを行う	151
6.2.5 JSON ファイルをアップロードする	164
6.3 ユーザーを作成する	169
6.4 ゼロタッチ登録（Google アカウント利用）でキッティングする	171
6.5 端末にユーザーを割り当てる	181
6.6 ゼロタッチ登録サーバーに同期する	183
7 Google Workspace アカウントでゼロタッチ登録を利用して Android Enterprise 連携を行う	184
7.1 トークンを発行する	185
7.2 Google Workspace アカウントを登録する	191
7.3 Google API の認証設定を行う	194
7.3.1 メールアドレスを Google アカウントとして登録する	194
7.3.2 ゼロタッチポータルにログインする	197
7.3.3 利用規約に同意する	198
7.3.4 API 設定および JSON ファイルのダウンロードを行う	200
7.3.5 JSON ファイルをアップロードする	213
7.4 ユーザーを作成する	218
7.4.1 既存のユーザーに Google Workspace アカウントを登録する	220
7.5 ゼロタッチ登録（Google Workspace アカウント利用）でキッティングする	222
7.6 ゼロタッチ登録サーバーに同期する	234


8 Google アカウントで KME を利用して Android Enterprise 連携を行う ...	235
8.1 Google アカウントを登録する	236
8.1.1 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合	236
8.1.2 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合	246
8.1.3 Gmail のメールアドレスを登録する場合	250
8.2 ユーザーを作成する	257
8.3 KME を利用するための準備を行う	259
8.3.1 Galaxy アカウントを取得する	259
8.3.2 KME の申請をする	259
8.3.3 Knox API ポータルにログインできるようにする	259
8.3.4 JSON ファイルのダウンロードおよびクライアント識別子を取得する	261
8.3.5 Knox カスタマーID を取得する	264
8.4 Knox 認証情報および Knox プロファイル情報を設定する	265
8.5 KME サーバーに同期する	268
8.6 KME (Google アカウント利用) でキッティングする	269
9 Google Workspace アカウントで KME を利用して Android Enterprise 連携を行う	280
9.1 トークンを発行する	281
9.2 Google Workspace アカウントを登録する	287
9.3 ユーザーを作成する	290
9.3.1 既存のユーザーに Google Workspace アカウントを登録する	292
9.4 KME を利用するための準備を行う	294
9.4.1 Galaxy アカウントを取得する	294
9.4.2 KME の申請をする	294
9.4.3 Knox API ポータルにログインできるようにする	294
9.4.4 JSON ファイルのダウンロードおよびクライアント識別子を取得する	296
9.4.5 Knox カスタマーID を取得する	299
9.5 Knox 認証情報および Knox プロファイル情報を設定する	300
9.6 KME サーバーに同期する	303
9.7 KME (Google Workspace アカウント利用) でキッティングする	304
10 その他のキッティング方法	317
10.1 QR コードでキッティングする	318
10.1.1 QR コードを表示する	318
10.1.2 QR コードを端末に読み込む	319
10.2 NFC でキッティングする	328
10.2.1 設定セットを作成する	328
10.2.2 親機を設定する	329
10.2.3 子機を設定する	332
10.3 ライセンス認証を行う	335
10.3.1 ユーザーID で認証する	335
10.3.2 企業コード・認証コードで認証する	337


11 KDDI Smart Mobile Safety Manager – Google 間の 連携設定を変更する	339
11.1 Google アカウントを削除する	340
11.2 Google アカウントを再登録する	343
11.2.1 企業ドメインのメールアドレスで再登録する場合.....	343
11.2.2 Gmail のメールアドレスで再登録する場合	346
11.3 Google Workspace アカウントを削除する	349

1 Android クライアントについて

1.1 概要


本製品は、専門の知識を必要とせずに、機器の管理・運用を行うサポートサービスです。Android 端末にアプリ「KDDI Smart Mobile Safety Manager エージェント（以下、エージェントと呼ぶ）」をインストールし認証すると、端末の状態や位置情報を確認したり、管理サイトから端末のリモートロックやリモートワイプ（初期化）をしたりできます。

 管理サイトの操作については、以下を参照してください。


 『管理サイト リファレンスマニュアル』

1.2 OS サポートポリシー


本製品では、確実な製品の動作とセキュリティ機能の提供を目的として、以下の OS サポートポリシーを定めています。




- 本製品の最新対応 OS より 3 世代前の OS メジャーバージョンまでをサポート。
- 最新対応 OS 追加に伴い、サポート対象外となった OS バージョンについては、サポート期限が切れた日から 1 年間に限り、お問い合わせには可能な限り対応いたします。ただし、動作保証や不具合対応はいたしません。
-  定期的な下位の OS バージョンのサポートを終了します。サポート対象外となる OS や端末を利用している場合は、OS アップデートまたは機種の変更をしてください。対応機種については、以下を参照してください。

 『Android 対応端末表』

サポート対象	<ul style="list-style-type: none"> ● Android 14：最新対応 OS ● Android 13：1 世代前 ● Android 12：2 世代前 ● Android 11：3 世代前  Android 10 のサポートは終了しました。お問い合わせには 2025 年 1 月 31 日まで可能な限り対応します。
--------	---

1.3 動作環境

-  エージェントのリリース日から 180 日間は、180 日間にリリースされたすべてのエージェントがサポートされます。ただし、リリース日から 180 日を超えた場合は、180 日以降最初にリリースされたエージェントから 2 つ前のエージェントまでが、サポートの対象になります。

対象 OS	Android 11 以上  従来版エージェントのサポートは終了しました。  詳細については以下を参照してください。  『Android 対応端末表』
本体メモリ	200MB 以上の空き容量
SD カード	5MB 以上の空き容量（ダウンロードしたインストーラーを SD カードに保存する場合）
ネットワーク接続	3G、4G/LTE、5G または Wi-Fi でインターネットへアクセスができること。直接またはプロキシを介して管理サイトと HTTPS 通信（443 番ポート）ができること。

2 キットティング方法を選択する

利用している端末、および Google Workspace アカウント利用の有無によりキットティング方法が異なります。以下を参照して、適切なキットティング方法を選択してください。




注意


- キットティングを行うには、端末を工場出荷状態（初期設定画面）にする必要があります。
-
-


2.1 各キットティング方法の概要


エージェントのキットティングには、以下の 9 種類の方法があります。各方法の特徴については、下の表を参照してください。


- afw 識別子
- afw 識別子 (Google Workspace アカウント併用)
- Google Workspace アカウント
- ゼロタッチ登録 (Google アカウント利用)
- ゼロタッチ登録 (Google Workspace アカウント利用)
- Knox Mobile Enrollment (KME) (Google アカウント利用)
- Knox Mobile Enrollment (KME) (Google Workspace アカウント利用)
- QR コード
- NFC










 キットティング方法によっては、途中で別の方法に変更できません。キットティングを始める前に下の表を確認のうえ、適切な方法を慎重に選択してください。











 キットティング方法は限らず Android Enterprise を利用の場合は、1 ユーザーが所有できる機器は 10 台までです。1 ユーザーに 11 台以上の機器を紐づけないでください。1 ユーザーに 11 台以上の機器を紐づけると、端末に配信した Google アカウントが無効になります。アカウントで利用している Google Play ストアの閲覧やアプリのインストールができなくなります。

 キットティングが完了して端末にプリインストールアプリがインストールされていない場合は、Android Enterprise でアプリを配信するか、Google Play ストアから手動でインストールしてください。Android Enterprise でのアプリ配信の詳細は、以下を参照してください。

 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』

キットティング方法	説明
afw 識別子	<p>端末のアクティベート時に表示される Google アカウント入力欄に、afw 識別子「afw#ksmsm」を入力します。事前の設定が少ない最も標準的なキットティング方法です。</p> <p>キットティングの手順については、以下を参照してください。</p> <p> 「Google アカウントで Android Enterprise 連携を行う」21 ページ</p> <p> Google Workspace を契約している場合は、この方法を選択せず、必ず以下のいずれかの方法でキットティングしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Google Workspace アカウント • ゼロタッチ登録 (Google Workspace アカウント利用)
afw 識別子 (Google Workspace アカウント併用)	<p>afw 識別子でキットティングを行い、Google Workspace アカウントを追加します。Google アカウントと Google Workspace アカウントを併用して利用することができます。</p> <p>キットティングの手順については、以下を参照してください。</p> <p> 「Google アカウントで Android Enterprise 連携を行い、Google Workspace アカウントを併用する」56 ページ</p>

キットティング方法	説明
Google Workspace アカウント	<p>端末のアクティベート時に表示される Google アカウント入力欄に、Google Workspace アカウントを入力します。 利用中の Google Workspace アカウントで Android Enterprise との連携を行う方法です。この方法には、以下のメリットがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Google Workspace アカウントを利用することで、別途管理用の Google アカウントを作成する必要がありません。 • 端末から Google Workspace アカウントで Google のサービスを利用できます。 <p>キットティングの手順については、以下を参照してください。</p> <p> 「Google Workspace アカウントで Android Enterprise 連携を行う」 99 ページ</p>
ゼロタッチ登録 (Google アカウント利用)	<p>ゼロタッチ登録に対応した端末を利用して、Google アカウントで Android Enterprise との連携を行い、端末を強制的に本製品の管理下に置きます。この方法には、以下のメリットがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • キットティング前の機器情報を、あらかじめ「事前機器」として登録できます。 • アクティベート時の端末操作を短縮できます。 <p>キットティングの手順については、以下を参照してください。</p> <p> 「Google アカウントでゼロタッチ登録を利用して Android Enterprise 連携を行う」 123 ページ</p> <p> ゼロタッチ登録の詳細については、以下の Web サイトを参照してください。</p> <p> https://www.android.com/intl/ja_jp/enterprise/management/zero-touch/</p> <p> モバイルネットワークが利用できるゼロタッチ登録に対応した端末を、事前に用意してください。Wi-Fi 専用端末は、本製品に対応していません。</p>
ゼロタッチ登録 (Google Workspace アカウント利用)	<p>ゼロタッチ登録に対応した端末を利用して、Google Workspace アカウントで Android Enterprise との連携を行い、端末を強制的に本製品の管理下に置きます。この方法には、以下のメリットがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • キットティング前の機器情報を、あらかじめ「事前機器」として登録できます。 • アクティベート時の端末操作を短縮できます。 • Google Workspace アカウントを利用することで、別途管理用の Google アカウントを作成する必要がありません。 • 端末から Google Workspace アカウントで Google のサービスを利用できます。 <p>キットティングの手順については、以下を参照してください。</p> <p> 「Google Workspace アカウントでゼロタッチ登録を利用して Android Enterprise 連携を行う」 184 ページ</p> <p> ゼロタッチ登録の詳細については、以下の Web サイトを参照してください。</p> <p> https://www.android.com/intl/ja_jp/enterprise/management/zero-touch/</p> <p> モバイルネットワークが利用できるゼロタッチ登録に対応した端末を、事前に用意してください。Wi-Fi 専用端末は、本製品に対応していません。</p>

キットティング方法		説明
Knox Mobile Enrollment (KME) (Google アカウント利用)		<p>Knox Mobile Enrollment (KME) に対応した、Samsung 製端末でのみ利用できるキットティング方法です。KME 対応端末を利用して、Google アカウントで Android Enterprise との連携を行い、端末を強制的に本製品の管理下に置きます。この方法には、以下のメリットがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • キットティング前の機器情報を、あらかじめ「事前機器」として登録できます。 • アクティベート時の端末操作を短縮できます。 <p>キットティングの手順については、以下を参照してください。</p> <p> 「Google アカウントで KME を利用して Android Enterprise 連携を行う」 235 ページ</p> <p> KME 対応端末を購入する場合は、あらかじめ販売元に KME の利用方法についてご確認ください。</p> <p> その他 KME の詳細については、KME 対応端末の販売元にお問い合わせください。</p>
Knox Mobile Enrollment (KME) (Google Workspace アカウント利用)		<p>Knox Mobile Enrollment (KME) に対応した、Samsung 製端末でのみ利用できるキットティング方法です。KME 対応端末を利用して、Google Workspace アカウントで Android Enterprise との連携を行い、端末を強制的に本製品の管理下に置きます。この方法には、以下のメリットがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • キットティング前の機器情報を、あらかじめ「事前機器」として登録できます。 • アクティベート時の端末操作を短縮できます。 <p>キットティングの手順については、以下を参照してください。</p> <p> 「Google Workspace アカウントで KME を利用して Android Enterprise 連携を行う」 280 ページ</p> <p> KME 対応端末を購入する場合は、あらかじめ販売元に KME の利用方法についてご確認ください。</p> <p> その他 KME の詳細については、KME 対応端末の販売元にお問い合わせください。</p>
その他	QR コード	<p>初期設定画面を 6 回タップして QR コードリーダーをインストール後、指定の QR コードを読み込みます。</p> <p>キットティングの手順については、以下を参照してください。</p> <p> 「QR コードでキットティングする」 318 ページ</p>
	NFC	<p>NFC に対応した端末の親機を子機にかざし、エージェントをインストールします。</p> <p>キットティングの手順については、以下を参照してください。</p> <p> 「NFC でキットティングする」 328 ページ</p> <p> Android 6.0~9 の NFC 対応端末で利用できますが、動作保証の対象外です。NFC 対応端末については、以下を参照してください。</p> <p> 『Android 対応端末表』</p>

3 Google アカウントで Android Enterprise 連携を行う

Android Enterprise を利用するには、端末をキッティングする前に Google アカウントで本製品と Google 間の連携設定を行います。

注意

- Android Enterprise の連携設定を行っていない Google アカウントが必要です。
 - 連携設定を行ったアカウントの削除や再登録をしたい場合は、以下を参照してください。
[👉 「KDDI Smart Mobile Safety Manager – Google 間の連携設定を変更する」 339 ページ](#)
 - 以下の項目は、初回のキッティング時のみ必要な操作です。
[👉 「Google アカウントを登録する」 22 ページ](#)
-

参考

- あらかじめ管理サイト Android Enterprise の「アプリケーション配信」機能を設定しておくこと、キッティングの完了後、ライセンス認証と同時に特定のアプリを端末に配信できます。アプリケーション配信の詳細については、以下を参照してください。
[📖 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』の「アプリをインストールする」](#)
-

3.1 Google アカウントを登録する

管理サイトに Android Enterprise 連携するための Google アカウントを登録します。

登録できる Google アカウントは、以下の 3 種類です。Google アカウントに応じて、いずれかの方法で登録してください。

- 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合

- Google が推奨する登録方法です。なるべくこの方法で登録してください。

- Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合

- Microsoft Entra ID でシングルサインオンが構成済みの場合は、自動的にこの登録方法になります。

- Gmail のメールアドレスを登録する場合

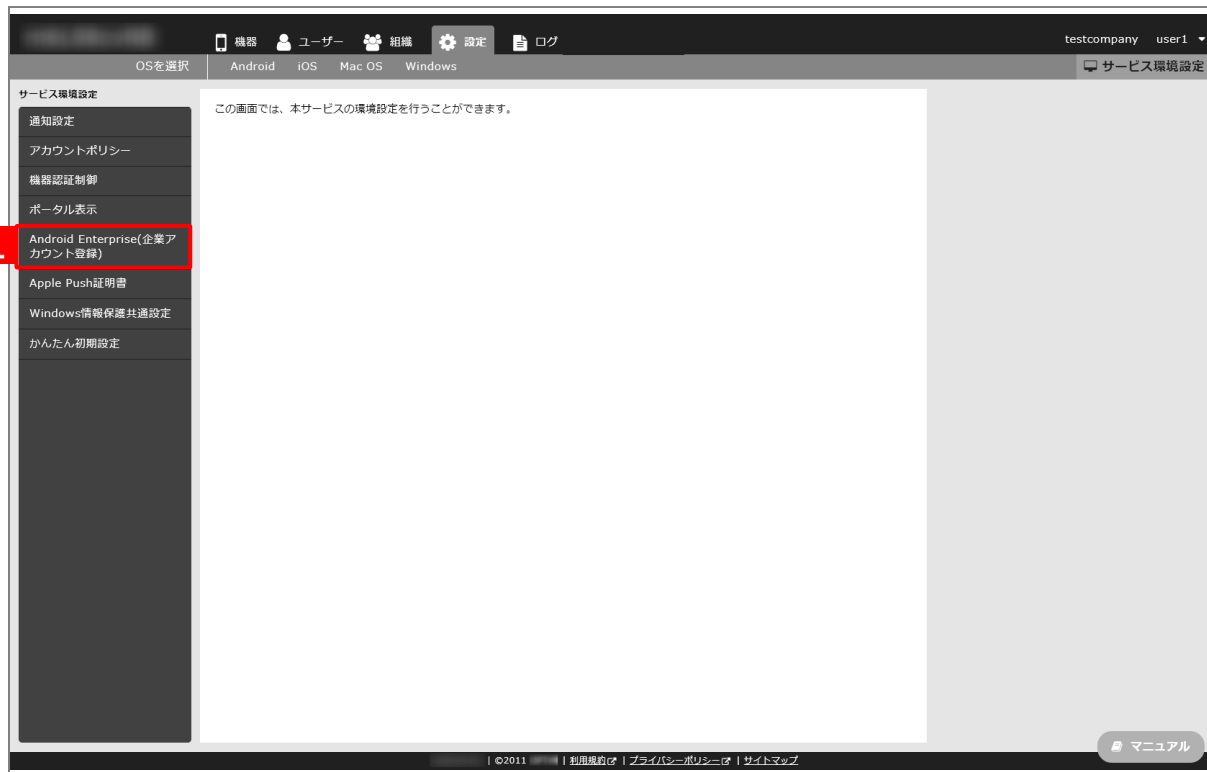
3.1.1 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合

企業ドメインのメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

- Google が推奨する登録方法です。

- 企業で初めて登録した企業ドメインのメールアドレスの使用者が、ドメイン管理者です。その後、同じ企業ドメインで他のメールアドレスを登録するときは、ドメイン管理者に連絡してください。ドメイン管理者が Google の画面で他のメールアドレスを登録します。

【1】 [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise (企業アカウント登録)] をクリックします。



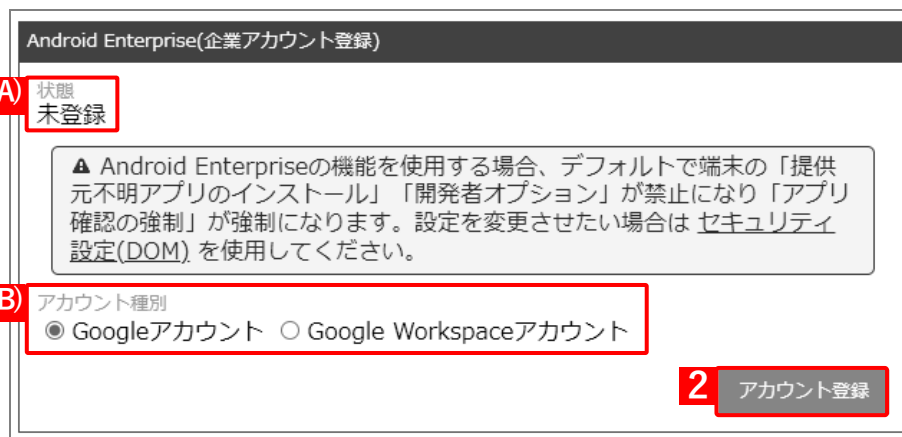
【2】 [アカウント登録] をクリックします。

📌 アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

✎ (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

✎ (B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。



【3】 企業ドメインのメールアドレスを入力します。

【4】 [次へ] をクリックします。

➔ 企業で初めて企業ドメインのメールアドレスを登録した場合は、手順【3】で入力したメールアドレスに、Google からメールが届きます。メールを確認してください。



- ❏すでに企業ドメインが登録されていた場合は、以下の画面が表示されます。
企業のドメイン管理者に連絡してください。企業のドメイン管理者が不明な場合は、Google に問い合わせてください。



- ❏ドメイン管理者のメールアドレスを他の企業で登録しようとした場合は、以下の画面が表示されます。
(A) [許可] をクリックすると、企業登録が完了します。



[5] メールの内容を確認して、[メールアドレスの確認] をクリックします。

⇒ 情報登録画面が表示されます。

**[6]** 名、姓、会社名を入力して、国を選択します。**[7]** [続行] をクリックします。

✎ 名、姓、会社名を入力すると、[続行] がクリックできます。




【8】 [次へ] をクリックします。



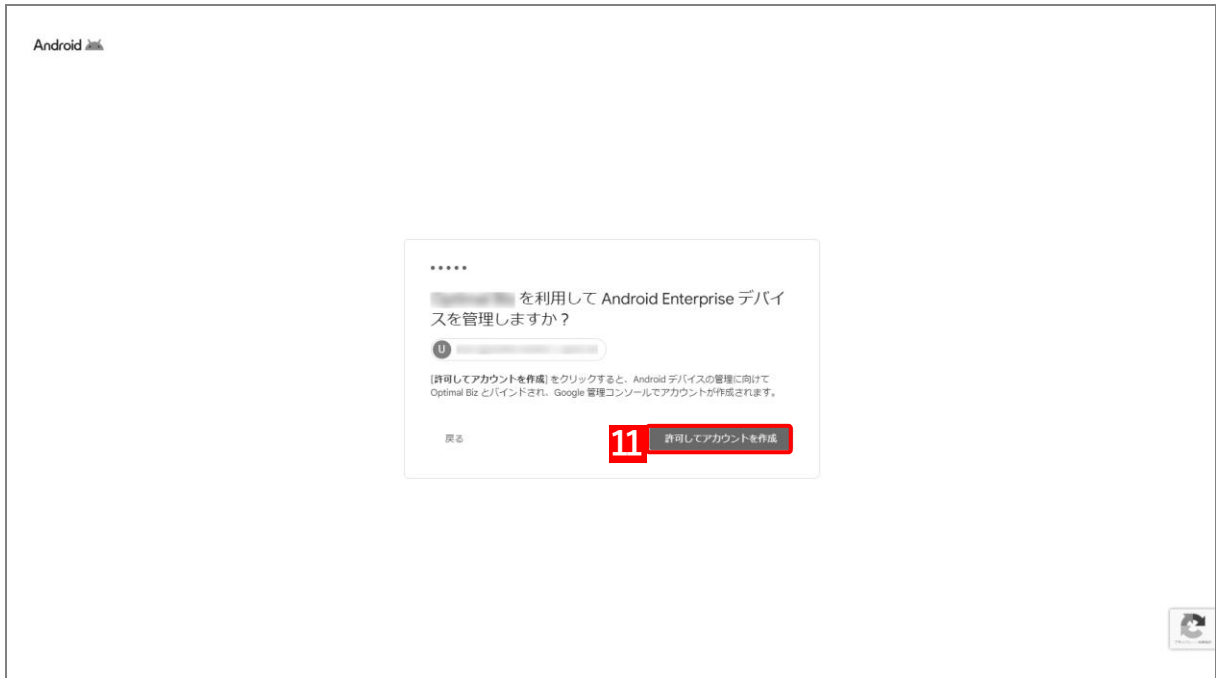
【9】 8 文字以上のパスワードを入力します。

【10】 [同意して続行] をクリックします。

 パスワードを入力すると、[同意して続行] がクリックできます。

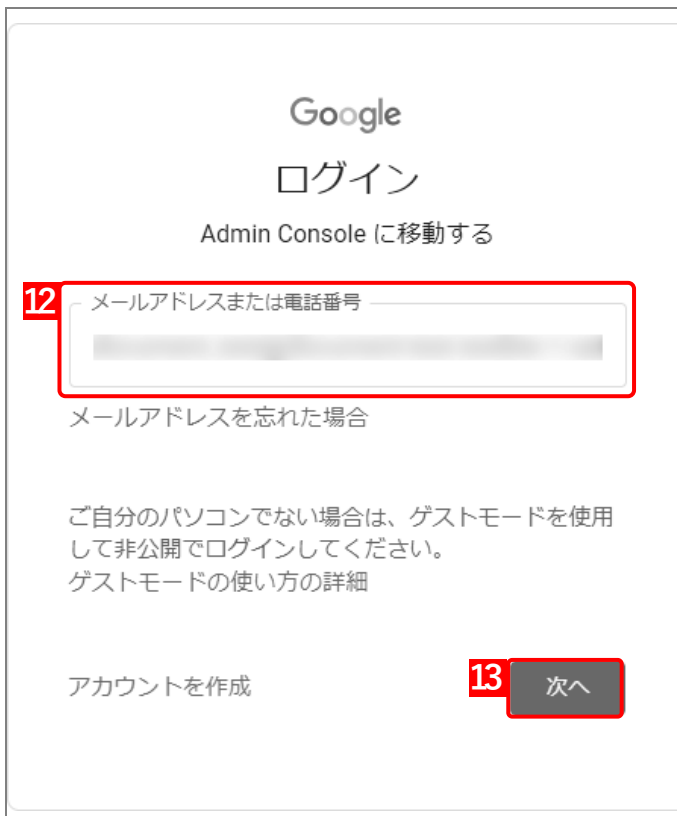


【11】 [許可してアカウントを作成] をクリックします。



【12】 手順【3】で入力した企業ドメインのアドレスを入力します。

【13】 [次へ] をクリックします。



【14】 手順【9】で入力したパスワードを入力します。

【15】 [次へ] をクリックします。

⇒本人確認の画面が表示されます。


The screenshot shows the Google login interface. At the top, it says "Google ようこそ". Below that is a profile picture placeholder. A red box labeled "14" highlights the password input field, which contains ".....". Below the input field is a checkbox labeled "パスワードを表示する". At the bottom left, there is a link "パスワードをお忘れの場合". At the bottom right, there is a button labeled "15 次へ".

- 【16】** 確認コードを受け取る電話番号を入力します。
- 【17】** 確認コードの受け取り方法を選択します。
- 【18】** [コードを取得] をクリックします。

Google

本人確認の実施

アクセスしようとしているアカウントで通常とは異なるアクティビティが検出されました。続行するには、以下の手順に沿って操作してください。



電話番号を指定して続行してください。ログインに使用できる確認コードを送信します。

国名
[日本]

電話番号

16

この番号はセキュリティ保護の目的でのみ使用されます。通常のテキストメッセージ料金がかかります。

確認コードの受け取り方法:

17 テキストメッセージ (携帯電話のメール)
 自動音声通話

18

確認コードが届かない場合は、サポート オプションをご確認ください。

【19】 手順【16】で入力した電話番号で受け取った確認コードを入力します。

【20】 [確認] をクリックします。



Google

本人確認の実施

確認コードを入力してください

19

20 確認

【21】 [理解しました] をクリックします。

⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。



Google

新しいアカウントへようこそ

新しいアカウント () へようこそ。このアカウントを使用してアクセスできる Google Workspace サービスは、 () の管理者によって設定されます。

管理者が管理するサービス (Google Workspace など) にアクセスする権限が組織から付与されている場合、これらのサービスの使用には組織の企業契約が適用されます。Google は、これらの規約に加えて、Google Cloud のプライバシーに関するお知らせも公開しています。

このアカウント () にログイン中に、Google Workspace とその他の Google サービスを使用する場合、これらのサービスの使用には、Google 利用規約、Google プライバシーポリシー、各 Google サービスに固有の利用規約など、それぞれの規約が適用されます。これらの規約に同意しない場合、または Google がこのような方法でデータを取り扱うことを許可しない場合は、このアカウント () でその他の Google サービスを使用しないでください。プライバシー設定は、myaccount.google.com でカスタマイズすることもできます。

21 理解しました

- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 「アカウントメールアドレス」にアカウント登録で使ったメールアドレスが表示されています。
- ✎ (C) 「組織ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意的識別子が表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
登録済

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別
Googleアカウント

(B) アカウントメールアドレス

(C) 組織ID

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ [同意する] にチェックを入れて [アカウント削除] をクリックしてください。

同意する

アカウント削除

3.1.2 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合

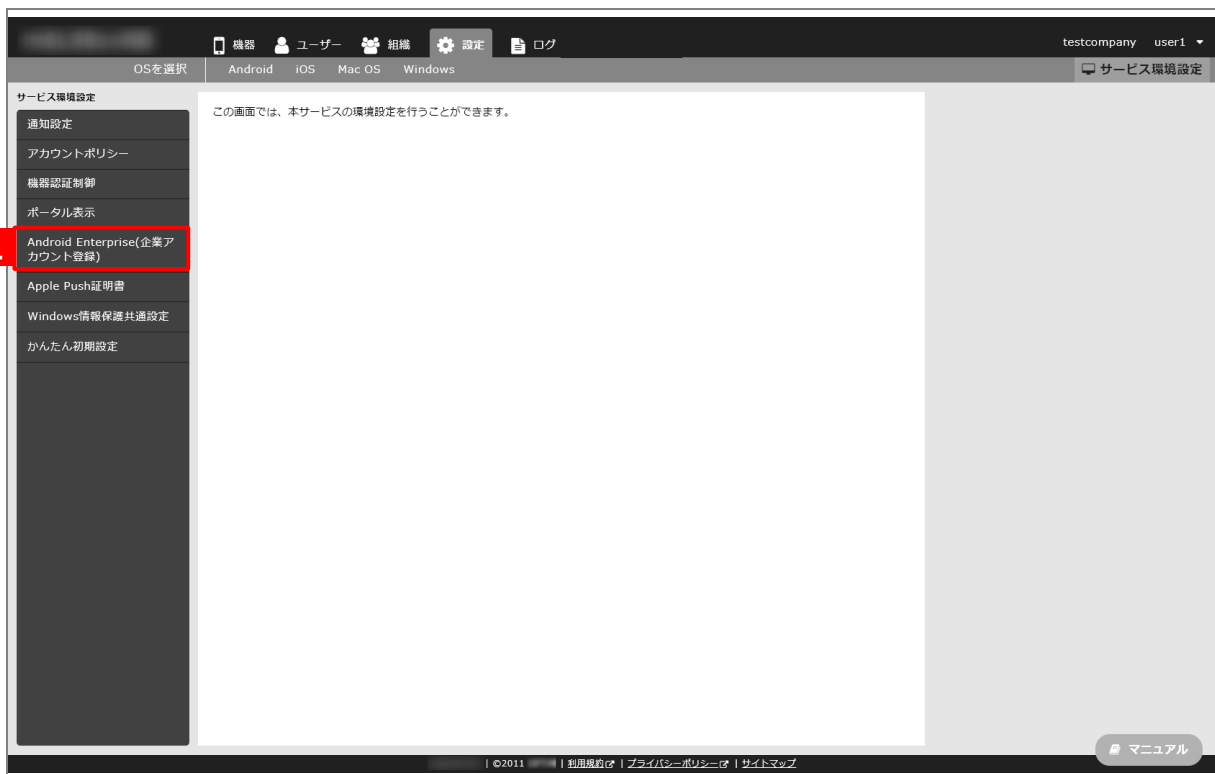
Microsoft ID アカウントのメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

🔗 Microsoft ID アカウントのメールアドレスは、Microsoft Entra ID でシングルサインオンが構成済みのものを使用してください。認証を行うため自動的に Microsoft の画面が表示されます。

📖 Microsoft ID アカウントについての詳細は、以下を参照してください。

👉 <https://learn.microsoft.com/ja-jp/entra/identity-platform/v2-protocols-oidc>

[1] [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise (企業アカウント登録)] をクリックします。



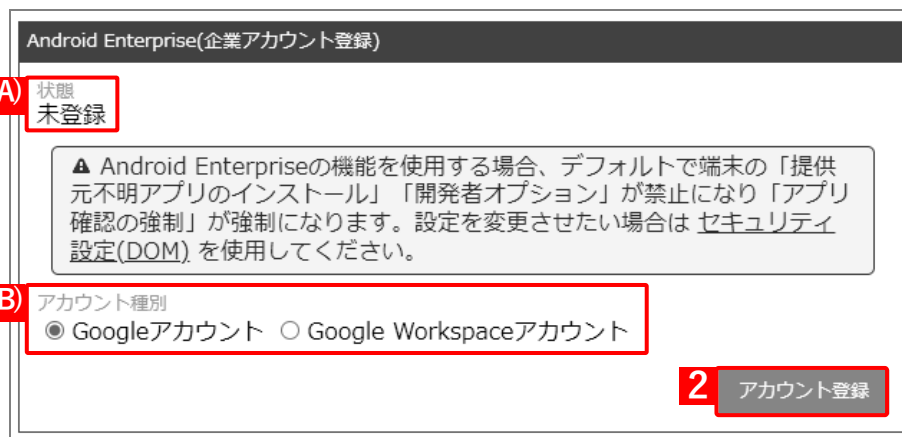
【2】 [アカウント登録] をクリックします。

✚ アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

✎ (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

✎ (B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。



【3】 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを入力します。

【4】 [次へ] をクリックします。



[5] [Microsoft でログイン] をクリックします。

⇒ Microsoft の登録画面が表示されます。画面の指示にしたがい登録を行ってください。



⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。

- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 「アカウントメールアドレス」にアカウント登録で使ったメールアドレスが表示されています。
- ✎ (C) 「組織 ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意的識別子が表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
登録済

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別
Googleアカウント

(B) アカウントメールアドレス

(C) 組織ID

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ [同意する] にチェックを入れて [アカウント削除] をクリックしてください。

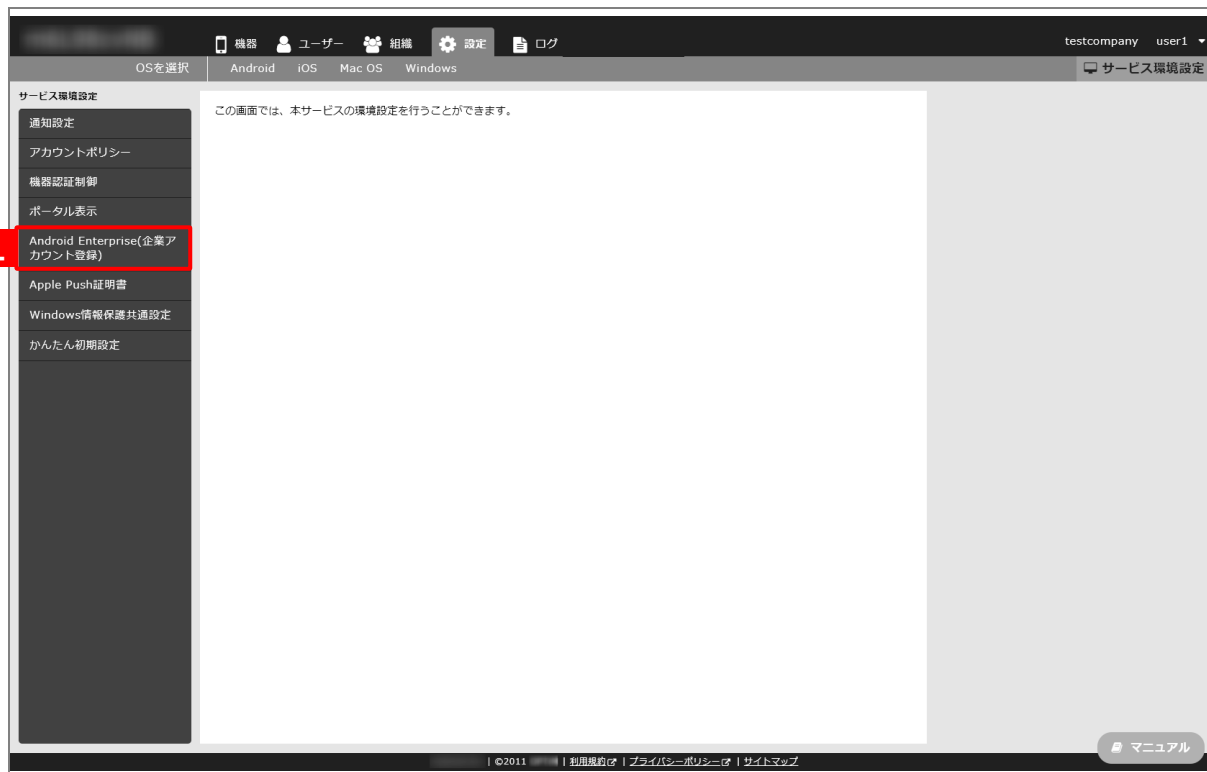
同意する

アカウント削除

3.1.3 Gmail のメールアドレスを登録する場合

Gmail のメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

- [1]** [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise (企業アカウント登録)] をクリックします。



- [2]** [アカウント登録] をクリックします。

アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

(A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

(B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。



[3] Gmail のメールアドレスを入力します。

[4] [次へ] をクリックします。



[5] 「Android のみ登録」の「登録」をクリックします。

⇒ Google Play ストアが表示されます。



【6】 [ログイン] をクリックします。

☑ 利用しているブラウザにより、Google Play ストアが正常に動作しないことがあります。



【7】 手順【3】で入力した Gmail のメールアドレスを入力します。

【8】 [次へ] をクリックします。



【9】 パスワードを入力します。

【10】 [次へ] をクリックします。

Google
ようこそ
[blurred email]
9 パスワードを入力
パスワードをお忘れの場合 10 次へ

【11】 [完了] をクリックします。

Google
アカウントの保護
[blurred email]
[Smartphone with padlock icon]
パスワードを忘れてしまったり、アカウントにアクセスできなくなったり、アカウントで不審なアクティビティが検出されたりした場合に Google から連絡を受け取る方法を設定します
予備の電話番号
電話番号がありません
再設定用のメールアドレス
再設定用のメールアドレスがありません
更新 11 完了

【12】 [スタートガイド] をクリックします。



【13】 「組織名」を入力します。

【14】 [次へ] をクリックします。



【15】 規約を確認し、同意にチェックを入れます。

【16】 **【確認】** をクリックします。

- (A) データの保護責任者および EU 担当者は、任意入力です。必要に応じて入力します。データの保護責任者、EU 担当者についての詳細は、以下を参照してください。

<https://support.google.com/googleplay/work/answer/7681629>

連絡先情報

連絡先情報を入力してください

Google では、データ保護に関する法規制を遵守するための取り組みとして、顧客データ保護責任者様と EU 担当者様の連絡先情報を保管する必要があります。この情報は、Google のサービス内にあるデータのプライバシーやセキュリティに関する質問またはお知らせについてご連絡する場合に使用します。

この情報をまだご用意できていない場合は、managed Google Play の [管理者設定] から後で追加できます。

(A) データ保護責任者

名前

メール

モバイル端末

EU 担当者

名前

メール

モバイル端末

15 managed Google Play 契約を確認しました。この内容に同意します。

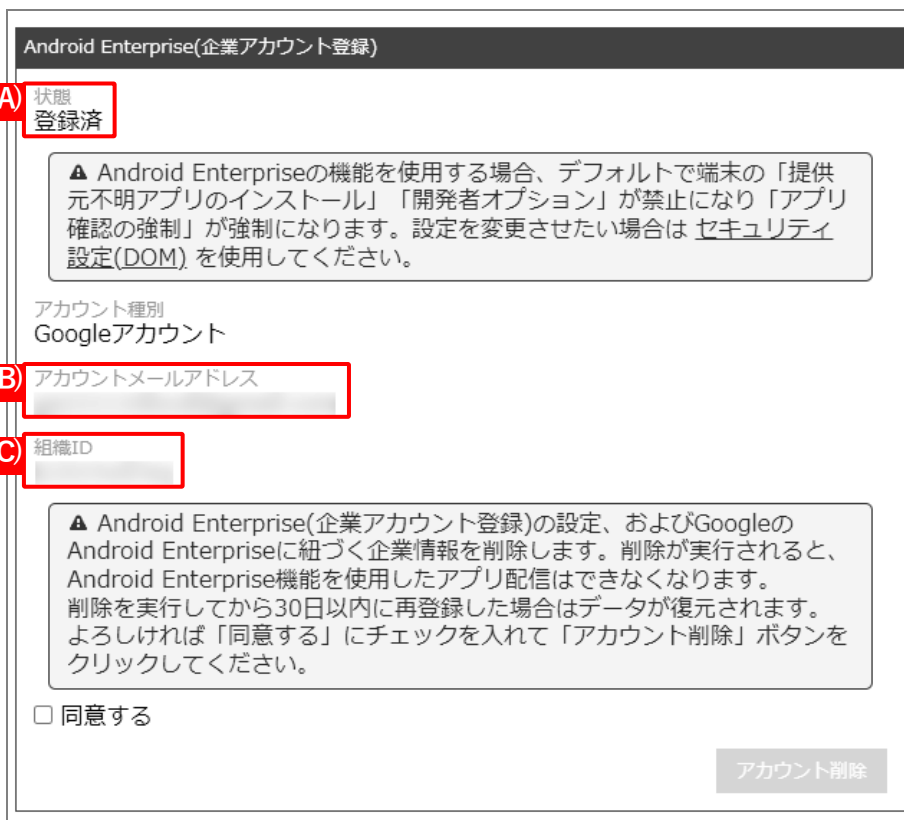
前へ **16** 確認

【17】 [登録を完了] をクリックします。

⇒アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。



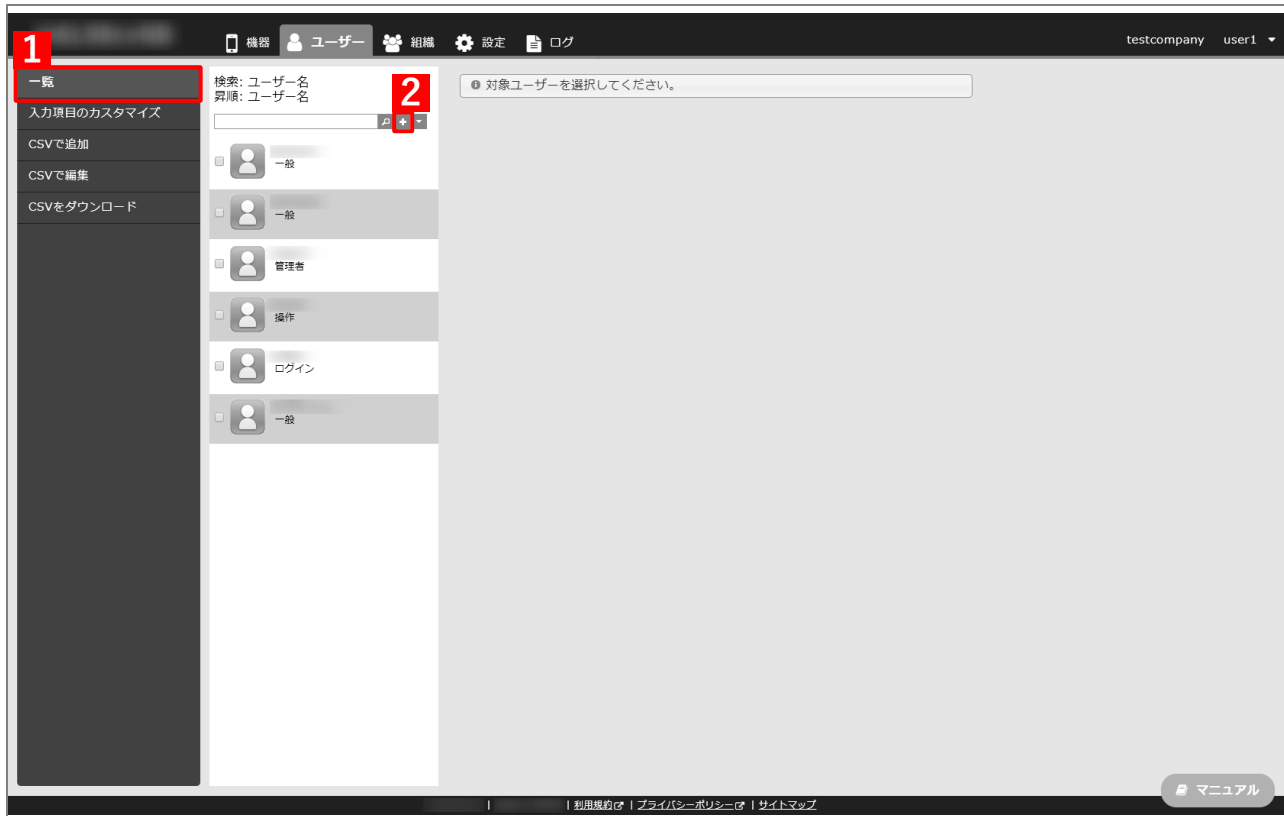
- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 「アカウントメールアドレス」に Google Play ストアで登録したメールアドレスが表示されています。
- ✎ (C) 「組織 ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意の識別子が表示されています。




3.2 ユーザーを作成する


以下の手順で、ユーザーを作成します。

- [1]** [ユーザー] → [一覧] をクリックします。
- [2]** **+** をクリックします。



[3] 「名前」に任意の名前を入力します。

 その他の入力および設定項目の詳細については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「ユーザー」 - 「一覧」 - 「ユーザーの作成」

[4] 「保存」をクリックします。

⇒ユーザーが作成されます。



管理 [Appとブック] 設定 その他 操作

管理情報 - 編集

3 名前

フリガナ

姓

名

ユーザーID

メールアドレス

ユーザー種別

- 管理者 (全ての操作ができます)
- 操作
- 閲覧者 (変更操作ができません)
- ロック・ワイプ
- ログイン (個別に権限を設定)
- 一般 (ログインできません)

組織

分類

(未分類)

機器認証制限

- 制限なし
- 制限あり 台
- 認証禁止

取消 **4** 保存

パスワード

現在のパスワード

編集

機器

機器数
0

3.3 afw 識別子でキッティングする

以下の手順で、afw 識別子による端末のキッティングを行います。

🔗 管理サイトの「アプリケーション禁止」で「禁止するアプリケーション」、および「アプリケーション非表示」に「Google Play 開発者サービス (com.google.android.gms)」を設定していると、正常にキッティングが完了できない場合があります。以下を参照して、事前に設定を解除してから、キッティングを行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「アプリケーション」 - 「アプリケーション禁止」

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「アプリケーション非表示」

🔗 手順【10】の画面は、機種や OS によって表示されるタイミングが異なる場合があります。

【1】 [始める] をタップします。



【2】 [スキップ] をタップします。

🔗 SIM が挿入されている場合は、表示されません。



【3】 接続したい Wi-Fi の SSID をタップして、Wi-Fi に接続してください。

⇒ ネットワーク接続が開始されます。

- ☑必ずネットワークに接続して、以降の手順を進めてください。
- ☑モバイルネットワークを利用する場合は、(A) [セットアップ時にモバイルネットワークを使用する] をタップします。表示されるポップアップのメッセージを確認してください。

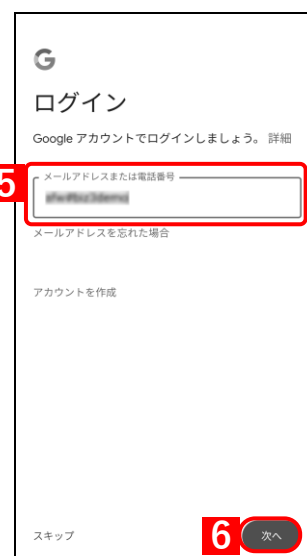


【4】 [コピーしない] をタップします。

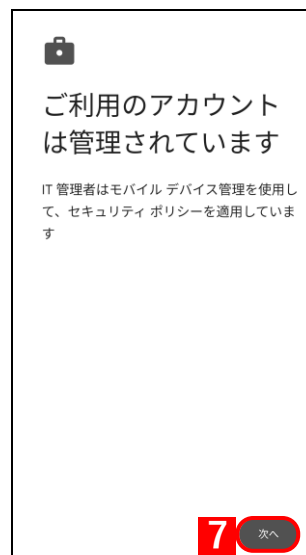


【5】 「メールアドレスまたは電話番号」に「afw#ksmsm」と入力します。

【6】 [次へ] をタップします。



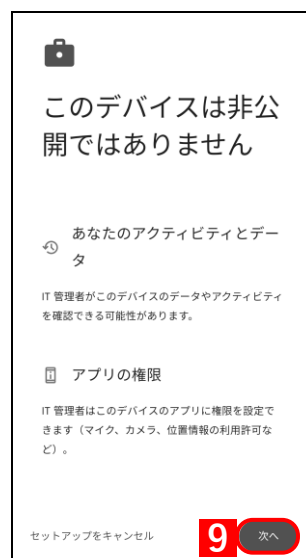
【7】 [次へ] をタップします。



【8】 [同意して続行] をタップします。



【9】 [次へ] をタップします。



【10】 [OK] をタップします。

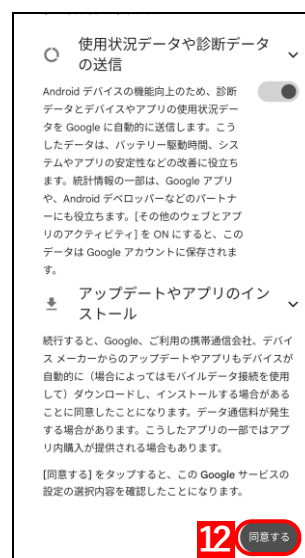


【11】 [もっと見る] をタップします。

✎ 端末によっては [もっと見る] が数回表示されます。[同意する] が表示されるまで、タップします。



【12】 [同意する] をタップします。




【13】 [スキップ] をタップします。



【14】 画面下部からスワイプします。
⇒ ホーム画面に移動します。



【15】 [KDDI Safety Manager] をタップします。

 ホーム画面にアイコンが表示されない場合は、アプリ一覧を確認してください。

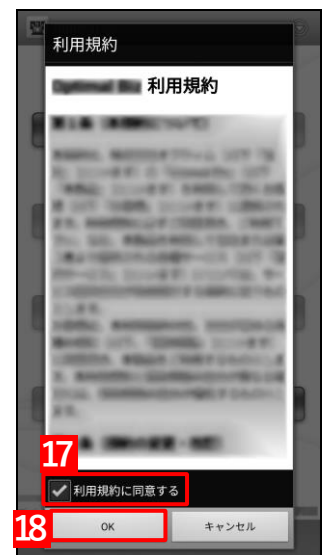


【16】 [ライセンス認証] をタップします。

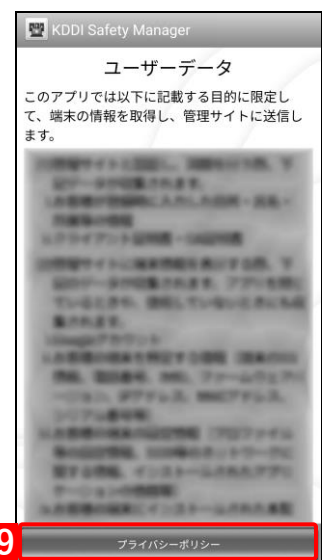


【17】 「利用規約に同意する」にチェックを入れます。

【18】 [OK] をタップします。



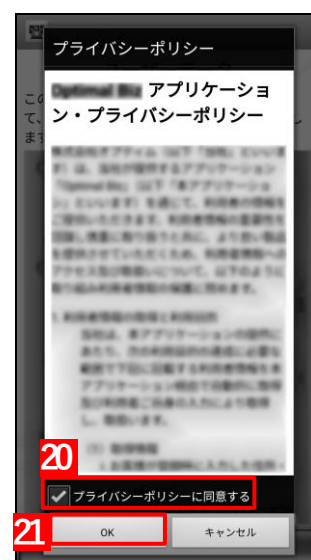
【19】 ユーザーデータについて確認して、[プライバシーポリシー] をタップします。



【20】 「プライバシーポリシーに同意する」にチェックを入れます。

【21】 [OK] をタップします。

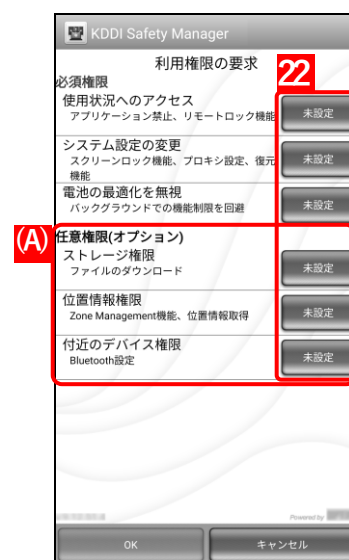
⇒ 権限要求画面が表示されます。



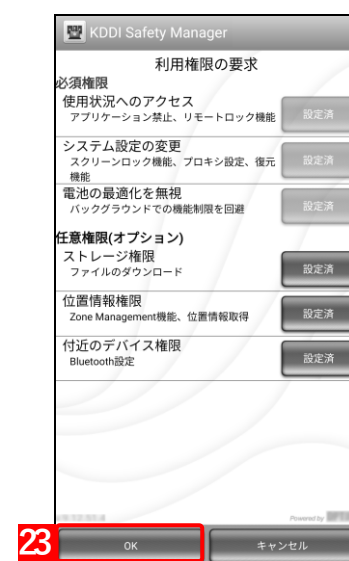
【22】 画面の案内に従って設定を行ってください。

✎ エージェントバージョン 9.14.0 以上の場合、(A) 任意権限に「付近のデバイス権限」が表示されます。

✎ Android 13 以上でエージェントバージョン 9.16.0 以上の場合、(A) 任意権限に「通知権限」が表示されます。「ストレージ権限」は表示されません。



【23】 [OK] をタップします。

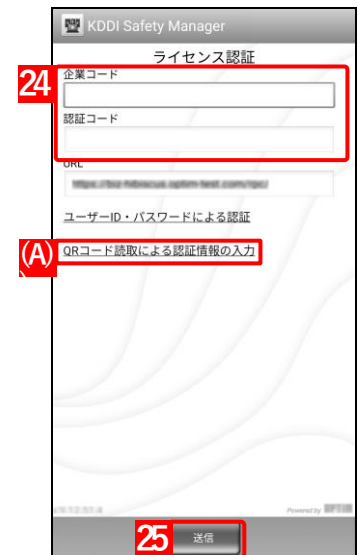


【24】 「企業コード」 および 「認証コード」 を入力します。

- ☑ 企業コード、認証コードは管理者にお問い合わせください。
- ✍ (A) [QRコード読取による認証情報の入力] をタップして、エージェント認証用 QRコードを読み取ると、「企業コード」、「認証コード」、「URL」が自動で入力されます。QRコードは、管理者にお問い合わせください。

【25】 [送信] をタップします。

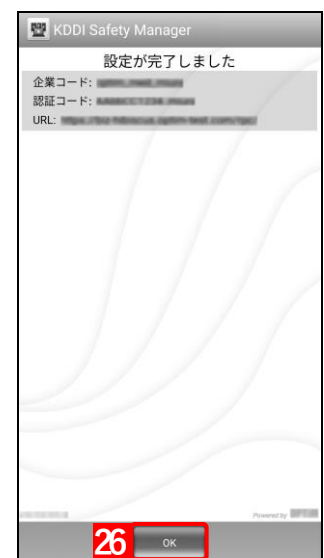
⇒ ライセンス認証完了の画面が表示されます。

**【26】 [OK] をタップします。**

⇒ 初期登録画面が表示されます。

- ✍ 手順【27】～【31】の初期登録画面は、管理サイトでポータル表示を「表示」に設定している場合のみ表示されます。

📖 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「サービス環境設定」 - 「ポータル表示」

**【27】 社員番号、姓、名を入力します。****【28】 [次へ] をタップします。**

⇒ 機器にユーザーが紐づきます。

- ☑ 登録したユーザーを変更することはできません。
- ✍ すでにユーザーが端末に紐づけられている場合は、ユーザーが紐づけられているメッセージが表示されます。
- ✍ ユーザー情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。



【29】 必要事項を選択、入力します。

【30】 [次へ] をタップします。

- ☑ あらかじめ、管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で入力項目を追加してください。追加するとき、「機器から入力可」にチェックを入れてください。チェックが入っていない場合は、項目が表示されません。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「入力項目のカスタマイズ」

- ☑ 管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で設定した内容により、画面に表示される「分類」と「自由入力項目」の内容が異なります。

- ☑ 機器情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。



【31】 [OK] をタップします。

⇒ キットニングおよびライセンス認証が完了しました。以下に進んでください。

🏠 「端末にユーザーを割り当てる」54 ページ



3.4 端末にユーザーを割り当てる

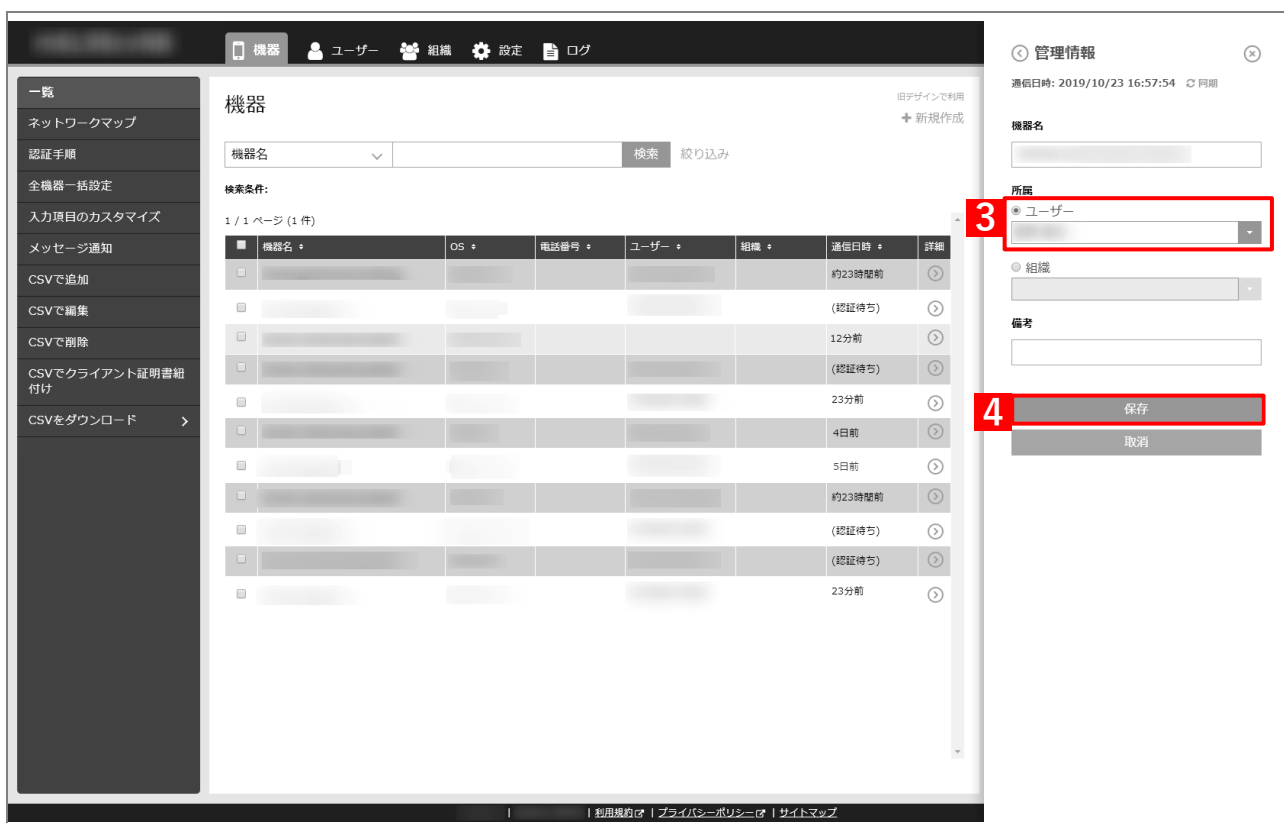
以下の手順で、「ユーザーを作成する」で作成したユーザーを対象端末に割り当てます。

- [1]** [機器] → [一覧] → 一覧から対象端末をクリックします。
- [2]** [管理情報の編集] をクリックします。

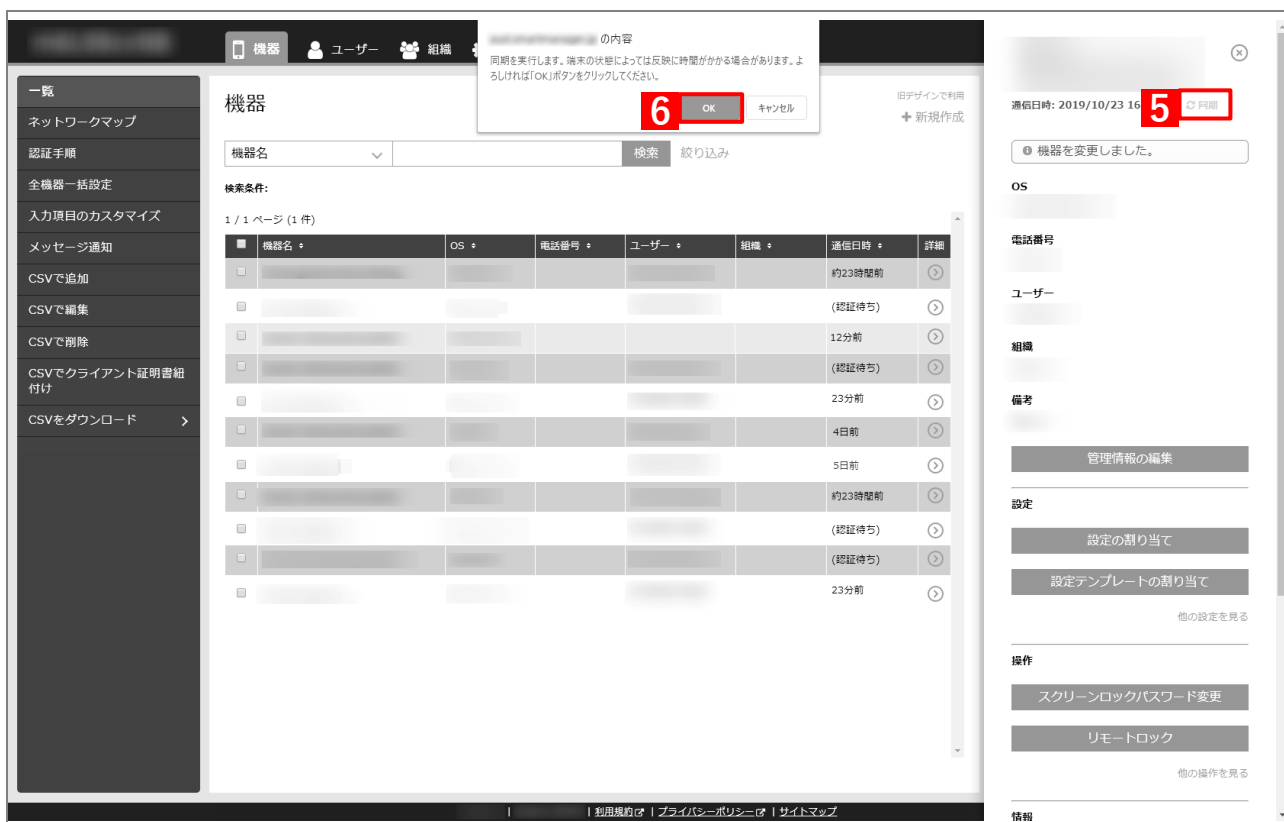
The screenshot shows the '機器' (Devices) management page. The table below represents the data shown in the interface:

機器名	OS	電話番号	ユーザー	組織	通信日時	詳細
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	約23時間前	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	12分前	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	23分前	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	4日前	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	5日前	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	約23時間前	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	23分前	[Redacted]

- [3]** 「所属」の「ユーザー」を選択し、プルダウンメニューから「ユーザーを作成する」で選択したユーザーを指定します。
- [4]** [保存] をクリックします。



- [5]** [同期] をクリックします。
 - [6]** [OK] をクリックします。
- ⇒端末にユーザーが割り当てられます。



4 Google アカウントで Android Enterprise 連携を行い、Google Workspace アカウントを併用する

Android Enterprise を利用するには、端末をキッティングする前に Google アカウントで本製品と Google 間の連携設定を行います。

Google Workspace アカウントを併用して登録する場合は、Google 管理コンソール上での設定を行ったあと、端末に Google Workspace アカウントを追加します。

注意

- Android Enterprise の連携設定を行っていない Google アカウント、Google Workspace アカウントが必要です。
- 連携設定を行ったアカウントの削除や再登録をしたい場合は、以下を参照してください。
[🔗 「KDDI Smart Mobile Safety Manager – Google 間の連携設定を変更する」 339 ページ](#)
- 以下の項目は、初回のキッティング時のみ必要な操作です。
[🔗 「Google アカウントを登録する」 57 ページ](#)

参考

- あらかじめ管理サイトで Android Enterprise の「アプリケーション配信」機能を設定しておくこと、キッティングの完了後、ライセンス認証と同時に特定のアプリを端末に配信できます。アプリケーション配信の詳細については、以下を参照してください。
[🔍 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』の「アプリをインストールする」](#)

4.1 Google アカウントを登録する

管理サイトに Android Enterprise 連携するための Google アカウントを登録します。

登録できる Google アカウントは、以下の 3 種類です。Google アカウントに応じて、いずれかの方法で登録してください。

- 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合

- Google が推奨する登録方法です。なるべくこの方法で登録してください。

- Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合

- Microsoft Entra ID でシングルサインオンが構成済みの場合は、自動的にこの登録方法になります。

- Gmail のメールアドレスを登録する場合

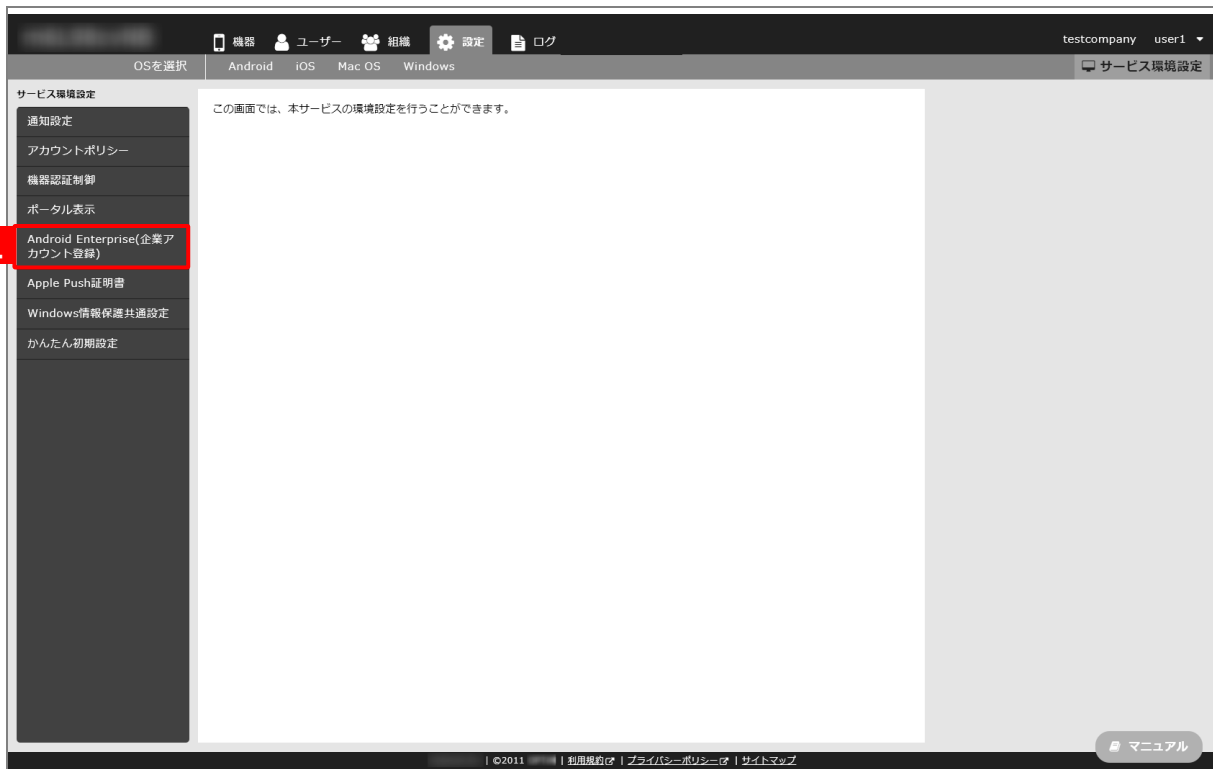
4.1.1 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合

企業ドメインのメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

- Google が推奨する登録方法です。

- 企業で初めて登録した企業ドメインのメールアドレスの使用者が、ドメイン管理者です。その後、同じ企業ドメインで他のメールアドレスを登録するときは、ドメイン管理者に連絡してください。ドメイン管理者が Google の画面で他のメールアドレスを登録します。

[1] [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise (企業アカウント登録)] をクリックします。



【2】 [アカウント登録] をクリックします。

📌 アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

✎ (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

✎ (B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。



【3】 企業ドメインのメールアドレスを入力します。

【4】 [次へ] をクリックします。

→ 企業で初めて企業ドメインのメールアドレスを登録した場合は、手順【3】で入力したメールアドレスに、Google からメールが届きます。メールを確認してください。



- ❏すでに企業ドメインが登録されていた場合は、以下の画面が表示されます。
企業のドメイン管理者に連絡してください。企業のドメイン管理者が不明な場合は、Google に問い合わせてください。



- ❏ドメイン管理者のメールアドレスを他の企業で登録しようとした場合は、以下の画面が表示されます。
(A) [許可] をクリックすると、企業登録が完了します。



[5] メールの内容を確認して、[メールアドレスの確認] をクリックします。

⇒ 情報登録画面が表示されます。

**[6]** 名、姓、会社名を入力して、国を選択します。**[7]** [続行] をクリックします。

✎ 名、姓、会社名を入力すると、[続行] がクリックできます。



【8】 [次へ] をクリックします。



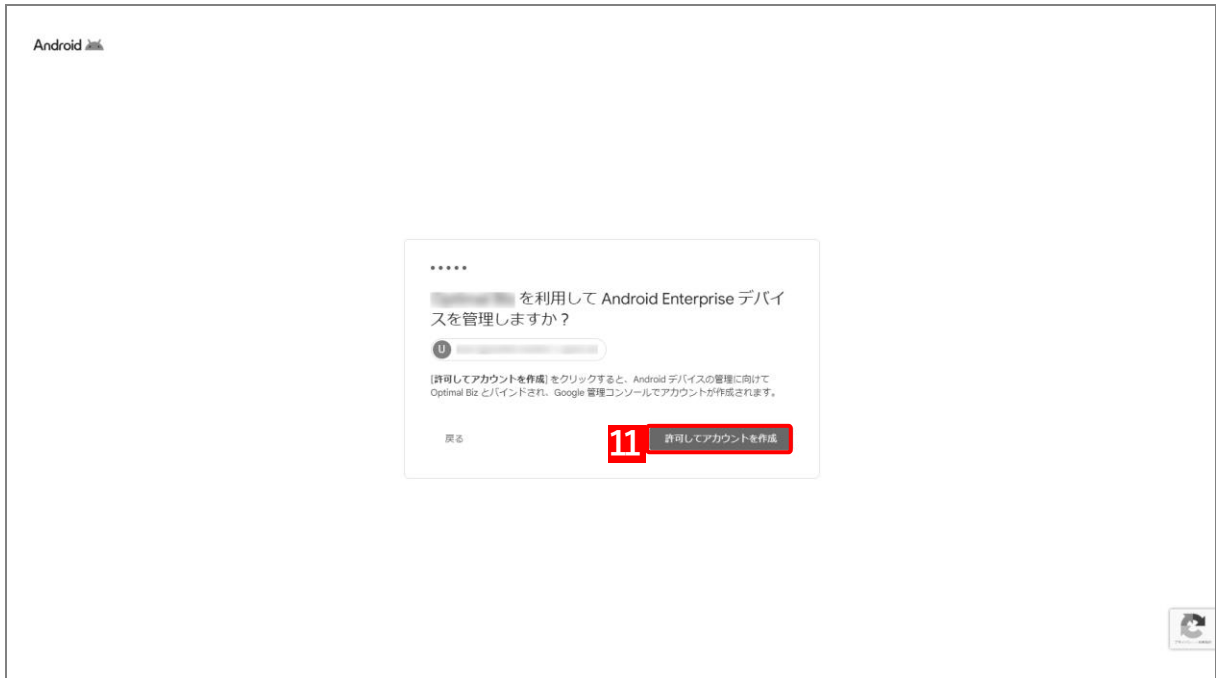
【9】 8 文字以上のパスワードを入力します。

【10】 [同意して続行] をクリックします。

パスワードを入力すると、[同意して続行] がクリックできます。

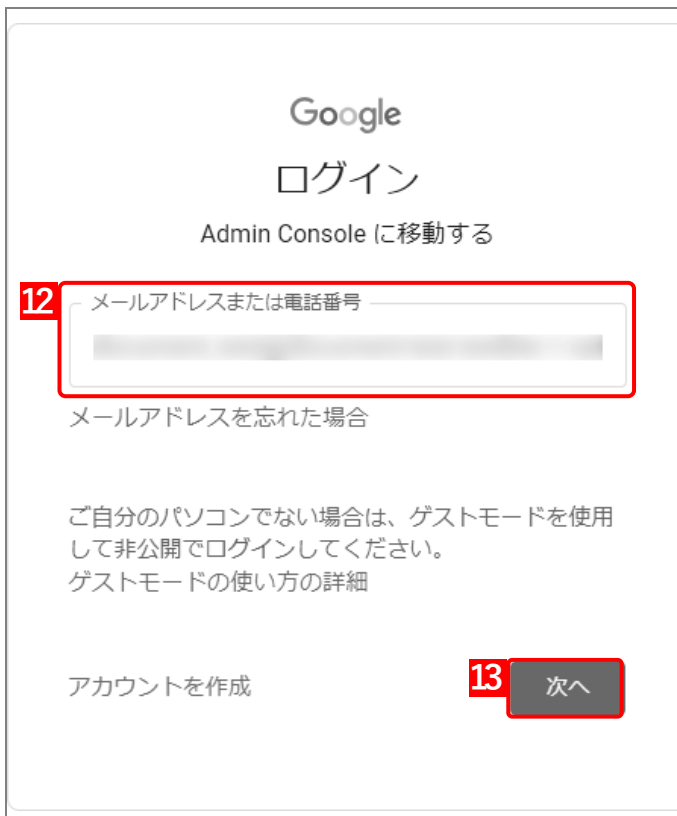


【11】 [許可してアカウントを作成] をクリックします。



【12】 手順【3】で入力した企業ドメインのアドレスを入力します。

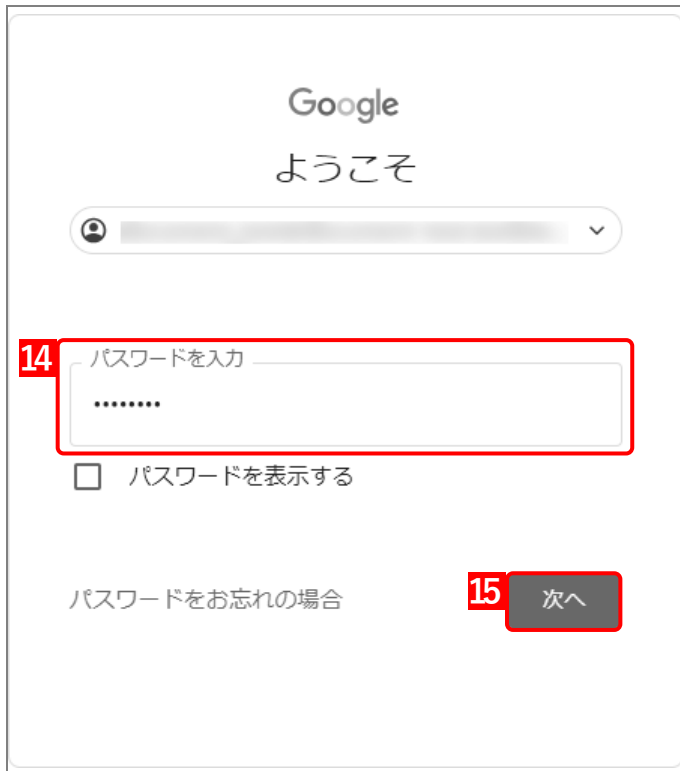
【13】 [次へ] をクリックします。



【14】 手順【9】 入力したパスワードを入力します。

【15】 [次へ] をクリックします。

⇒本人確認の画面が表示されます。




The image shows a screenshot of the Google login page. At the top, it says "Google ようこそ". Below that is a search bar with a user profile icon on the left and a dropdown arrow on the right. A red box labeled "14" highlights the password input field, which contains "パスワードを入力" and ".....". Below the password field is a checkbox labeled "パスワードを表示する". At the bottom left, there is a link "パスワードをお忘れの場合". At the bottom right, there is a red button labeled "15" with the text "次へ".

- 【16】** 確認コードを受け取る電話番号を入力します。
- 【17】** 確認コードの受け取り方法を選択します。
- 【18】** [コードを取得] をクリックします。

Google

本人確認の実施

アクセスしようとしているアカウントで通常とは異なるアクティビティが検出されました。続行するには、以下の手順に沿って操作してください。



電話番号を指定して続行してください。ログインに使用できる確認コードを送信します。

国名
[日本]

電話番号

16

この番号はセキュリティ保護の目的でのみ使用されます。通常のテキストメッセージ料金がかかります。

確認コードの受け取り方法:

17 テキストメッセージ (携帯電話のメール)
 自動音声通話

18

確認コードが届かない場合は、サポート オプションをご確認ください。

【19】 手順【16】で入力した電話番号で受け取った確認コードを入力します。

【20】 [確認] をクリックします。

Google

本人確認の実施

確認コードを入力してください

19

20 確認

【21】 [理解しました] をクリックします。

⇒アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。

Google

新しいアカウントへようこそ

新しいアカウント () へようこそ。このアカウントを使用してアクセスできる Google Workspace サービスは、 () の管理者によって設定されます。

管理者が管理するサービス (Google Workspace など) にアクセスする権限が組織から付与されている場合、これらのサービスの使用には組織の企業契約が適用されます。Google は、これらの規約に加えて、Google Cloud のプライバシーに関するお知らせも公開しています。

このアカウント () にログイン中に、Google Workspace とその他の Google サービスを使用する場合、これらのサービスの使用には、Google 利用規約、Google プライバシーポリシー、各 Google サービスに固有の利用規約など、それぞれの規約が適用されます。これらの規約に同意しない場合、または Google がこのような方法でデータを取り扱うことを許可しない場合は、このアカウント () でその他の Google サービスを使用しないでください。プライバシー設定は、myaccount.google.com でカスタマイズすることもできます。

21 理解しました

- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 「アカウントメールアドレス」にアカウント登録で使用したメールアドレスが表示されています。
- ✎ (C) 「組織ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意的識別子が表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
登録済

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別
Googleアカウント

(B) アカウントメールアドレス

(C) 組織ID

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ [同意する] にチェックを入れて [アカウント削除] をクリックしてください。

同意する

アカウント削除

4.1.2 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合

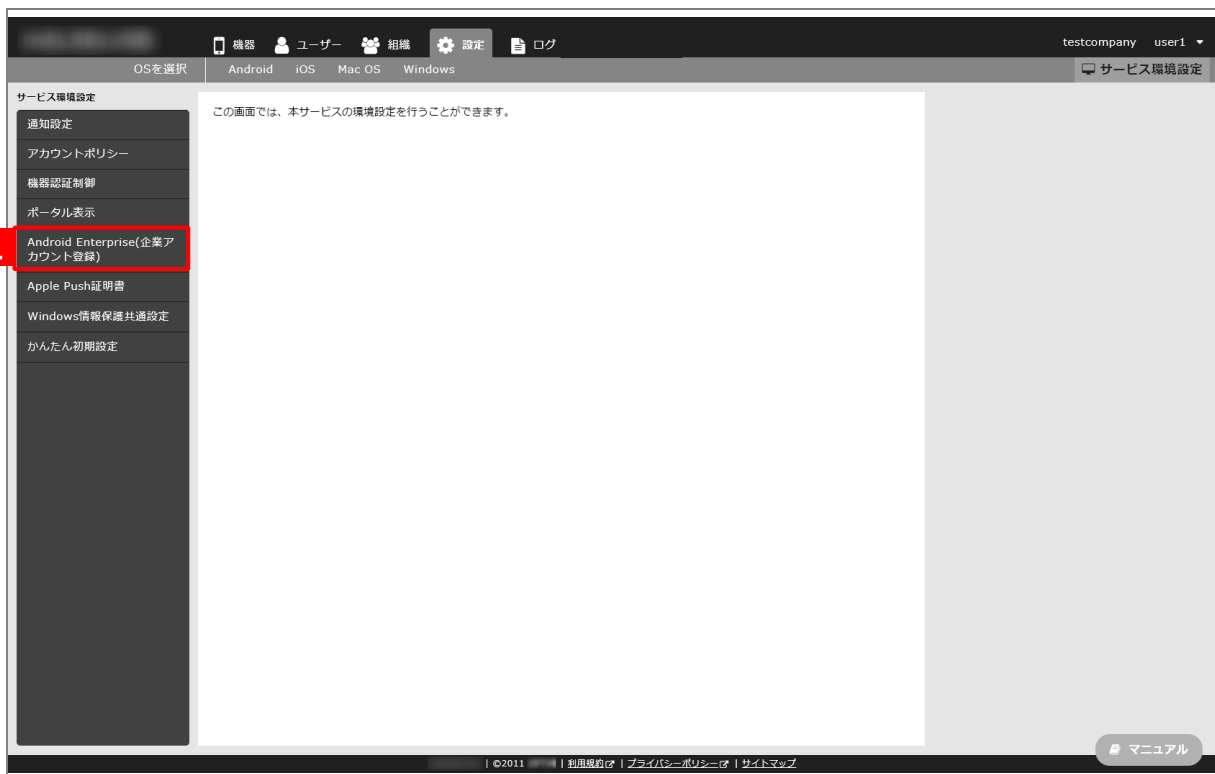
Microsoft ID アカウントのメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

📌 Microsoft ID アカウントのメールアドレスは、Microsoft Entra ID でシングルサインオンが構成済みのものを使用してください。認証を行うため自動的に Microsoft の画面が表示されます。

📌 Microsoft ID アカウントについての詳細は、以下を参照してください。

👉 <https://learn.microsoft.com/ja-jp/entra/identity-platform/v2-protocols-oidc>

[1] [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise (企業アカウント登録)] をクリックします。



【2】 [アカウント登録] をクリックします。

📌 アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

✎ (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

✎ (B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。



【3】 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを入力します。

【4】 [次へ] をクリックします。



[5] [Microsoft でログイン] をクリックします。

⇒ Microsoft の登録画面が表示されます。画面の指示にしたがい登録を行ってください。



⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。

- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 「アカウントメールアドレス」にアカウント登録で使したメールアドレスが表示されています。
- ✎ (C) 「組織 ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意的識別子が表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
登録済

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別
Googleアカウント

(B) アカウントメールアドレス

(C) 組織ID

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ【同意する】にチェックを入れて【アカウント削除】をクリックしてください。

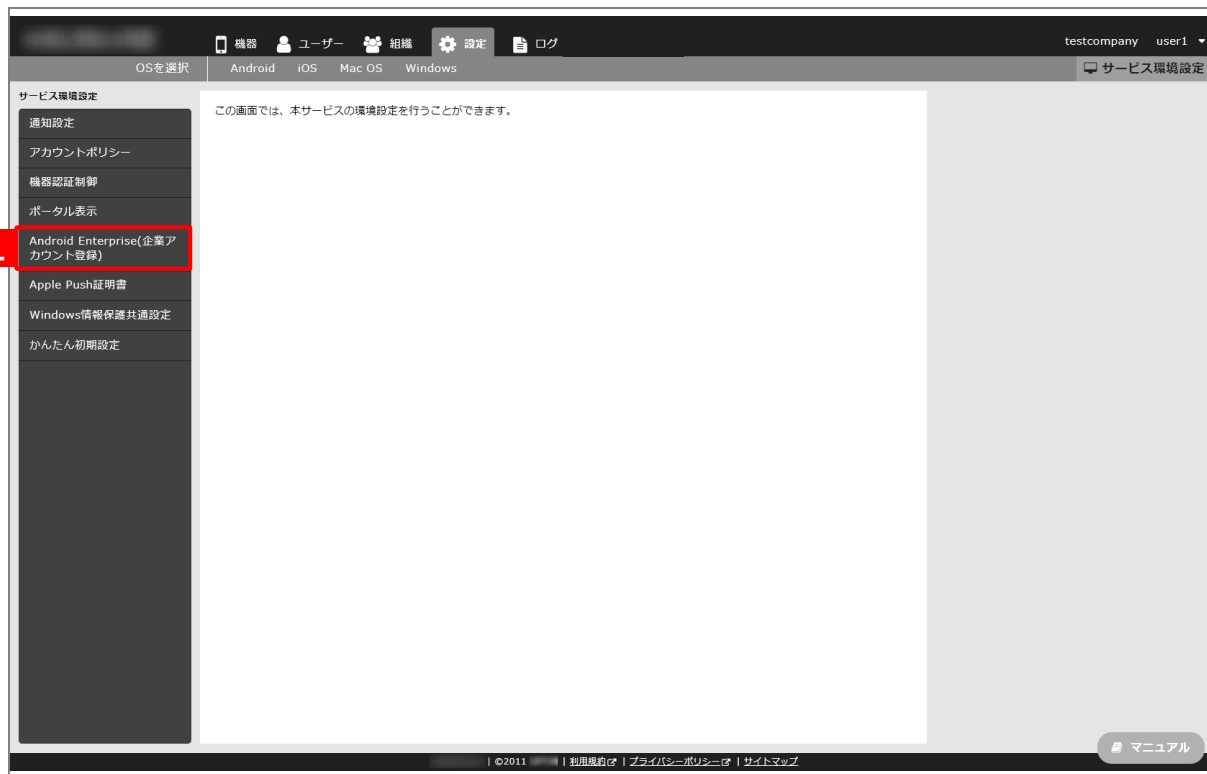
同意する

アカウント削除

4.1.3 Gmail のメールアドレスを登録する場合

Gmail のメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

- [1]** [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise (企業アカウント登録)] をクリックします。



- [2]** [アカウント登録] をクリックします。

アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

(A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

(B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。



[3] Gmail のメールアドレスを入力します。

[4] [次へ] をクリックします。



[5] 「Android のみ登録」の「登録」をクリックします。

⇒ Google Play ストアが表示されます。



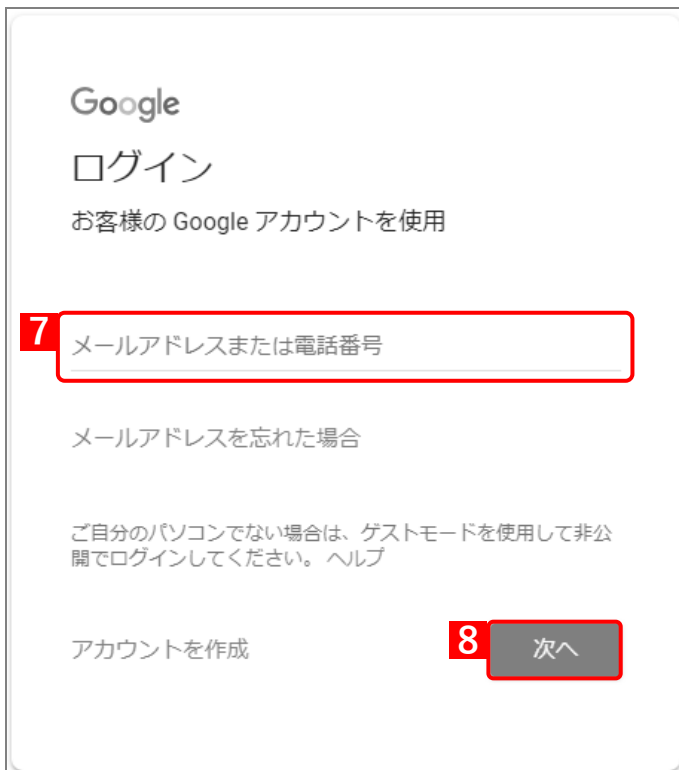
【6】 [ログイン] をクリックします。

☑利用しているブラウザにより、Google Play ストアが正常に動作しないことがあります。



【7】 手順【3】で入力した Gmail のメールアドレスを入力します。

【8】 [次へ] をクリックします。



【9】 パスワードを入力します。

【10】 [次へ] をクリックします。

Google
ようこそ
[blurred email] ▼
9 パスワードを入力
パスワードをお忘れの場合 **10** 次へ

【11】 [完了] をクリックします。

Google
アカウントの保護
[blurred email]

パスワードを忘れてしまったり、アカウントにアクセスできなくなったり、アカウントで不審なアクティビティが検出されたりした場合に Google から連絡を受け取る方法を設定します
予備の電話番号
電話番号がありません
再設定用のメールアドレス
再設定用のメールアドレスがありません
更新 **11** 完了

【12】 [スタートガイド] をクリックします。



【13】 「組織名」を入力します。

【14】 [次へ] をクリックします。



【15】 規約を確認し、同意にチェックを入れます。

【16】 [確認] をクリックします。

- (A) データの保護責任者および EU 担当者は、任意入力です。必要に応じて入力します。データの保護責任者、EU 担当者についての詳細は、以下を参照してください。

<https://support.google.com/googleplay/work/answer/7681629>

連絡先情報

連絡先情報を入力してください

Google では、データ保護に関する法規制を遵守するための取り組みとして、顧客データ保護責任者様と EU 担当者様の連絡先情報を保管する必要があります。この情報は、Google のサービス内にあるデータのプライバシーやセキュリティに関する質問またはお知らせについてご連絡する場合に使用します。

この情報をまだご用意できていない場合は、managed Google Play の [管理者設定] から後で追加できます。

(A) データ保護責任者

名前

メール

モバイル端末

EU 担当者

名前

メール

モバイル端末

15 managed Google Play 契約を確認しました。この内容に同意します。

前へ

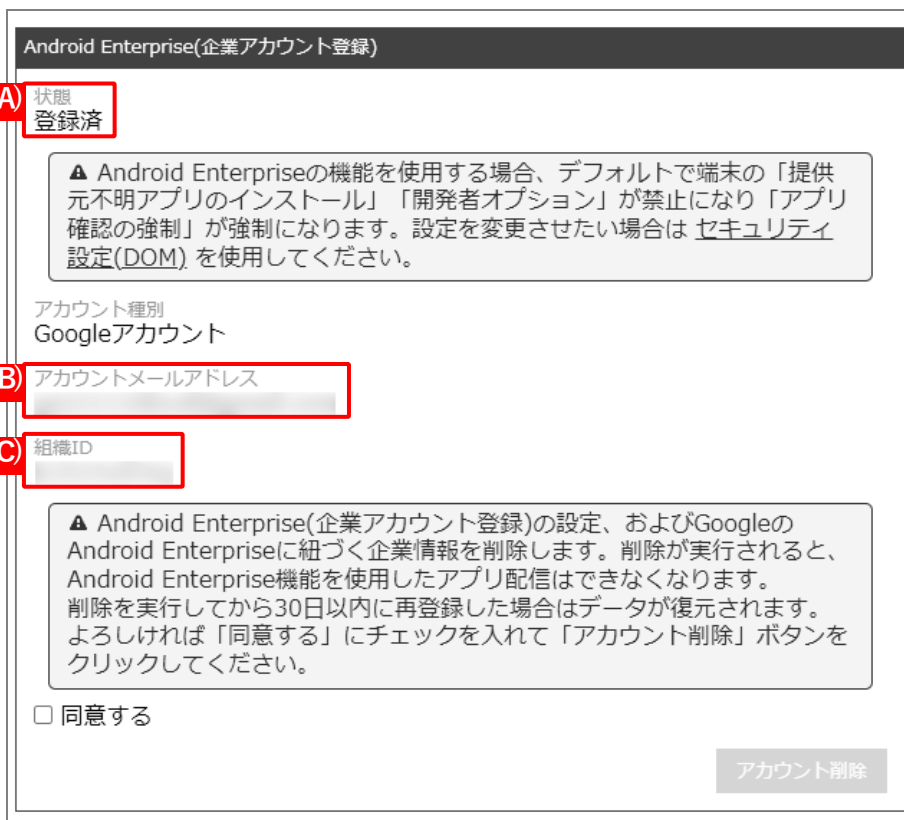
16 確認

【17】 [登録を完了] をクリックします。

⇒アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。



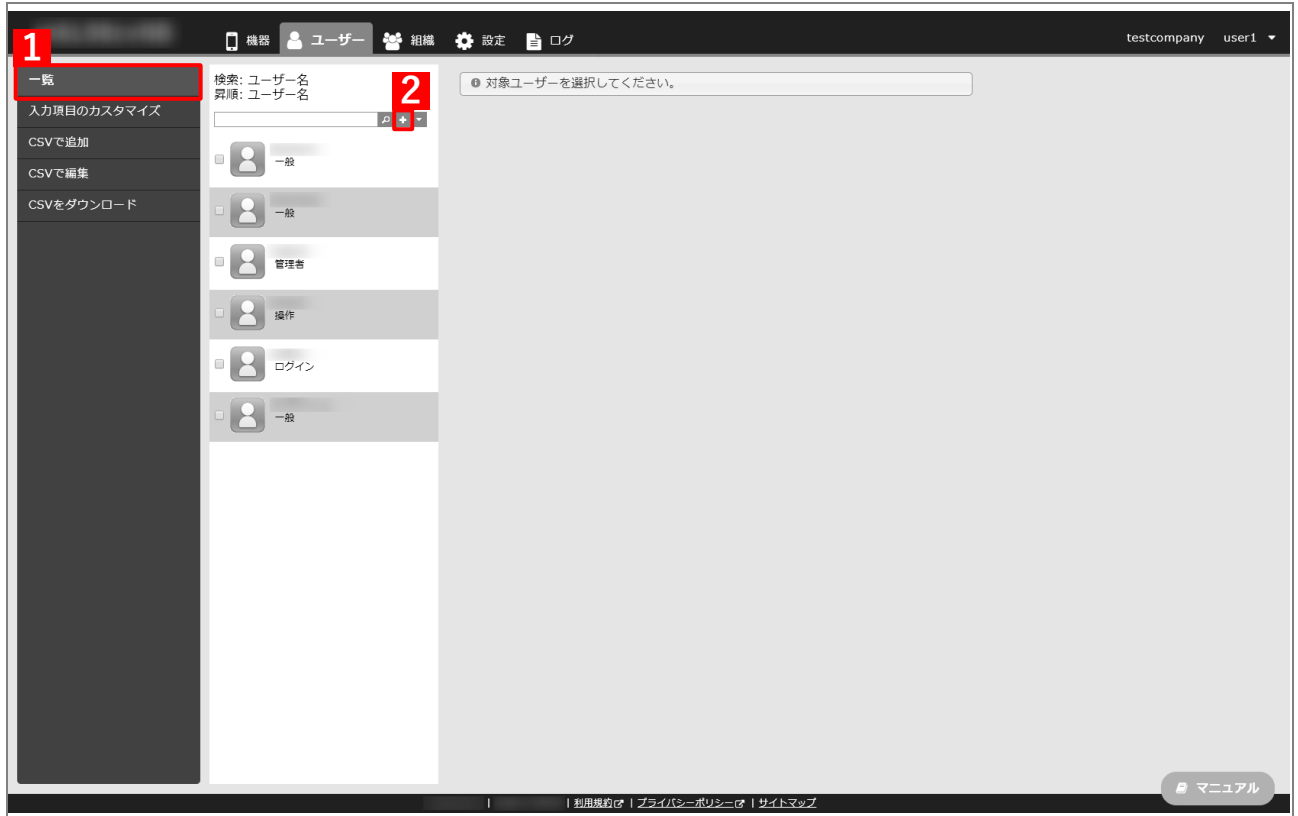
- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 「アカウントメールアドレス」に Google Play ストアで登録したメールアドレスが表示されています。
- ✎ (C) 「組織 ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意の識別子が表示されています。




4.2 ユーザーを作成する


以下の手順で、ユーザーを作成します。

- [1]** [ユーザー] → [一覧] をクリックします。
- [2]** **+** をクリックします。



[3] 「名前」に任意の名前を入力します。

 その他の入力および設定項目の詳細については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「ユーザー」 - 「一覧」 - 「ユーザーの作成」

[4] 「保存」をクリックします。

⇒ユーザーが作成されます。



管理情報 - 編集

名前 **3**

フリガナ

姓

名

ユーザーID

メールアドレス

ユーザー種別

- 管理者 (全ての操作ができます)
- 操作
- 閲覧者 (変更操作ができません)
- ロック・ワイブ
- ログイン (個別に権限を設定)
- 一般 (ログインできません)

組織

分類

(未分類)

機器認証制限

- 制限なし
- 制限あり 台
- 認証禁止

取消 **4** 保存

パスワード

現在のパスワード

編集

機器

機器数
0

4.3 afw 識別子でキッティングする

以下の手順で、afw 識別子による端末のキッティングを行います。

🔗 管理サイトの「アプリケーション禁止」で「禁止するアプリケーション」、および「アプリケーション非表示」に「Google Play 開発者サービス (com.google.android.gms)」を設定していると、正常にキッティングが完了できない場合があります。以下を参照して、事前に設定を解除してから、キッティングを行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「アプリケーション」 - 「アプリケーション禁止」

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「アプリケーション非表示」

🔗 手順【10】の画面は、機種や OS によって表示されるタイミングが異なる場合があります。

【1】 [始める] をタップします。



【2】 [スキップ] をタップします。

🔗 SIM が挿入されている場合は、表示されません。



【3】 接続したい Wi-Fi の SSID をタップして、Wi-Fi に接続してください。

⇒ ネットワーク接続が開始されます。

- ☑必ずネットワークに接続して、以降の手順を進めてください。
- ☑モバイルネットワークを利用する場合は、(A) [セットアップ時にモバイルネットワークを使用する] をタップします。表示されるポップアップのメッセージを確認してください。

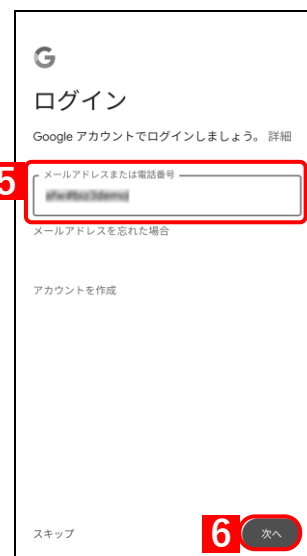


【4】 [コピーしない] をタップします。

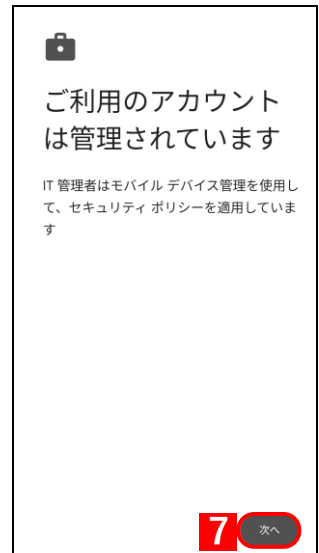


【5】 「メールアドレスまたは電話番号」に「afw#ksmsm」と入力します。

【6】 [次へ] をタップします。



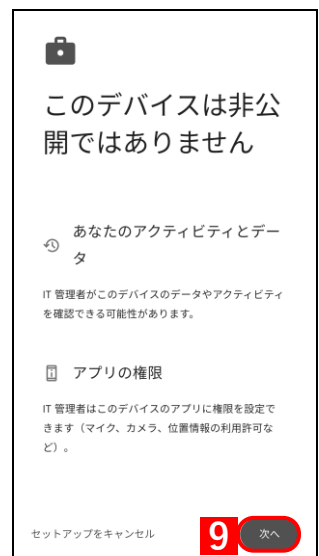
【7】 [次へ] をタップします。



【8】 [同意して続行] をタップします。



【9】 [次へ] をタップします。



【10】 [OK] をタップします。

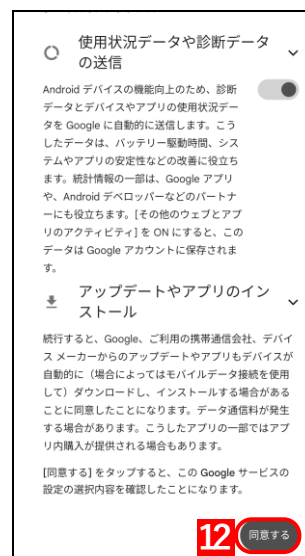


【11】 [もっと見る] をタップします。

✎ 端末によっては [もっと見る] が数回表示されます。[同意する] が表示されるまで、タップします。



【12】 [同意する] をタップします。



【13】 [スキップ] をタップします。




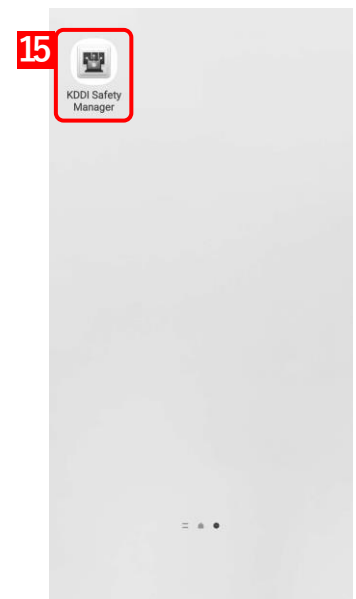
【14】 画面下部からスワイプします。

⇒ ホーム画面に移動します。



【15】 [KDDI Safety Manager] をタップします。

 ホーム画面にアイコンが表示されない場合は、アプリ一覧を確認してください。

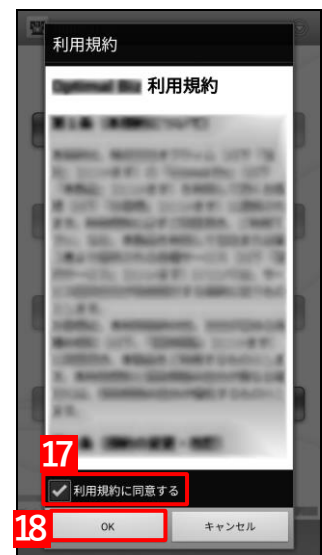


【16】 [ライセンス認証] をタップします。

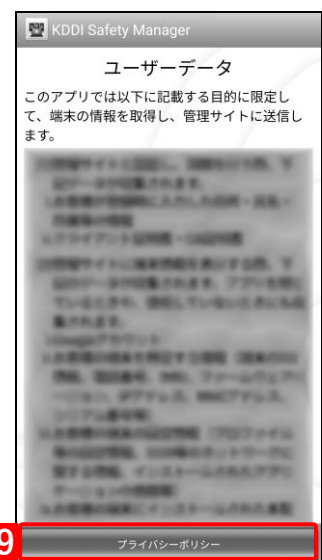


【17】 「利用規約に同意する」にチェックを入れます。

【18】 [OK] をタップします。



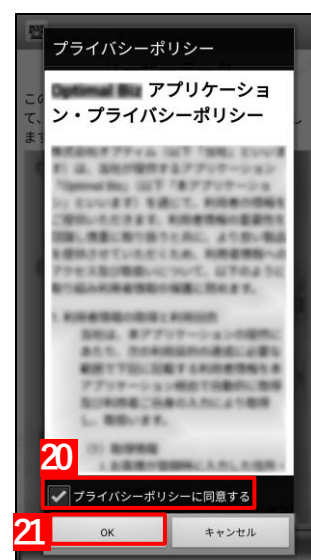
【19】 ユーザーデータについて確認して、[プライバシーポリシー] をタップします。



【20】 「プライバシーポリシーに同意する」にチェックを入れます。

【21】 [OK] をタップします。

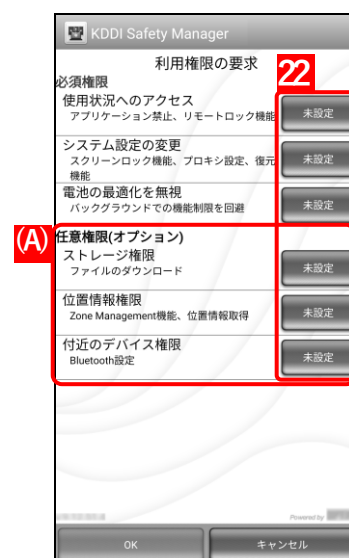
⇒ 権限要求画面が表示されます。



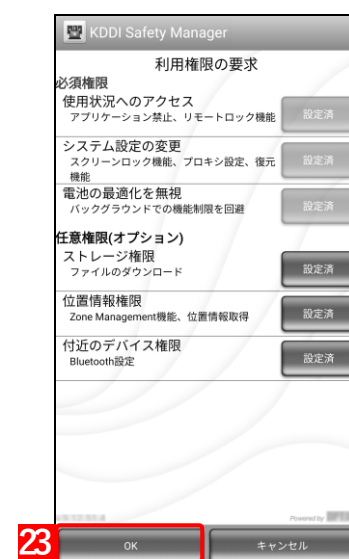
【22】 画面の案内に従って設定を行ってください。

✎ エージェントバージョン 9.14.0 以上の場合、(A) 任意権限に「付近のデバイス権限」が表示されます。

✎ Android 13 以上でエージェントバージョン 9.16.0 以上の場合、(A) 任意権限に「通知権限」が表示されます。「ストレージ権限」は表示されません。



【23】 [OK] をタップします。

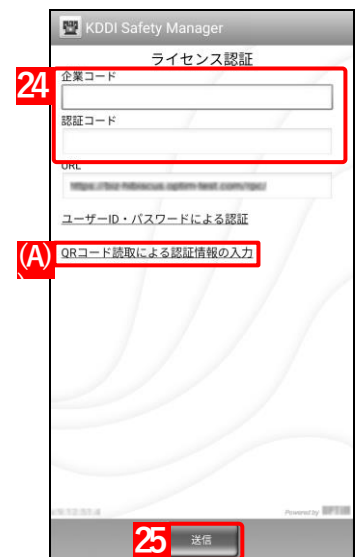


【24】 「企業コード」 および 「認証コード」 を入力します。

- ☑ 企業コード、認証コードは管理者にお問い合わせください。
- ✍ (A) [QRコード読取による認証情報の入力] をタップして、エージェント認証用 QRコードを読み取ると、「企業コード」、「認証コード」、「URL」が自動で入力されます。QRコードは、管理者にお問い合わせください。

【25】 [送信] をタップします。

⇒ ライセンス認証完了の画面が表示されます。

**【26】 [OK] をタップします。**

⇒ 初期登録画面が表示されます。

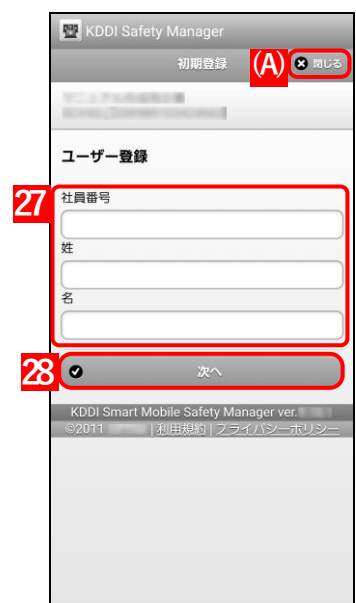
- ✍ 手順【27】～【31】の初期登録画面は、管理サイトでポータル表示を「表示」に設定している場合のみ表示されます。

📖 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「サービス環境設定」－「ポータル表示」

**【27】 社員番号、姓、名を入力します。****【28】 [次へ] をタップします。**


⇒ 機器にユーザーが紐づきます。

- ☑ 登録したユーザーを変更することはできません。
- ✍ すでにユーザーが端末に紐づけられている場合は、ユーザーが紐づけられているメッセージが表示されます。
- ✍ ユーザー情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。



【29】 必要事項を選択、入力します。**【30】 [次へ] をタップします。**

- ☑ あらかじめ、管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で入力項目を追加してください。追加するとき、「機器から入力可」にチェックを入れてください。チェックが入っていない場合は、項目が表示されません。


 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「入力項目のカスタマイズ」

- ☑ 管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で設定した内容により、画面に表示される「分類」と「自由入力項目」の内容が異なります。

- ☑ 機器情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。

**【31】 [OK] をタップします。**

⇒ キットニングおよびライセンス認証が完了しました。
以下に進んでください。

 「端末にユーザーを割り当てる」89 ページ



4.4 端末にユーザーを割り当てる

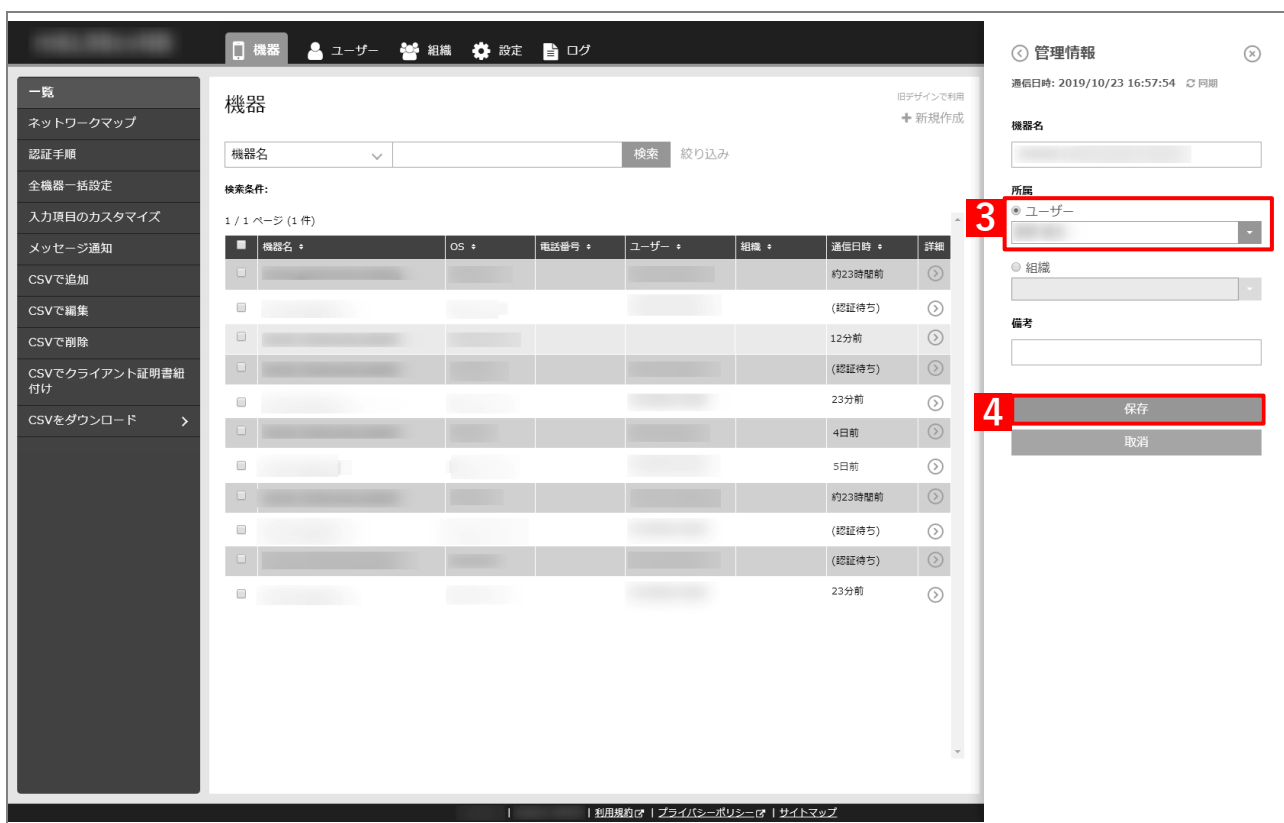
以下の手順で、「ユーザーを作成する」で作成したユーザーを対象端末に割り当てます。

- [1]** [機器] → [一覧] → 一覧から対象端末をクリックします。
- [2]** [管理情報の編集] をクリックします。

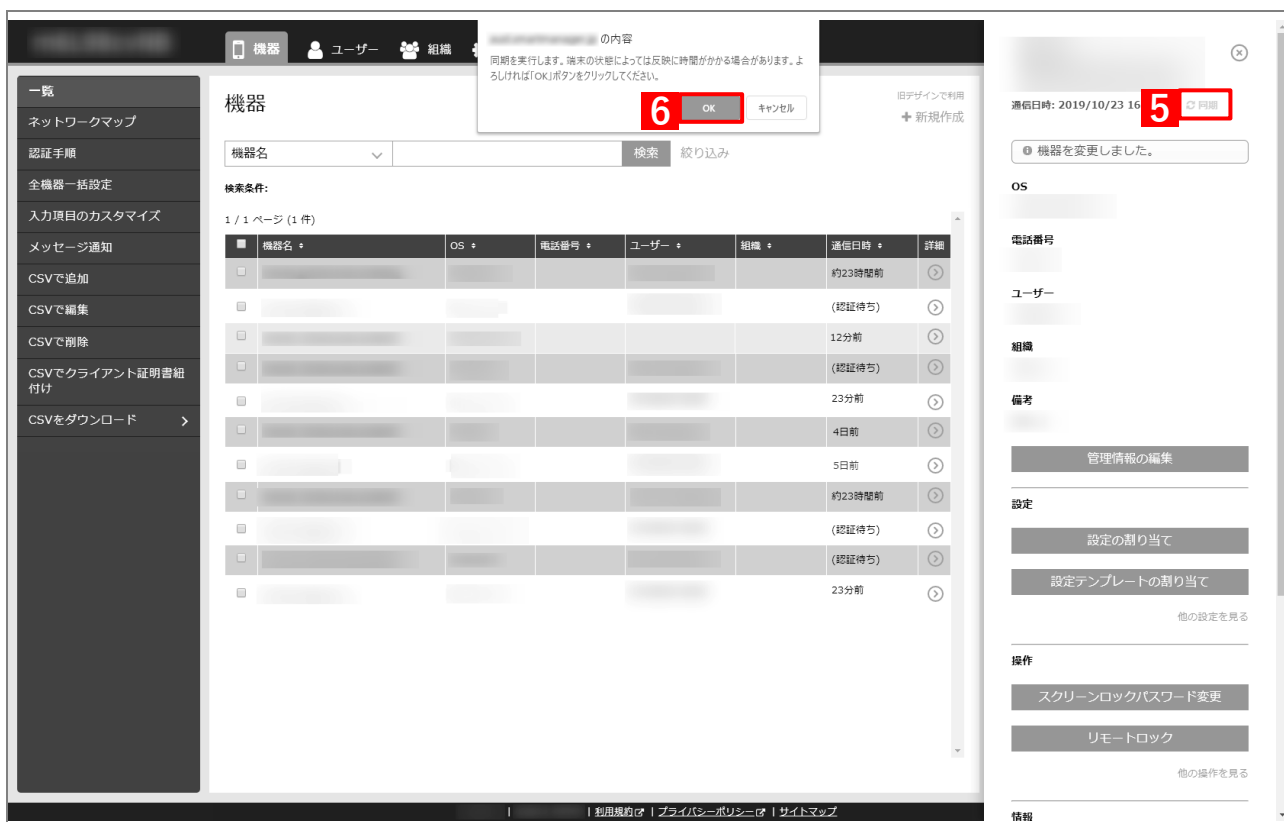
The screenshot displays the '機器' (Devices) management page. The main area shows a table of devices with columns for device name, OS, phone number, user, organization, and connection time. A red box labeled '1' highlights a row in the table. On the right sidebar, a red box labeled '2' highlights the '管理情報の編集' (Edit management information) button.

機器名	OS	電話番号	ユーザー	組織	通信日時	詳細
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	約23時間前	ⓘ
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	ⓘ
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	12分前	ⓘ
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	ⓘ
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	23分前	ⓘ
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	4日前	ⓘ
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	5日前	ⓘ
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	約23時間前	ⓘ
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	ⓘ
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	ⓘ
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	23分前	ⓘ

- [3]** 「所属」の「ユーザー」を選択し、プルダウンメニューから「ユーザーを作成する」で選択したユーザーを指定します。
- [4]** [保存] をクリックします。



- [5]** [同期] をクリックします。
 - [6]** [OK] をクリックします。
- ⇒端末にユーザーが割り当てられます。



4.5 Google Workspace アカウントを併用する

Google アカウントで Android Enterprise 連携を行い、端末にキッティング、ライセンス認証が完了したら、併用する Google Workspace アカウントを端末に追加します。

4.5.1 Google Workspace アカウントを設定する

Google 管理コンソールで、Google Workspace アカウントを以下の設定にします。

● 端末管理機能の無効化

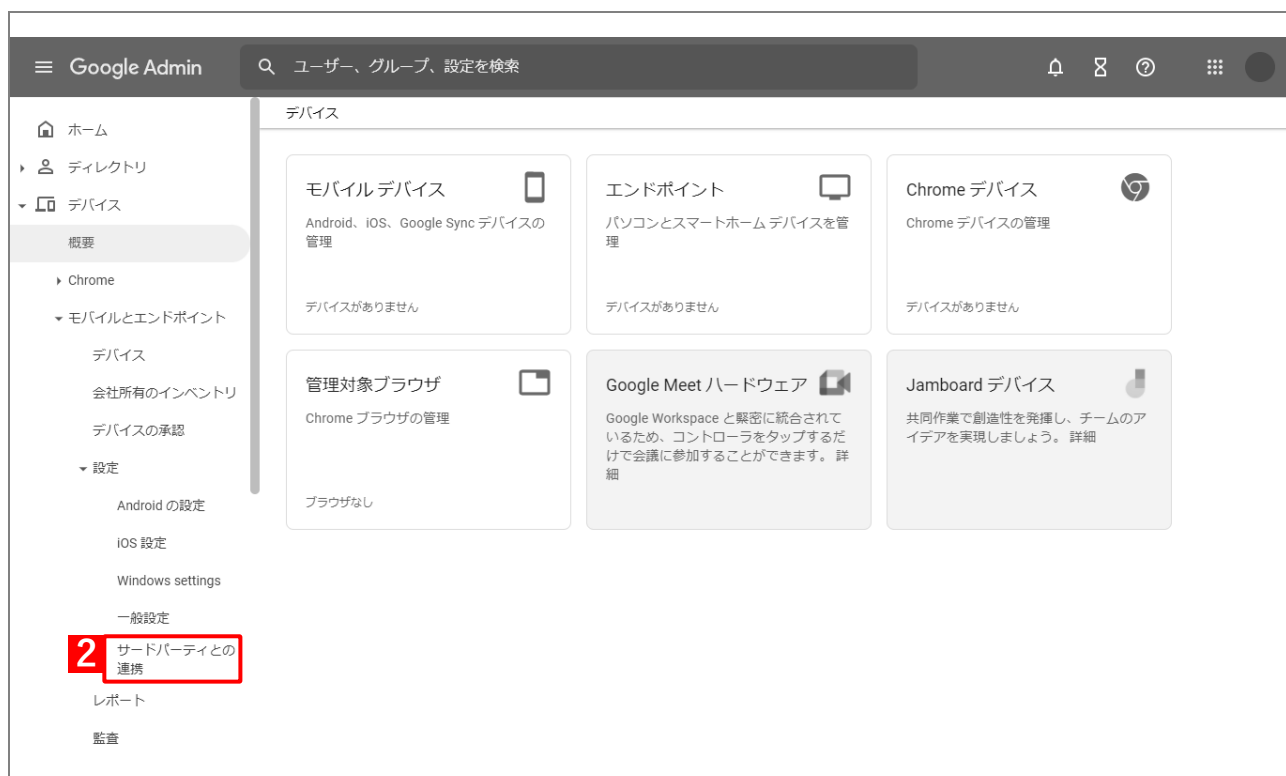
- ❏ 端末管理機能を有効にしていると、Google Workspace アカウントが使用できなくなったり、端末の初期化が必要になったりします。

● Google Play ストアの利用制限

- ❏ Google Play ストアの利用を制限していないと、業務に不要な Google Play ストア上のアプリをインストールできてしまいます。

[1] Google 管理コンソール (<https://admin.google.com>) を表示します。

[2] [デバイス] → [モバイルとエンドポイント] → [設定] → [サードパーティとの連携] をクリックします。

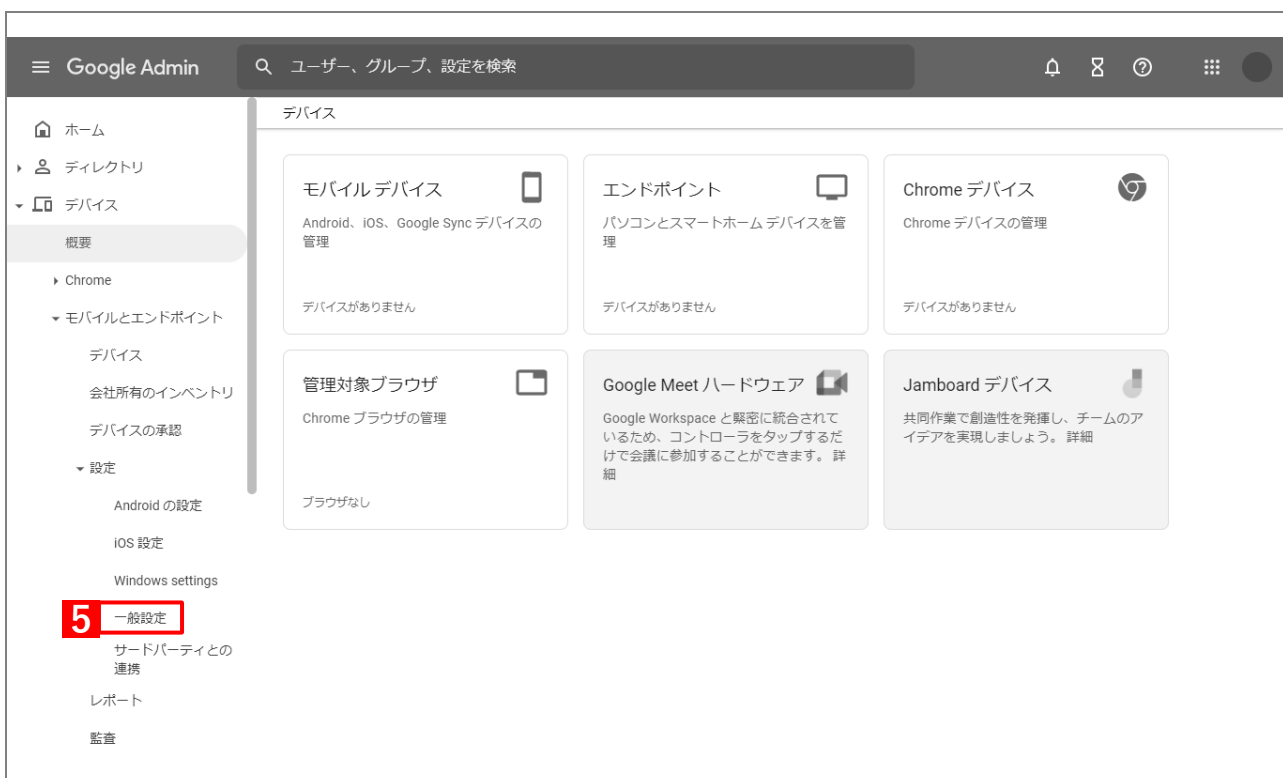


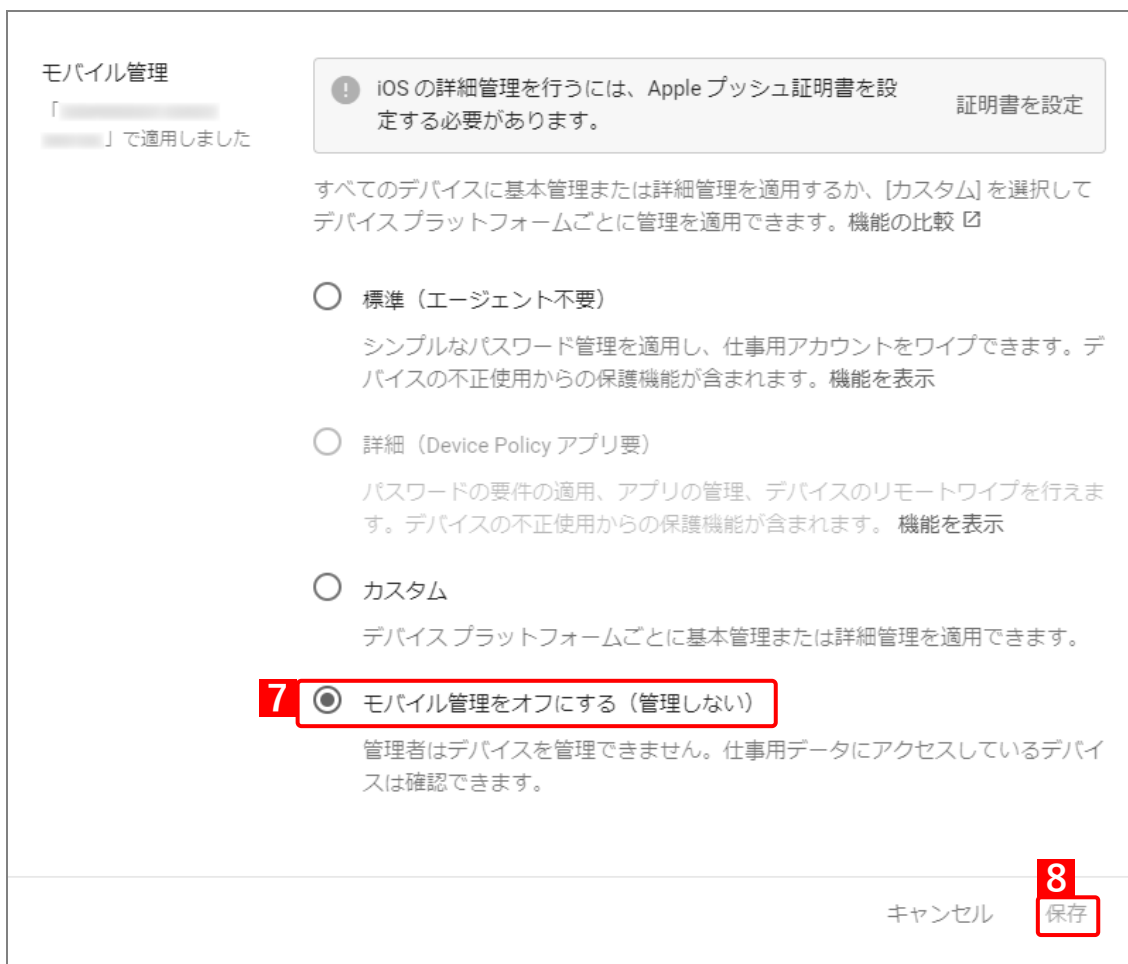
- 【3】 「Android EMM」の「サードパーティの Android モバイル管理を有効にする」のチェックを外します。**
- 【4】 「保存」をクリックします。**




- 【5】 「モバイルとエンドポイント」 → 「設定」 → 「一般設定」をクリックします。**

管理コンソールを表示するには、画面左上の [Google Admin] をクリックします。



【6】 [全般] → [モバイル管理] をクリックします。**【7】** 「モバイル管理をオフにする（管理しない）」を選択します。**【8】** [保存] をクリックします。

[9] [アプリ] → [その他の Google サービス] をクリックします。

 管理コンソールを表示するには、画面左上の [Google Admin] をクリックします。

[10] 対象の組織を選択します。

[11] 「Google Play」をクリックします。



Google Admin

ユーザー、グループ、設定を検索

ホーム
ダッシュボード
ディレクトリ
デバイス
アプリ

概要

Google Workspace

9 その他の Google サービス

ウェブアプリとモバイルアプリ

Google Workspace Marketplace アプリ

LDAP

パスワードが保管されているアプリ

セキュリティ

レポート

お支払い

アカウント

ルール

アプリ > その他の Google サービス

すべての組織部門で、追加サービスへのアクセス（個別のコントロールなし）が有効になっています [変更](#)

でアプリのステータスを表示しています [サービスを追加](#)

サービス ↑	サービスのステータス	操作
<input type="checkbox"/> Google Fi	オフ	
<input type="checkbox"/> Google My Maps	オン	
<input type="checkbox"/> Google Pay	オン	
11 <input type="checkbox"/> Google Play	オン	⋮
<input type="checkbox"/> Google Play Console	オン	
<input type="checkbox"/> Google Play ブックスパートナーセンター	オン	
<input type="checkbox"/> Google Public Data	オン	
<input type="checkbox"/> Google Search Console	オン	

このアカウントのすべてのユーザー

グループ

組織部門

組織部門を検索

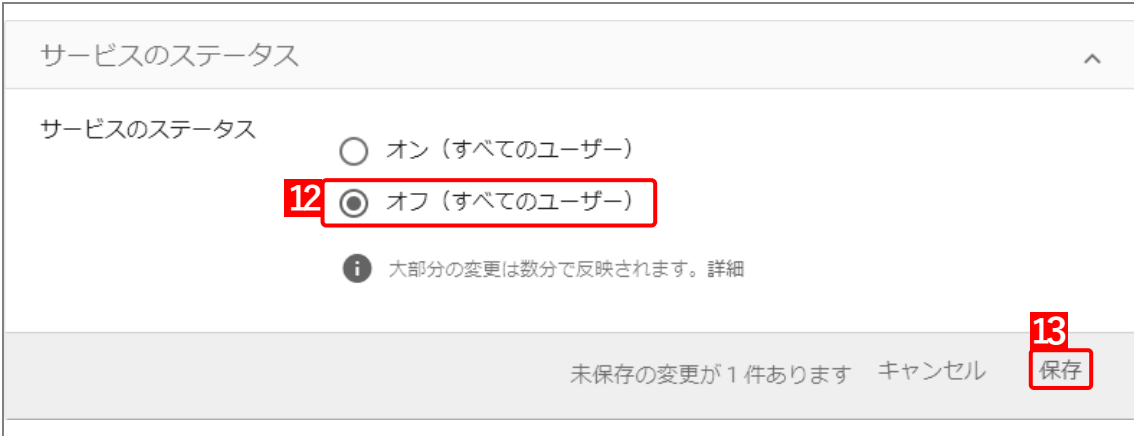
10

1 ページあたりの行数: 50

ページ 1 / 2

[12] 「サービスのステータス」の「オフ（すべてのユーザー）」を選択します。

[13] [保存] をクリックします。



サービスのステータス

サービスのステータス

オン（すべてのユーザー）

12 オフ（すべてのユーザー）

i 大部分の変更は数分で反映されます。詳細

未保存の変更が 1 件あります [キャンセル](#) **13** [保存](#)

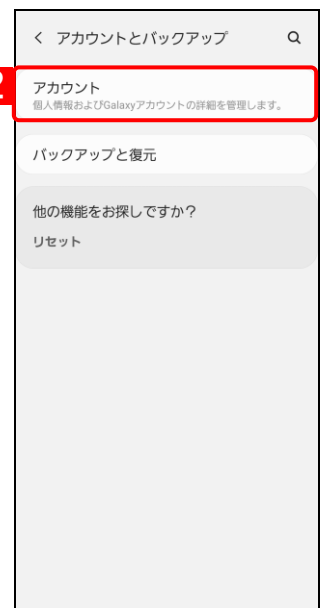
4.5.2 Google Workspace アカウントを追加する

端末の設定画面で、Google Workspace アカウントを追加します。


- 【1】** 端末の設定画面を表示して、[アカウントとバックアップ]をタップします。

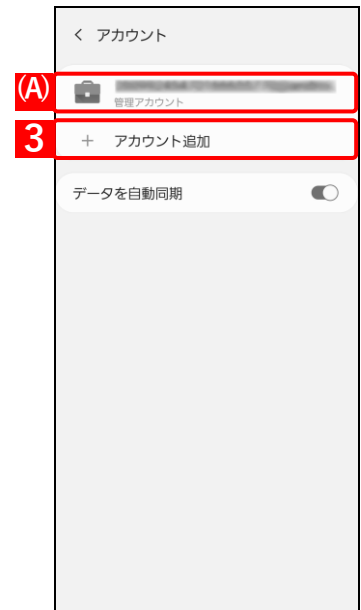
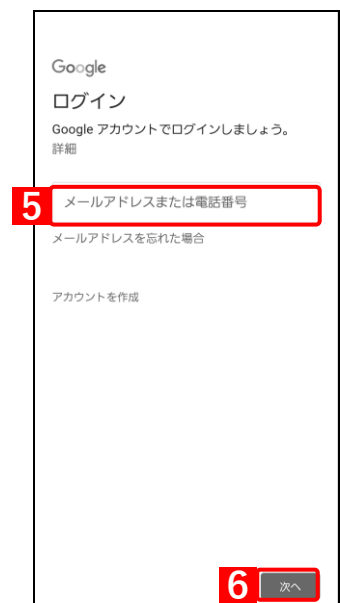


- 【2】** [アカウント] をタップします。

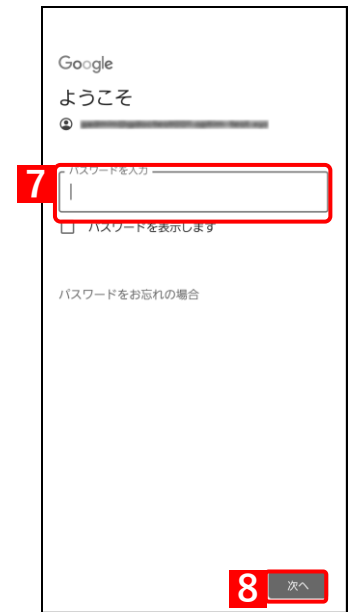


【3】 [アカウント追加] をタップします。

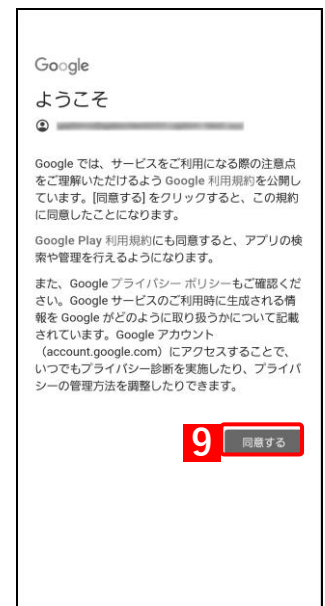
 (A) Google アカウントが表示されています。

**【4】** [Google] をタップします。**【5】** 「メールアドレスまたは電話番号」に Google Workspace アカウントを入力します。**【6】** [次へ] をタップします。

- 【7】** 「パスワード」を入力します。
- 【8】** 「次へ」をタップします。



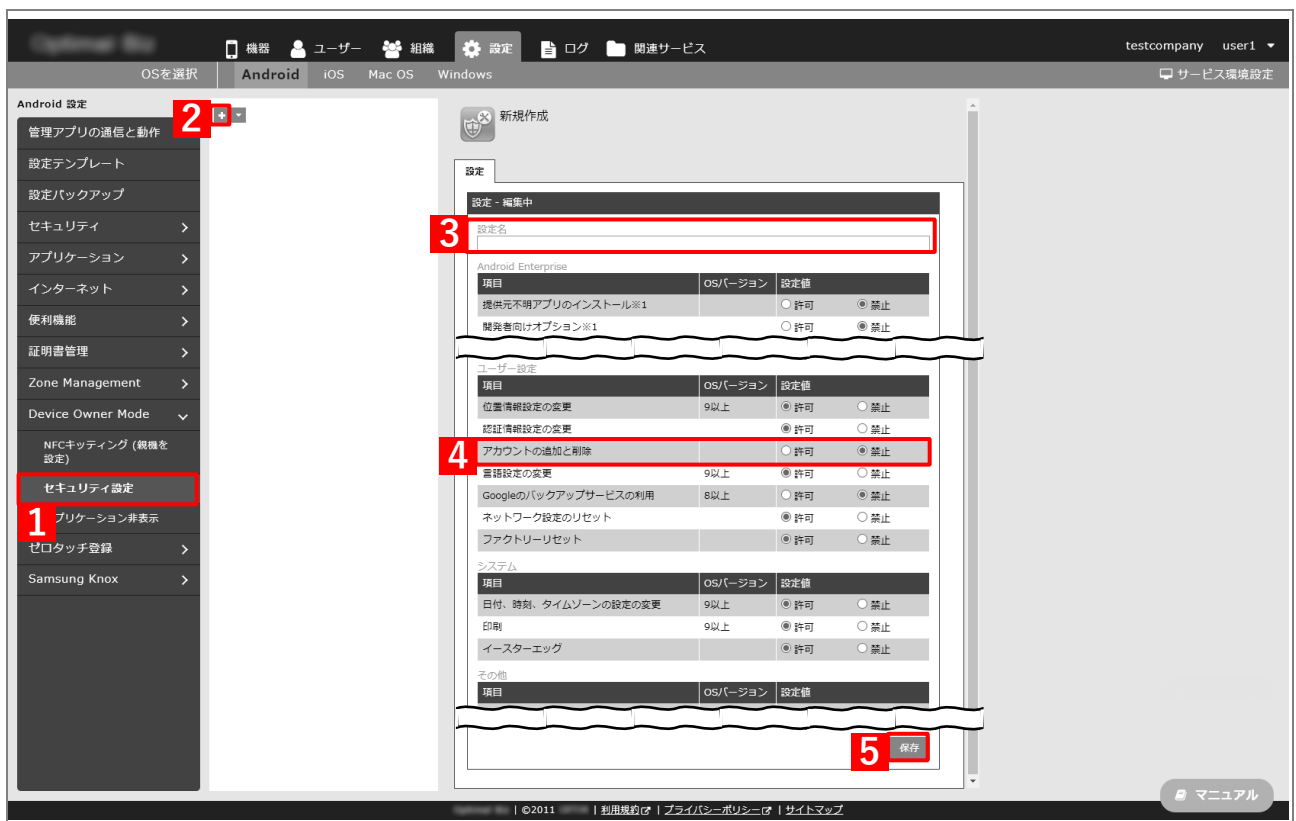
- 【9】** 「同意する」をタップします。
⇒ (A) Google Workspace アカウントが追加されました。



4.5.3 アカウントの追加を禁止する

Google Workspace アカウントを端末に追加したあと、私的利用のアカウントなどが追加できないように、管理サイトでアカウント追加を禁止する設定を行います。

- [1]** [設定] → [Android] → [Device Owner Mode] → [セキュリティ設定] をクリックします。
- [2]** **+** をクリックし、作成画面を表示します。
 設定セットは最大 50 件まで作成できます。
- [3]** 設定名を入力します。
- [4]** 「アカウントの追加と削除」の [禁止] を選択します。
- [5]** [保存] をクリックします。



- [6]** 作成した設定セットを親機とする端末に [機器] → [一覧] → 対象の機器を選択 → → 「設定」の [設定の割り当て] → [セキュリティ設定(DOM)] から適用します。
適用の詳細については、以下を参照してください。

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」 - 「一覧」 - 「機器の設定」 - 「(設定 - Android) 設定の割り当て」

5 Google Workspace アカウントで Android Enterprise 連携を行う


Android Enterprise を利用するには、端末をキッティングする前に Google Workspace アカウントで本製品と Google 間の連携設定を行います。Google Workspace アカウントを連携設定として登録する場合は、Google 管理コンソール上での設定を行い、トークンを発行してください。

注意


- Android Enterprise の連携設定を行っていない Google Workspace アカウントが必要です。
- Google との連携設定で Google Workspace アカウントを登録している場合は、強制（サイレント）インストールが実行できない場合があります。その場合は、managed Google Play ストアの利用規約の同意が必要です。以下の URL から Google Workspace の特権管理者で Google にログインして、承諾してください。


 <https://play.google.com/work/termsofservice>

強制インストールの詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』の「アプリをインストールする」
– 「アプリを強制インストールする」


- 以下の項目は、初回のキッティング時のみ必要な操作です。

 「トークンを発行する」100 ページ

 「Google Workspace アカウントを登録する」106 ページ

参考

- あらかじめ管理サイトで Android Enterprise の「アプリケーション配信」機能を設定しておく、キッティングの完了後、ライセンス認証と同時に特定のアプリを端末に配信できます。アプリケーション配信の詳細については、以下を参照してください。

 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』の「アプリをインストールする」

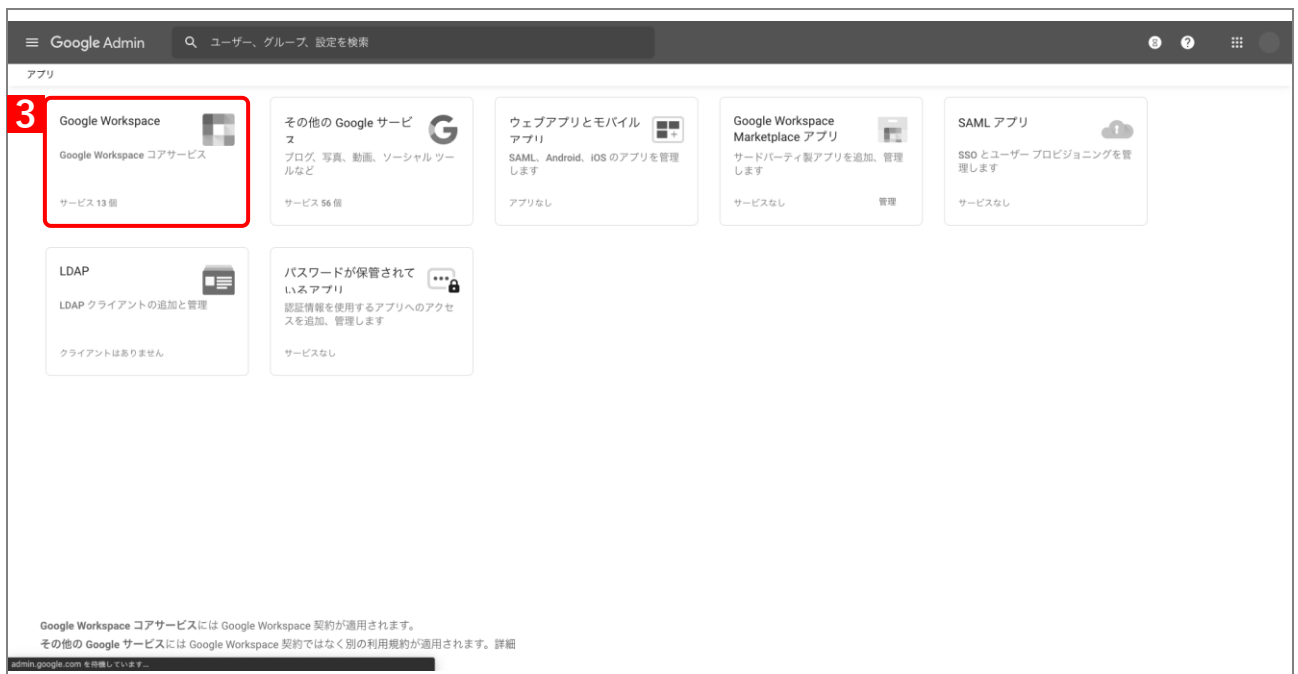
5.1 トークンを発行する

以下の手順で、Google Workspace アカウントを利用して本製品と Google 間の連携設定を行います。

- [1] Google 管理コンソール (<https://admin.google.com>) を表示します。**
- [2] [アプリ] をクリックします。**



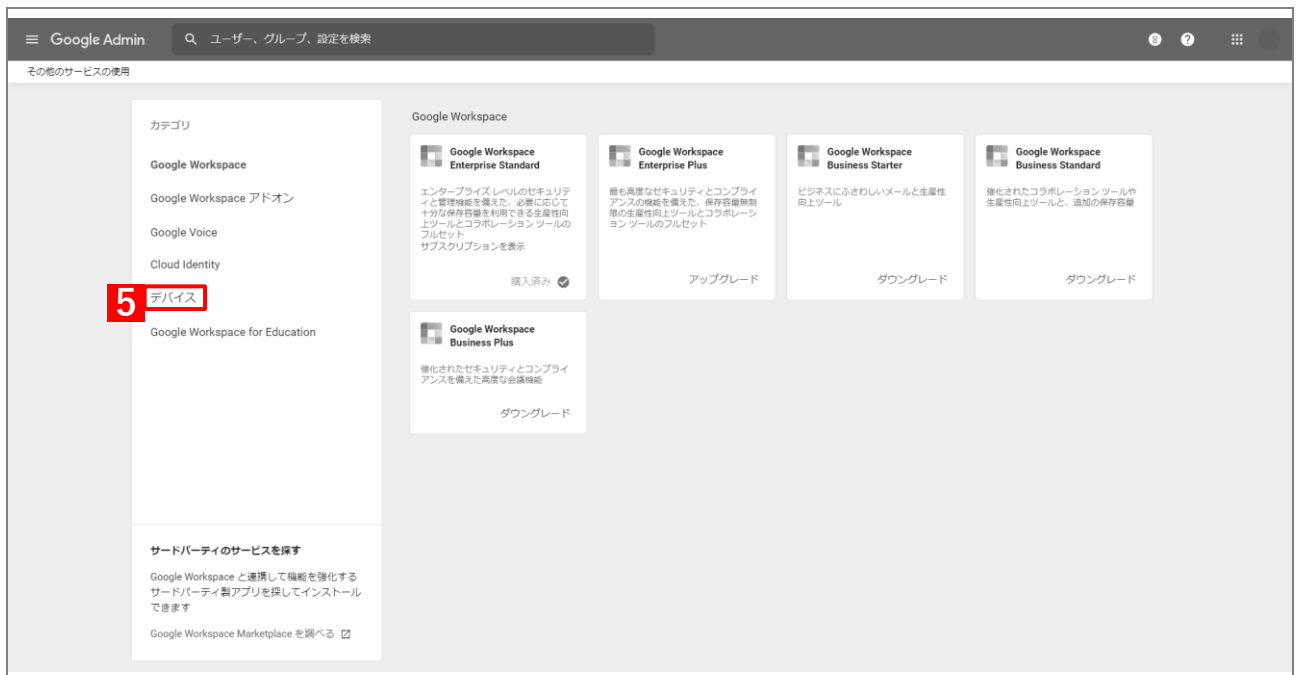
- [3] [Google Workspace] をクリックします。**



[4] [サービスを追加] をクリックします。

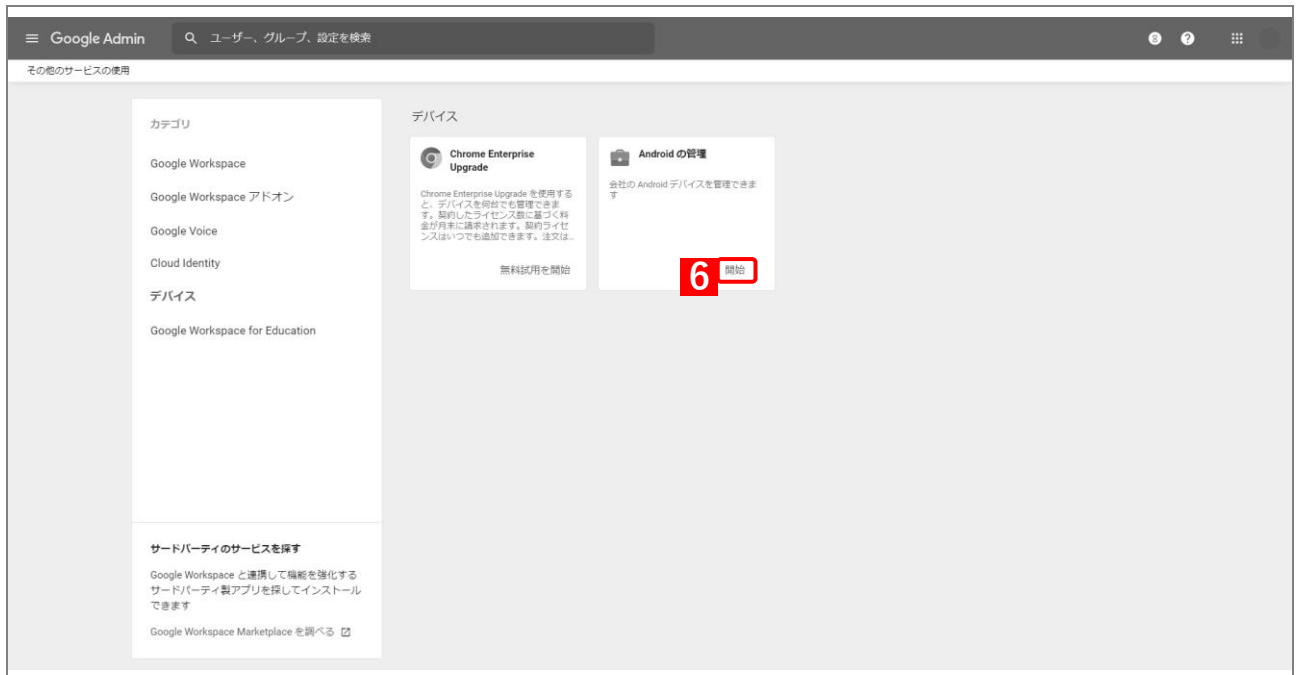


[5] [デバイス] をクリックします。



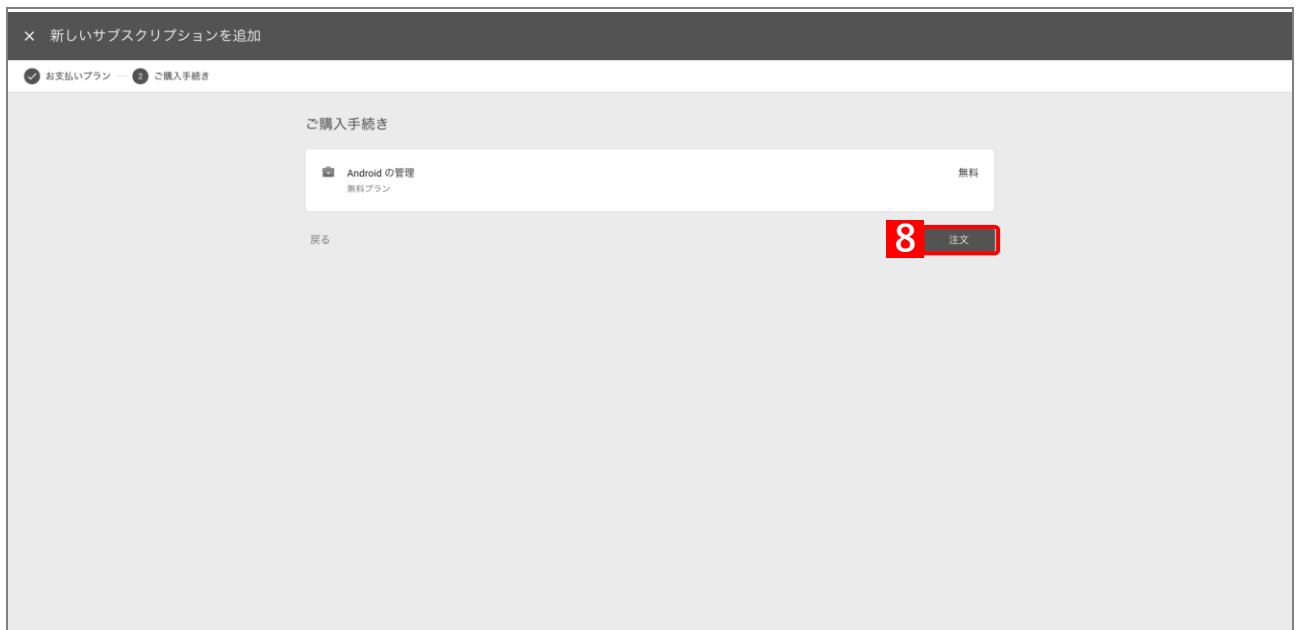
[6] 「Android の管理」の「開始」をクリックします。

📌 本操作により、料金が発生することはありません。

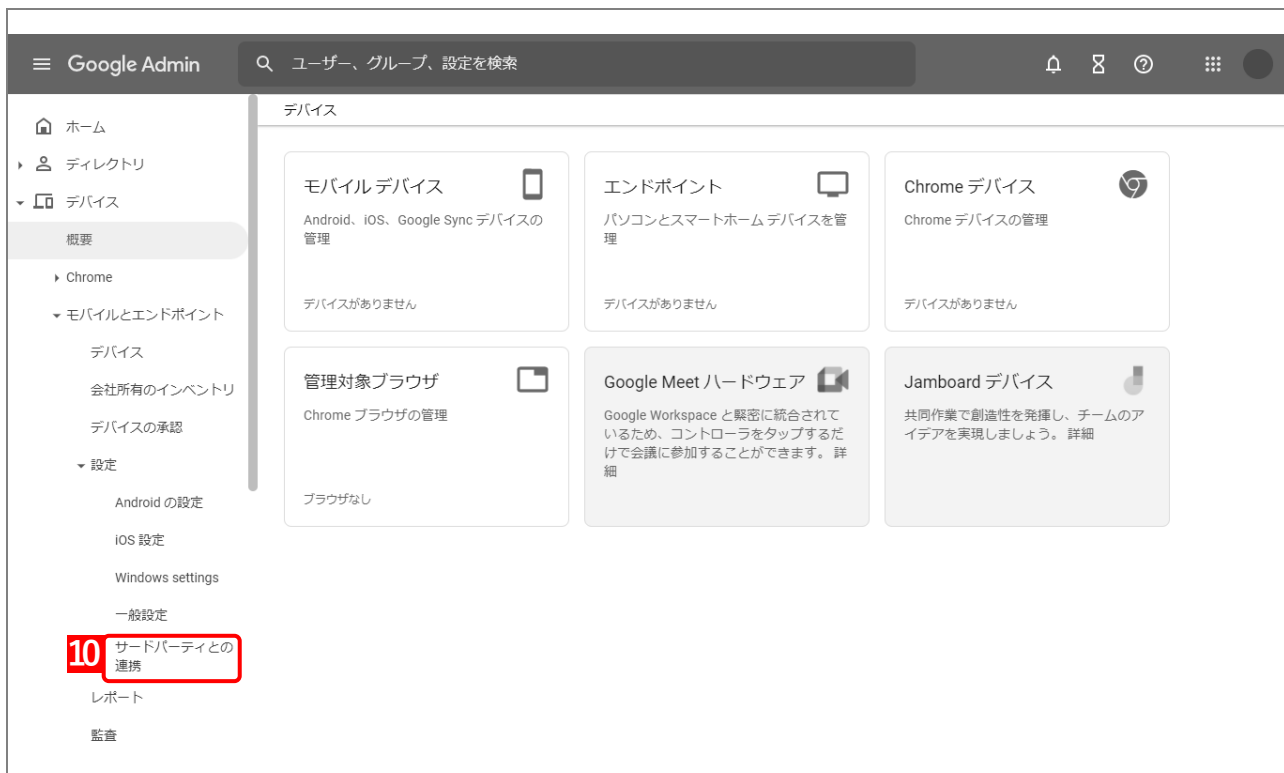
**[7]** 「ご購入手続き」をクリックします。

【8】 [注文] をクリックします。

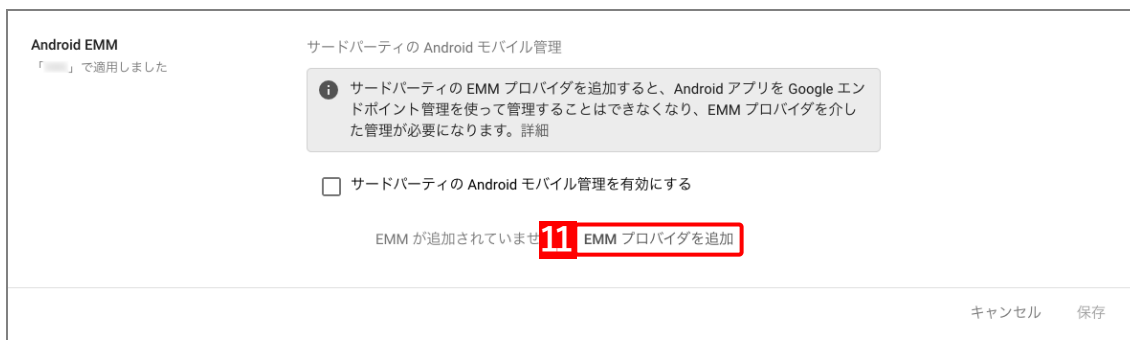
⇒管理コンソールが表示されます。

**【9】 [デバイス] をクリックします。**

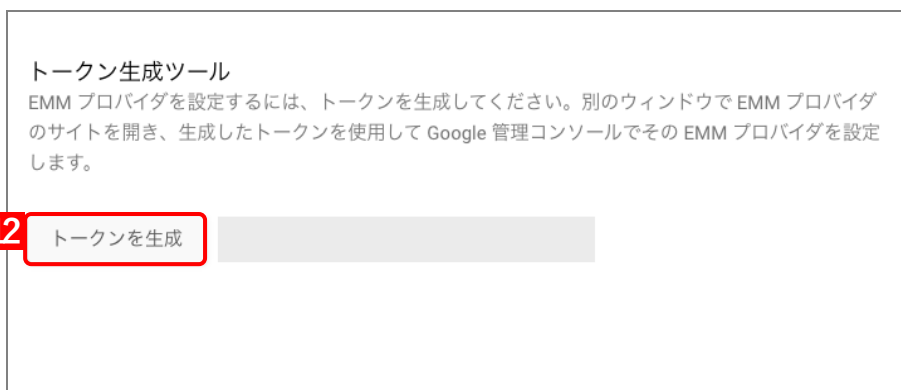
【10】 [モバイルとエンドポイント] → [設定] → [サードパーティとの連携] をクリックします。



【11】 [Android EMM] の [EMM プロバイダを追加] をクリックします。



【12】 [トークンを生成] をクリックします。



【13】 トークンが表示されます。アカウント登録に必要となりますのでメモしてください。

トークン生成ツール

EMM プロバイダを設定するには、トークンを生成してください。別のウィンドウで EMM プロバイダのサイトを開き、生成したトークンを使用して Google 管理コンソールでその EMM プロバイダを設定します。

トークンを生成 **13** コピー

このトークンは、30 日が経過した時点、またはプロバイダの設定に使用された時点で失効します

【14】 「Android EMM」の「サードパーティの Android モバイル管理を有効にする」にチェックを入れます。**【15】 [保存] をクリックします。**

Android EMM
「」で適用しました

サードパーティの Android モバイル管理

14 サードパーティの Android モバイル管理を有効にする

EMM プロバイダの管理

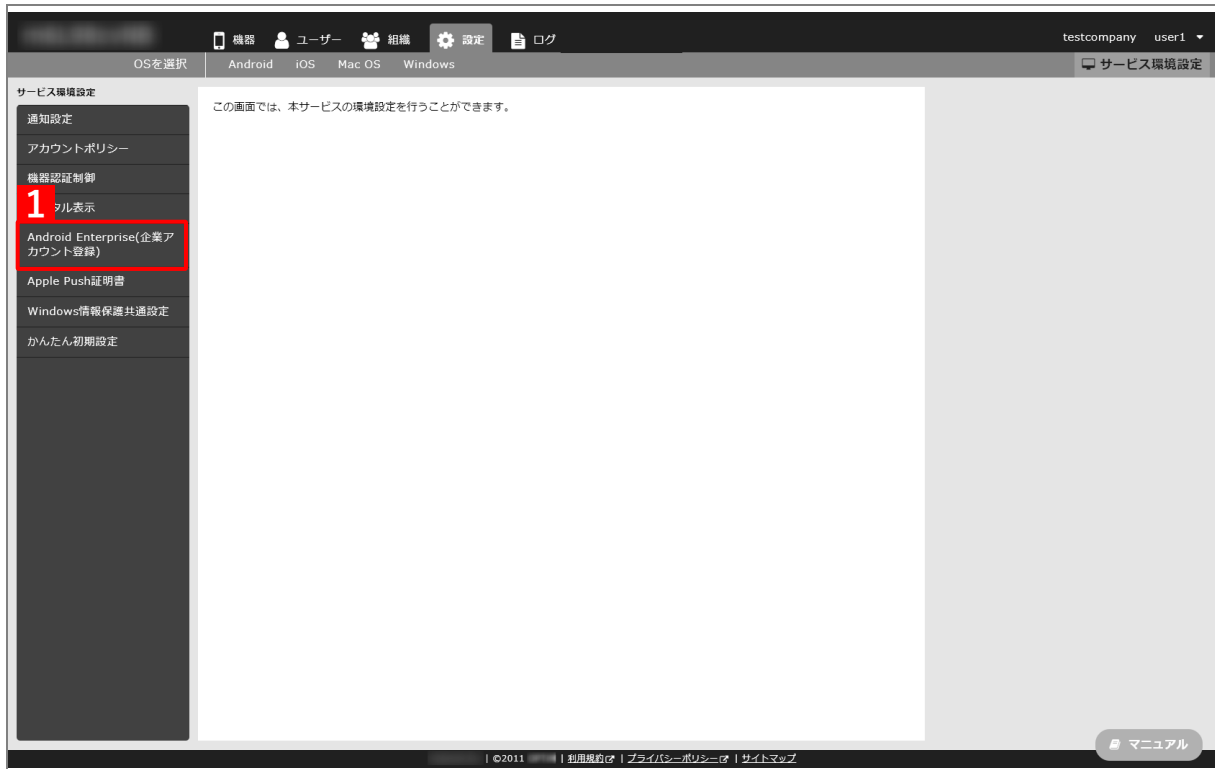
未保存の変更が 1 件あります キャンセル **15**

5.2 Google Workspace アカウントを登録する

以下の手順で、管理サイトに Google Workspace アカウントを登録します。

- ☑ Google Workspace アカウントを登録後は、Google 側の設定変更は行わないでください。
- ☑ Google Workspace 標準の「モバイル管理機能」を使っていた場合はモバイル管理機能の「端末」情報を削除してください。

- [1]** [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise (企業アカウント登録)] をクリックします。



[2] 「Google Workspace アカウント」を選択します。

✎ 「アカウント種別」の初期値は「Google Workspace アカウント」が選択されています。

✎ (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

[3] <https://play.google.com/work/termservice> にアクセスして、利用規約に同意します。**[4] 「ドメイン」、「EMM トークン」を入力します。**

✎ 「ドメイン」には、契約している Google Workspace アカウントのドメインを入力してください。Google Workspace アカウントが「XXXXX@xxxx.co.jp」の場合は、ドメインは「xxxx.co.jp」になります。

[5] [アカウント登録] をクリックします。

⇒ アカウント登録済みの画面が表示されます。

The screenshot shows the 'Android Enterprise(企業アカウント登録)' screen. At the top left, a red box labeled '(A)' contains the text '状態 未登録'. Below this is a warning box with a triangle icon: '▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は セキュリティ設定(DOM) を使用してください。'. Underneath is the 'アカウント種別' section with two radio buttons: '○ Googleアカウント' and '● Google Workspaceアカウント', where the second one is highlighted with a red box labeled '2'. Another warning box follows: '▲ Google Workspaceアカウント連携をご利用の方は、特権管理者アカウントで Google Workspaceにログイン後、下記URLへアクセスし規約に同意してください。'. Below this is a red box labeled '3' containing the URL 'https://play.google.com/work/termservice'. There are two input fields: 'ドメイン' and 'EMMトークン', both highlighted with a red box labeled '4'. At the bottom right, there is a button labeled 'アカウント登録' highlighted with a red box labeled '5'.

- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 手順【4】で入力した「ドメイン」、「EMM トークン」が表示されています。
- ✎ (C) 「組織 ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意の識別子が表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
登録済

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別
Google Workspaceアカウント

(B) ドメイン
[入力されたドメイン名]
EMMトークン
[入力されたEMMトークン]

(C) 組織ID
[一意の識別子]

▲ Google Workspaceアカウント連携をご利用の方は、特権管理者アカウントで Google Workspaceにログイン後、下記URLへアクセスし規約に同意してください。
<https://play.google.com/work/termsofservice>

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleの Android Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。

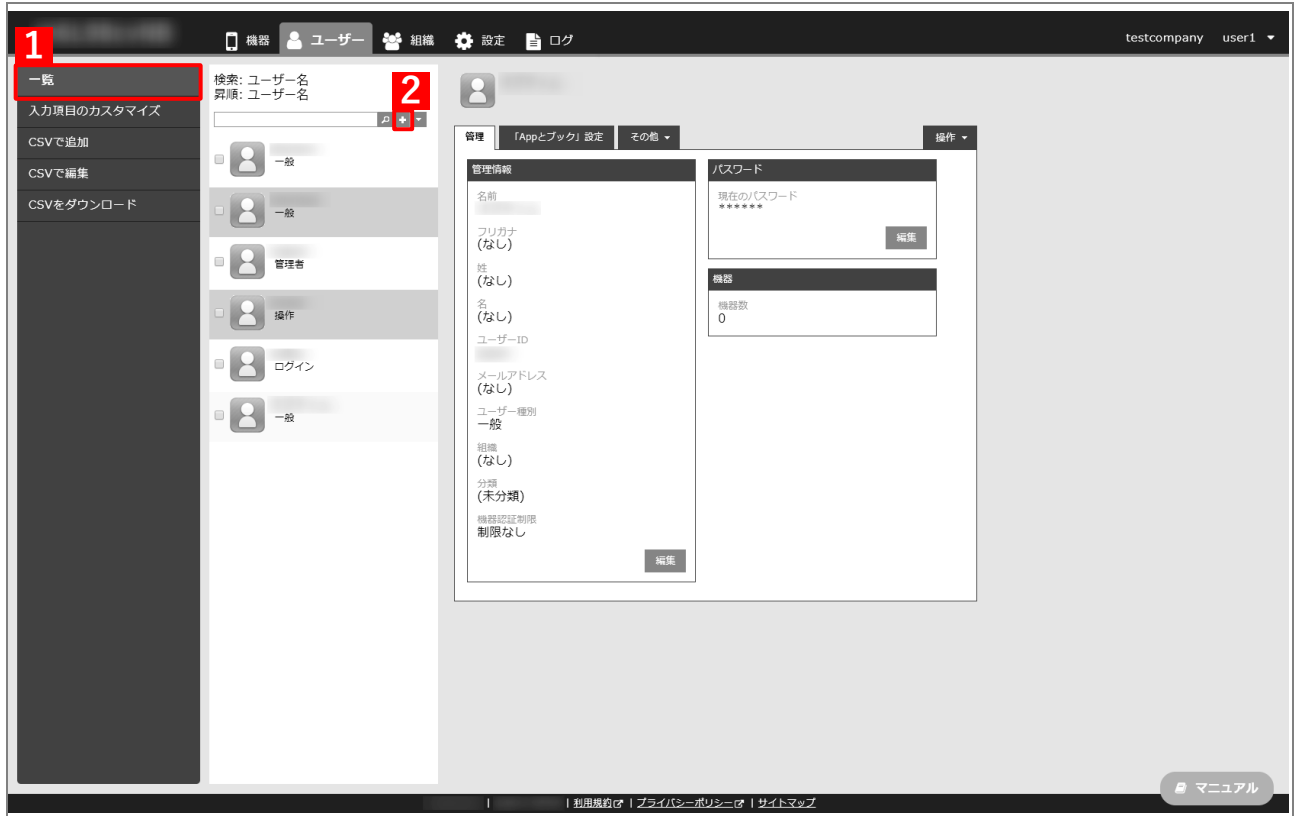
同意する

アカウント削除

5.3 ユーザーを作成する

以下の手順で、ユーザーを作成します。

- [1]** [ユーザー] → [一覧] をクリックします。
- [2]** **+** をクリックします。



[3] 「名前」に任意の名前を入力します。

[4] 「メールアドレス」に Google Workspace アカウントを入力します。

Google Workspace アカウントが登録されていない場合は、キティング時のライセンス認証に失敗します。

その他の入力および設定項目の詳細については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「ユーザー」 - 「一覧」 - 「ユーザーの作成」

[5] 「保存」をクリックします。

⇒ユーザーが作成されます。



管理 「Appとブック」設定 その他 操作

管理情報 - 編集

3 名前

フリガナ

姓

名

ユーザーID

4 メールアドレス

ユーザー種別

- 管理者 (全ての操作ができます)
- 操作
- 閲覧者 (変更操作ができません)
- ロック・ワイブ
- ログイン (個別に権限を設定)
- 一般 (ログインできません)

組織

分類

(未分類)

機器認証制限

- 制限なし
- 制限あり 台
- 認証禁止

5 取消 保存

パスワード

現在のパスワード

編集

機器

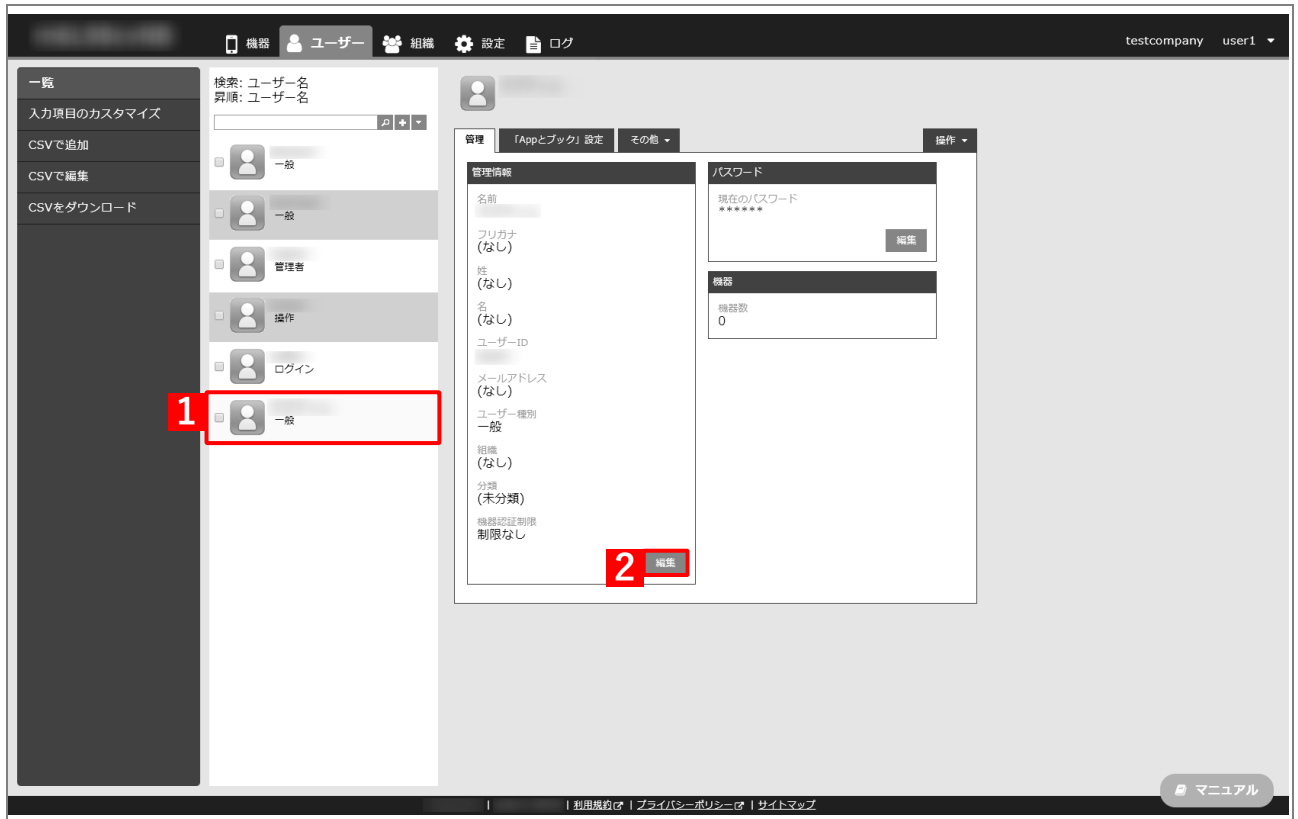
機器数
0

5.3.1 既存のユーザーに Google Workspace アカウントを登録する

既存のユーザーに対して Google Workspace アカウントを登録するには、以下の操作を行います。

🔗 Google Workspace アカウントが登録されていない場合は、キッティング時のライセンス認証に失敗します。

- [1]** [ユーザー] → [一覧] → 一覧から対象ユーザーを選択します。
- [2]** [編集] をクリックします。



【3】 「メールアドレス」に Google Workspace アカウントを入力します。

【4】 [保存] をクリックします。

⇒ユーザーにメールアドレスが登録されます。

The screenshot displays the '管理情報 - 編集' (Edit User Information) form in the Google Workspace Admin console. The form is divided into several sections:

- 管理情報 - 編集**: Contains input fields for '名前' (Name), 'フリガナ' (Furigana), '姓' (Surname), '名' (Given Name), 'ユーザーID' (User ID), and 'メールアドレス' (Email Address). The 'メールアドレス' field is highlighted with a red box and labeled '3'. Below these fields are radio buttons for 'ユーザー種別' (User Type): '管理者 (全ての操作ができます)' (Administrator), '操作' (Operator), '閲覧者 (変更操作ができません)' (Viewer), 'ロック・ワイプ' (Lock/Wipe), 'ログイン (個別に権限を設定)' (Login), and '一般 (ログインできません)' (General). There are also dropdown menus for '組織' (Organization) and '分類' (Category), and radio buttons for '機器認証制限' (Device Authentication Restrictions): '制限なし' (No restrictions), '制限あり' (With restrictions), and '認証禁止' (Prohibit authentication).
- パスワード**: Contains a '現在のパスワード' (Current Password) field with a '編集' (Edit) button.
- 機器**: Shows '機器数' (Number of devices) as 0.

At the bottom of the form, there are two buttons: '取消' (Cancel) and '保存' (Save). The '保存' button is highlighted with a red box and labeled '4'.

5.4 Google Workspace アカウントでキッティングする

以下の手順で、Google Workspace アカウントによる端末のキッティングを行います。

- 管理サイトの「アプリケーション禁止」で「禁止するアプリケーション」、および「アプリケーション非表示」に「Google Play 開発者サービス (com.google.android.gms)」を設定していると、正常にキッティングが完了できない場合があります。以下を参照して、事前に設定を解除してから、キッティングを行ってください。

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「アプリケーション」 - 「アプリケーション禁止」

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「アプリケーション非表示」

- 手順【13】の画面は、機種や OS によって表示されるタイミングが異なる場合があります。

【1】 [始める] をタップします。



【2】 [スキップ] をタップします。

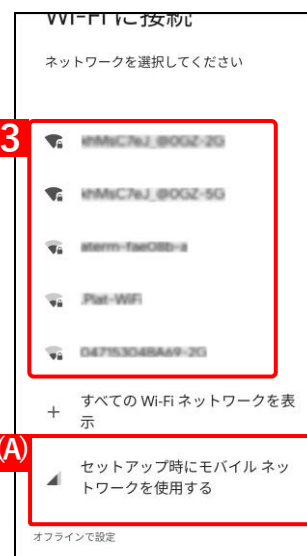
- SIM が挿入されている場合は、表示されません。



【3】 接続したい Wi-Fi の SSID をタップして、Wi-Fi に接続してください。

⇒ ネットワーク接続が開始されます。

- ☑必ずネットワークに接続して、以降の手順を進めてください。
- ☑モバイルネットワークを利用する場合は、(A) [セットアップ時に [モバイルネットワークを使用する] をタップします。表示されるポップアップのメッセージを確認してください。



【4】 [コピーしない] をタップします。

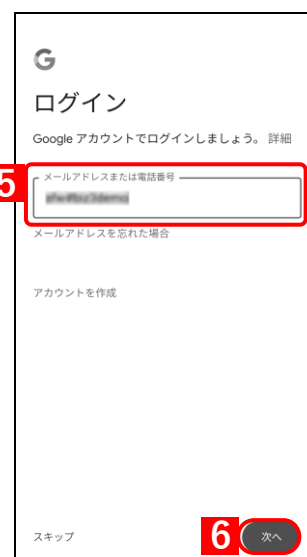


【5】 「メールアドレスまたは電話番号」に Google Workspace アカウントを入力します。

- ☑管理サイトのユーザーに Google Workspace アカウントが登録されていない場合は、ライセンス認証に失敗します。

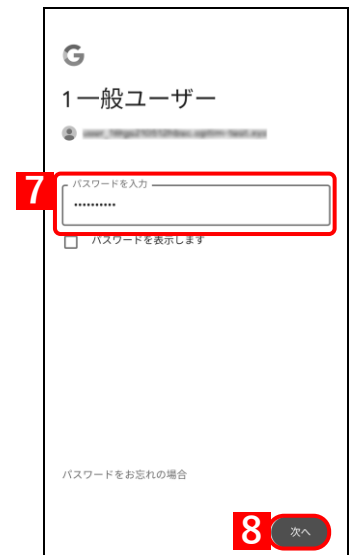
🔗 「既存のユーザーに Google Workspace アカウントを登録する」111 ページ

【6】 [次へ] をタップします。

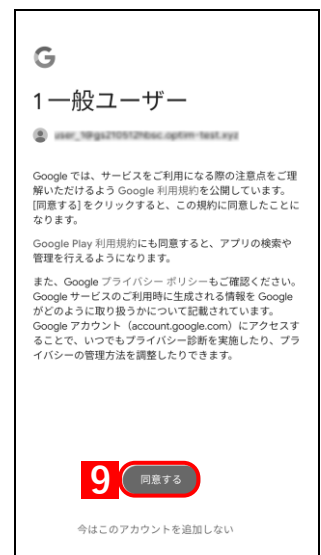


【7】 「パスワード」 を入力します。

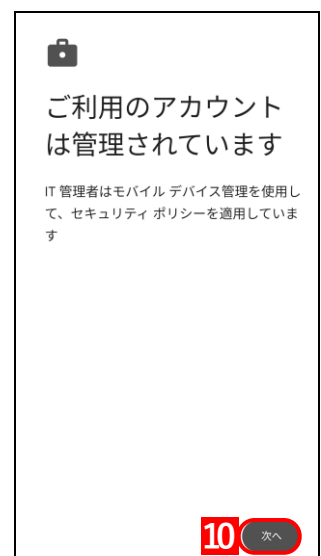
【8】 [次へ] をタップします。



【9】 [同意する] をタップします。



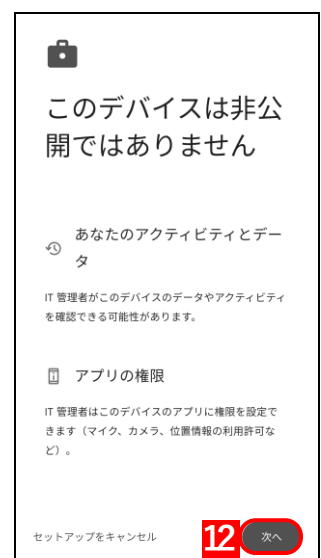
【10】 [次へ] をタップします。



【11】 [同意して続行] をタップします。



【12】 [次へ] をタップします。

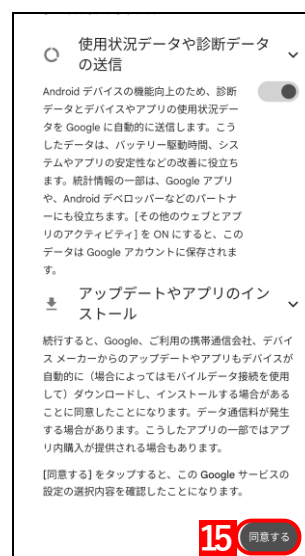


【13】 [OK] をタップします。



【14】 [もっと見る] をタップします。

☑️ 端末によっては [もっと見る] が数回表示されます。[同意する] が表示されるまで、[もっと見る] をタップします。


**【15】 [同意する] をタップします。****【16】 [スキップ] をタップします。**

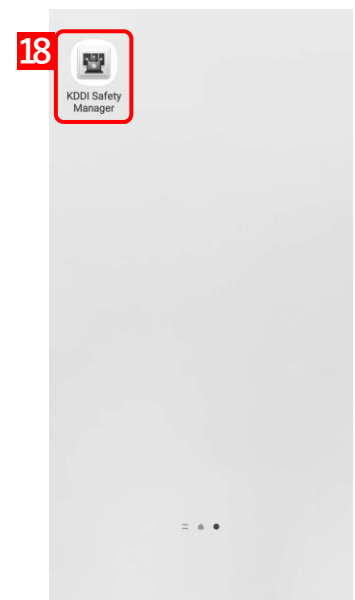
【17】 画面下部からスワイプします。

⇒ ホーム画面に移動します。



【18】 [KDDI Safety Manager] をタップします。

 ホーム画面にアイコンが表示されない場合は、アプリ一覧を確認してください。

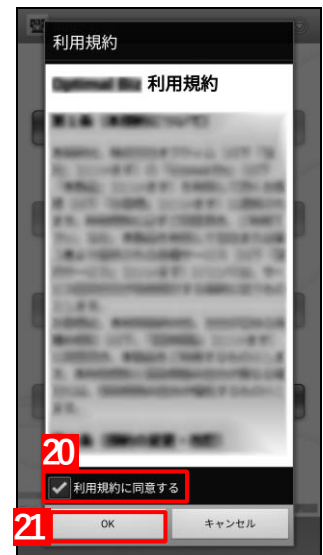


【19】 [ライセンス認証] をタップします。

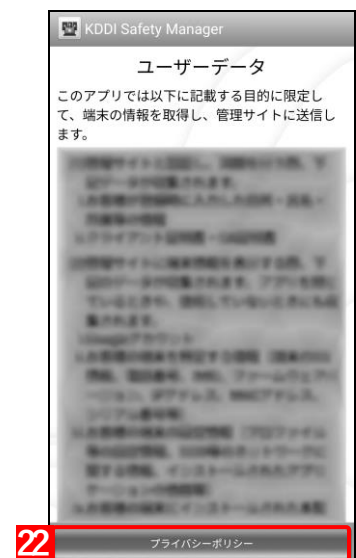


【20】 「利用規約に同意する」にチェックを入れます。

【21】 [OK] をタップします。



【22】 ユーザーデータについて確認して、[プライバシーポリシー] をタップします。



【23】 「プライバシーポリシーに同意する」にチェックを入れます。

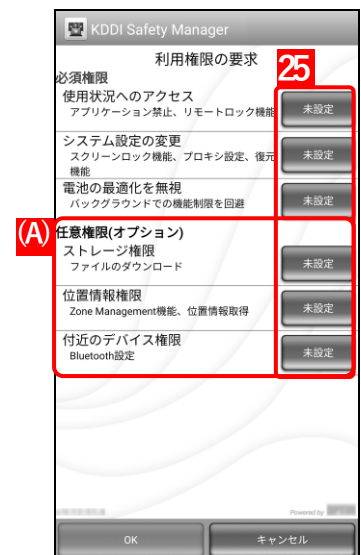
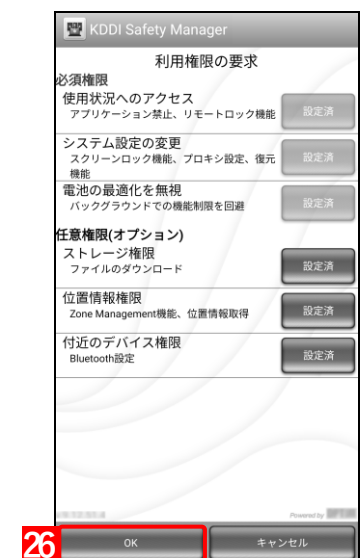
【24】 [OK] をタップします。

⇒ 権限要求画面が表示されます。



【25】 画面の案内に従って設定を行ってください。

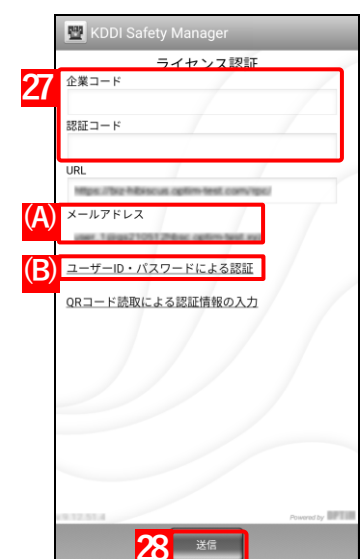
- ✎ エージェントバージョン 9.14.0 以上の場合、(A) 任意権限に「付近のデバイス権限」が表示されます。
- ✎ Android 13 以上でエージェントバージョン 9.16.0 以上の場合、(A) 任意権限に「通知権限」が表示されます。「ストレージ権限」は表示されません。

**【26】 [OK] をタップします。****【27】 「企業コード」および「認証コード」を入力します。**

- ✎ 企業コード、認証コードは管理者にお問い合わせください。
- ✎ Google Workspace アカウントが、(A) 「メールアドレス」として表示されます。
- ✎ (B) [QR コード読取による認証情報の入力] をタップして、エージェント認証用 QR コードを読み取ると、「企業コード」、「認証コード」、「URL」が自動で入力されます。QR コードは、管理者にお問い合わせください。

【28】 [送信] をタップします。

⇒ ライセンス認証完了の画面が表示されます。



【29】 [OK] をタップします。

⇒ 初期登録画面が表示されます。

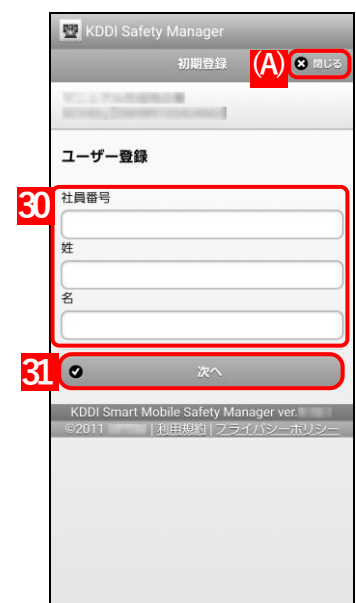
- ✎ 手順【30】～【34】の初期登録画面は、管理サイトでポータル表示を「表示」に設定している場合のみ表示されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「サービス環境設定」－「ポータル表示」

**【30】 社員番号、姓、名を入力します。****【31】 [次へ] をタップします。**

⇒ 機器にユーザーが紐づきます。

- ✎ 登録したユーザーを変更することはできません。
- ✎ すでにユーザーが端末に紐づけられている場合は、ユーザーが紐づけられているメッセージが表示されます。
- ✎ ユーザー情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。

**【32】 必要事項を選択、入力します。****【33】 [次へ] をタップします。**

- ✎ あらかじめ、管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で入力項目を追加してください。追加するとき、「機器から入力可」にチェックを入れてください。チェックが入っていない場合は、項目が表示されません。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「入力項目のカスタマイズ」

- ✎ 管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で設定した内容により、画面に表示される「分類」と「自由入力項目」の内容が異なります。
- ✎ 機器情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。



【34】 [OK] をタップします。

⇒ キットニングおよびライセンス認証が完了しました。



6 Google アカウントでゼロタッチ登録を利用して Android Enterprise 連携を行う

ゼロタッチ登録とは、エージェントのキッティング方法の1つです。この方法ではキッティング手順が省略化され、大規模な端末の導入を簡単かつ迅速に行うことができます。ゼロタッチ登録端末には、エージェントが自動的に Device Owner Mode としてインストールされるため、よりセキュアな端末管理が可能です。

ゼロタッチサーバーとの連携を行うと、自動的に本製品の機器一覧に事前機器として端末が表示されます。これらの端末にあらかじめ設定ポリシーを割り当ててからアクティベーションすると、すぐに設定が適用されます。

注意

- ゼロタッチ登録の詳細については、以下を参照してください。
- https://www.android.com/intl/ja_jp/enterprise/management/zero-touch/
- ゼロタッチ登録専用アカウントについては、端末の購入元にお問い合わせください。
- モバイルネットワークが利用できるゼロタッチ登録に対応した端末を、事前に用意してください。Wi-Fi 専用端末は、本製品に対応していません。
- 以下の項目は、初回のキッティング時のみ必要な操作です。
 - 🔗 「Google アカウントを登録する」 124 ページ
 - 🔗 「Google API の認証設定を行う」 145 ページ

参考

- あらかじめ管理サイトで Android Enterprise の「アプリケーション配信」機能を設定しておく、キッティングの完了後、ライセンス認証と同時に特定のアプリを端末に配信できます。アプリケーション配信の詳細については、以下を参照してください。
 - 🔍 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』の「アプリをインストールする」

6.1 Google アカウントを登録する

管理サイトに Android Enterprise 連携するための Google アカウントを登録します。

登録できる Google アカウントは、以下の 3 種類です。Google アカウントに応じて、いずれかの方法で登録してください。

- 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合

- Google が推奨する登録方法です。なるべくこの方法で登録してください。

- Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合

- Microsoft Entra ID でシングルサインオンが構成済みの場合は、自動的にこの登録方法になります。

- Gmail のメールアドレスを登録する場合

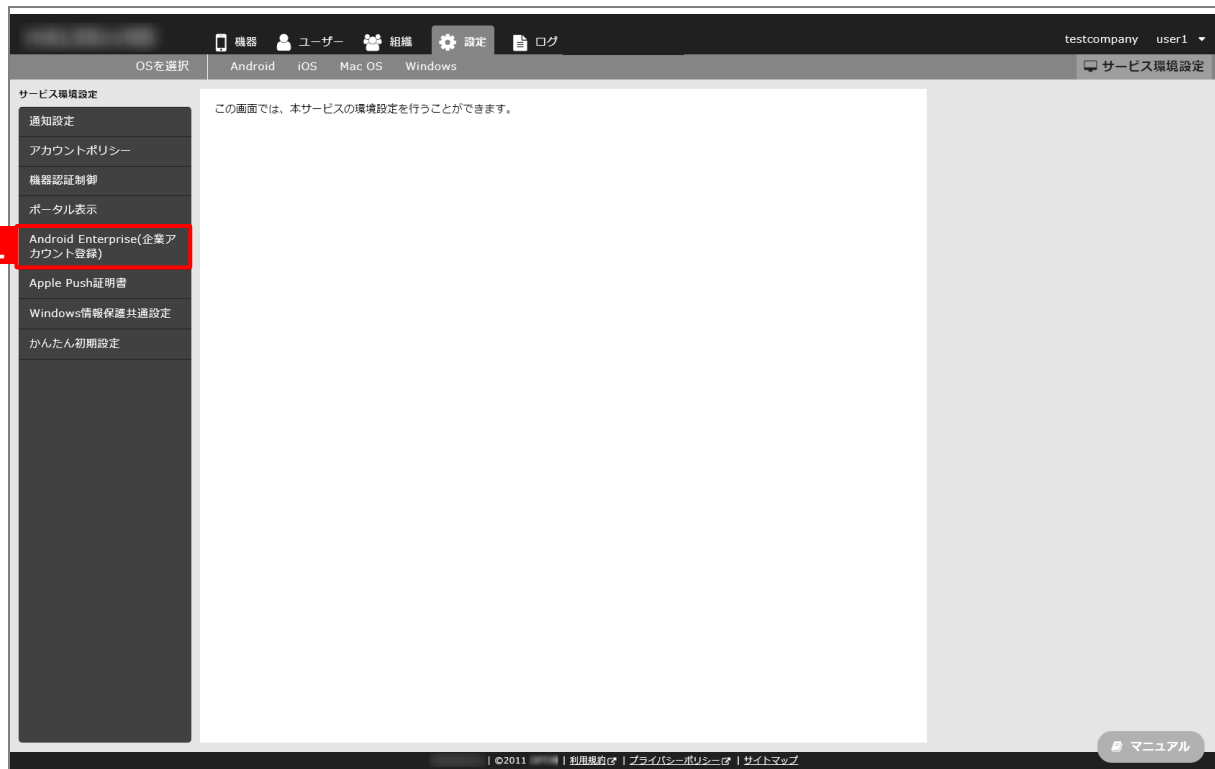
6.1.1 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合

企業ドメインのメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

- Google が推奨する登録方法です。

- 企業で初めて登録した企業ドメインのメールアドレスの使用者が、ドメイン管理者です。その後、同じ企業ドメインで他のメールアドレスを登録するときは、ドメイン管理者に連絡してください。ドメイン管理者が Google の画面で他のメールアドレスを登録します。

[1] [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise (企業アカウント登録)] をクリックします。



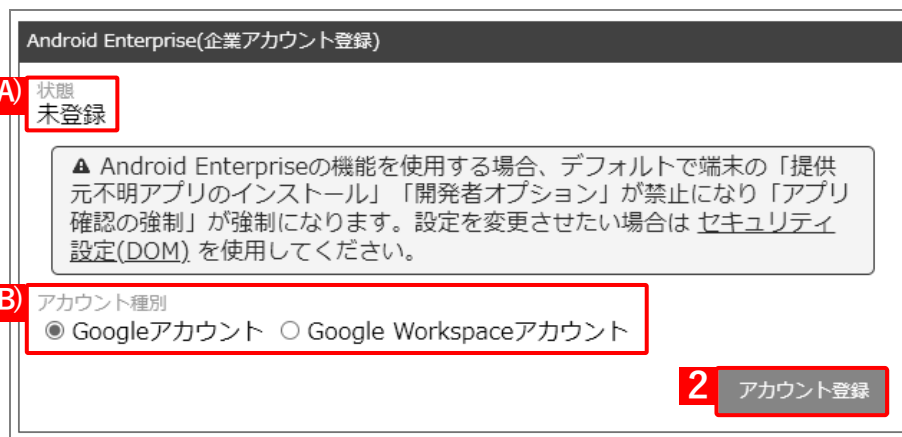
【2】 [アカウント登録] をクリックします。

📌 アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

✎ (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

✎ (B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。



【3】 企業ドメインのメールアドレスを入力します。

【4】 [次へ] をクリックします。

→ 企業で初めて企業ドメインのメールアドレスを登録した場合は、手順【3】で入力したメールアドレスに、Google からメールが届きます。メールを確認してください。



- ❏すでに企業ドメインが登録されていた場合は、以下の画面が表示されます。
企業のドメイン管理者に連絡してください。企業のドメイン管理者が不明な場合は、Google に問い合わせてください。



- ❏ドメイン管理者のメールアドレスを他の企業で登録しようとした場合は、以下の画面が表示されます。
(A) [許可] をクリックすると、企業登録が完了します。



[5] メールの内容を確認して、[メールアドレスの確認] をクリックします。

⇒ 情報登録画面が表示されます。

**[6]** 名、姓、会社名を入力して、国を選択します。**[7]** [続行] をクリックします。

✎ 名、姓、会社名を入力すると、[続行] がクリックできます。



【8】 [次へ] をクリックします。



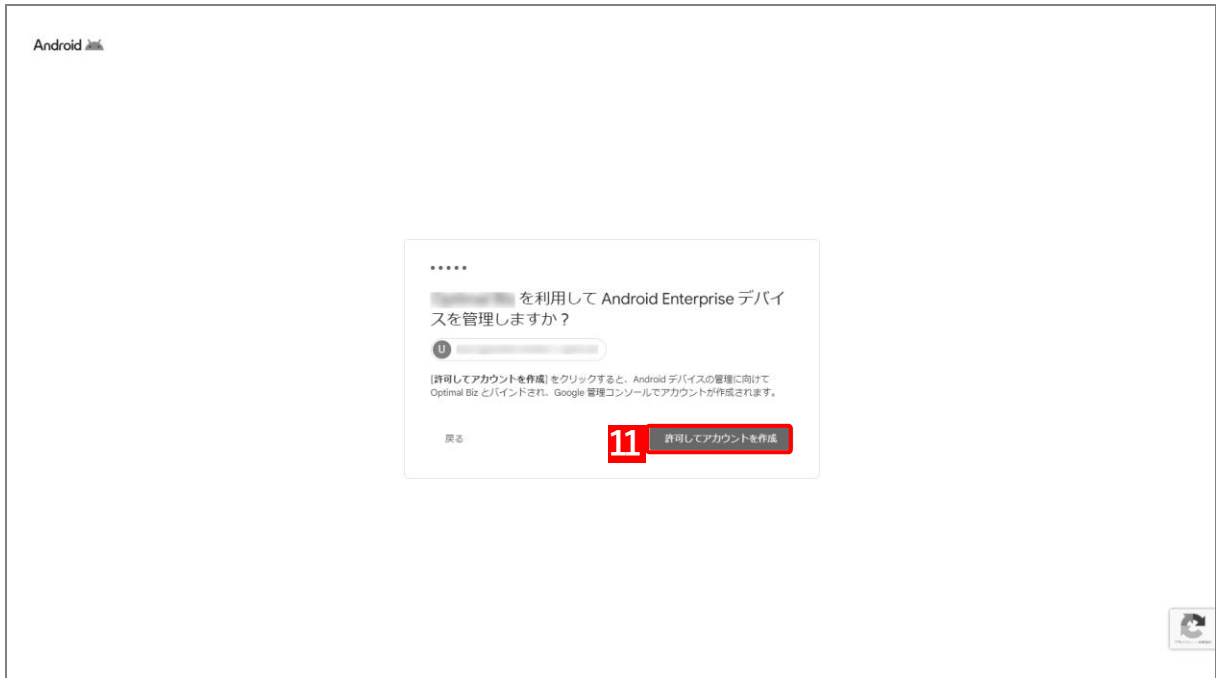
【9】 8 文字以上のパスワードを入力します。

【10】 [同意して続行] をクリックします。

パスワードを入力すると、[同意して続行] がクリックできます。

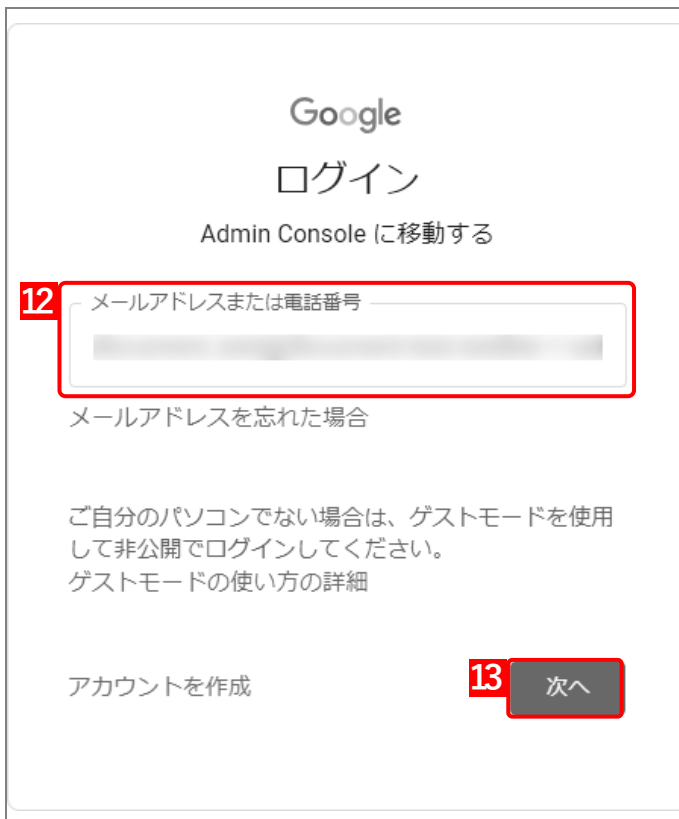


【11】 [許可してアカウントを作成] をクリックします。



【12】 手順【3】で入力した企業ドメインのアドレスを入力します。

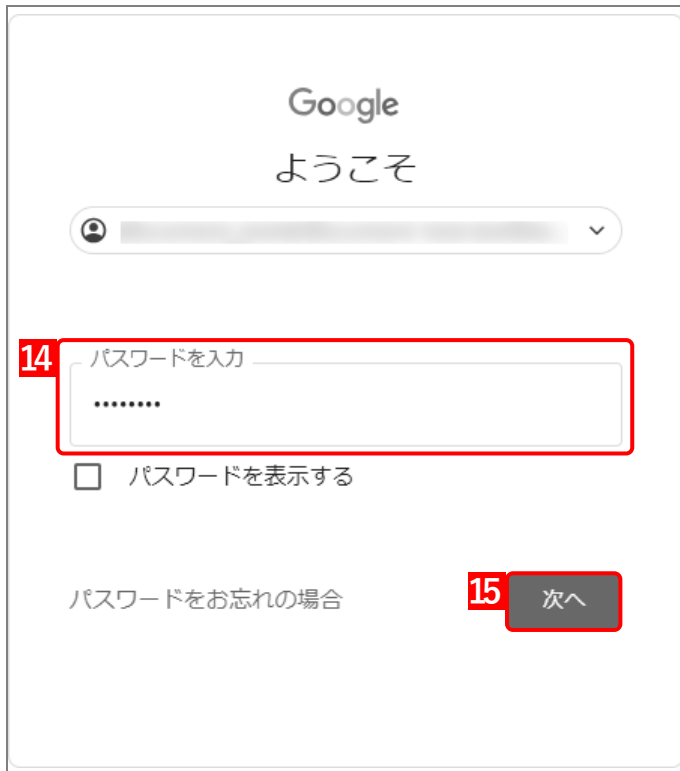
【13】 [次へ] をクリックします。



【14】 手順【9】で入力したパスワードを入力します。

【15】 [次へ] をクリックします。

⇒本人確認の画面が表示されます。




The screenshot shows the Google login interface. At the top, it says "Google ようこそ". Below that is a profile picture placeholder. A red box labeled "14" highlights the password input field, which contains ".....". Below the password field is a checkbox labeled "パスワードを表示する". At the bottom left, there is a link "パスワードをお忘れの場合". At the bottom right, there is a button labeled "15 次へ".

- 【16】** 確認コードを受け取る電話番号を入力します。
- 【17】** 確認コードの受け取り方法を選択します。
- 【18】** [コードを取得] をクリックします。

Google

本人確認の実施

アクセスしようとしているアカウントで通常とは異なるアクティビティが検出されました。続行するには、以下の手順に沿って操作してください。



電話番号を指定して続行してください。ログインに使用できる確認コードを送信します。

国名
[日本]

電話番号

16

この番号はセキュリティ保護の目的でのみ使用されます。
通常のテキストメッセージ料金がかかります。

確認コードの受け取り方法:

17 テキストメッセージ (携帯電話のメール)
 自動音声通話

18

確認コードが届かない場合は、サポート オプションをご確認ください。

【19】 手順【16】で入力した電話番号で受け取った確認コードを入力します。

【20】 [確認] をクリックします。



Google

本人確認の実施

確認コードを入力してください

19

20 確認

【21】 [理解しました] をクリックします。

⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。



Google

新しいアカウントへようこそ

新しいアカウント () へようこそ。このアカウントを使用してアクセスできる Google Workspace サービスは、 () の管理者によって設定されます。

管理者が管理するサービス (Google Workspace など) にアクセスする権限が組織から付与されている場合、これらのサービスの使用には組織の企業契約が適用されます。Google は、これらの規約に加えて、Google Cloud のプライバシーに関するお知らせも公開しています。

このアカウント () にログイン中に、Google Workspace とその他の Google サービスを使用する場合、これらのサービスの使用には、Google 利用規約、Google プライバシーポリシー、各 Google サービスに固有の利用規約など、それぞれの規約が適用されます。これらの規約に同意しない場合、または Google がこのような方法でデータを取り扱うことを許可しない場合は、このアカウント () でその他の Google サービスを使用しないでください。プライバシー設定は、myaccount.google.com でカスタマイズすることもできます。

21 理解しました

- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 「アカウントメールアドレス」にアカウント登録で使用したメールアドレスが表示されています。
- ✎ (C) 「組織ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意的識別子が表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
登録済

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別
Googleアカウント

(B) アカウントメールアドレス

(C) 組織ID

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ [同意する] にチェックを入れて [アカウント削除] をクリックしてください。

同意する

アカウント削除

6.1.2 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合

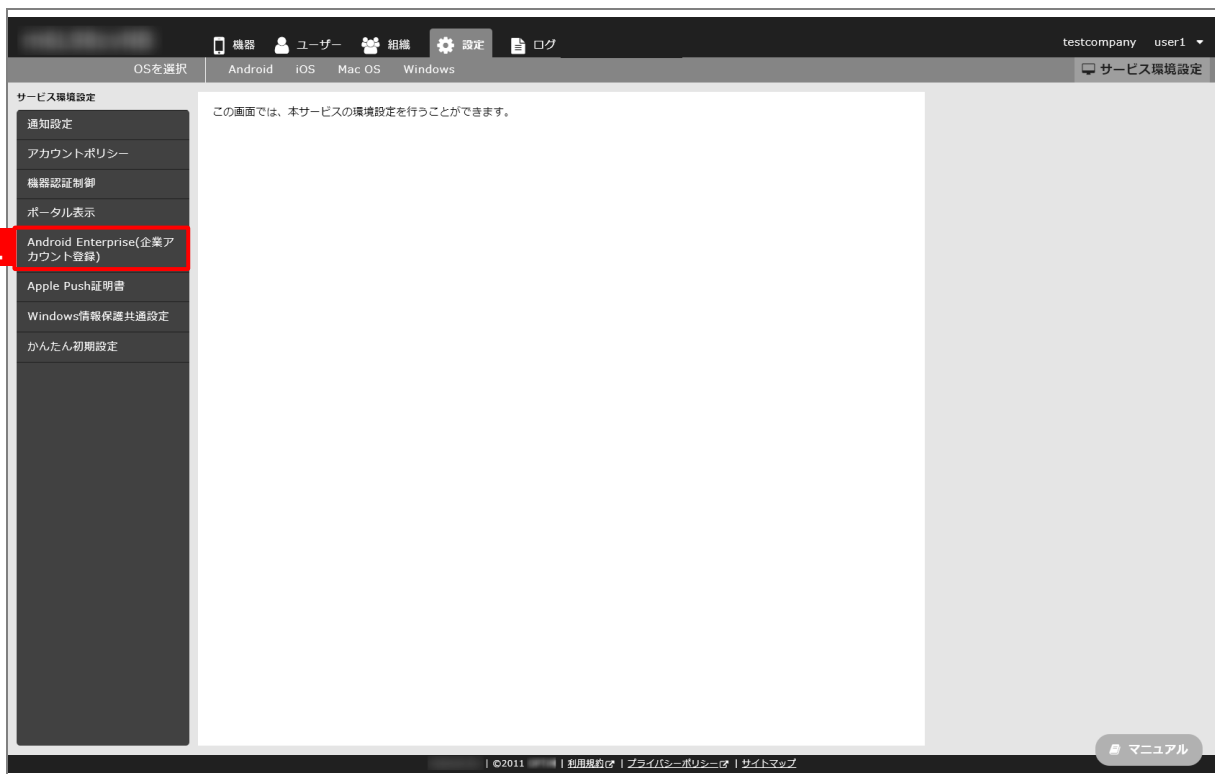
Microsoft ID アカウントのメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

✂ Microsoft ID アカウントのメールアドレスは、Microsoft Entra ID でシングルサインオンが構成済みのものを使用してください。認証を行うため自動的に Microsoft の画面が表示されます。

✂ Microsoft ID アカウントについての詳細は、以下を参照してください。

👉 <https://learn.microsoft.com/ja-jp/entra/identity-platform/v2-protocols-oidc>

[1] [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise (企業アカウント登録)] をクリックします。



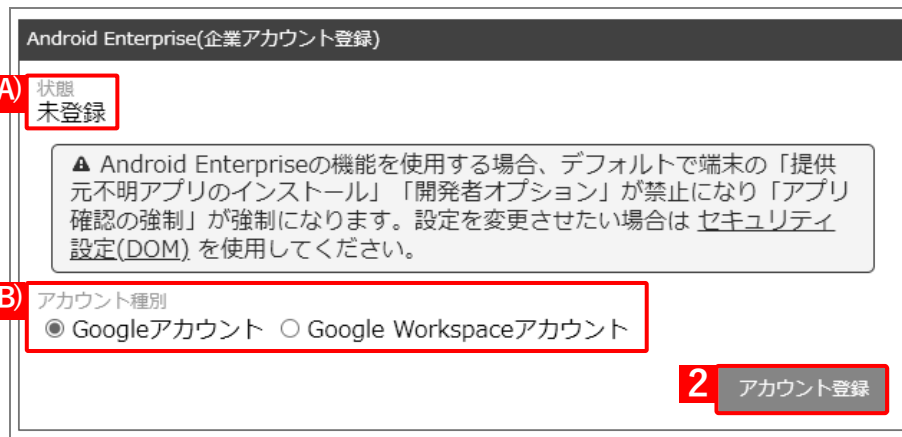
【2】 [アカウント登録] をクリックします。

- ✚ アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

- ✎ (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

- ✎ (B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。



【3】 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを入力します。

【4】 [次へ] をクリックします。



[5] [Microsoft でログイン] をクリックします。

⇒ Microsoft の登録画面が表示されます。画面の指示にしたがい登録を行ってください。



⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。

- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 「アカウントメールアドレス」にアカウント登録で利用したメールアドレスが表示されています。
- ✎ (C) 「組織 ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意的識別子が表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
登録済

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別
Googleアカウント

(B) アカウントメールアドレス

(C) 組織ID

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ【同意する】にチェックを入れて【アカウント削除】をクリックしてください。

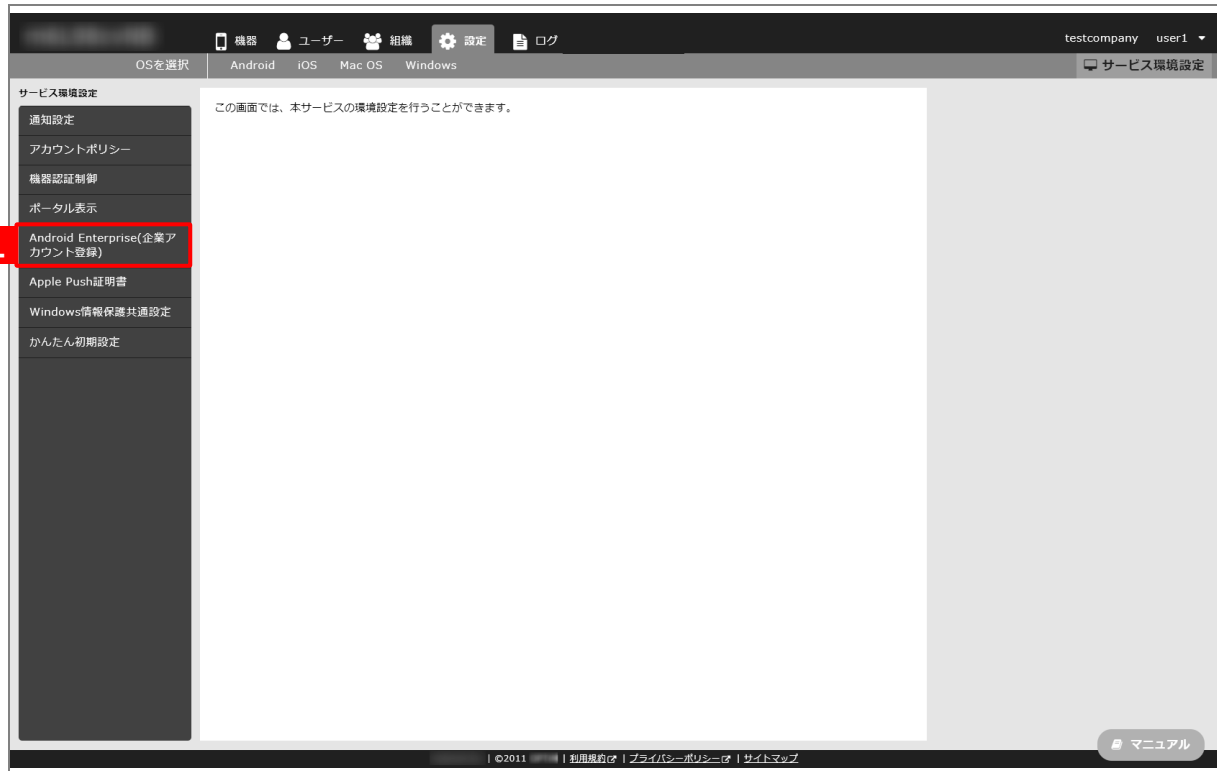
同意する

アカウント削除

6.1.3 Gmail のメールアドレスを登録する場合

Gmail のメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

- [1]** [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise (企業アカウント登録)] をクリックします。



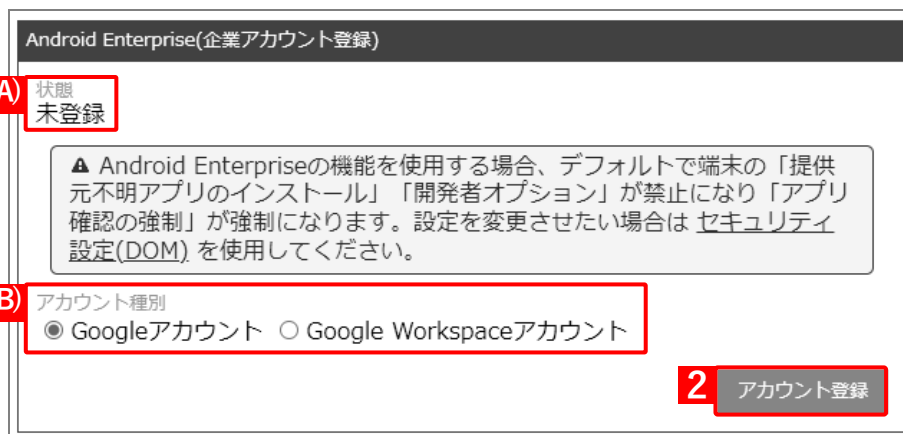
- [2]** [アカウント登録] をクリックします。

アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

(A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

(B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。



[3] Gmail のメールアドレスを入力します。

[4] [次へ] をクリックします。

Android 

.....

管理者アカウントを作成する

3 仕事用メールアドレスを入力してください*

例: [名前]@[会社名].com

4 次へ



Android はあらゆるビジネスで利用できるパワフルなプラットフォームです

- ✓ モバイル デバイスを管理して企業アプリをインストール
- ✓ エンタープライズクラスのセキュリティを活用してデータを保護
- ✓ 仕事用プロフィールを使ってデバイスを仕事とプライベートの両用に

[5] 「Android のみ登録」の「登録」をクリックします。

⇒ Google Play ストアが表示されます。

Android 

[redacted]@gmail.com
 は個人のメールアドレス
 のようです

次のいずれかを選ぶことができます



仕事用メールアドレスで登録

お申し込みには、name@company.com のような仕事用メールアドレスが必要です

仕事用メールアドレスで再試行



会社のドメインを購入

company.com などのドメインや対応する name@company.com のメールアドレスがない場合は、新しいドメインを購入してから登録を再試行できます。

新規ドメインを購入する



Android のみ登録

Android デバイスのみをデプロイする場合は、managed Google Play アカウントエンタープライズを作成できます。

このアカウントを使用して、Chromebook や Chrome ブラウザなどの他の Google サービスを管理することはできません。詳細

5 登録

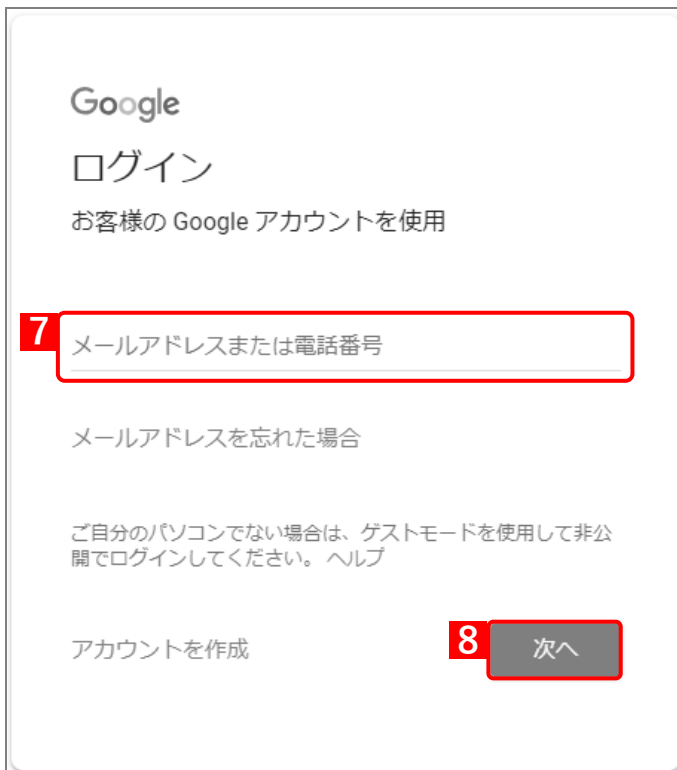
【6】 [ログイン] をクリックします。

☑利用しているブラウザにより、Google Play ストアが正常に動作しないことがあります。



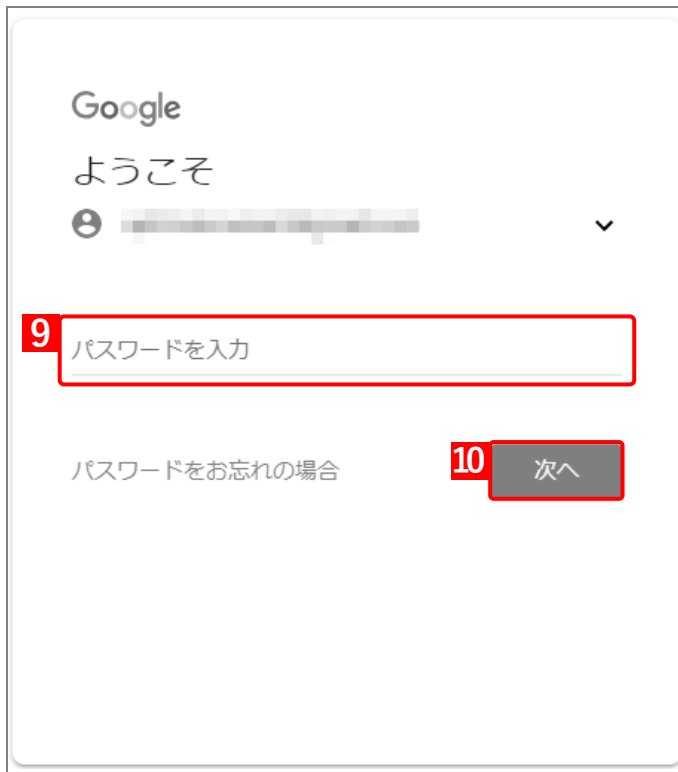
【7】 手順【3】で入力した Gmail のメールアドレスを入力します。

【8】 [次へ] をクリックします。



【9】 パスワードを入力します。

【10】 [次へ] をクリックします。



【11】 [完了] をクリックします。



【12】 [スタートガイド] をクリックします。



【13】 「組織名」を入力します。

【14】 [次へ] をクリックします。



【15】 規約を確認し、同意にチェックを入れます。

【16】 [確認] をクリックします。

- (A) データの保護責任者および EU 担当者は、任意入力です。必要に応じて入力します。データの保護責任者、EU 担当者についての詳細は、以下を参照してください。

<https://support.google.com/googleplay/work/answer/7681629>

連絡先情報

連絡先情報を入力してください

Google では、データ保護に関する法規制を遵守するための取り組みとして、顧客データ保護責任者様と EU 担当者様の連絡先情報を保管する必要があります。この情報は、Google のサービス内にあるデータのプライバシーやセキュリティに関する質問またはお知らせについてご連絡する場合に使用します。

この情報をまだご用意できていない場合は、managed Google Play の [管理者設定] から後で追加できます。

(A) データ保護責任者

名前

メール

モバイル端末

EU 担当者

名前

メール

モバイル端末

15 managed Google Play 契約を確認しました。この内容に同意します。

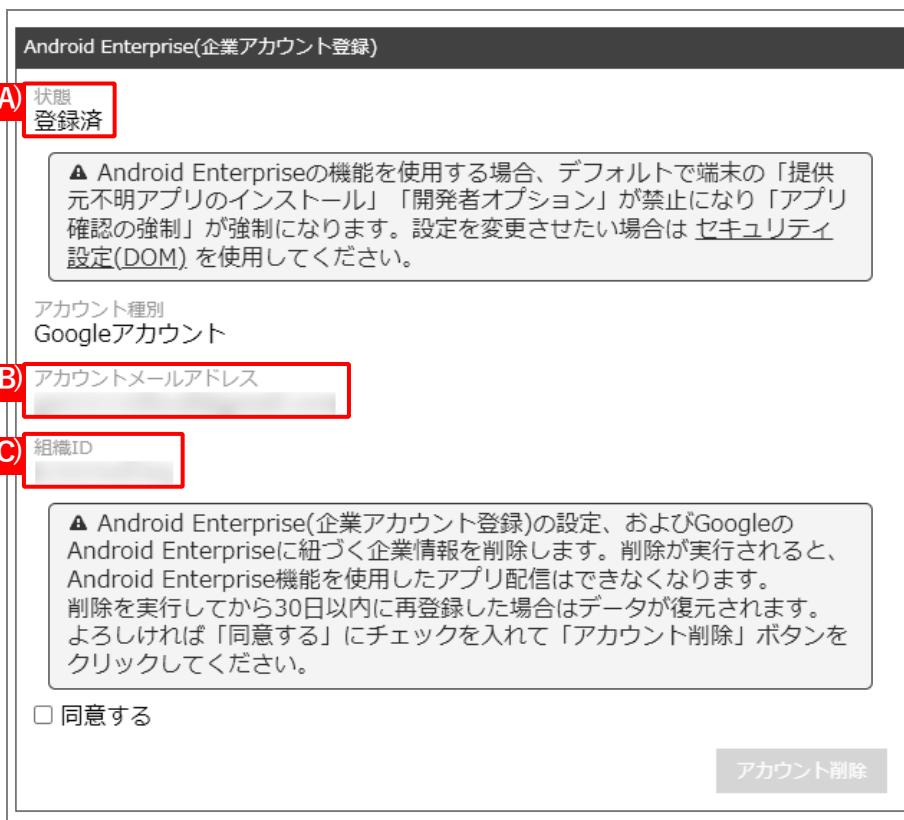
前へ **16** 確認

【17】 [登録を完了] をクリックします。

⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。



- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 「アカウントメールアドレス」に Google Play ストアで登録したメールアドレスが表示されています。
- ✎ (C) 「組織 ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意の識別子が表示されています。



6.2 Google API の認証設定を行う

管理サイトから Google アカウントを会社用メールアドレスに関連付け、JSON ファイルの作成と認証を行います。

6.2.1 メールアドレスを Google アカウントとして登録する

会社または組織用のメールアドレスを Google アカウントとして利用できます。

☑ 管理対象端末全台分を行う必要はありません。管理用のメールアドレスを 1 つ用意してください。管理者個人のメールアドレスではなく、管理担当部署のメーリングリストなどを推奨します。

☑ 利用する Google アカウントがすでにブラウザーに登録されている場合は、本操作は不要です。

[1] [設定] → [Android] → [ゼロタッチ登録] → [利用登録] をクリックします。

[2] [Google アカウント登録] をクリックします。

The screenshot shows the 'Android 設定' (Android Settings) page in the management console. The left sidebar has '利用登録' (Use Account) highlighted with a red box and a '1' in a red circle. The main content area shows step 1: 'Google アカウントと会社・組織用メールアドレスを関連付ける' (Link Google Account and company/organization email address). A red box highlights the 'Google アカウント登録' (Google Account Registration) link, with a '2' in a red circle next to it. Below this, step 4: 'API 設定及び JSON ファイルのダウンロードを行う' (Perform API settings and JSON file download) is visible, with a '1' in a red circle next to the '利用登録' link in the sidebar. The page includes a top navigation bar with '設定' (Settings) and 'ログ' (Log), and a bottom footer with '©2011' and '利用規約' (Terms of Use).

[3] Google アカウント作成画面が表示されます。

「姓」「名」「メールアドレス」「パスワード」「パスワードの確認」を入力します。

✎ 「メールアドレス」には、企業ドメインのメールアドレスを入力してください。

✎ (A) [代わりに Gmail アカウントを作成] をクリックすると、Gmail アカウントで作成することになりますので、クリックはしないでください。必ず現在のメールアドレスで作成してください。

[4] [次へ] をクリックします。**[5] 「コードを入力」に、手順【3】で入力したメールアドレス宛に送られた確認コードを入力します。****[6] [確認] をクリックします。**

【7】 「電話番号」「生年月日」「性別」を入力します。

【8】 [次へ] をクリックします。

Google
Google へようこそ

7

電話番号 (省略可)

Google では、アカウントのセキュリティ保護に電話番号を使用します。電話番号が他のユーザーに公開されることはありません。

年 月 日
生年月日

性別

個人情報
個人情報は非公開であり、安全です

この情報が必要な理由

戻る **8** 次へ

【9】 利用規約を確認して、[同意する] をクリックします。

Google
プライバシー ポリシーと利用規約

また Google では、こうした目的を達成するため、Google のサービスやお使いの端末全体を通じてデータを統合します。アカウントの設定内容に応じて、たとえば検索や YouTube を利用した際に得られるユーザーの興味や関心の情報に基づいて広告を表示したり、膨大な検索クエリから収集したデータを使用してスペル訂正モデルを構築し、すべてのサービスで使用したりすることがあります。

設定はご自身で管理いただけます
アカウントの設定に応じて、このデータの一部はご利用の Google アカウントに関連付けられることがあります。Google はこのデータを個人情報として取り扱います。Google がこのデータを収集して使用する方法は、下の [その他の設定] で管理できます。設定の変更や同意の取り消しは、アカウント情報 (myaccount.google.com) でいつでも行えます。

Google が収集するデータやそのデータの用途は、ユーザーが管理できます


その他の設定

キャンセル **9** 同意する

【10】 以下の画面が表示されたら、登録が完了です。

6.2.2 ゼロタッチポータルにログインする

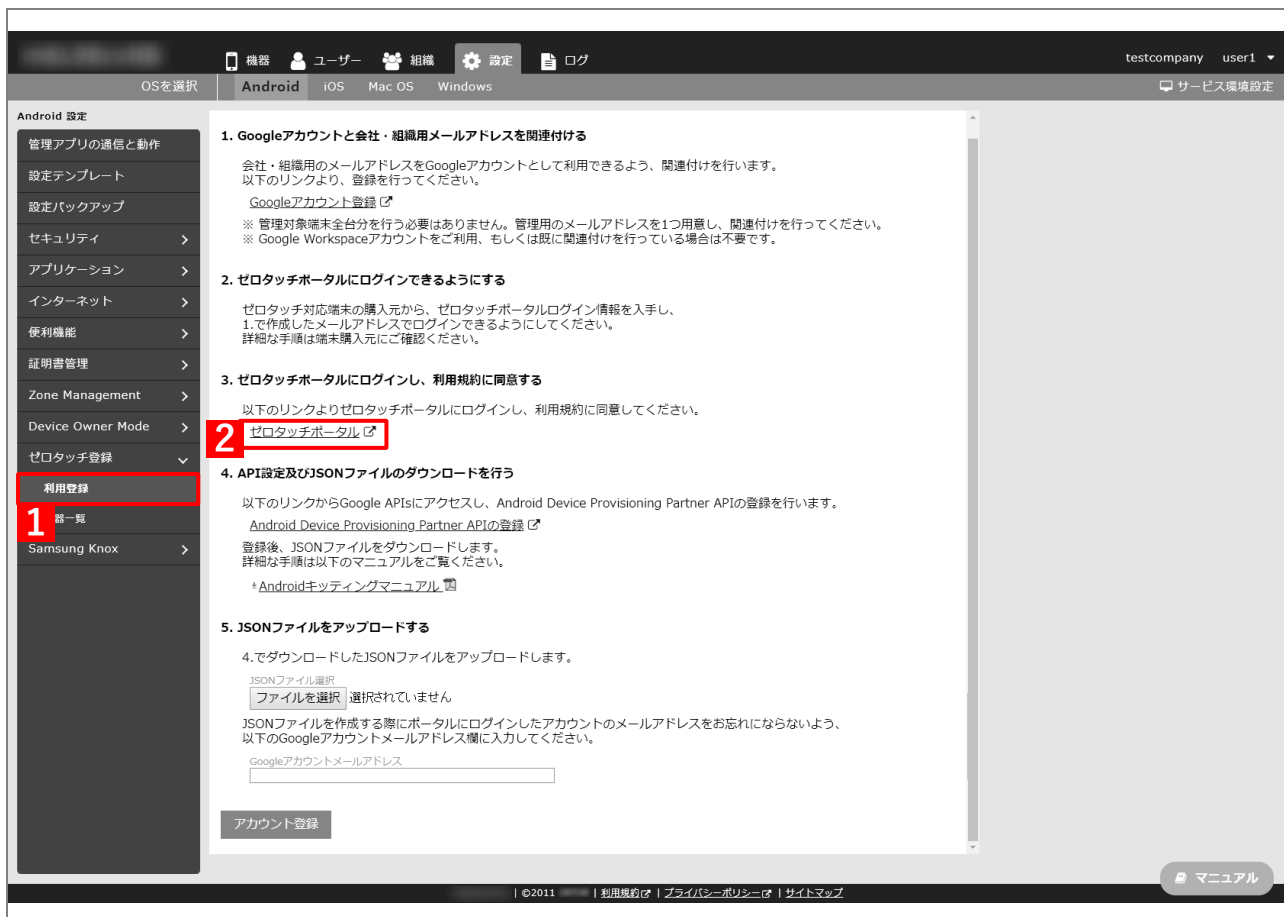
登録した Google アカウントを端末の購入元に連絡し、ゼロタッチポータルにログインできるように依頼します。

 詳細については、端末の購入元にお問い合わせください。

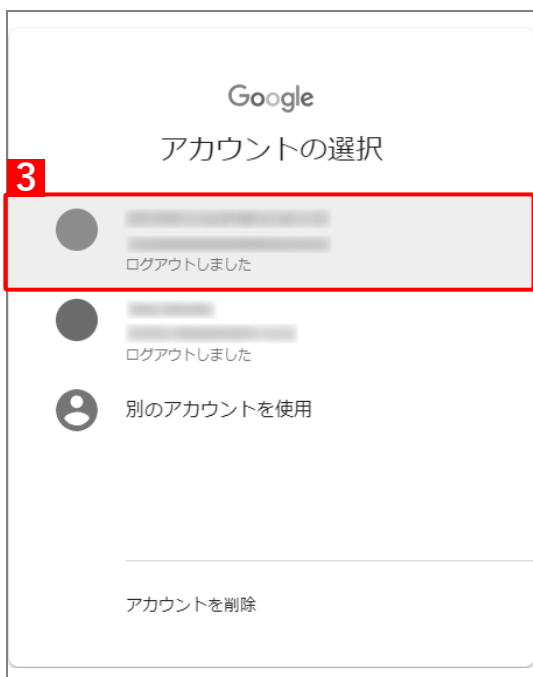
6.2.3 利用規約に同意する

ゼロタッチポータルにログインして、利用規約に同意してください。

- [1]** [設定] → [Android] → [ゼロタッチ登録] → [利用登録] をクリックします。
- [2]** [ゼロタッチポータル] をクリックします。



- [3]** 登録した Google アカウントを選択します。



[4] 「I accept the Terms of Service.」 にチェックを入れます。

[5] [同意する] をクリックします。

Terms of Service

Android Zero Touch End Customer Agreement

1.1 Services Use. Subject to this Agreement, during the Term, you, the Customer may: (a) use the Services, and (b) use any Software provided by Google as part of the Services. Customer may not sublicense or transfer these rights except as permitted under the Assignment section of the Agreement

1.2 Console. Google will provide the Services to Customer. As part of receiving the Services, Customer will have access to the Admin Console, through which Customer may administer the Services.

1.3 Facilities. All facilities used to store and process an Application and Customer Data will adhere to reasonable security standards no less protective than the security standards at facilities where Google processes and stores its own information of a similar type. Google has implemented at least industry standard systems and procedures to (i) ensure the security and confidentiality of an Application and Customer Data, (ii) protect against anticipated threats or hazards to the security or integrity of an Application and Customer Data, and (iii) protect against unauthorized access to or use of an Application and Customer Data.

immediately. If Customer does not agree to the revised Agreement, please stop using the Services. Google will

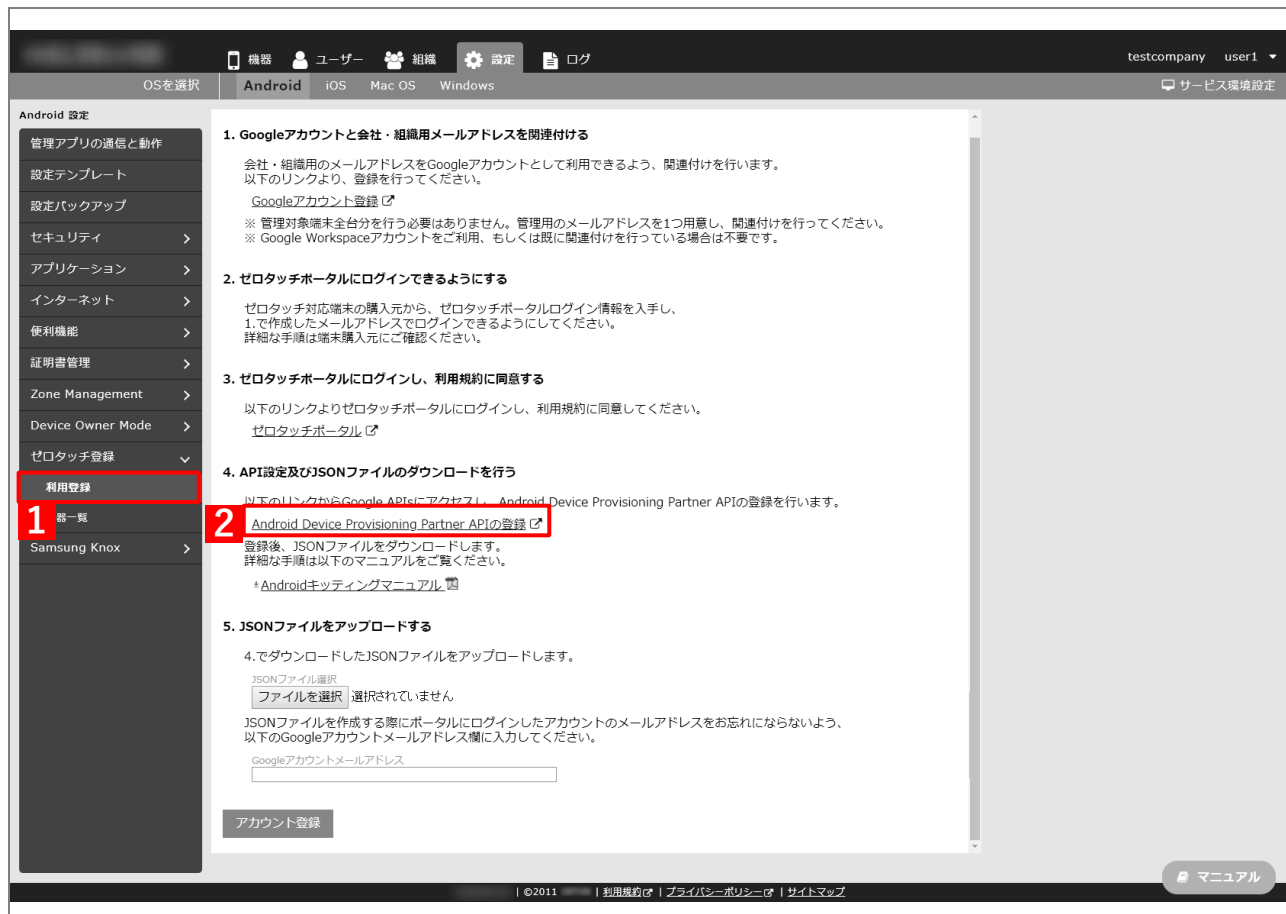
4 I accept the Terms of Service.

5

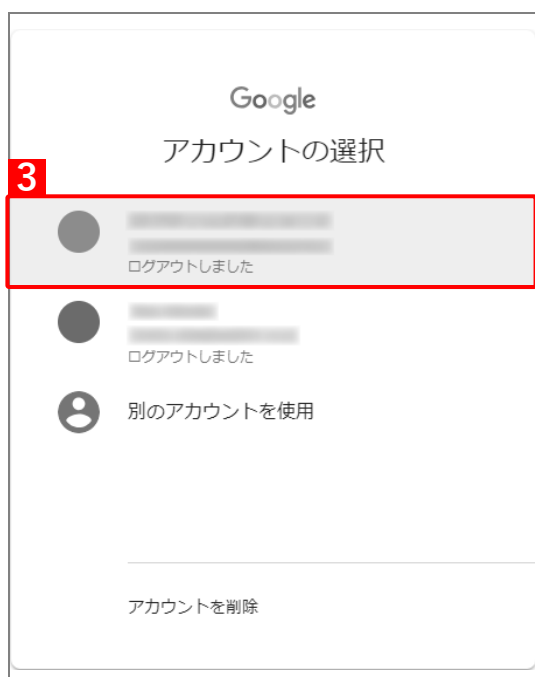
6.2.4 API 設定および JSON ファイルのダウンロードを行う

Google Cloud Platform で Android Device Provisioning Partner API の登録を行い、JSON ファイルをダウンロードします。

- [1]** [設定] → [Android] → [ゼロタッチ登録] → [利用登録] をクリックします。
- [2]** [Android Device Provisioning Partner API の登録] をクリックします。



- [3]** 関連付けした「メールアドレス」を選択します。



- [4]** 初回ログイン時のみ、利用規約に同意画面が表示されます。利用規約にチェックを入れます。
- [5]** [同意して続行] をクリックします。

 Google Cloud Platform

へようこそ

Google Cloud Platform のインスタンス、ディスク、ネットワークなどのリソースを 1 か所で作成し、管理します。

国

日本

4 利用規約

私は、Google Cloud Platform の利用規約、および適用されるサービスと API の利用規約に同意します。

最新情報をメールで通知

Google Cloud や Google Cloud パートナーから、ニュース、サービスの最新情報、各種キャンペーンに関するメールを定期的に受信することを希望します。

5 同意して続行

- [6]** Google Cloud Platform 画面が表示されます。任意の「プロジェクト名」を入力します。

Google Cloud Platform

プロジェクトとリソースの検索

新しいプロジェクト

割り当て内の残りのプロジェクト数は 12 projects 件です。プロジェクトの増加をリクエストするか、プロジェクトを削除してください。詳細

MANAGE QUOTAS

6 プロジェクト名 *

プロジェクト ID: 。後で変更することはできません。編集

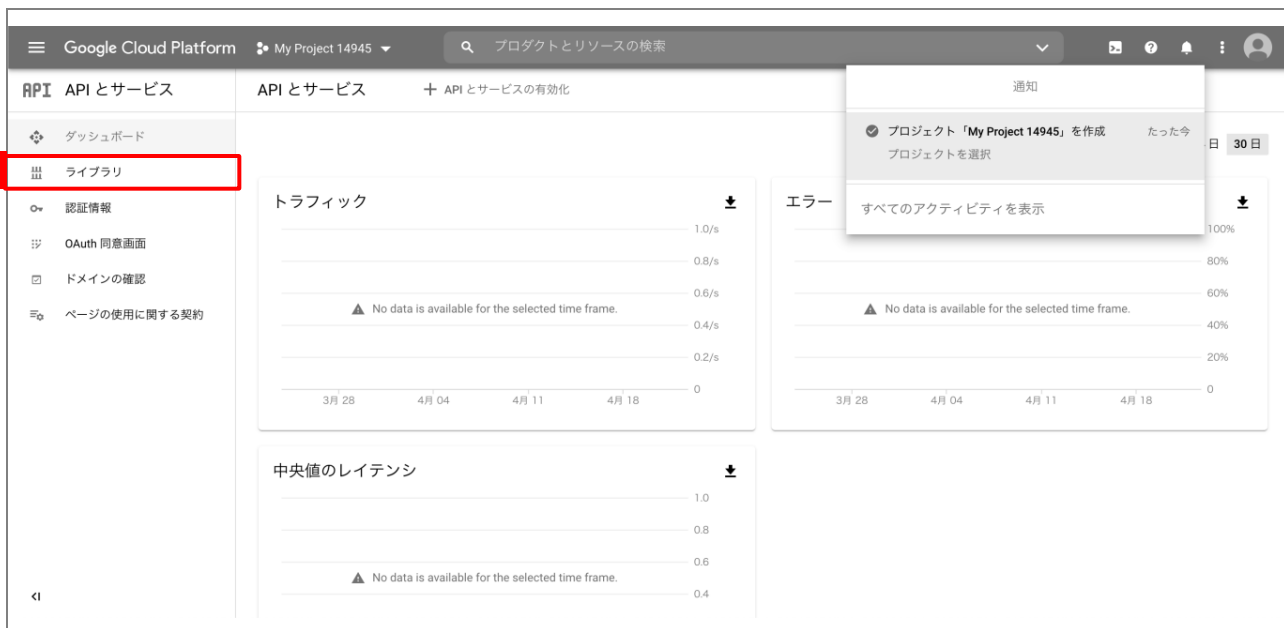
場所 *

組織なし 参照

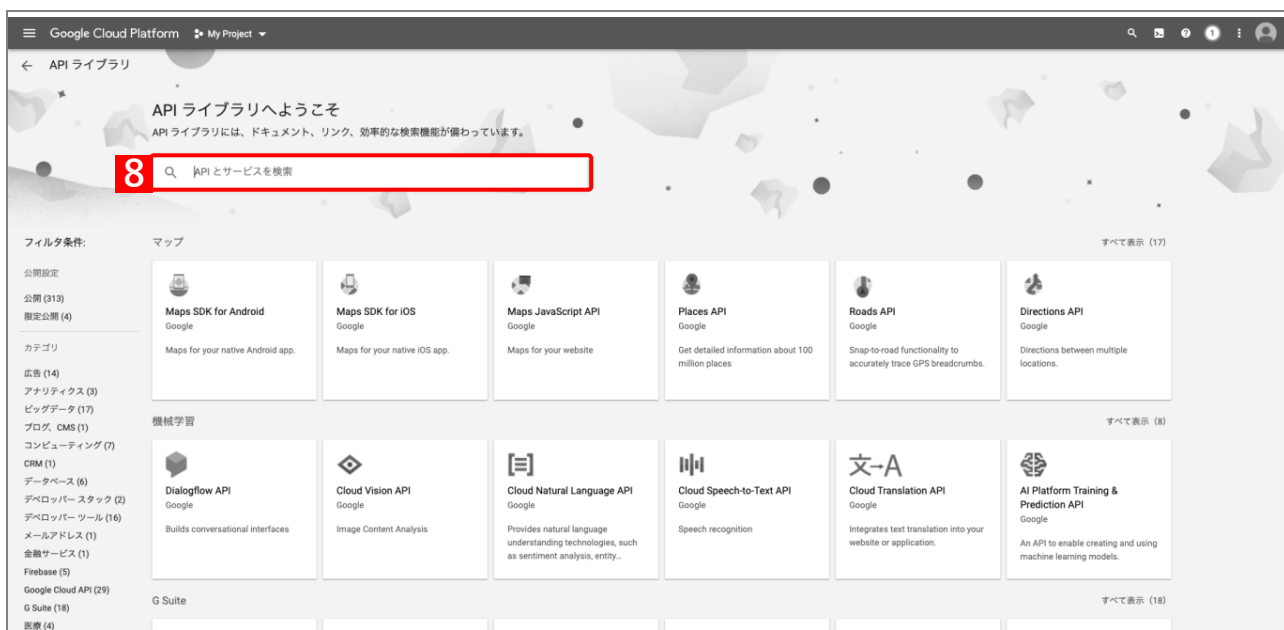
親組織またはフォルダ

作成 キャンセル

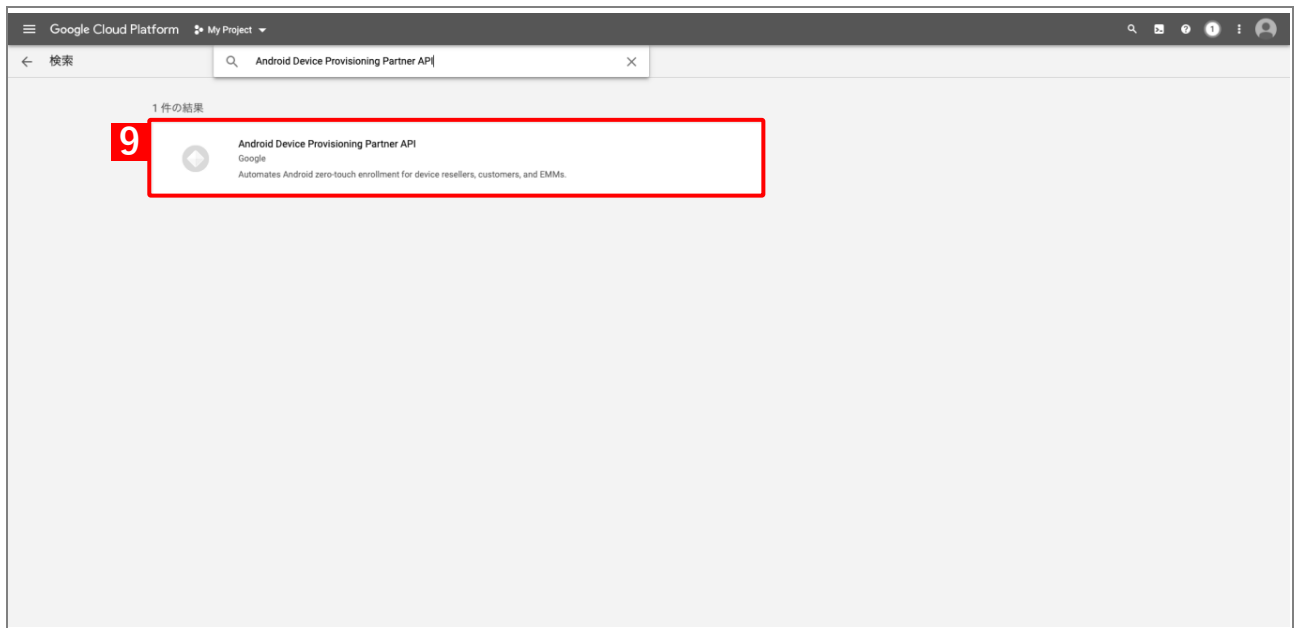
[7] [ライブラリ] をクリックします。



[8] 「APIとサービス検索」に「Android Device Provisioning Partner API」と入力し、検索します。



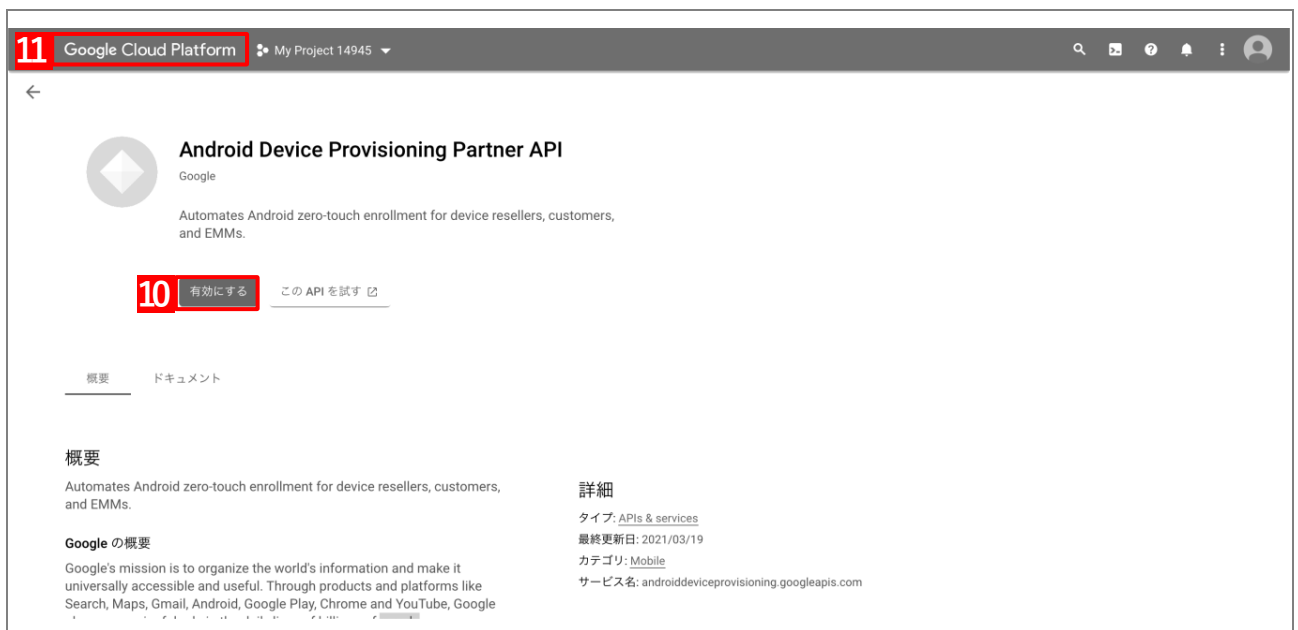
【9】 表示結果の [Android Device Provisioning Partner API] をクリックします。



【10】 [有効にする] をクリックします。

⇒ Android Device Provisioning Partner API が有効になります。

【11】 [Google Cloud Platform] をクリックします。



【12】 [認証情報] をクリックします。

Google Cloud Platform My Project 14945 プロダクトとリソースの検索

API とサービス Android Device Provisi... 概要 API を無効にする

12 認証情報

この API を使用するには、認証情報が必要になる可能性があります。開始するには、[認証情報を作成] をクリックしてください。 認証情報を作成

レスポンス コード別のトラフィック

要求数/秒 (2 時間の平均)

No data is available for the selected time frame.

3月 28 4月 04 4月 11 4月 18

→ 指標を表示

【13】 [同意画面を構成] をクリックします。

認証情報 + 認証情報を作成 削除

この API と互換性のある認証情報

すべての認証情報の表示、または新しい認証情報の作成は、API とサービスの認証情報にアクセスして行います

必ず、アプリケーションに関する情報を使用して OAuth 同意画面を構成してください。 13 同意画面を構成


OAuth 2.0 クライアント ID

<input type="checkbox"/>	名前	作成日 ↓	種類	クライアント ID
表示する OAuth クライアントがありません				

サービス アカウント サービス アカウントを管理

<input type="checkbox"/>	メール	名前 ↑
表示するサービス アカウントがありません		


【14】 [作成] をクリックします。

-  (A) 「User Type」を選択する必要はありません。「User Type」の詳細については、Google にお問い合わせください。


OAuth 同意画面

アプリをどのように構成および登録するか（ターゲット ユーザーを含む）を選択します。プロジェクトに関連付けることができるアプリは1つだけです。

(A) User Type

内部 


組織内のユーザーのみが使用できます。検証を受けるためにアプリを送信する必要はありません。

外部 

Google アカウントを持つすべてのテストユーザーが使用できます。アプリはテストモードで起動し、アプリを使用できるのは、テストユーザーのリストに追加されたユーザーに限られます。アプリを本番環境に移す準備ができたなら、アプリの確認が必要となる場合があります。

14 **作成**

Google の OAuth に関する [ご意見やご要望をお聞かせください。](#)

- 【15】** 「アプリ名」に「SMSM」と入力します。
- 【16】** 「ユーザー サポートメール」をクリックして、メールアドレスを選択します。
- 【17】** 「承認済みドメイン」に「smartmanager.jp」と入力して、キーボードの [Enter] キーを押します。
-  [Enter] キーを押したあと、自動的にドメイン名が変更される場合があります。
- 【18】** 「デベロッパーの連絡先情報」にメールアドレスを入力します。
- 【19】** 「保存して次へ」をクリックします。

アプリ登録の編集

1 OAuth 同意画面 — 2 スコープ — 3 テストユーザー — 4 概要

アプリ情報

この情報は同意画面に表示されるため、デベロッパーのユーザー情報とデベロッパーへの問い合わせ方法をエンドユーザーが把握できます。

15 同意を求めるアプリの名前

16 ユーザーが同意に関して問い合わせるために使用

参照

ユーザーがアプリを認識できるように、同意画面に 1 MB 以下の画像をアップロードします。使用できる画像形式は、JPG、PNG、BMP です。最適な結果を得るには、ロゴを 120 x 120 ピクセルの正方形にすることをおすすめします。

アプリのドメイン

デベロッパーとユーザーを保護するために、Google では、OAuth を使用するアプリのみに認可ドメインの使用を許可しています。同意画面では、次の情報がユーザーに表示されます。

ホームページへのリンクをユーザーに提供します

一般公開のプライバシー ポリシーへのリンクをユーザーに提供します

一般公開の利用規約へのリンクをユーザーに提供します

17 承認済みドメイン

同意画面または OAuth クライアントの構成でドメインが使用されている場合は、ここで事前登録する必要があります。アプリの検証が必要な場合は、Google Search Console にアクセスして、ドメインが承認済みであるかどうかを確認してください。承認済みドメインの上限の詳細をご覧ください。

デベロッパーの連絡先情報

18 メールアドレス *

これらのメールアドレスは、プロジェクトの変更について Google からお知らせするために使用します。

19

【20】 [保存して次へ] をクリックします。

 スコープの追加は、不要です。

アプリ登録の編集

スコープとは、アプリのユーザーに許可を求める権限を表します。スコープを定めることで、プロジェクトからユーザーの Google アカウントにある特定の種類のプライベートなユーザーデータへのアクセスが可能になります。 [詳細](#)

スコープを追加または削除


🔒 制限付きのスコープ

制限付きのスコープとは、機密性の高いユーザーデータへのアクセスをリクエストするスコープです。

API ↑	範囲	ユーザー向けの説明
表示する行がありません		

20 保存して次へ
キャンセル

【21】 [保存して次へ] をクリックします。

 テストユーザーの追加は、不要です。

アプリ登録の編集

✔️ OAuth 同意画面
—
✔️ スコープ
—
3 **テストユーザー**
—
🕒 4 概要

テストユーザー

公開ステータスが「テスト中」に設定されている間は、テストユーザーのみがアプリにアクセスできます。アプリの確認前の許可済みユーザー数の上限は 100 で、この上限はアプリの全期間でカウントされます。 [詳細](#)

+ ADD USERS

☰ 表をフィルタリング
?

⚠️ 悪用を防ぐために、ユーザーは追加できても削除できません

ユーザー情報

表示する行がありません

21 保存して次へ
キャンセル

[22] 設定内容を確認して、[ダッシュボードに戻る] をクリックします。

アプリ登録の編集

指定されていません

[アプリケーション利用規約] リンク
指定されていません

承認済みドメイン
[Redacted]

連絡先メールアドレス
[Redacted]

スコープ 編集

API ↑	範囲	ユーザー向けの説明
表示する行がありません		

テストユーザー 編集

ユーザー 0 人 (0 人がテストユーザー、残り 0 人) / ユーザーの上限数は 100 人

表をフィルタリング

ユーザー情報
表示する行がありません

22 ダッシュボードに戻る

[23] OAuth 同意画面が表示されます。[アプリ公開] をクリックします。

Google Cloud Platform

API とサービス

OAuth 同意画面

OptimalBiz アプリを編集

公開ステータス ●

テスト

23 アプリを公開

ユーザーの種類

外部 ●

内部へ

テストユーザー

公開ステータスが「テスト中」に設定されている間は、テストユーザーのみがアプリにアクセスできます。アプリの確認前の許可済みユーザー数の上限は 100 で、この上限はアプリの全期間でカウントされます。詳細

+ ADD USERS

ユーザー 0 人 (0 人がテストユーザー、残り 0 人) / ユーザーの上限数は 100 人

SHOW MORE

OAuth レート上限

ガイド

- Google OAuth 同意画面
- OAuth 同意画面とは何ですか？
- OAuth 同意の範囲とは
- 機密性の高い API 範囲とはどのようなものですか？
- 制限付き API 範囲とはどのようなものですか？
- アプリ登録プロセス
- どのような情報が必要ですか？
- アプリは Google の確認を受ける必要がありますか？
- アプリの確認を受けなかった場合はどうなりますか？
- 確認プロセスにかかる時間はどの程度ですか？
- アプリを使用できるユーザーは何人ですか？
- ドメインの所有権の確認
- 他に必要な確認事項

【24】 メッセージを確認して、「確認」をクリックします。

本番環境に push しますか？

Google アカウントを持つすべてのユーザーがアプリを使用できるようにします。

検証を受けるためにアプリを送信する必要はありません。10 個以上のドメインの追加、ロゴのアップロード、プライベートまたは制限されたスコープのリクエストなど、今後アプリの構成を変更する場合は、検証を受けるために送信する必要があります。

キャンセル
24 確認

【25】 公開ステータスが「本番環境」になっていることを確認します。

【26】 「認証情報」をクリックします。

The screenshot shows the 'OAuth consent screen' configuration page. The 'Public status' is set to 'Production' (本番環境). The 'Authentication information' link in the left sidebar is highlighted with a red box and labeled '26'.

【27】 「認証情報を作成」をクリックします。

【28】 「OAuth クライアント ID」を選択します。

The screenshot shows the 'Authentication information' page. The 'API key' dropdown menu is open, and 'OAuth Client ID' is selected and highlighted with a red box and labeled '28'.

- [29]** 「アプリケーションの種類」のプルダウンメニューから、「ウェブアプリケーション」を選択します。
- [30]** 任意で「名前」を入力します。
- [31]** 「承認済みリダイレクト URI」の [URI を追加] をクリックします。

← OAuth クライアント ID の作成

クライアント ID は、Google の OAuth サーバーで個々のアプリを識別するために使用します。アプリが複数のプラットフォームで実行される場合、それぞれに独自のクライアント ID が必要になります。詳しくは、[OAuth 2.0 の設定](#)をご覧ください。

29 アプリケーションの種類 *
ウェブアプリケーション

OAuth クライアントの種類については[こちら](#)をご覧ください

30 名前 *
ウェブクライアント 1

OAuth 2.0 クライアントの名前。この名前はコンソールでクライアントを識別するためのみ使用され、エンドユーザーには表示されません。

i 下で追加する URI のドメインは、[OAuth 同意画面に承認済みドメイン](#)として自動で追加されます。

承認済みの JavaScript 生成元 **?**
ブラウザからのリクエストに使用します

+ URI を追加


承認済みのリダイレクト URI **?**
ウェブサーバーからのリクエストに使用します

URI
https://www.example.com

31 + URI を追加

作成 キャンセル

【32】 「URI」に「https://ausl.smartmanager.jp/company1/android_emm_zero_touch_auth/callback」と入力します。(※「company1」に当たる部分には、企業コードを入力してください。)

 警告メッセージが表示された場合は、手順【17】で「承認済みドメイン」を正しく入力しているか確認してください。

【33】 「作成」をクリックします。

← OAuth クライアント ID の作成


クライアント ID は、Google の OAuth サーバーで個々のアプリを識別するために使用します。アプリが複数のプラットフォームで実行される場合、それぞれに独自のクライアント ID が必要になります。詳しくは、[OAuth 2.0 の設定](#)をご覧ください。


アプリケーションの種類 *
ウェブアプリケーション

OAuth クライアントの種類については[こちら](#)をご覧ください


名前 *
ウェブクライアント 1

OAuth 2.0 クライアントの名前。この名前はコンソールでクライアントを識別するためにのみ使用され、エンドユーザーには表示されません。

 下で追加する URI のドメインは、[OAuth 同意画面に承認済みドメイン](#)として自動で追加されます。

承認済みの JavaScript 生成元 
ブラウザからのリクエストに使用します

+ URI を追加

承認済みのリダイレクト URI 
ウェブサーバーからのリクエストに使用します

32 URI

+ URI を追加

33 作成 キャンセル

【34】 [OK] をクリックします。

OAuth クライアントを作成しました

クライアント ID とシークレットには、常に API とサービスの認証情報からアクセスできます

i OAuth 同意画面が確認されるまで、OAuth ではプライベートデータにかかわるスコープのログインが 100 回までに制限されます。公開には確認プロセスが必要になる場合があります、確認プロセスには数日を要する場合があります。

クライアント ID

クライアント シークレット

34 OK

【35】 ダウンロードアイコンをクリックして、JSON ファイルをダウンロードします。

認証情報 + 認証情報を作成 削除

有効な API にアクセスするための認証情報を作成します。詳細

API キー

<input type="checkbox"/>	名前	作成日 ↓	削除	キー
表示する API キーがありません				

OAuth 2.0 クライアント ID

<input type="checkbox"/>	名前	作成日 ↓	種類	クライアント ID	
<input type="checkbox"/>	ウェブクライアント 1	2021/01/20	ウェブアプリケーション	1851415656456-op9...	📄

サービス アカウント サービスアカウントを管理

<input type="checkbox"/>	メール	名前 ↑
表示するサービスアカウントがありません		

35

6.2.5 JSON ファイルをアップロードする

Google APIs でダウンロードした JSON ファイルを管理サイトにアップロードし、機器情報を登録します。

- [1]** [ファイル選択] をクリックし、ダウンロードした JSON ファイルを選択します。
- [2]** 「Google アカウントメールアドレス」を入力します。
- [3]** [アカウント登録] をクリックします。

Android 設定

1. Googleアカウントと会社・組織用メールアドレスを関連付ける

会社・組織用のメールアドレスをGoogleアカウントとして利用できるよう、関連付けを行います。
以下のリンクより、登録を行ってください。
[Googleアカウント登録](#)

※ 管理対象端末全台分を行う必要はありません。管理用のメールアドレスを1つ用意し、関連付けを行ってください。
※ Google Workspaceアカウントをご利用、もしくは既に関連付けを行っている場合は不要です。

2. ゼロタッチポータルにログインできるようにする

ゼロタッチ対応端末の購入元から、ゼロタッチポータルログイン情報を入手し、1.で作成したメールアドレスでログインできるようにしてください。
詳細な手順は端末購入元にご確認ください。

3. ゼロタッチポータルにログインし、利用規約に同意する

以下のリンクよりゼロタッチポータルにログインし、利用規約に同意してください。
[ゼロタッチポータル](#)

4. API設定及びJSONファイルのダウンロードを行う

以下のリンクからGoogle APIsにアクセスし、Android Device Provisioning Partner APIの登録を行います。
[Android Device Provisioning Partner APIの登録](#)

登録後、JSONファイルをダウンロードします。
詳細な手順は以下のマニュアルをご覧ください。
[* Androidキッティングマニュアル](#)

5. JSONファイルをアップロードする

4.でダウンロードしたJSONファイルをアップロードします。

[JSONファイル選択](#)

1 **ファイルを選択** 選択されていません
JSONファイルを作成する際にポータルにログインしたアカウントのメールアドレスをお忘れにならないよう、以下のGoogleアカウントメールアドレス欄に入力してください。

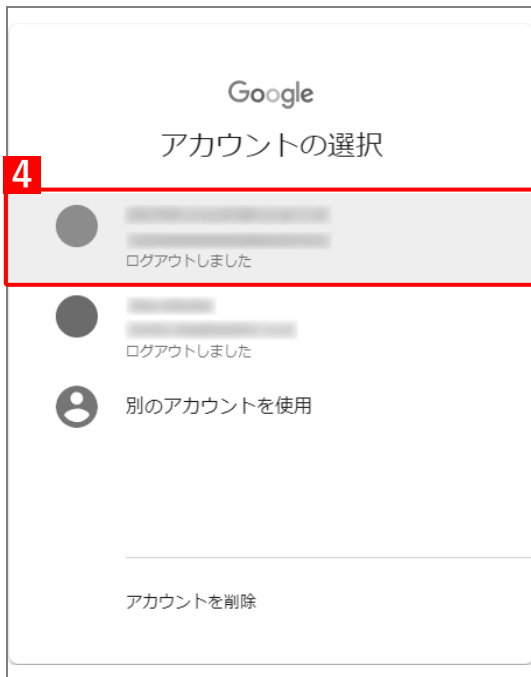
2 Googleアカウントメールアドレス

3 アカウント登録

©2011 | [利用規約](#) | [プライバシーポリシー](#) | [サイトマップ](#) [マニュアル](#)

**【4】 Google のログイン画面にリダイレクトします。
登録した Google アカウントを選択します。**

⇒警告画面が表示されます。




【5】 [詳細] をクリックします。



【6】 [ドメイン (安全でないページ) に移動] をクリックします。

🔗 Google アカウントが「XXXXX@xxxxx.co.jp」の場合は、ドメインに「xxxxx.co.jp」と表示されます。





このアプリは Google で確認されていません

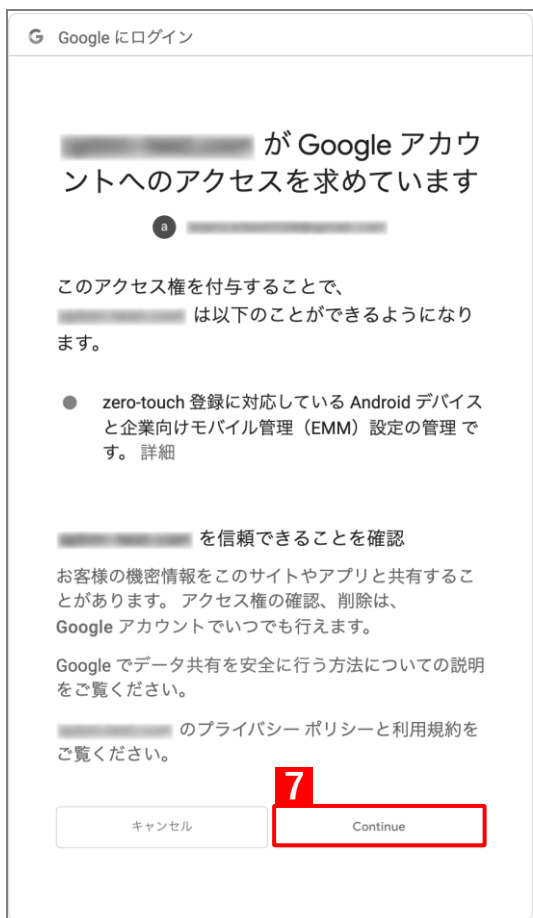
アプリが、Google アカウントのプライベートな情報へのアクセスを求めています。デベロッパー () と Google によって確認されるまで、このアプリを使用しないでください。

デベロッパーの場合は、この画面が表示されないようにするには確認リクエストを送信してください。 [詳細](#)

[詳細を非表示](#) [安全なページに戻る](#)

リスクを理解し、デベロッパー () を信頼できる場合のみ、続行してください。

6 [\(安全でないページ\) に移動](#)

【7】 [continue] をクリックします。

G Google にログイン

が Google アカウントへのアクセスを求めています

が

このアクセス権を付与することで、は以下のことができるようになります。

- zero-touch 登録に対応している Android デバイスと企業向けモバイル管理 (EMM) 設定の管理です。 [詳細](#)

を信頼できることを確認

お客様の機密情報をこのサイトやアプリと共有することがあります。アクセス権の確認、削除は、Google アカウントでいつでも行えます。

Google でデータ共有を安全に行う方法についての説明をご覧ください。

のプライバシー ポリシーと利用規約をご覧ください。

[キャンセル](#) [Continue](#)

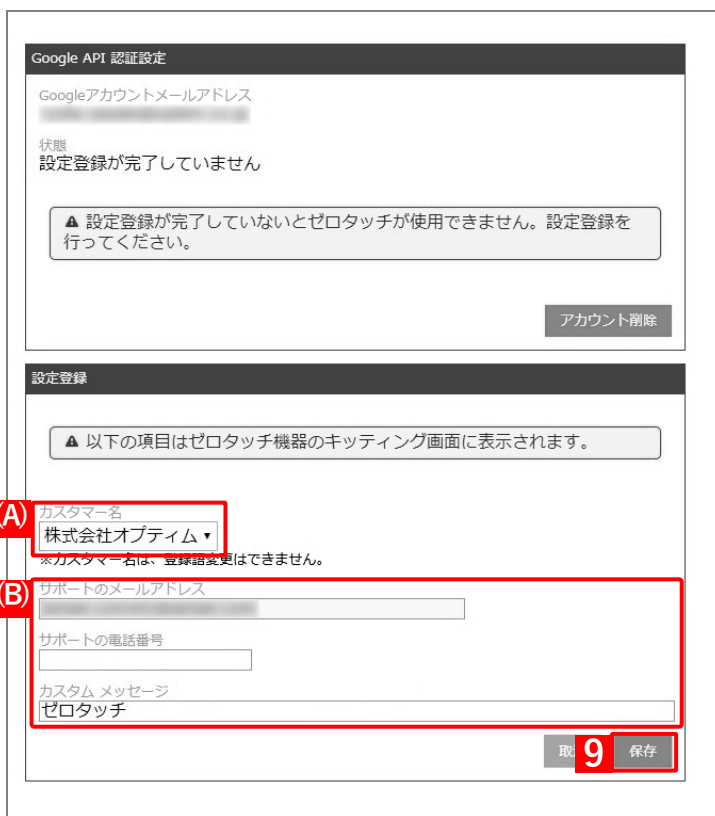
7

[8] 設定登録を行います。[新規作成] をクリックします。

- ☑ 設定登録を行わないと、ゼロタッチ端末の同期処理ができません。(B)「状態」に「設定登録が完了していません」と表示されます。
- ✎ (A)「Google アカウントメールアドレス」には、手順【4】で選択した Google アカウントが表示されます。

**[9] [保存] をクリックします。**

- ✎ (A)「カスタマー名」は変更できません。(B)「サポートのメールアドレス」「サポートの電話番号」「カスタムメッセージ」は設定登録時にゼロタッチポータルで設定した内容が表示されます。変更する場合は、変更内容を入力してください。



【10】 設定登録を行うと、利用登録画面が以下のように表示されます。

⇒ (A) 「状態」に「使用可」と表示されます。

✎ アカウント削除する場合は、(B) [アカウント削除] をクリックします。

✎ 設定登録時にゼロタッチポータルで設定した内容が表示されます。変更する場合は、(C) [編集] をクリックします。ただし、(D) 「カスタマー名」は変更できません。

Google API 認証設定

Googleアカウントメールアドレス

(A) 状態
使用可

(B) アカウント削除

設定登録

(D) カスタマー名
Optim

サポートのメールアドレス

サポートの電話番号

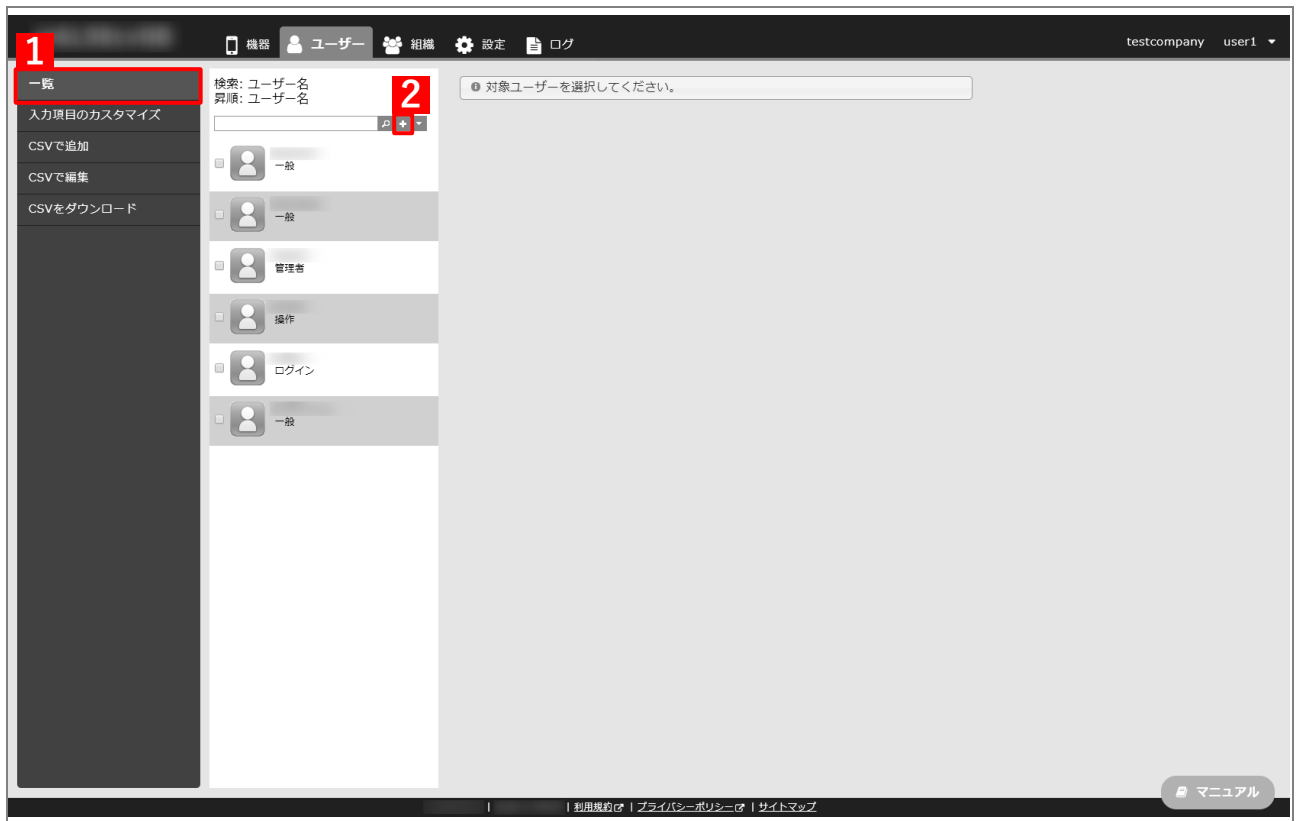
カスタム メッセージ

(C) 編集


6.3 ユーザーを作成する


以下の手順で、ユーザーを作成します。

- [1]** [ユーザー] → [一覧] をクリックします。
- [2]** **+** をクリックします。



[3] 「名前」に任意の名前を入力します。

 その他の入力および設定項目の詳細については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「ユーザー」 - 「一覧」 - 「ユーザーの作成」

[4] 「保存」をクリックします。

⇒ユーザーが作成されます。



管理情報 - 編集

名前 **3**

フリガナ

姓

名

ユーザーID

メールアドレス

ユーザー種別

- 管理者 (全ての操作ができます)
- 操作
- 閲覧者 (変更操作ができません)
- ロック・ワイプ
- ログイン (個別に権限を設定)
- 一般 (ログインできません)

組織

分類

(未分類)

機器認証制限

- 制限なし
- 制限あり 台
- 認証禁止

パスワード

現在のパスワード

編集

機器

機器数
0

取消 **4** 保存

6.4 ゼロタッチ登録（Google アカウント利用）でキッティングする

以下の手順で、ゼロタッチ登録による端末のキッティングを行います。

- 管理サイトの「アプリケーション禁止」で「禁止するアプリケーション」、および「アプリケーション非表示」に「Google Play 開発者サービス (com.google.android.gms)」を設定していると、正常にキッティングが完了できない場合があります。以下を参照して、事前に設定を解除してから、キッティングを行ってください。

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「アプリケーション」 - 「アプリケーション禁止」

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「アプリケーション非表示」

- 手順【9】の画面は、機種や OS によって表示されるタイミングが異なる場合があります。

【1】 [始める] をタップします。

- SIM を挿入している場合、モバイルネットワーク接続が開始されます。



【2】 [スキップ] をタップします。

- モバイルネットワークを利用する場合は、SIM を挿入してください。



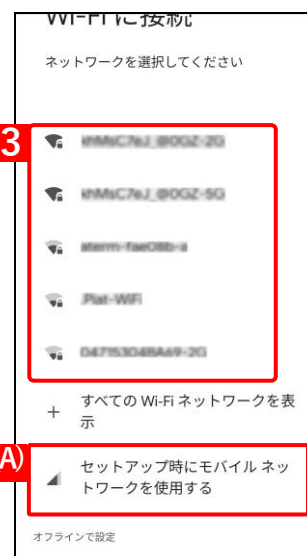
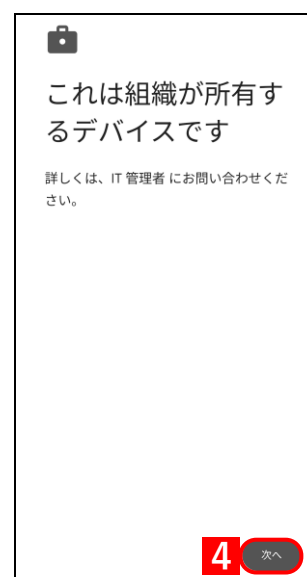
[3] 接続したい Wi-Fi の SSID をタップして、Wi-Fi に接続してください。

⇒ ネットワーク接続が開始されます。

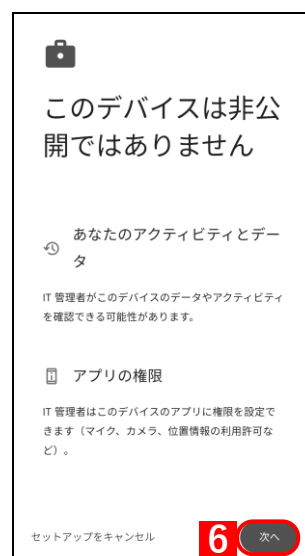
- ❑必ずネットワークに接続して、以降の手順を進めてください。ネットワークに接続していない場合は、ゼロタッチ登録サーバーと同期したとき端末が初期化されます。

📖 「ゼロタッチ登録サーバーに同期する」 183 ページ

- ❑モバイルネットワークを利用する場合は、(A) [セットアップ時にモバイルネットワークを使用する] をタップします。表示されるポップアップのメッセージを確認してください。

**[4] [次へ] をタップします。****[5] [同意して続行] をタップします。**

【6】 [次へ] をタップします。

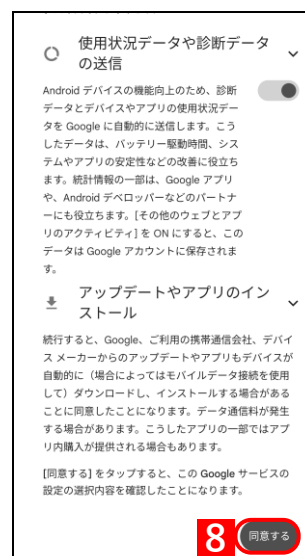


【7】 [もっと見る] をタップします。

📝 端末によっては [もっと見る] が数回表示されます。[同意する] が表示されるまで、[もっと見る] をタップします。



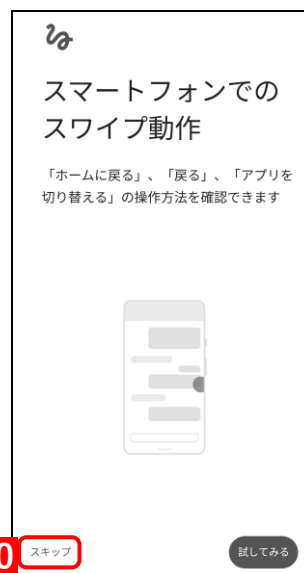
【8】 [同意する] をタップします。



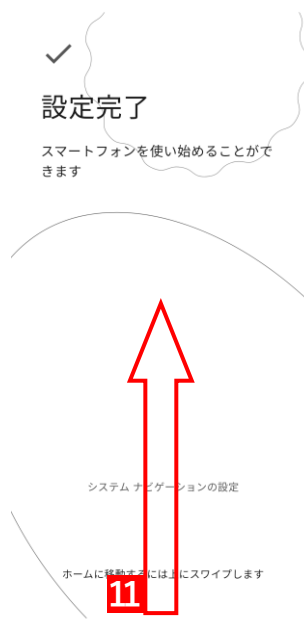
【9】 [OK] をタップします。



【10】 [スキップ] をタップします。



【11】 画面下部からスワイプします。
⇒ ホーム画面に移動します。



【12】 [KDDI Safety Manager] をタップします。

✎ ホーム画面にアイコンが表示されない場合は、アプリ一覧を確認してください。



【13】 [ライセンス認証] をタップします。



【14】 [OK] をタップします。

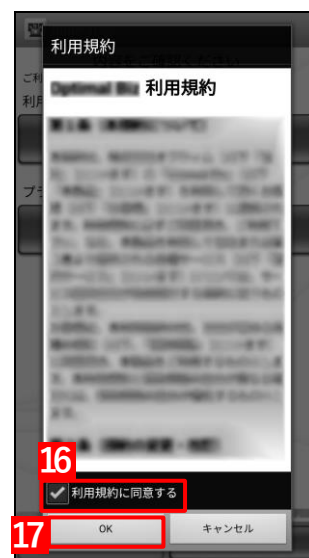


【15】 利用規約の [確認・同意] をタップします。



【16】 「利用規約に同意する」にチェックを入れます。

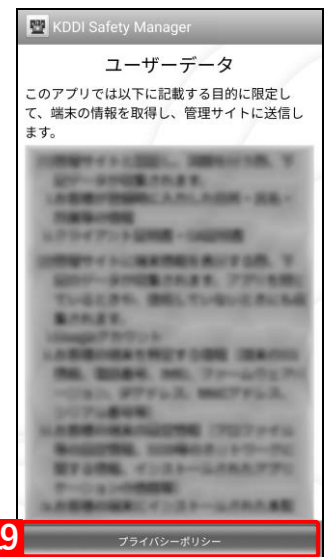
【17】 [OK] をタップします。



【18】 プライバシーポリシーの [確認・同意] をタップします。



- 【19】** ユーザーデータについて確認して、[プライバシーポリシー] をタップします。



- 【20】** 「プライバシーポリシーに同意する」にチェックを入れます。
【21】 [OK] をタップします。

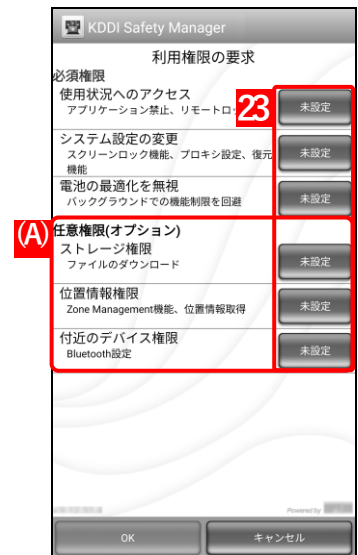
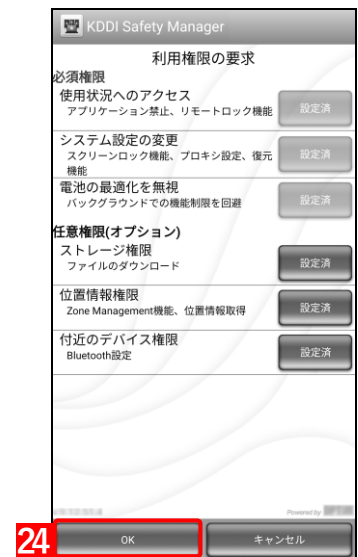


- 【22】** [OK] をタップします。
 ⇒ 権限要求画面が表示されます。



【23】 画面の案内に従って設定を行ってください。

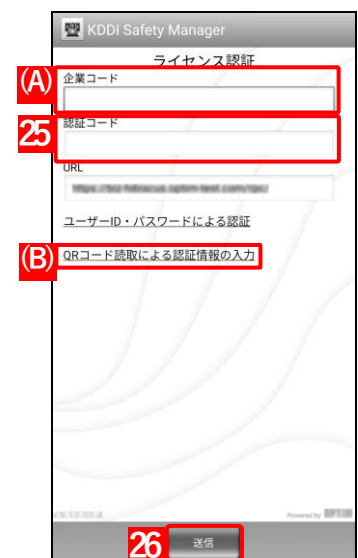
- ☑ Android 12 以上でエージェントバージョン 9.14.0 以上の場合、
(A) 任意権限に「付近のデバイス権限」が表示されます。
- ☑ Android 13 以上でエージェントバージョン 9.16.0 以上の場合、
(A) 任意権限に「通知権限」が表示されます。「ストレージ権限」は表示されません。

**【24】 [OK] をタップします。****【25】 「認証コード」を入力します。**

- ☑ 認証コードは管理者にお問い合わせください。
- ☑ (A) 「企業コード」は、自動で入力されています。
- ☑ (B) [QR コード読取による認証情報の入力] をタップして、エージェント認証用 QR コードを読み取ると、「企業コード」、「認証コード」、「URL」が自動で入力されます。QR コードは、管理者にお問い合わせください。

【26】 [送信] をタップします。

⇒ ライセンス認証完了の画面が表示されます。



【27】 [OK] をタップします。

⇒ 初期登録画面が表示されます。

- ✎ 手順【28】～【32】の初期登録画面は、管理サイトでポータル表示を「表示」に設定している場合のみ表示されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「サービス環境設定」－「ポータル表示」

**【28】 社員番号、姓、名を入力します。****【29】 [次へ] をタップします。**

⇒ 機器にユーザーが紐づきます。

- ✎ 登録したユーザーを変更することはできません。
- ✎ すでにユーザーが端末に紐づけられている場合は、ユーザーが紐づけられているメッセージが表示されます。
- ✎ ユーザー情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。

**【30】 必要事項を選択、入力します。****【31】 [次へ] をタップします。**

- ✎ あらかじめ、管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で入力項目を追加してください。追加するとき、「機器から入力可」にチェックを入れてください。チェックが入っていない場合は、項目が表示されません。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「入力項目のカスタマイズ」

- ✎ 管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で設定した内容により、画面に表示される「分類」と「自由入力項目」の内容が異なります。
- ✎ 機器情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。



[32] [OK] をタップします。

⇒ キットニングおよびライセンス認証が完了しました。以下に進んでください。

🏠 「端末にユーザーを割り当てる」181 ページ



6.5 端末にユーザーを割り当てる

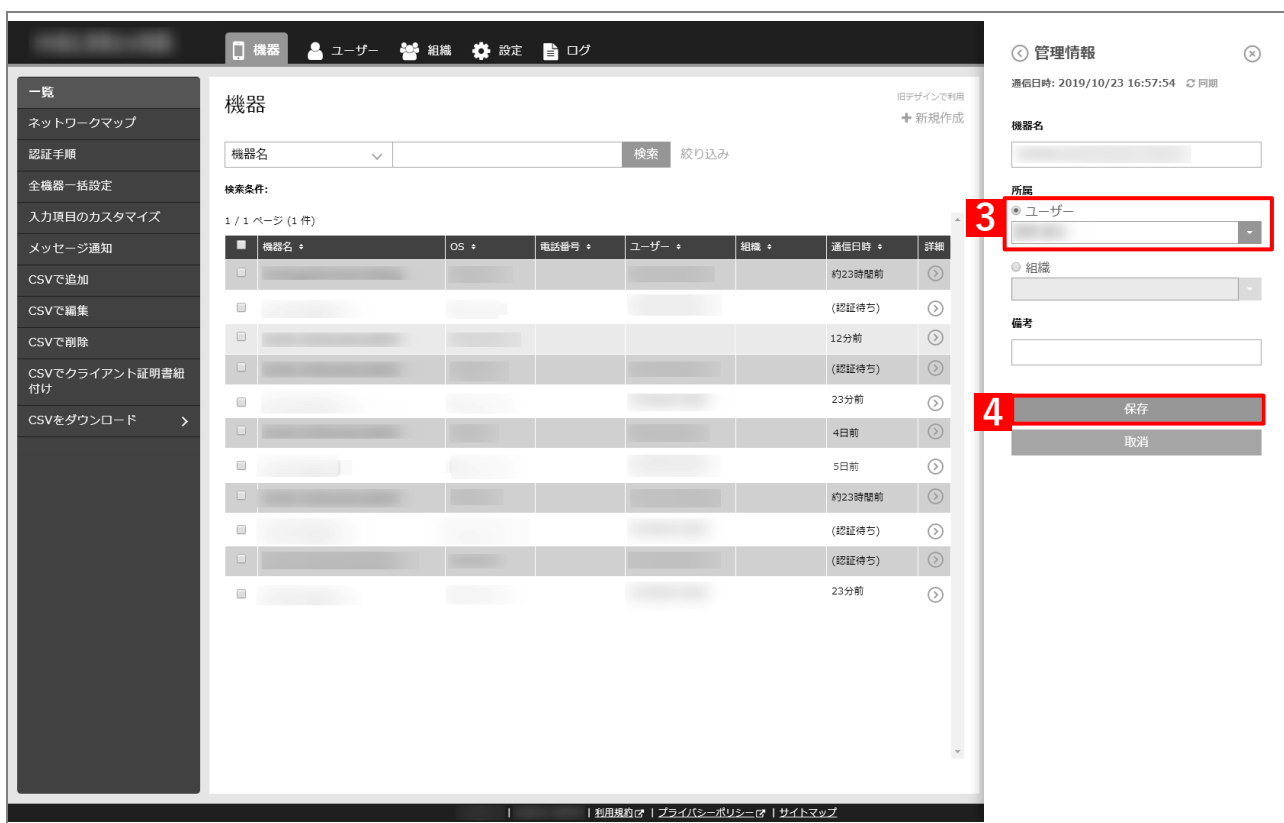
以下の手順で、「ユーザーを作成する」で作成したユーザーを対象端末に割り当てます。

- [1]** [機器] → [一覧] → 一覧から対象端末をクリックします。
- [2]** [管理情報の編集] をクリックします。

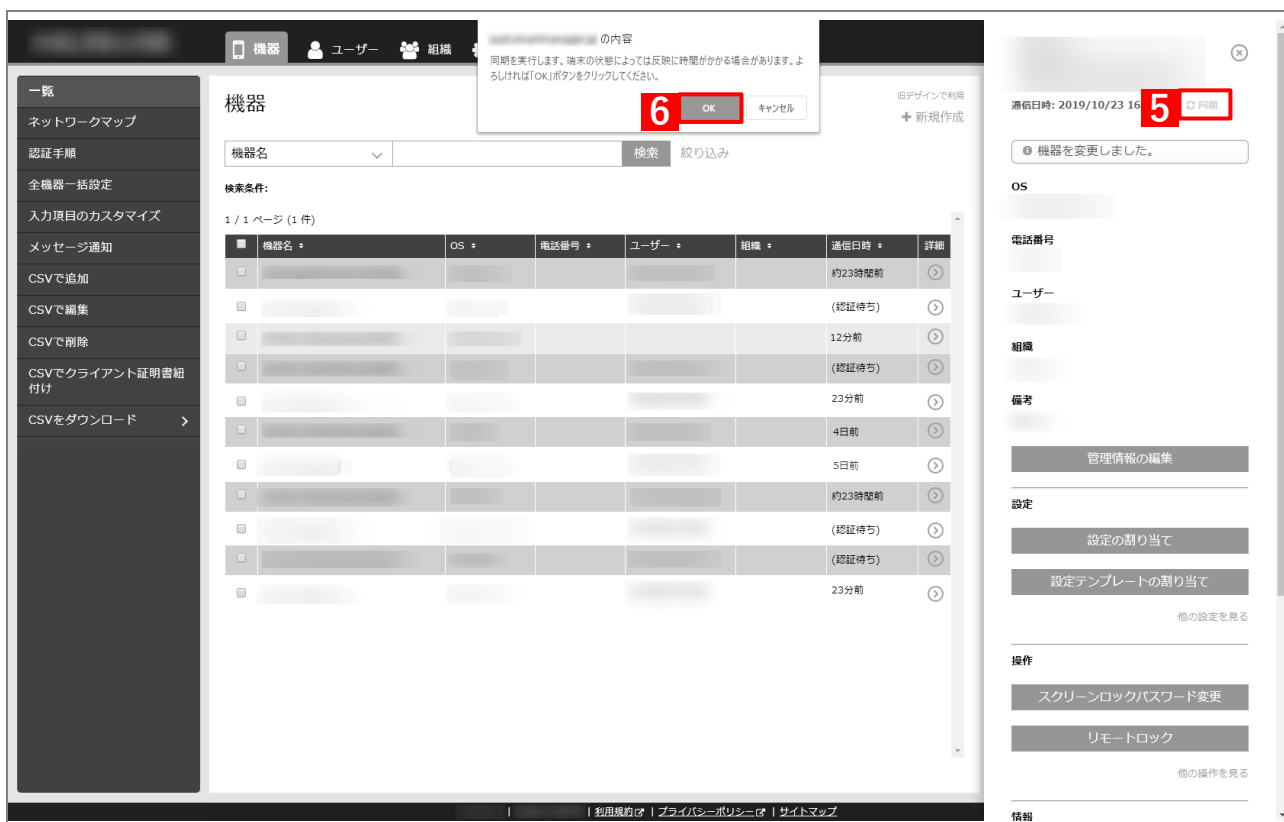
The screenshot shows the '機器' (Devices) page in the console. The left sidebar contains navigation options like '一覧' (List), 'ネットワークマップ' (Network Map), and '認証手順' (Authentication Steps). The main area displays a table of devices with columns for '機器名' (Device Name), 'OS', '電話番号' (Phone Number), 'ユーザー' (User), '組織' (Organization), '通信日時' (Communication Date/Time), and '詳細' (Details). A red box labeled '1' highlights a row in the table. The right sidebar shows user information and management options, with a red box labeled '2' highlighting the '管理情報の編集' (Edit Management Information) button.

機器名	OS	電話番号	ユーザー	組織	通信日時	詳細
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	約23時間前	ⓘ
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	ⓘ
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	12分前	ⓘ
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	ⓘ
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	23分前	ⓘ
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	4日前	ⓘ
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	5日前	ⓘ
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	約23時間前	ⓘ
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	ⓘ
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	ⓘ
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	23分前	ⓘ

- [3]** 「所属」の「ユーザー」を選択し、プルダウンメニューから「ユーザーを作成する」で選択したユーザーを指定します。
- [4]** [保存] をクリックします。



- [5]** [同期] をクリックします。
 - [6]** [OK] をクリックします。
- ⇒端末にユーザーが割り当てられます。



6.6 ゼロタッチ登録サーバーに同期する

以下の手順でゼロタッチ登録サーバーとの同期を行い、管理サイトに端末の情報を表示させます。

- ☑ ネットワークに接続しないでキッティングを行った端末は、ゼロタッチ登録サーバーと同期すると初期化されます。必ずネットワークに接続してキッティングを行った端末で、ゼロタッチ登録サーバーと同期してください。
- ✎ 事前に各機能の設定を登録しておく、キッティングと同時に端末に機能が割り当てられます。機能の設定方法は、以下を参照してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」

[1] [設定] → [Android] → [ゼロタッチ登録] → [機器一覧] をクリックします。

[2] [ゼロタッチ登録サーバ同期] をクリックします。

- ☑ ゼロタッチ機器一覧で表示されたゼロタッチ端末は、機器画面の機器一覧で、認証待ち機器として表示されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」 - 「一覧」 - 「機器一覧」

- ☑ ゼロタッチ機器一覧では、機器の削除はできないので、機器画面の機器一覧から削除してください。機器画面の機器一覧で削除したら、ゼロタッチ機器一覧からも削除されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」 - 「一覧」 - 「機器の個別削除」

- ☑ 機器画面からゼロタッチ端末の新規作成は行わないでください。

✎ (A) [IMEI/シリアル番号] をクリックすると、機器画面の機器一覧が表示されます。

IMEI / シリアル番号	ユーザー名	メーカー	ゼロタッチ登録設定更新日時	ゼロタッチ登録サーバ同期日時
XXXXXXXXXX	user1	Samsung	2018/10/18 11:32	2018/10/18 11:32
XXXXXXXXXX	user1	Samsung	2018/10/18 11:32	2018/10/18 11:32
XXXXXXXXXX	user1	Samsung	2018/10/18 11:32	2018/10/18 11:32
XXXXXXXXXX	user1	Samsung	2018/10/18 11:32	2018/10/18 11:32
XXXXXXXXXX	user1	Samsung	2018/10/18 11:31	2018/10/18 11:31
XXXXXXXXXX	user1	Samsung	2018/10/18 11:31	2018/10/18 11:31
XXXXXXXXXX	user1	Samsung	2018/10/18 11:31	2018/10/18 11:31

7 Google Workspace アカウントでゼロタッチ登録を利用して Android Enterprise 連携を行う

ゼロタッチ登録とは、エージェントのキッティング方法の1つです。この方法ではキッティング手順が省略化され、大規模な端末の導入を簡単かつ迅速に行うことができます。ゼロタッチ登録端末には、エージェントが自動的に Device Owner Mode としてインストールされるため、よりセキュアな端末管理が可能です。


ゼロタッチサーバーとの連携を行うと、自動的に本製品の機器一覧に事前機器として端末が表示されます。これらの端末にあらかじめ設定ポリシーを割り当ててからアクティベーションすると、すぐに設定が適用されます。


注意

- ゼロタッチ登録の詳細については、以下を参照してください。

 https://www.android.com/intl/ja_jp/enterprise/management/zero-touch/


- ゼロタッチ登録専用アカウントについては、端末の購入元にお問い合わせください。
- モバイルネットワークが利用できるゼロタッチ登録に対応した端末を、事前に用意してください。Wi-Fi 専用端末は、本製品に対応していません。
- 以下の項目は、初回のキッティング時のみ必要な操作です。

 「トークンを発行する」185 ページ

 「Google Workspace アカウントを登録する」191 ページ

参考

- あらかじめ管理サイトで Android Enterprise の「アプリケーション配信」機能を設定しておく、キッティングの完了後、ライセンス認証と同時に特定のアプリを端末に配信できます。アプリケーション配信の詳細については、以下を参照してください。

 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』の「アプリをインストールする」

7.1 トークンを発行する

以下の手順で、Google Workspace アカウントを利用して本製品と Google 間の連携設定を行います。

- [1] Google 管理コンソール (<https://admin.google.com>) を表示します。**
- [2] [アプリ] をクリックします。**



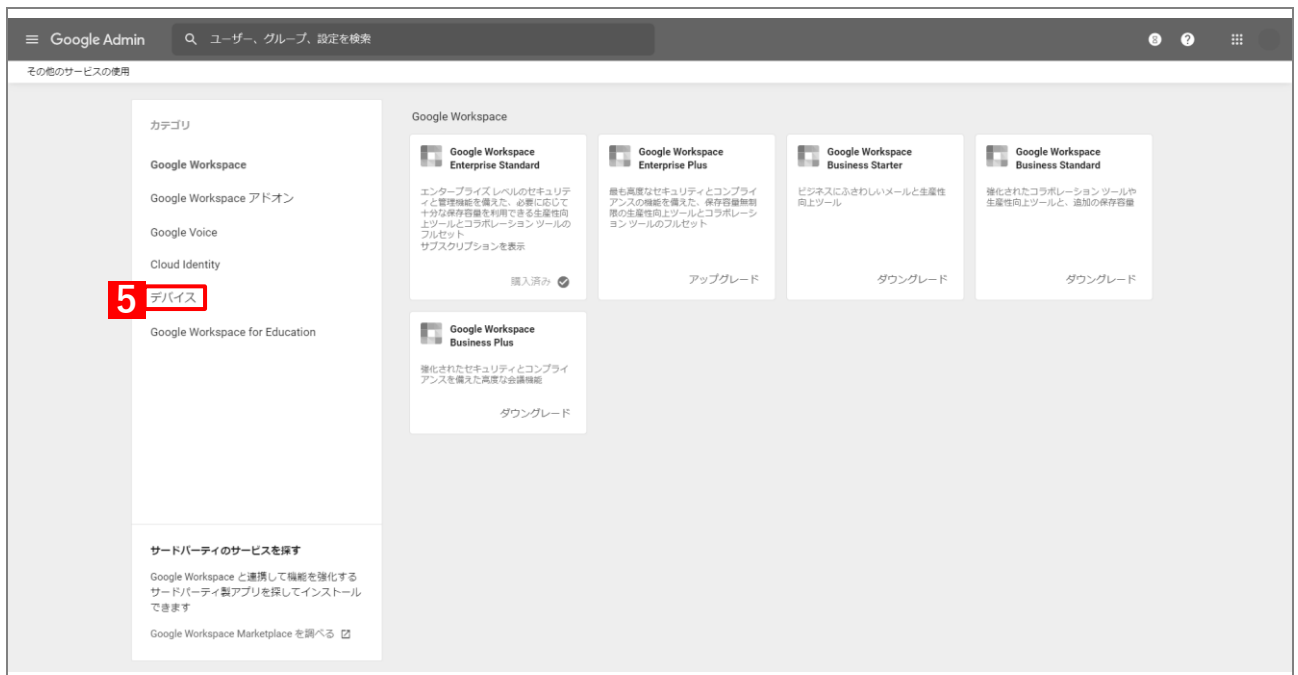
- [3] [Google Workspace] をクリックします。**



[4] [サービスを追加] をクリックします。

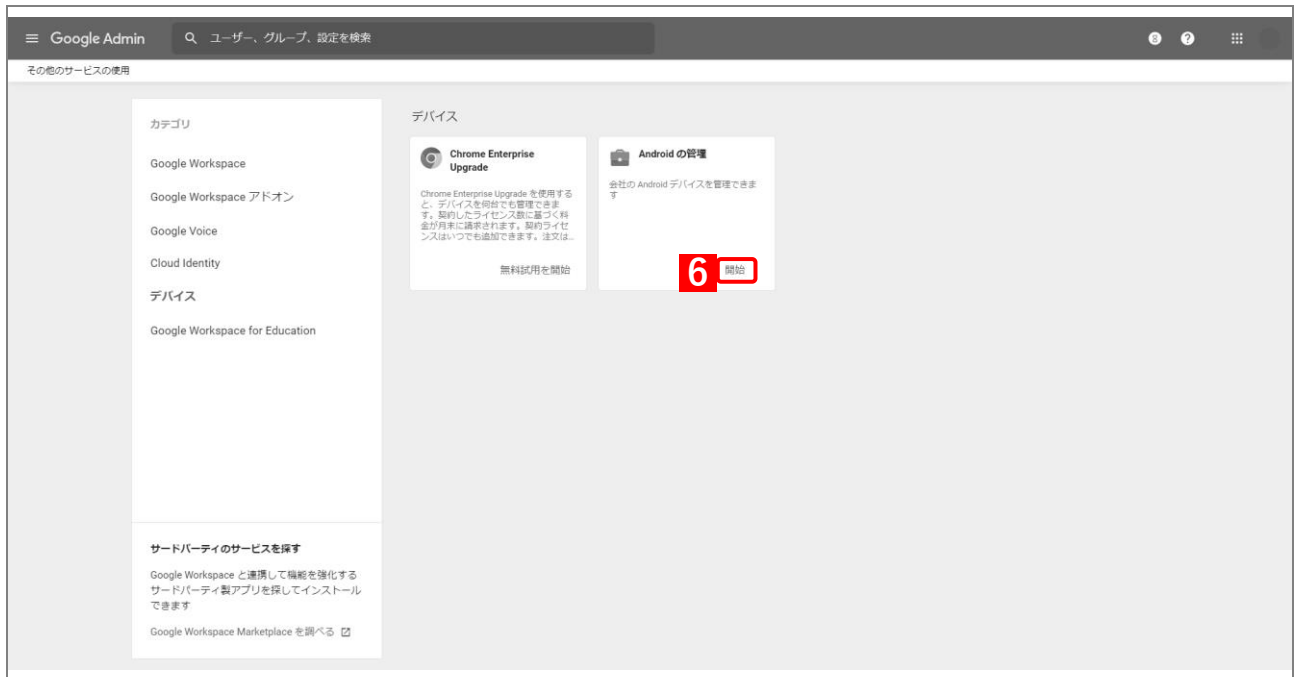


[5] [デバイス] をクリックします。



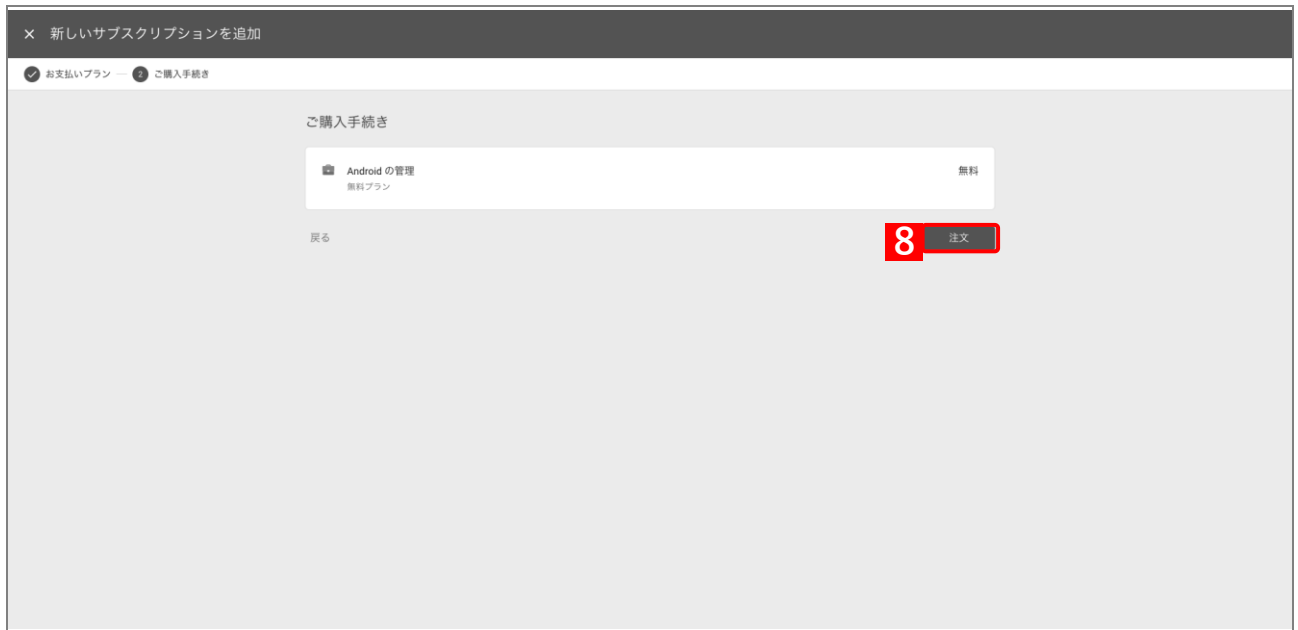
[6] 「Android の管理」の「開始」をクリックします。

📌 本操作により、料金が発生することはありません。

**[7]** 「ご購入手続き」をクリックします。

【8】 [注文] をクリックします。

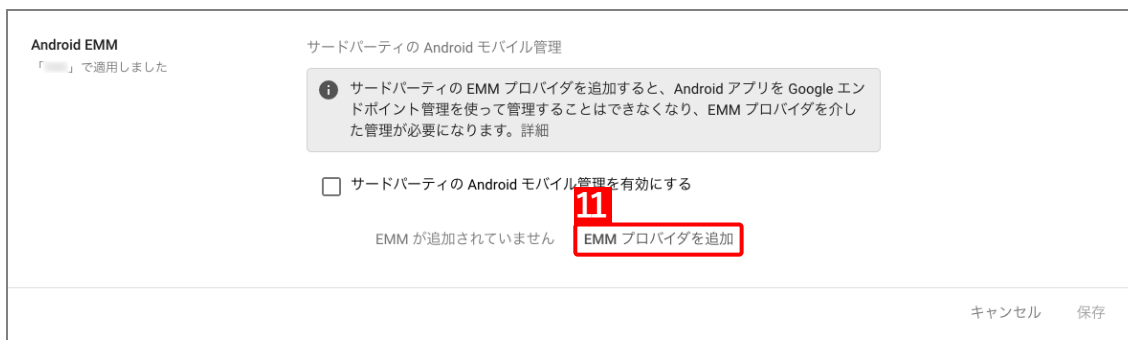
⇒管理コンソールが表示されます。

**【9】 [デバイス] をクリックします。**

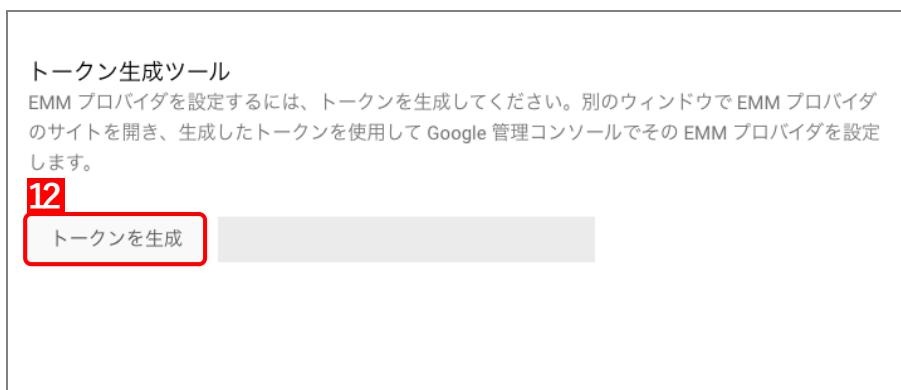
【10】 [モバイルとエンドポイント] → [設定] → [サードパーティとの連携] をクリックします。



【11】 [Android EMM] の [EMM プロバイダを追加] をクリックします。



【12】 [トークンを生成] をクリックします。



【13】 トークンが表示されます。アカウント登録に必要となりますのでメモしてください。

トークン生成ツール

EMM プロバイダを設定するには、トークンを生成してください。別のウィンドウで EMM プロバイダのサイトを開き、生成したトークンを使用して Google 管理コンソールでその EMM プロバイダを設定します。

トークンを生成 **13** コピー

このトークンは、30 日が経過した時点、またはプロバイダの設定に使用された時点で失効します

【14】 「Android EMM」の「サードパーティの Android モバイル管理を有効にする」にチェックを入れます。**【15】 「保存」をクリックします。**

Android EMM
「」で適用しました

サードパーティの Android モバイル管理

14 サードパーティの Android モバイル管理を有効にする

EMM プロバイダの管理

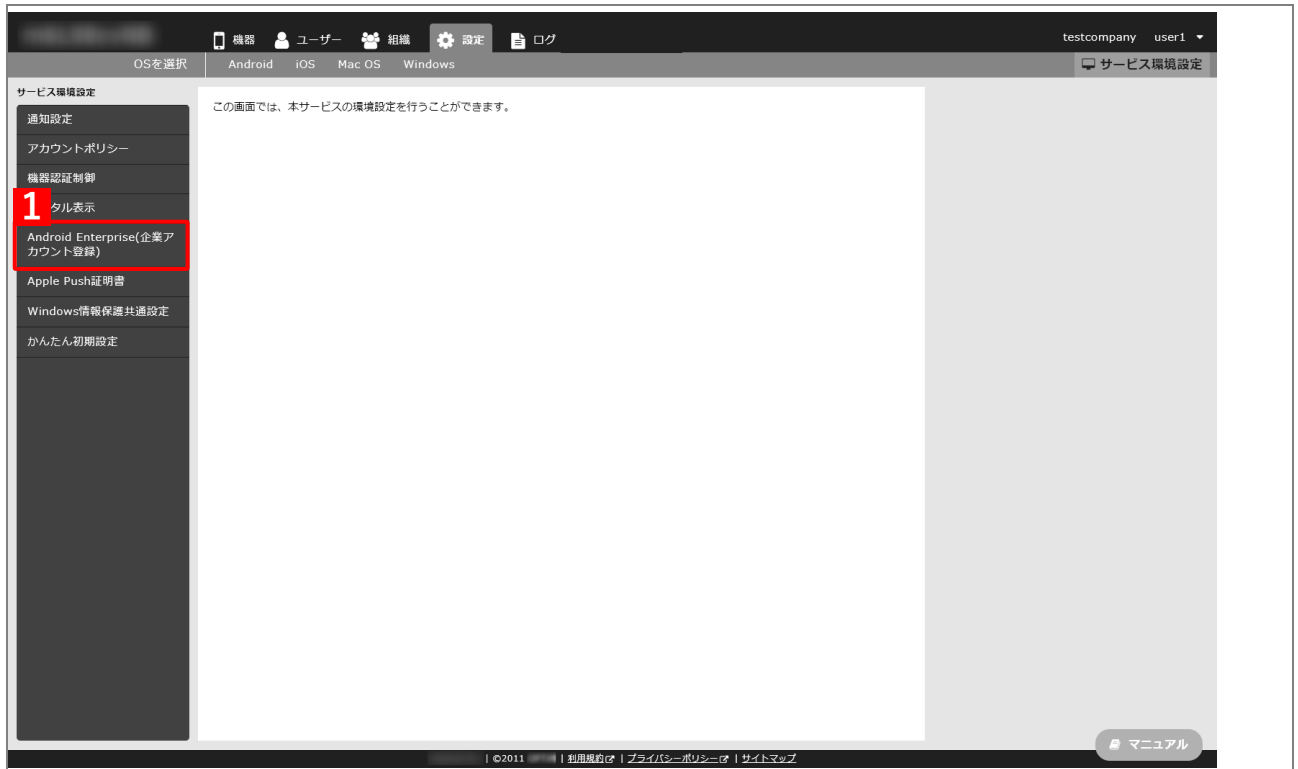
未保存の変更が 1 件あります キャンセル **15**

7.2 Google Workspace アカウントを登録する

以下の手順で、管理サイトに Google Workspace アカウントを登録します。

- ☑ Google Workspace アカウントを登録後は、Google 側の設定変更は行わないでください。
- ☑ Google Workspace 標準の「モバイル管理機能」を使っていた場合はモバイル管理機能の「端末」情報を削除してください。

- [1]** [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise (企業アカウント登録)] をクリックします。



[2] 「Google Workspace アカウント」を選択します。

✎ 「アカウント種別」の初期値は「Google Workspace アカウント」が選択されています。

✎ (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

[3] <https://play.google.com/work/termservice> にアクセスして、利用規約に同意します。**[4] 「ドメイン」、「EMM トークン」を入力します。**

✎ 「ドメイン」には、契約している Google Workspace アカウントのドメインを入力してください。
Google Workspace アカウントが「XXXXX@xxxx.co.jp」の場合は、ドメインは「xxxx.co.jp」になります。

[5] [アカウント登録] をクリックします。

⇒ アカウント登録済みの画面が表示されます。

The screenshot shows the 'Android Enterprise(企業アカウント登録)' screen. It includes a status indicator '(A) 状態 未登録', a warning about security settings, account type selection with 'Google Workspaceアカウント' selected (callout 2), a URL 'https://play.google.com/work/termservice' (callout 3), input fields for 'ドメイン' and 'EMMトークン' (callout 4), and a red 'アカウント登録' button (callout 5).

- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 手順【4】で入力した「ドメイン」、「EMM トークン」が表示されています。
- ✎ (C) 「組織ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意的識別子が表示されています。

(A) Android Enterprise(企業アカウント登録)

状態
登録済

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別
Google Workspaceアカウント

(B) ドメイン
[Redacted]
EMMトークン
[Redacted]

(C) 組織ID
[Redacted]

▲ Google Workspaceアカウント連携をご利用の方は、特権管理者アカウントで Google Workspaceにログイン後、下記URLへアクセスし規約に同意してください。
<https://play.google.com/work/termsofservice>

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleの Android Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。

同意する

アカウント削除

7.3 Google API の認証設定を行う

管理サイトから Google アカウントを会社用メールアドレスに関連付け、JSON ファイルの作成と認証を行います。

- 🔗 ゼロタッチ端末を Google Workspace アカウントで利用する場合は、本製品と Google Workspace アカウントの連携設定が必要です。Google API の認証設定後に Google Workspace アカウントの連携設定はできません。そのため、必ずあらかじめ以下の操作を行ってください。

🔗 「トークンを発行する」185 ページ

🔗 「Google Workspace アカウントを登録する」191 ページ

7.3.1 メールアドレスを Google アカウントとして登録する

会社または組織用のメールアドレスを Google アカウントとして利用できます。

- 🔗 管理対象端末全台分を行う必要はありません。管理用のメールアドレスを1つ用意してください。管理者個人のメールアドレスではなく、管理担当部署のメーリングリストなどを推奨します。
- 🔗 利用する Google アカウントがすでにブラウザに登録されている場合は、本操作は不要です。

- [1] [設定] → [Android] → [ゼロタッチ登録] → [利用登録] をクリックします。
- [2] [Google アカウント登録] をクリックします。

The screenshot shows the 'Android 設定' (Android Settings) page in the Google Workspace Admin console. The left sidebar has a red box around the '利用登録' (Use Google Account) option, with a red '1' next to it. The main content area shows step 1: 'Googleアカウントと会社・組織用メールアドレスを関連付ける' (Link Google account and company/organization email address). A red box highlights the 'Googleアカウント登録' (Link Google account) link, with a red '2' next to it. The page includes instructions on how to link a Google account and download JSON files for API authentication.

[3] Google アカウント作成画面が表示されます。

「姓」「名」「メールアドレス」「パスワード」「パスワードの確認」を入力します。

✎ 「メールアドレス」には、企業ドメインのメールアドレスを入力してください。

✎ (A) [代わりに Gmail アカウントを作成] をクリックすると、Gmail アカウントで作成することになりますので、クリックはしないでください。必ず現在のメールアドレスで作成してください。

[4] [次へ] をクリックします。

Google
Google アカウントの作成

3 姓 名

メールアドレス
このメールアドレスがご自身のものであることの確認が必要になります。
代わりに Gmail アカウントを作成 (A)

パスワード パスワードの確認
半角英字、数字、記号を組み合わせて 8 文字以上で入力してください

代わりにログイン 4 次へ

1つのアカウントで Google のすべてのサービスをご利用いただけます。

[5] 「コードを入力」に、手順 [3] で入力したメールアドレス宛に送られた確認コードを入力します。**[6] [確認] をクリックします。**

Google
メールアドレスの確認

宛てにお送りした確認コードを入力してください。見つからない場合は、迷惑メールフォルダをご確認ください。

5 コードを入力

戻る 6 確認

【7】 「電話番号」「生年月日」「性別」を入力します。

【8】 [次へ] をクリックします。

Google
Google へようこそ

7 電話番号 (省略可)

Google では、アカウントのセキュリティ保護に電話番号を使用します。電話番号が他のユーザーに公開されることはありません。

年 月 日
生年月日

性別

個人情報是非公開であり、安全です

この情報が必要な理由

戻る 8 次へ

【9】 利用規約を確認して、[同意する] をクリックします。

Google
プライバシー ポリシーと利用規約

また Google では、こうした目的を達成するため、Google のサービスやお使いの端末全体を通じてデータを統合します。アカウントの設定内容に応じて、たとえば検索や YouTube を利用した際に得られるユーザーの興味や関心の情報に基づいて広告を表示したり、膨大な検索クエリから収集したデータを使用してスペル訂正モデルを構築し、すべてのサービスで使用したりすることがあります。

設定はご自身で管理いただけます
アカウントの設定に応じて、このデータの一部はご利用の Google アカウントに関連付けられることがあります。Google はこのデータを個人情報として取り扱います。Google がこのデータを収集して使用する方法は、下の [その他の設定] で管理できます。設定の変更や同意の取り消しは、アカウント情報 (myaccount.google.com) でいつでも行えます。

その他の設定


キャンセル 9 同意する

Google が収集するデータやそのデータの用途は、ユーザーが管理できます

【10】 以下の画面が表示されたら、登録が完了です。

7.3.2 ゼロタッチポータルにログインする

登録した Google アカウントを端末の購入元に連絡し、ゼロタッチポータルにログインできるように依頼します。

 詳細については、端末の購入元にお問い合わせください。

7.3.3 利用規約に同意する

ゼロタッチポータルにログインして、利用規約に同意してください。

[1] [ゼロタッチポータル] をクリックします。

The screenshot shows the 'Android 設定' (Android Settings) page. The left sidebar contains navigation options like '管理アプリの通信と動作', '設定テンプレート', '設定バックアップ', 'セキュリティ', 'アプリケーション', 'インターネット', '便利機能', '証明書管理', 'Zone Management', 'Device Owner Mode', 'ゼロタッチ登録', '利用登録', '機器一覧', and 'Samsung Knox'. The main content area is titled 'Android 設定' and contains several numbered steps:

- 1. Googleアカウントと会社・組織用メールアドレスを関連付ける**
会社・組織用のメールアドレスをGoogleアカウントとして利用できるよう、関連付けを行います。以下のリンクより、登録を行ってください。
[Googleアカウント登録](#)
※ 管理対象端末全台分を行う必要はありません。管理用のメールアドレスを1つ用意し、関連付けを行ってください。
※ Google Workspaceアカウントをご利用、もしくは既に関連付けを行っている場合は不要です。
- 2. ゼロタッチポータルにログインできるようにする**
ゼロタッチ対応端末の購入元から、ゼロタッチポータルログイン情報を入手し、1.で作成したメールアドレスでログインできるようにしてください。
詳細な手順は端末購入元にご確認ください。
- 3. ゼロタッチポータルにログインし、利用規約に同意する**
以下のリンクよりゼロタッチポータルにログインし、利用規約に同意してください。
1. [ゼロタッチポータル](#)
- 4. API設定及びJSONファイルのダウンロードを行う**
以下のリンクからGoogle APIsにアクセスし、Android Device Provisioning Partner APIの登録を行います。
[Android Device Provisioning Partner APIの登録](#)
登録後、JSONファイルをダウンロードします。
詳細な手順は以下のマニュアルをご覧ください。
* [Androidキッティングマニュアル](#)
- 5. JSONファイルをアップロードする**
4.でダウンロードしたJSONファイルをアップロードします。
JSONファイル選択
[ファイルを選択](#) 選択されていません
JSONファイルを作成する際にポータルにログインしたアカウントのメールアドレスをお忘れにならないよう、以下のGoogleアカウントメールアドレス欄に入力してください。
Googleアカウントメールアドレス

[アカウント登録](#)

At the bottom of the page, there is a footer with '©2011', '利用規約', 'プライバシーポリシー', and 'サイトマップ'. A 'マニュアル' button is also visible in the bottom right corner.

[2] 登録した Google アカウントを選択します。

The screenshot shows the 'Google アカウントの選択' (Select Google Account) screen. The screen displays a list of accounts with the following options:

- 2** (highlighted in a red box) ログアウトしました
- ログアウトしました
- 別のアカウントを使用

At the bottom of the screen, there is a link for 'アカウントを削除' (Remove account).

[3] 「I accept the Terms of Service.」にチェックを入れます。

[4] [同意する] をクリックします。

Terms of Service

Android Zero Touch End Customer Agreement

1.1 Services Use. Subject to this Agreement, during the Term, you, the Customer may: (a) use the Services, and (b) use any Software provided by Google as part of the Services. Customer may not sublicense or transfer these rights except as permitted under the Assignment section of the Agreement

1.2 Console. Google will provide the Services to Customer. As part of receiving the Services, Customer will have access to the Admin Console, through which Customer may administer the Services.

1.3 Facilities. All facilities used to store and process an Application and Customer Data will adhere to reasonable security standards no less protective than the security standards at facilities where Google processes and stores its own information of a similar type. Google has implemented at least industry standard systems and procedures to (i) ensure the security and confidentiality of an Application and Customer Data, (ii) protect against anticipated threats or hazards to the security or integrity of an Application and Customer Data, and (iii) protect against unauthorized access to or use of an Application and Customer Data.

.....
immediately. If Customer does not agree to the revised Agreement, please stop using the Services. Google will

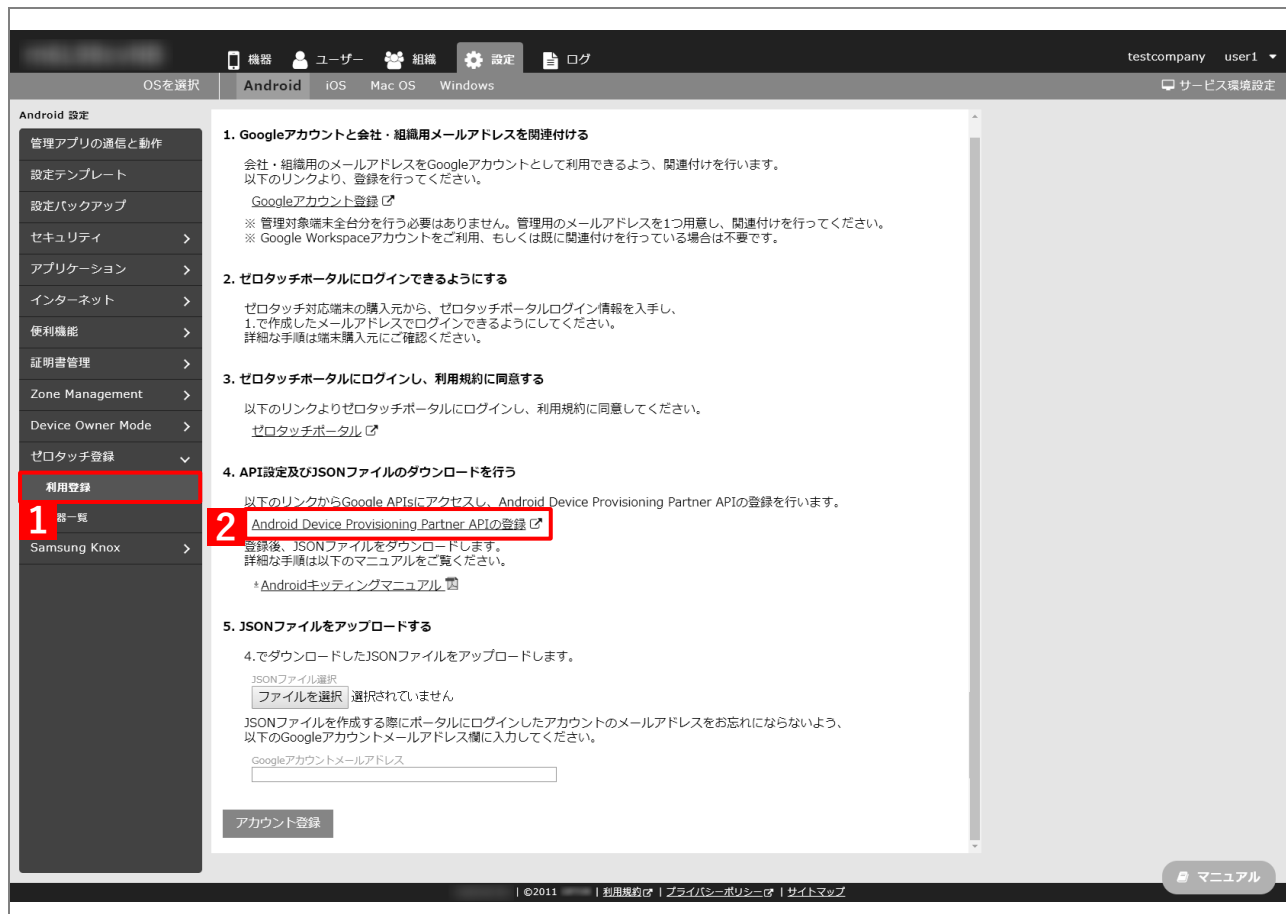
3 I accept the Terms of Service.

4

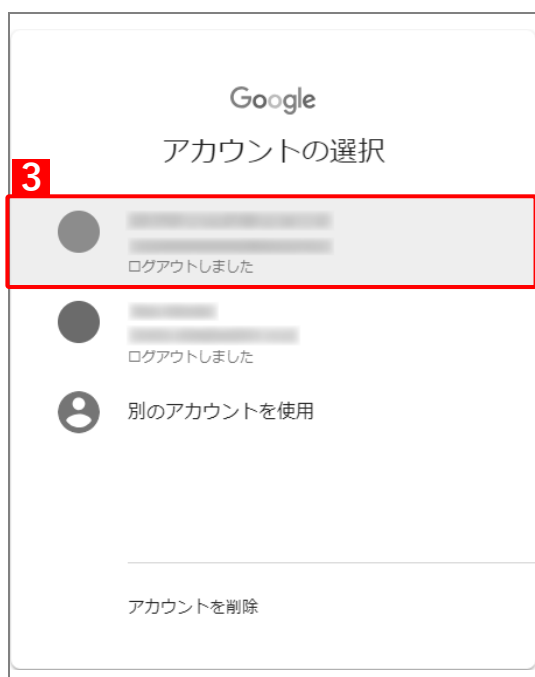
7.3.4 API 設定および JSON ファイルのダウンロードを行う

Google Cloud Platform で Android Device Provisioning Partner API の登録を行い、JSON ファイルをダウンロードします。

- [1]** [設定] → [Android] → [ゼロタッチ登録] → [利用登録] をクリックします。
- [2]** [Android Device Provisioning Partner API の登録] をクリックします。



- [3]** 関連付けした「メールアドレス」を選択します。



- 【4】** 初回ログイン時のみ、利用規約に同意画面が表示されます。利用規約にチェックを入れます。
- 【5】** [同意して続行] をクリックします。

 **Google Cloud Platform**

■■■■■■ へようこそ

Google Cloud Platform のインスタンス、ディスク、ネットワークなどのリソースを 1 か所で作成し、管理します。

国

日本 ▼

4 利用規約

私は、Google Cloud Platform の利用規約、および適用されるサービスと API の利用規約に同意します。

最新情報をメールで通知

Google Cloud や Google Cloud パートナーから、ニュース、サービスの最新情報、各種キャンペーンに関するメールを定期的に受信することを希望します。

5 同意して続行

- 【6】** Google Cloud Platform 画面が表示されます。任意の「プロジェクト名」を入力します。

Google Cloud Platform

プロジェクトとリソースの検索

新しいプロジェクト

▲ 割り当て内の残りのプロジェクト数は 12 projects 件です。プロジェクトの増加をリクエストするか、プロジェクトを削除してください。 [詳細](#)

MANAGE QUOTAS

6 プロジェクト名 *

プロジェクト ID: ■■■■■■■■。後で変更することはできません。 [編集](#)

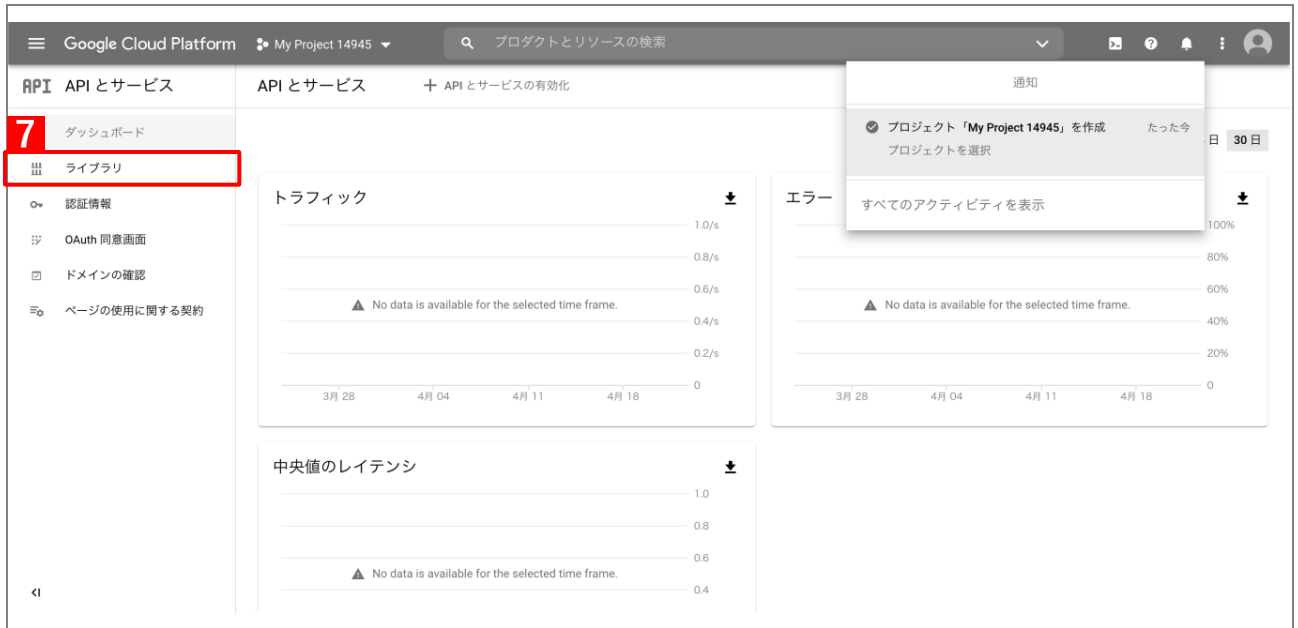
場所 *

助 組織なし [参照](#)

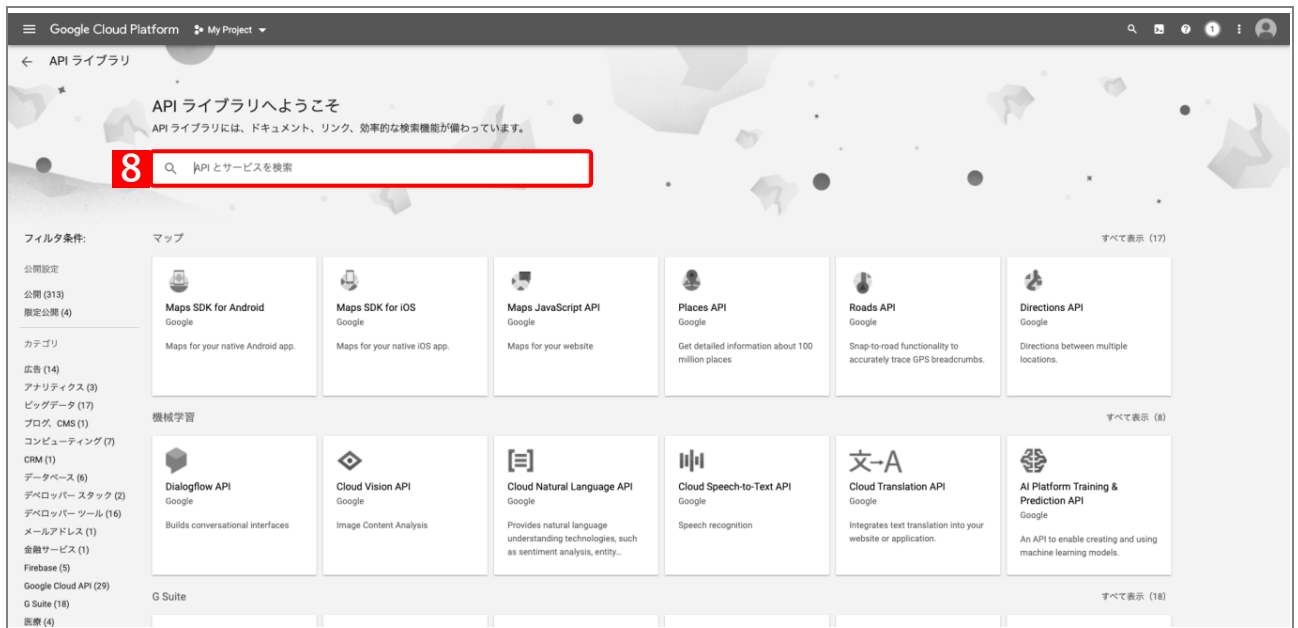
親組織またはフォルダ

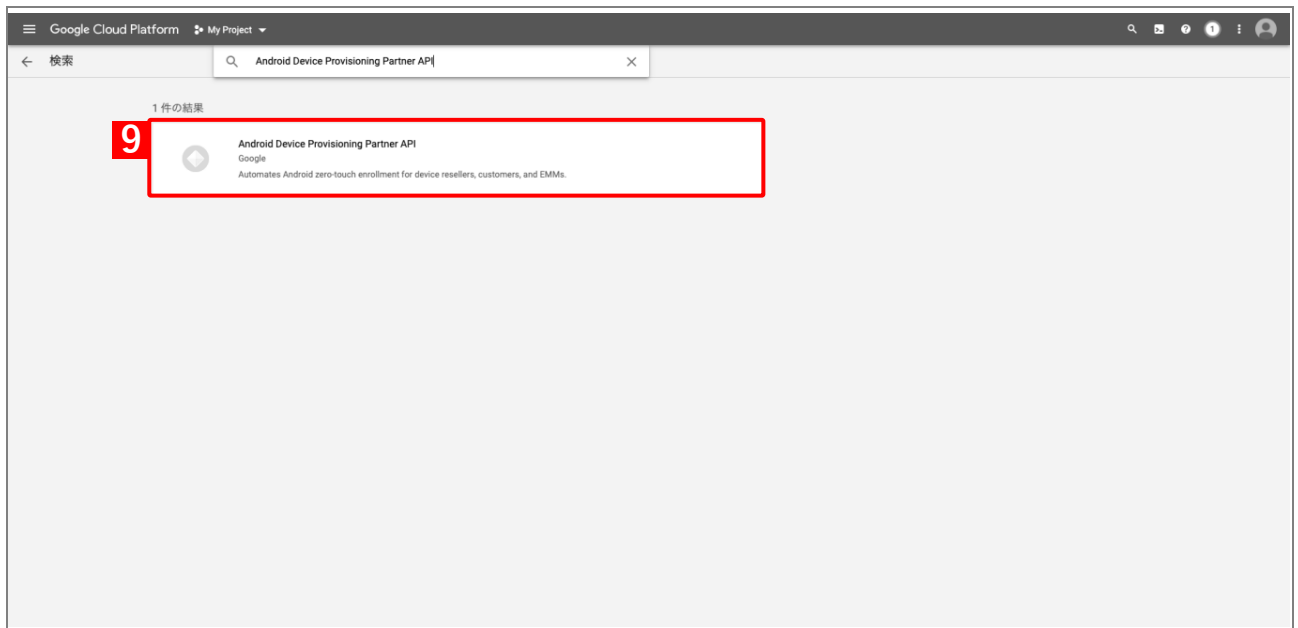
作成 キャンセル

[7] [ライブラリ] をクリックします。

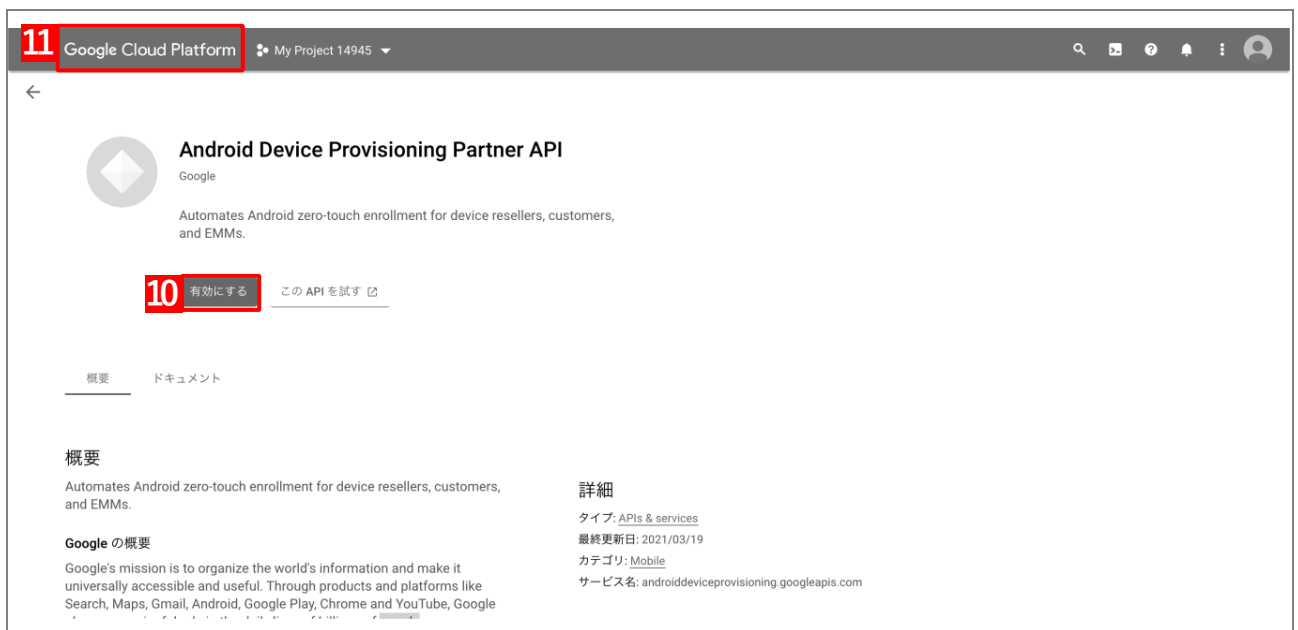


[8] 「API とサービス検索」に「Android Device Provisioning Partner API」と入力し、検索します。



【9】 表示結果の [Android Device Provisioning Partner API] をクリックします。**【10】** [有効にする] をクリックします。

⇒ Android Device Provisioning Partner API が有効になります。

【11】 [Google Cloud Platform] をクリックします。

【12】 [認証情報] をクリックします。

The screenshot shows the Google Cloud Platform console for the 'Android Device Provisioning Partner API'. The left sidebar has a red box around the '認証情報' (Authentication Information) tab with the number 12. The main content area has a warning message: 'この API を使用するには、認証情報が必要になる可能性があります。開始するには、[認証情報を作成] をクリックしてください。' (To use this API, authentication information may be required. To get started, click [Create authentication information]). A button '認証情報を作成' (Create authentication information) is visible. Below the warning is a '詳細' (Details) section with the following information:

- 名前: Android Device Provisioning Partner API
- 提供者: Google
- サービス名: androiddeviceprovisioning.googleapis.com
- 概要: Automates Android zero-touch enrollment for device resellers, customers, and EMMs.
- 有効化のステータス: 有効

There is also a 'レスポンス コード別のトラフィック' (Traffic by response code) chart showing '要求数/秒 (2 時間の平均)' (Requests per second (2-hour average)). The chart shows a message: 'No data is available for the selected time frame.' The x-axis shows dates: 3月 28, 4月 04, 4月 11, 4月 18. The y-axis shows values from 0 to 1.0/s.


【13】 [同意画面を構成] をクリックします。

The screenshot shows the '認証情報' (Authentication Information) page. At the top, there are buttons for '+ 認証情報を作成' (Create authentication information) and '削除' (Delete). Below this is a section titled 'この API と互換性のある認証情報' (Authentication information compatible with this API). A warning message says: '必ず、アプリケーションに関する情報を使用して OAuth 同意画面を構成してください。' (Always configure the OAuth consent screen using information about your application). A red box with the number 13 highlights the '同意画面を構成' (Configure consent screen) button.

Below the warning are two sections:

- OAuth 2.0 クライアント ID**: A table with columns '名前' (Name), '作成日 ↓' (Created), '種類' (Type), and 'クライアント ID' (Client ID). Below the table, it says '表示する OAuth クライアントがありません' (No OAuth clients to display).
- サービス アカウント**: A table with columns 'メール' (Email) and '名前 ↑' (Name). Below the table, it says '表示するサービス アカウントがありません' (No service accounts to display). A link 'サービス アカウントを管理' (Manage service accounts) is visible on the right.


【14】 [作成] をクリックします。

-  (A) 「User Type」を選択する必要はありません。「User Type」の詳細については、Google にお問い合わせください。


OAuth 同意画面

アプリをどのように構成および登録するか（ターゲット ユーザーを含む）を選択します。プロジェクトに関連付けることができるアプリは1つだけです。

(A) User Type

内部 


組織内のユーザーのみが使用できます。検証を受けるためにアプリを送信する必要はありません。

外部 

Google アカウントを持つすべてのテストユーザーが使用できます。アプリはテストモードで起動し、アプリを使用できるのは、テストユーザーのリストに追加されたユーザーに限られます。アプリを本番環境に移す準備ができたなら、アプリの確認が必要となる場合があります。

14
作成

Google の OAuth に関する [ご意見やご要望をお聞かせください](#)。

- 【15】** 「アプリ名」に「SMSM」と入力します。
- 【16】** 「ユーザーサポートメール」をクリックして、メールアドレスを選択します。
- 【17】** 「承認済みドメイン」に「smartmanager.jp」と入力して、キーボードの [Enter] キーを押します。
-  [Enter] キーを押したあと、自動的にドメイン名が変更される場合があります。
- 【18】** 「デベロッパーの連絡先情報」にメールアドレスを入力します。
- 【19】** 「保存して次へ」をクリックします。

アプリ登録の編集

1 OAuth 同意画面 — 2 スコープ — 3 テストユーザー — 4 概要

アプリ情報

この情報は同意画面に表示されるため、デベロッパーのユーザー情報とデベロッパーへの問い合わせ方法をエンドユーザーが把握できます。

15 同意を求めるアプリの名前

16 ユーザーが同意に関して問い合わせるために使用

参照

ユーザーがアプリを認識できるように、同意画面に 1 MB 以下の画像をアップロードします。使用できる画像形式は、JPG、PNG、BMP です。最適な結果を得るには、ロゴを 120 x 120 ピクセルの正方形にすることをおすすめします。

アプリのドメイン

デベロッパーとユーザーを保護するために、Google では、OAuth を使用するアプリのみに認可ドメインの使用を許可しています。同意画面では、次の情報がユーザーに表示されます。

ホームページへのリンクをユーザーに提供します

一般公開のプライバシー ポリシーへのリンクをユーザーに提供します

一般公開の利用規約へのリンクをユーザーに提供します

17 **承認済みドメイン** ?

同意画面または OAuth クライアントの構成でドメインが使用されている場合は、ここで事前登録する必要があります。アプリの検証が必要な場合は、Google Search Console にアクセスして、ドメインが承認済みであるかどうかを確認してください。承認済みドメインの上限の詳細をご覧ください。

デベロッパーの連絡先情報

18 これらのメールアドレスは、プロジェクトの変更について Google からお知らせするために使用します。

19

【20】 [保存して次へ] をクリックします。

📌 スコープの追加は、不要です。

アプリ登録の編集

スコープとは、アプリのユーザーに許可を求める権限を表します。スコープを定めることで、プロジェクトからユーザーの Google アカウントにある特定の種類のプライベートなユーザーデータへのアクセスが可能になります。 [詳細](#)

スコープを追加または削除

🔒 制限付きのスコープ

制限付きのスコープとは、機密性の高いユーザーデータへのアクセスをリクエストするスコープです。

API ↑	範囲	ユーザー向けの説明
表示する行がありません		

20 保存して次へ キャンセル

【21】 [保存して次へ] をクリックします。

📌 テストユーザーの追加は、不要です。

アプリ登録の編集

👍 OAuth 同意画面 — 👍 スコープ — **3** テストユーザー — **4** 概要

テストユーザー

公開ステータスが「テスト中」に設定されている間は、テストユーザーのみがアプリにアクセスできます。アプリの確認前の許可済みユーザー数の上限は 100 で、この上限はアプリの全期間でカウントされます。 [詳細](#)

+ ADD USERS

☰ 表をフィルタリング ?

⚠️ 悪用を防ぐために、ユーザーは追加できても削除できません

ユーザー情報

表示する行がありません

21 保存して次へ キャンセル

[22] 設定内容を確認して、**[ダッシュボードに戻る]** をクリックします。



[23] OAuth 同意画面が表示されます。**[アプリを公開]** をクリックします。



【24】 メッセージを確認して、「確認」をクリックします。

本番環境に push しますか？

Google アカウントを持つすべてのユーザーがアプリを使用できるようにします。

検証を受けるためにアプリを送信する必要はありません。10 個以上のドメインの追加、ロゴのアップロード、プライベートまたは制限されたスコープのリクエストなど、今後アプリの構成を変更する場合は、検証を受けるために送信する必要があります。

キャンセル
24
確認

【25】 公開ステータスが「本番環境」になっていることを確認します。

【26】 「認証情報」をクリックします。

【27】 「認証情報を作成」をクリックします。

【28】 「OAuth クライアント ID」を選択します。

- [29]** 「アプリケーションの種類」のプルダウンメニューから、「ウェブアプリケーション」を選択します。
- [30]** 任意で「名前」を入力します。
- [31]** 「承認済みリダイレクト URI」の [URI を追加] をクリックします。

← OAuth クライアント ID の作成

クライアント ID は、Google の OAuth サーバーで個々のアプリを識別するために使用します。アプリが複数のプラットフォームで実行される場合、それぞれに独自のクライアント ID が必要になります。詳しくは、[OAuth 2.0 の設定](#)をご覧ください。

29 アプリケーションの種類 *
ウェブアプリケーション

OAuth クライアントの種類については[こちら](#)をご覧ください

30 名前 *
ウェブクライアント 1

OAuth 2.0 クライアントの名前。この名前はコンソールでクライアントを識別するためにのみ使用され、エンドユーザーには表示されません。

i 下で追加する URI のドメインは、[OAuth 同意画面に承認済みドメイン](#)として自動で追加されます。

承認済みの JavaScript 生成元 **?**
ブラウザからのリクエストに使用します

+ URI を追加

承認済みのリダイレクト URI **?**
ウェブサーバーからのリクエストに使用します


URI

https://www.example.com **🗑**

31 + URI を追加

作成 キャンセル

【32】 「URI」に「https://ausl.smartmanager.jp/company1/android_emm_zero_touch_auth/callback」と入力します。(※「company1」に当たる部分には、企業コードを入力してください。)

 警告メッセージが表示された場合は、手順【17】で「承認済みドメイン」を正しく入力しているか確認してください。

【33】 「作成」をクリックします。

← OAuth クライアント ID の作成


クライアント ID は、Google の OAuth サーバーで個々のアプリを識別するために使用します。アプリが複数のプラットフォームで実行される場合、それぞれに独自のクライアント ID が必要になります。詳しくは、[OAuth 2.0 の設定](#)をご覧ください。


アプリケーションの種類 *
ウェブアプリケーション

OAuth クライアントの種類については[こちら](#)をご覧ください


名前 *
ウェブクライアント 1

OAuth 2.0 クライアントの名前。この名前はコンソールでクライアントを識別するためにのみ使用され、エンドユーザーには表示されません。

 下で追加する URI のドメインは、[OAuth 同意画面に承認済みドメイン](#)として自動で追加されます。

承認済みの JavaScript 生成元 
ブラウザからのリクエストに使用します

+ URI を追加

承認済みのリダイレクト URI 
ウェブサーバーからのリクエストに使用します

32 URI

+ URI を追加

33 作成 キャンセル

7.3.5 JSON ファイルをアップロードする

Google APIs でダウンロードした JSON ファイルを管理サイトにアップロードし、機器情報を登録します。

- [1]** [設定] → [Android] → [ゼロタッチ登録] → [利用登録] をクリックします。
- [2]** [ファイル選択] をクリックし、ダウンロードした JSON ファイルを選択します。
- [3]** 「Google アカウントメールアドレス」を入力します。
- [4]** [アカウント登録] をクリックします。

Android 設定

管理アプリの通信と動作
設定テンプレート
設定バックアップ
セキュリティ
アプリケーション
インターネット
便利機能
証明書管理
Zone Management
Device Owner Mode
ゼロタッチ登録
利用登録
1 器一覧
Samsung Knox

1. Googleアカウントと会社・組織用メールアドレスを関連付ける
会社・組織用のメールアドレスをGoogleアカウントとして利用できるよう、関連付けを行います。
以下のリンクより、登録を行ってください。
[Googleアカウント登録](#)
※ 管理対象端末全台分を行う必要はありません。管理用のメールアドレスを1つ用意し、関連付けを行ってください。
※ Google Workspaceアカウントをご利用、もしくは既に関連付けを行っている場合は不要です。

2. ゼロタッチポータルにログインできるようにする
ゼロタッチ対応端末の購入元から、ゼロタッチポータルログイン情報を入手し、1で作成したメールアドレスでログインできるようにしてください。
詳細な手順は端末購入元にご確認ください。

3. ゼロタッチポータルにログインし、利用規約に同意する
以下のリンクよりゼロタッチポータルにログインし、利用規約に同意してください。
[ゼロタッチポータル](#)

4. API設定及びJSONファイルのダウンロードを行う
以下のリンクからGoogle APIsにアクセスし、Android Device Provisioning Partner APIの登録を行います。
[Android Device Provisioning Partner APIの登録](#)
登録後、JSONファイルをダウンロードします。
詳細な手順は以下のマニュアルをご覧ください。
[* Androidキックティングマニュアル](#)

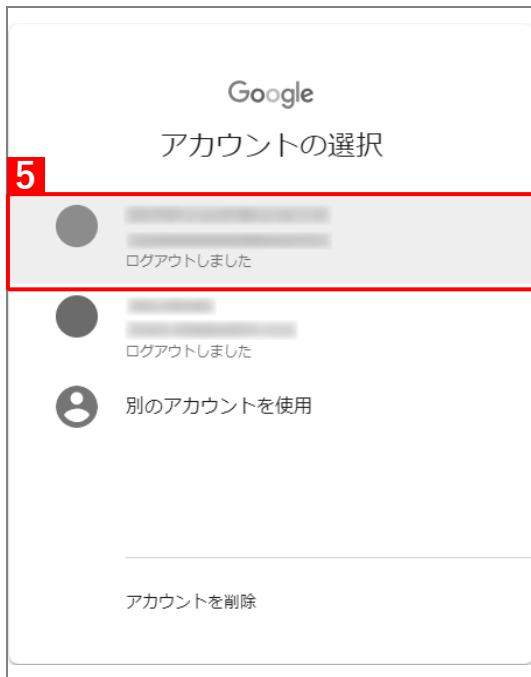
5. JSONファイルをアップロードする
4.でダウンロードしたJSONファイルをアップロードします。
[JSONファイル選択](#)
2 **ファイルを選択** 選択されていません
JSONファイルを作成する際にポータルにログインしたアカウントのメールアドレスをお忘れにならないよう、以下のGoogleアカウントメールアドレス欄に入力してください。
3 Googleアカウントメールアドレス
4 **アカウント登録**

©2011 | 利用規約 | プライバシーポリシー | サイトマップ

マニュアル

**【5】 Google のログイン画面にリダイレクトします。
登録した Google アカウントを選択します。**

⇒警告画面が表示されます。



【6】 [詳細] をクリックします。

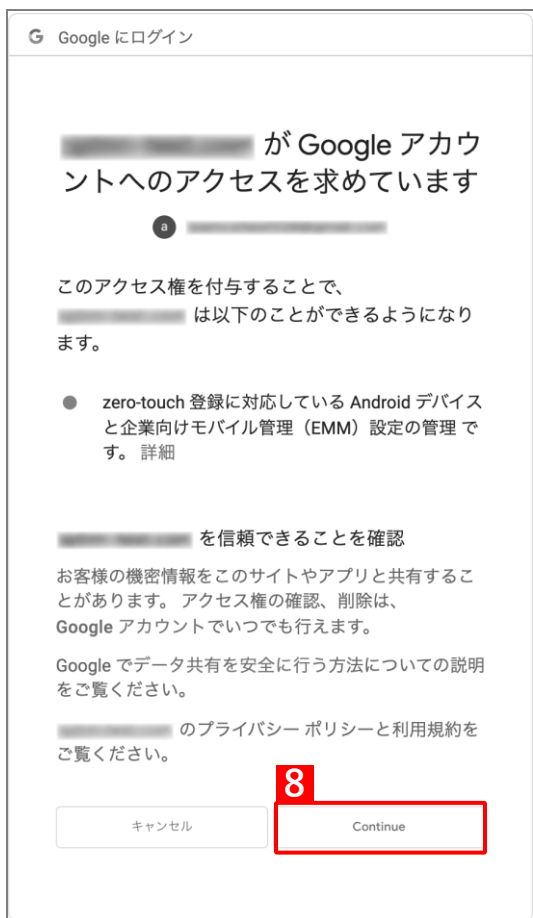


【7】 [ドメイン (安全でないページ) に移動] をクリックします。

🔗 Google アカウントが「XXXXX@xxxx.co.jp」の場合は、ドメインに「xxxx.co.jp」と表示されます。



The screenshot shows a warning dialog box with a black triangle icon containing a white exclamation mark. The text reads: "このアプリは Google で確認されていません" (This app is not verified by Google). Below this, it explains that the app is requesting access to private Google account information and that the user should not use it until verified. A button labeled "安全なページに戻る" (Return to safe page) is visible. At the bottom, there is a link "7 [ドメイン (安全でないページ) に移動]" (7 [Move to domain (unsafe page)]), which is highlighted with a red box.

【8】 [continue] をクリックします。

The screenshot shows a Google login screen titled "Google にログイン" (Log in to Google). The main heading is "が Google アカウントへのアクセスを求めています" (is requesting access to your Google account). Below this, it states that by granting access, the user can perform certain actions. A list of permissions is shown, including "zero-touch 登録に対応している Android デバイスと企業向けモバイル管理 (EMM) 設定の管理" (Management of Android devices and EMM settings compatible with zero-touch enrollment). At the bottom, there are two buttons: "キャンセル" (Cancel) and "Continue", with the "Continue" button highlighted by a red box and a red "8" in the top-left corner.

【9】 設定登録を行います。[新規作成] をクリックします。

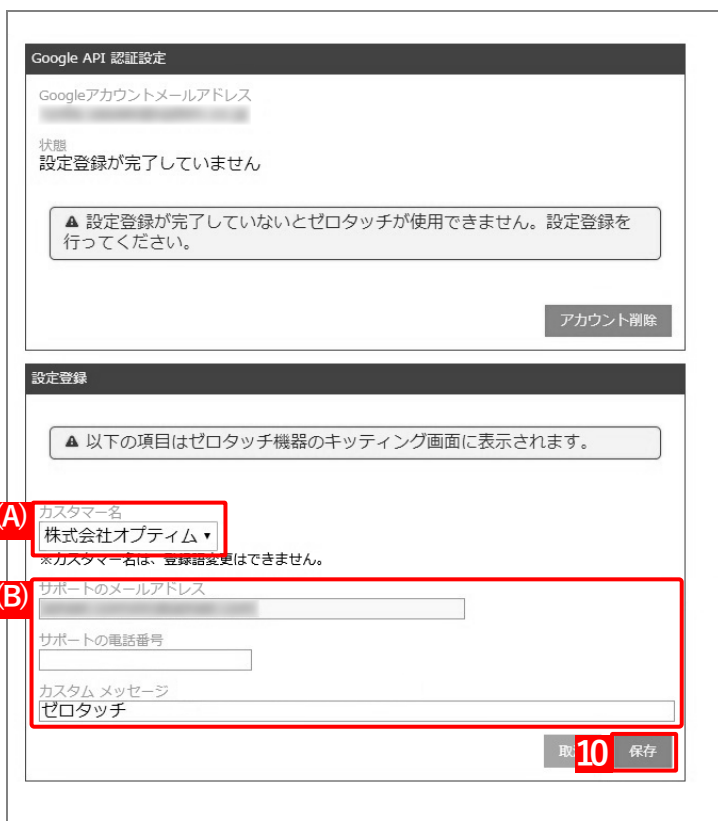
☑ 設定登録を行わないと、ゼロタッチ端末の同期処理ができません。(B)「状態」に「設定登録が完了していません」と表示されます。

✎ (A)「Google アカウントメールアドレス」には、手順【4】で選択した Google アカウントが表示されます。



【10】 [保存] をクリックします。

✎ (A)「カスタマー名」は変更できません。(B)「サポートのメールアドレス」「サポートの電話番号」「カスタムメッセージ」は設定登録時にゼロタッチポータルで設定した内容が表示されます。変更する場合は、変更内容を入力してください。



【11】 設定登録を行うと、利用登録画面が以下のように表示されます。

⇒ (A) 「状態」に「使用可」と表示されます。

✎ アカウント削除する場合は、(B) [アカウント削除] をクリックします。

✎ 設定登録時にゼロタッチポータルで設定した内容が表示されます。変更する場合は、(C) [編集] をクリックします。ただし、(D) 「カスタマー名」は変更できません。

Google API 認証設定

Googleアカウントメールアドレス

(A) 状態
使用可

(B) アカウント削除

設定登録

(D) カスタマー名
Optim

サポートのメールアドレス

サポートの電話番号

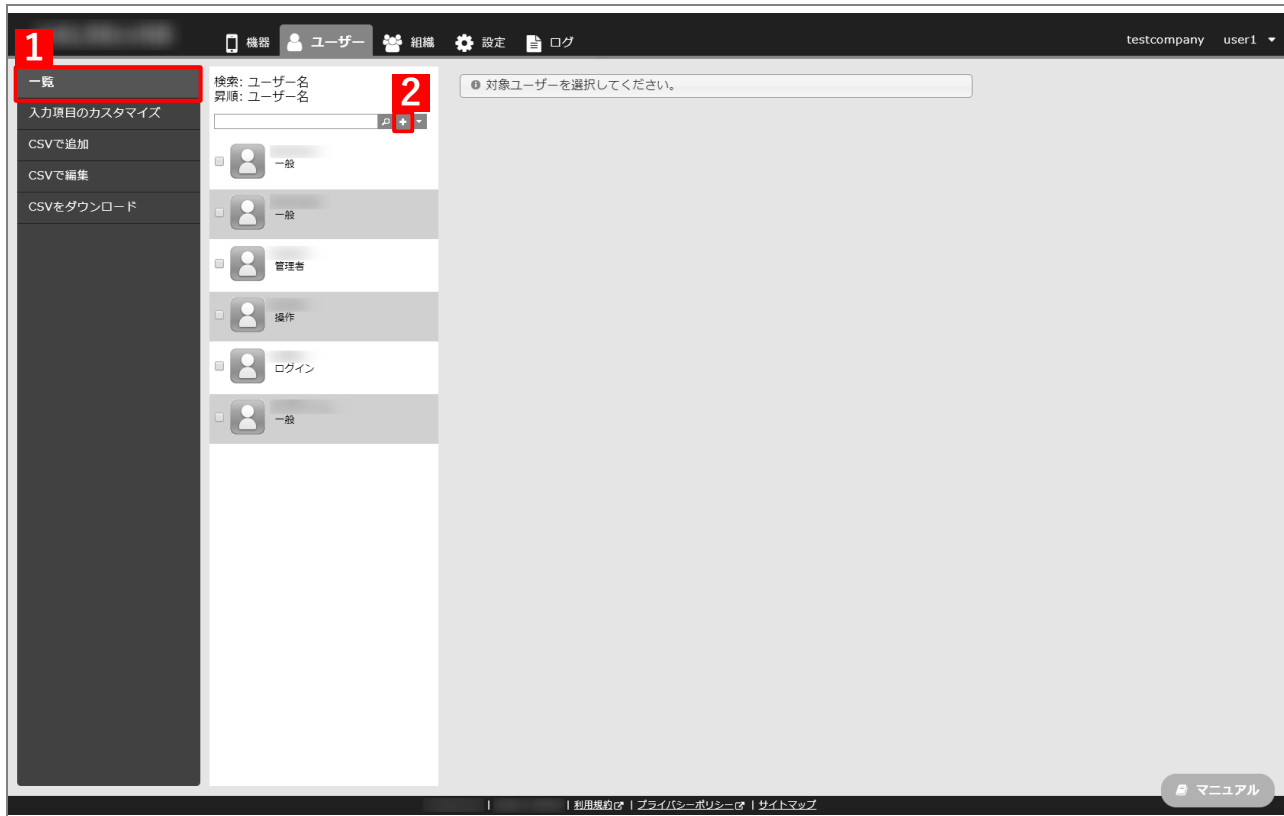
カスタム メッセージ

(C) 編集


7.4 ユーザーを作成する

以下の手順で、ユーザーを作成します。

- [1]** [ユーザー] → [一覧] をクリックします。
- [2]** **+** をクリックします。



[3] 「名前」に任意の名前を入力します。

 その他の入力および設定項目の詳細については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「ユーザー」 - 「一覧」 - 「ユーザーの作成」

[4] 「保存」をクリックします。

⇒ユーザーが作成されます。



管理情報 - 編集

名前 **3**

フリガナ

姓

名

ユーザーID

メールアドレス

ユーザー種別

- 管理者 (全ての操作ができます)
- 操作
- 閲覧者 (変更操作ができません)
- ロック・ワイブ
- ログイン (個別に権限を設定)
- 一般 (ログインできません)

組織

分類

(未分類)

機器認証制限

- 制限なし
- 制限あり 台
- 認証禁止

取消 **4** 保存

パスワード

現在のパスワード

編集

機器

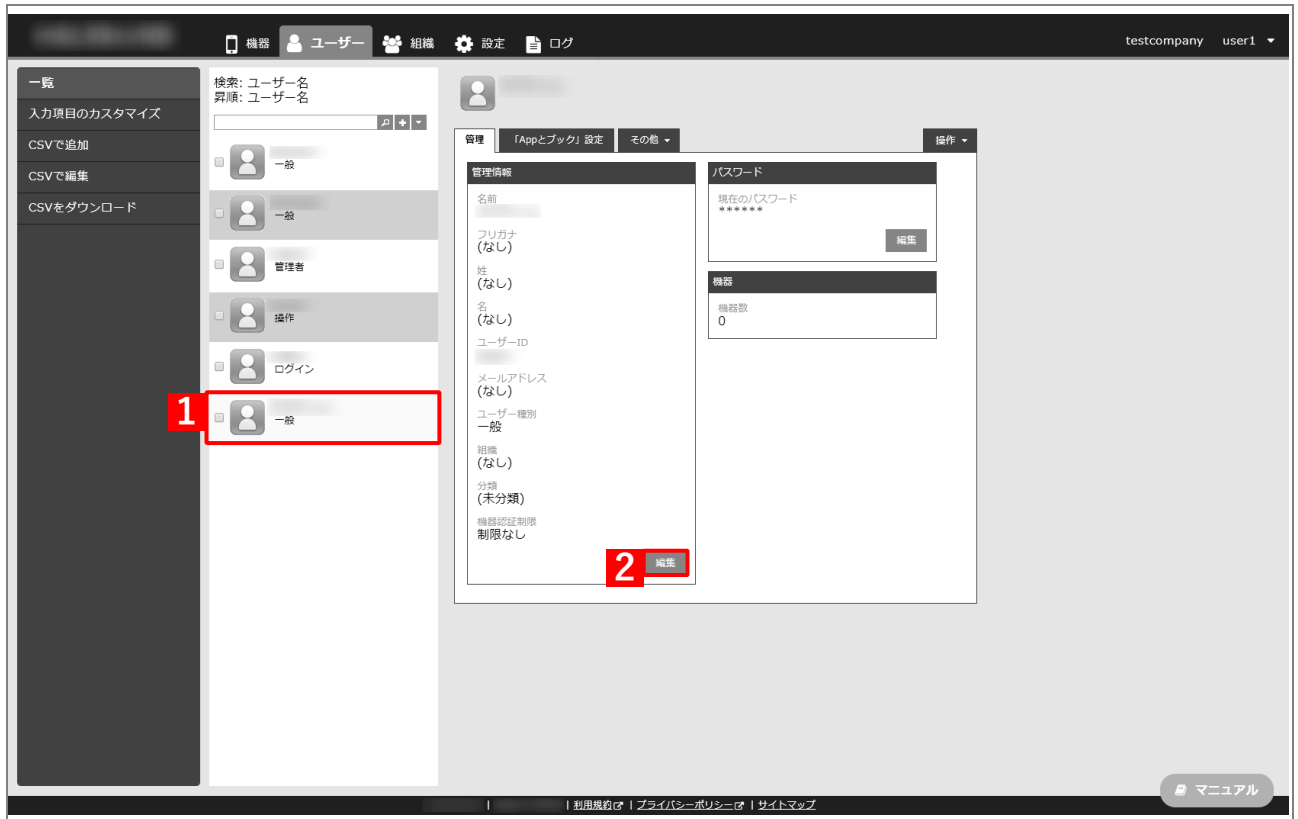
機器数
0

7.4.1 既存のユーザーに Google Workspace アカウントを登録する

既存のユーザーに対して Google Workspace アカウントを登録するには、以下の操作を行います。

🔗 Google Workspace アカウントが登録されていない場合は、キッティング時のライセンス認証に失敗します。

- [1]** [ユーザー] → [一覧] → 一覧から対象ユーザーを選択します。
- [2]** [編集] をクリックします。



【3】 「メールアドレス」 に Google Workspace アカウントを入力します。

【4】 [保存] をクリックします。

⇒ユーザーにメールアドレスが登録されます。

The screenshot shows the '管理情報 - 編集' (Manage Information - Edit) form for a user. The form is divided into several sections:

- 管理情報 - 編集**: Contains fields for Name (名前), Kana (フリガナ), Surname (姓), Given Name (名), User ID (ユーザーID), and Email Address (メールアドレス). The Email Address field is highlighted with a red box and labeled '3'.
- パスワード**: Contains a field for the current password (現在のパスワード) with a '編集' (Edit) button.
- 機器**: Shows the number of devices (機器数) as 0.
- ユーザー種別**: A list of user roles with radio buttons: 管理者 (全ての操作ができます), 操作, 閲覧者 (変更操作ができません), ロック・ワイプ, ログイン (個別に権限を設定), and 一般 (ログインできません).
- 組織**: A dropdown menu for selecting the organization.
- 分類**: A dropdown menu for selecting the category, currently set to '(未分類)'. The dropdown arrow is highlighted with a red box and labeled '4'.
- 機器認証制限**: Radio buttons for device authentication restrictions: 制限なし (selected), 制限あり (with a numeric input field), and 認証禁止.
- Buttons**: '取消' (Cancel) and '保存' (Save) buttons. The '保存' button is highlighted with a red box and labeled '4'.

7.5 ゼロタッチ登録（Google Workspace アカウント利用）でキッティングする

以下の手順で、ゼロタッチ登録による端末のキッティングを行います。

- 管理サイトの「アプリケーション禁止」で「禁止するアプリケーション」、および「アプリケーション非表示」に「Google Play 開発者サービス (com.google.android.gms)」を設定していると、正常にキッティングが完了できない場合があります。以下を参照して、事前に設定を解除してから、キッティングを行ってください。

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「アプリケーション」 - 「アプリケーション禁止」

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「アプリケーション非表示」

- 手順【9】の画面は、機種や OS によって表示されるタイミングが異なる場合があります。

【1】 [始める] をタップします。

- SIM を挿入している場合、モバイルネットワーク接続が開始されます。



【2】 [スキップ] をタップします。

- モバイルネットワークを利用する場合は、SIM を挿入してください。



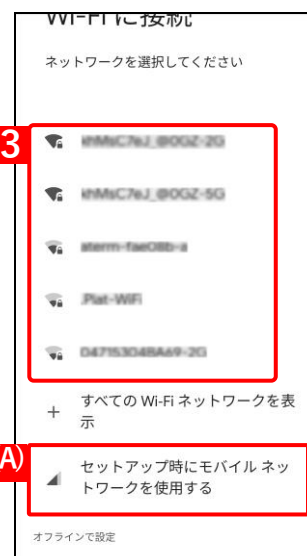
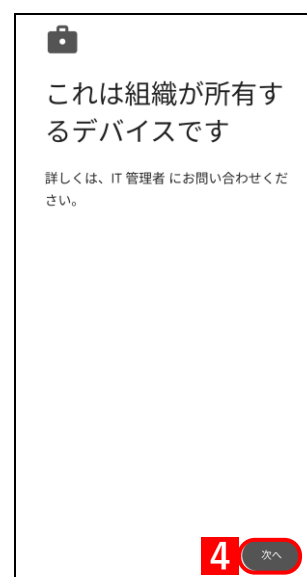
[3] 接続したい Wi-Fi の SSID をタップして、Wi-Fi に接続してください。

⇒ ネットワーク接続が開始されます。

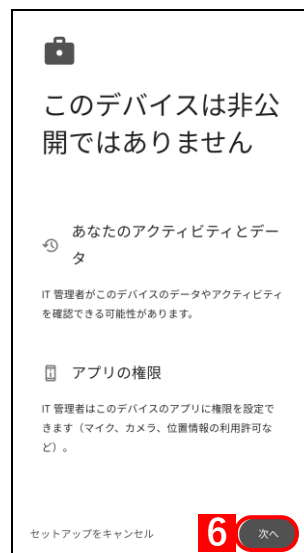
- ❑ 必ずネットワークに接続して、以降の手順を進めてください。ネットワークに接続していない場合は、ゼロタッチ登録サーバーと同期したとき端末が初期化されます。

📄 「ゼロタッチ登録サーバーに同期する」 234 ページ

- ❑ モバイルネットワークを利用する場合は、(A) [セットアップ時にモバイルネットワークを使用する] をタップします。表示されるポップアップのメッセージを確認してください。

**[4] [次へ] をタップします。****[5] [同意して続行] をタップします。**

【6】 [次へ] をタップします。

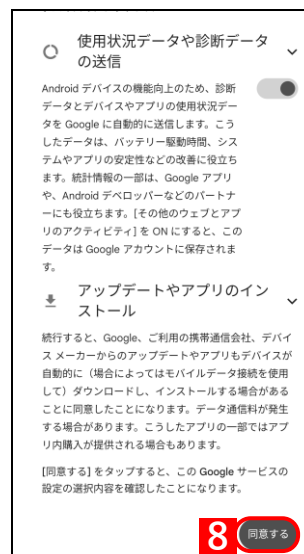


【7】 [もっと見る] をタップします。

📝 端末によっては [もっと見る] が数回表示されます。[同意する] が表示されるまで、[もっと見る] をタップします。



【8】 [同意する] をタップします。



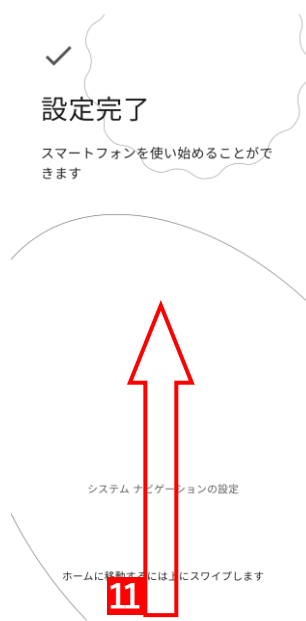
【9】 [OK] をタップします。



【10】 [スキップ] をタップします。

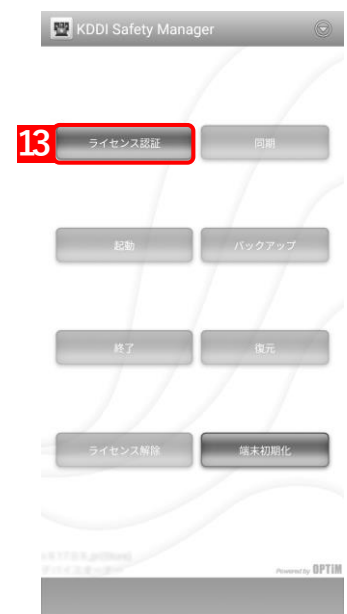


【11】 画面下部からスワイプします。
⇒ ホーム画面に移動します。

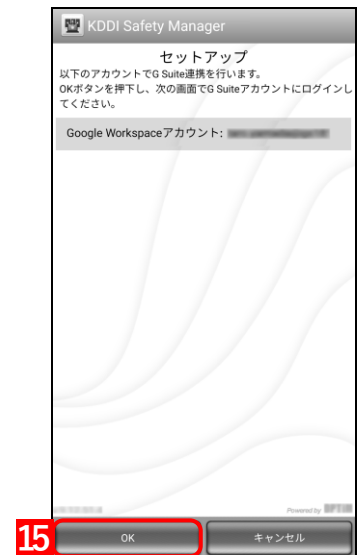


【12】 [KDDI Safety Manager] をタップします。

📌 ホーム画面にアイコンが表示されない場合は、アプリ一覧を確認してください。

**【13】 [ライセンス認証] をタップします。****【14】 [OK] をタップします。**

【15】 [OK] をタップします。

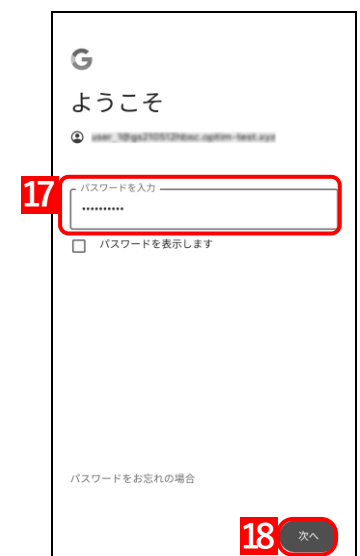


【16】 [次へ] をタップします。




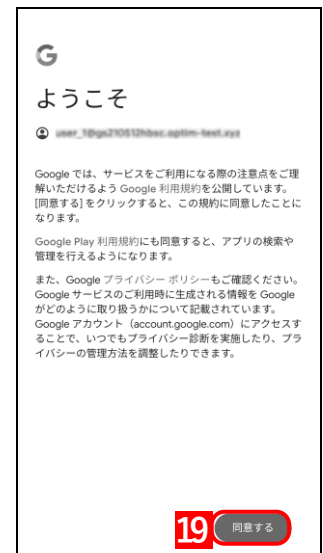
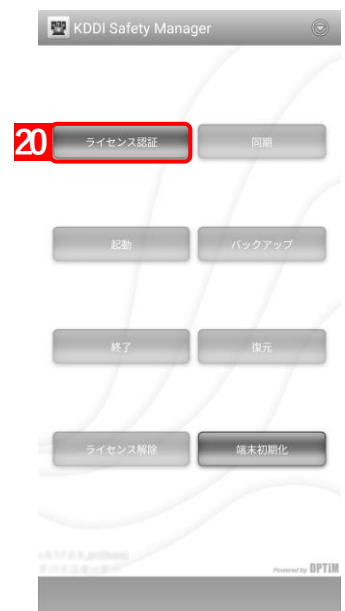
【17】 パスワードを入力します。

【18】 [次へ] をタップします。



【19】 [同意する] をタップします。

 Android 12 の場合は、すでにセットアップされている旨のメッセージが表示されるので、確認してください。

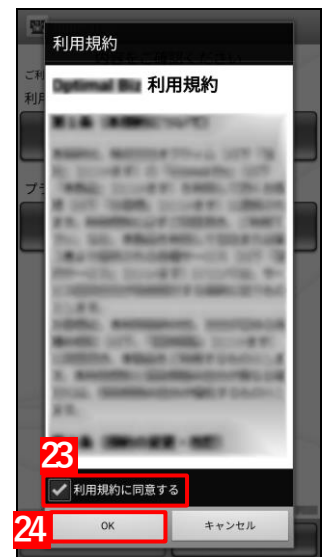
**【20】 [ライセンス認証] をタップします。****【21】 [OK] をタップします。**

【22】 利用規約の [確認・同意] をタップします。



【23】 「利用規約に同意する」にチェックを入れます。

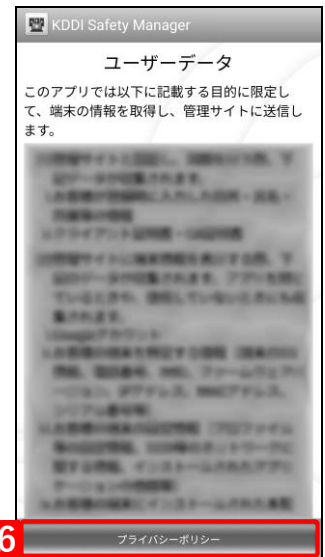
【24】 [OK] をタップします。



【25】 プライバシーポリシーの [確認・同意] をタップします。



- 【26】** ユーザーデータについて確認して、[プライバシーポリシー] をタップします。



- 【27】** 「プライバシーポリシーに同意する」にチェックを入れます。
【28】 [OK] をタップします。

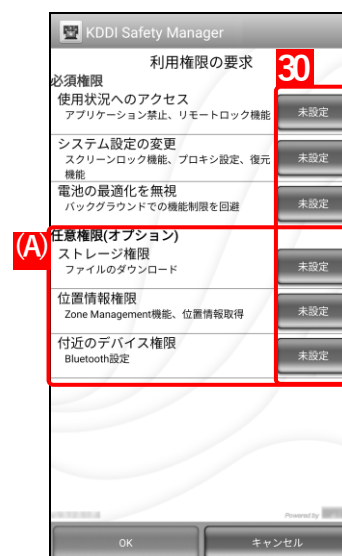
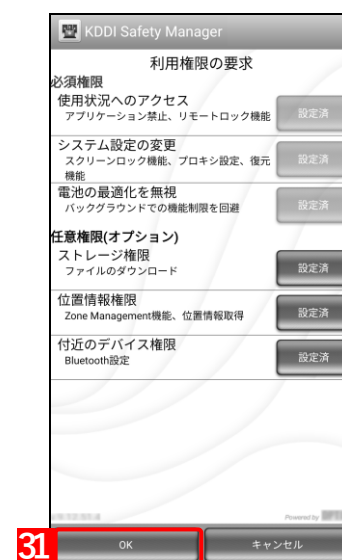


- 【29】** [OK] をタップします。
 ⇒ 権限要求画面が表示されます。



【30】 画面の案内に従って設定を行ってください。

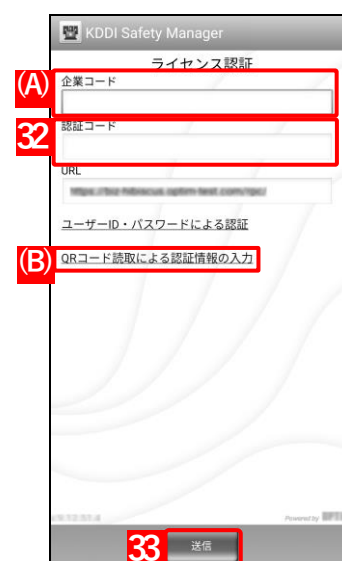
- ☑ Android 12 以上でエージェントバージョン 9.14.0 以上の場合、
(A) 任意権限に「付近のデバイス権限」が表示されます。
- ☑ Android 13 以上でエージェントバージョン 9.16.0 以上の場合、
(A) 任意権限に「通知権限」が表示されます。「ストレージ権限」は表示されません。

**【31】 [OK] をタップします。****【32】 「認証コード」を入力します。**

- ☑ 認証コードは管理者にお問い合わせください。
- ☑ (A) 「企業コード」は、自動で入力されています。
- ☑ (B) [QR コード読取による認証情報の入力] をタップして、エージェント認証用 QR コードを読み取ると、「企業コード」、「認証コード」、「URL」が自動で入力されます。QR コードは、管理者にお問い合わせください。

【33】 [送信] をタップします。

⇒ ライセンス認証完了の画面が表示されます。



【34】 [OK] をタップします。

⇒ 初期登録画面が表示されます。

- ✎ 手順【35】～【39】の初期登録画面は、管理サイトでポータル表示を「表示」に設定している場合のみ表示されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「サービス環境設定」－「ポータル表示」

**【35】 社員番号、姓、名を入力します。****【36】 [次へ] をタップします。**

⇒ 機器にユーザーが紐づきます。

- ✎ 登録したユーザーを変更することはできません。
- ✎ すでにユーザーが端末に紐づけられている場合は、ユーザーが紐づけられているメッセージが表示されます。
- ✎ ユーザー情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。

**【37】 必要事項を選択、入力します。****【38】 [次へ] をタップします。**

- ✎ あらかじめ、管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で入力項目を追加してください。追加するとき、「機器から入力可」にチェックを入れてください。チェックが入っていない場合は、項目が表示されません。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「入力項目のカスタマイズ」

- ✎ 管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で設定した内容により、画面に表示される「分類」と「自由入力項目」の内容が異なります。
- ✎ 機器情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。



[39] [OK] をタップします。

⇒ キットニングおよびライセンス認証が完了しました。
以下に進んでください。

🏠 「ゼロタッチ登録サーバーに同期する」 234 ページ



7.6 ゼロタッチ登録サーバーに同期する

以下の手順でゼロタッチ登録サーバーとの同期を行い、管理サイトに端末の情報を表示させます。

- ☑ ネットワークに接続しないでキッティングを行った端末は、ゼロタッチ登録サーバーと同期すると初期化されます。必ずネットワークに接続してキッティングを行った端末で、ゼロタッチ登録サーバーと同期してください。
- ☑ 事前に各機能の設定を登録しておく、キッティングと同時に端末に機能が割り当てられます。機能の設定方法は、以下を参照してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」

[1] [設定] → [Android] → [ゼロタッチ登録] → [機器一覧] をクリックします。

[2] [ゼロタッチ登録サーバ同期] をクリックします。

- ☑ ゼロタッチ機器一覧で表示されたゼロタッチ端末は、機器画面の機器一覧で、認証待ち機器として表示されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」 - 「一覧」 - 「機器一覧」

- ☑ ゼロタッチ機器一覧では、機器の削除はできないので、機器画面の機器一覧から削除してください。機器画面の機器一覧で削除したら、ゼロタッチ機器一覧からも削除されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」 - 「一覧」 - 「機器の個別削除」

- ☑ 機器画面からゼロタッチ端末の新規作成は行わないでください。


✎ (A) [IMEI/シリアル番号] をクリックすると、機器画面の機器一覧が表示されます。

IMEI / シリアル番号	ユーザー名	メーカー	ゼロタッチ登録設定更新日時	ゼロタッチ登録サーバ同期日時
			2018/10/18 11:32	2018/10/18 11:32
			2018/10/18 11:32	2018/10/18 11:32
			2018/10/18 11:32	2018/10/18 11:32
			2018/10/18 11:32	2018/10/18 11:32
			2018/10/18 11:31	2018/10/18 11:31
			2018/10/18 11:31	2018/10/18 11:31
			2018/10/18 11:31	2018/10/18 11:31

8 Google アカウントで KME を利用して Android Enterprise 連携を行う

Knox Mobile Enrollment (KME) とは、Samsung の提供するエージェントのキッティング方法の 1 つです。この方法ではキッティング手順が省略化され、大規模な端末の導入を簡単かつ迅速に行うことができます。KME に対応した端末には、エージェントが自動的に Device Owner Mode としてインストールされるため、よりセキュアな端末管理が可能です。


KME キッティングの方法については、以下を参照してください。


 「KME (Google アカウント利用) でキッティングする」 269 ページ

KME サーバーとの連携を行うと、端末が本製品の機器一覧に事前機器として表示されます。

注意

- 本キッティング方法を利用するには、あらかじめ Samsung 製の KME 対応端末を購入する必要があります。
- KME 対応端末を購入する場合は、あらかじめ販売元に KME の利用方法についてご確認ください。
- その他 KME の詳細については、KME 対応端末の販売元にお問い合わせください。
- 以下の項目は、初回のキッティング時のみ必要な操作です。

 「Google アカウントを登録する」 236 ページ

 「KME を利用するための準備を行う」 259 ページ


 「Knox 認証情報および Knox プロファイル情報を設定する」 265 ページ

参考

- 本製品と連携しない場合は、管理サイトに Knox 認証情報および Knox プロファイル情報を設定する必要はありません。以下を参照して、端末購入前の事前準備をすべて行ってから、KME 対応端末のキッティングをしてください。

 『Knox Mobile Enrollment (KME) の運用フロー』

- あらかじめ管理サイトで Android Enterprise の「アプリケーション配信」機能を設定しておく、キッティングの完了後、ライセンス認証と同時に特定のアプリを端末に配信できます。アプリケーション配信の詳細については、以下を参照してください。

 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』の「アプリをインストールする」

8.1 Google アカウントを登録する

管理サイトに Android Enterprise 連携するための Google アカウントを登録します。

登録できる Google アカウントは、以下の 3 種類です。Google アカウントに応じて、いずれかの方法で登録してください。

- 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合

- Google が推奨する登録方法です。なるべくこの方法で登録してください。

- Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合

- Microsoft Entra ID でシングルサインオンが構成済みの場合は、自動的にこの登録方法になります。

- Gmail のメールアドレスを登録する場合

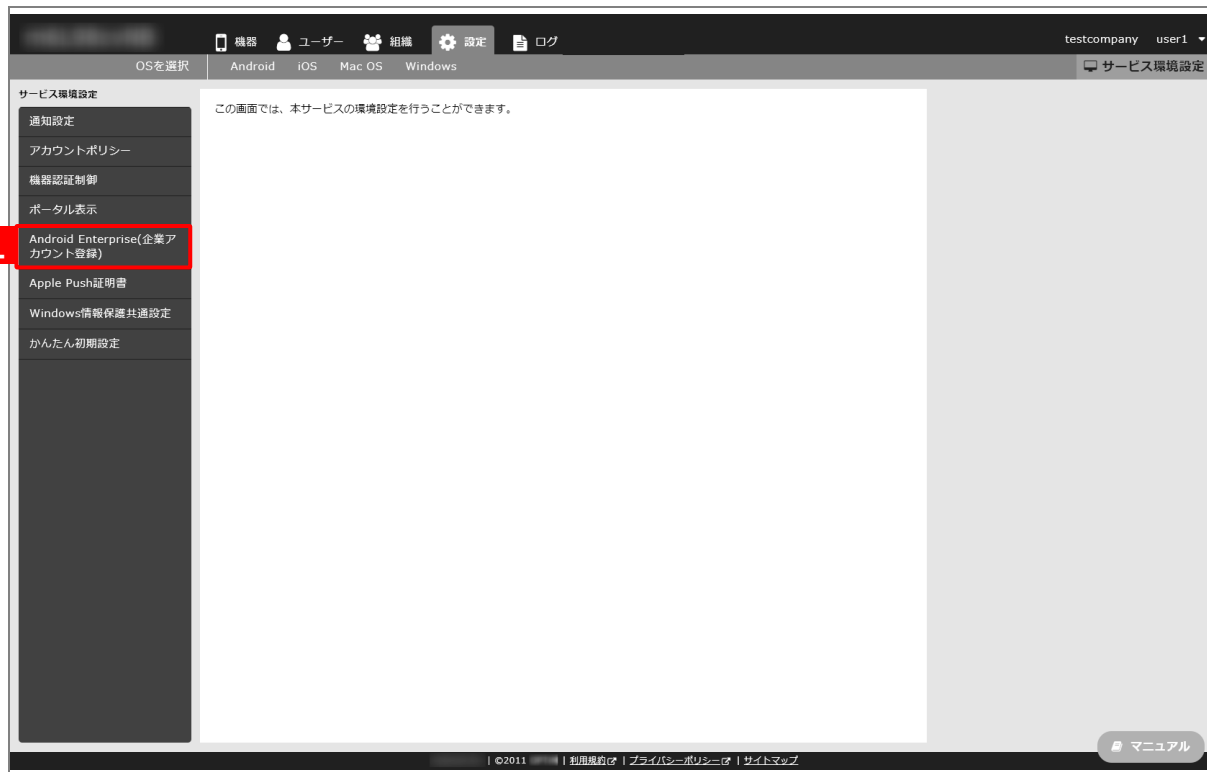
8.1.1 企業ドメインのメールアドレスを登録する場合

企業ドメインのメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

- Google が推奨する登録方法です。

- 企業で初めて登録した企業ドメインのメールアドレスの使用者が、ドメイン管理者です。その後、同じ企業ドメインで他のメールアドレスを登録するときは、ドメイン管理者に連絡してください。ドメイン管理者が Google の画面で他のメールアドレスを登録します。

[1] [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise (企業アカウント登録)] をクリックします。



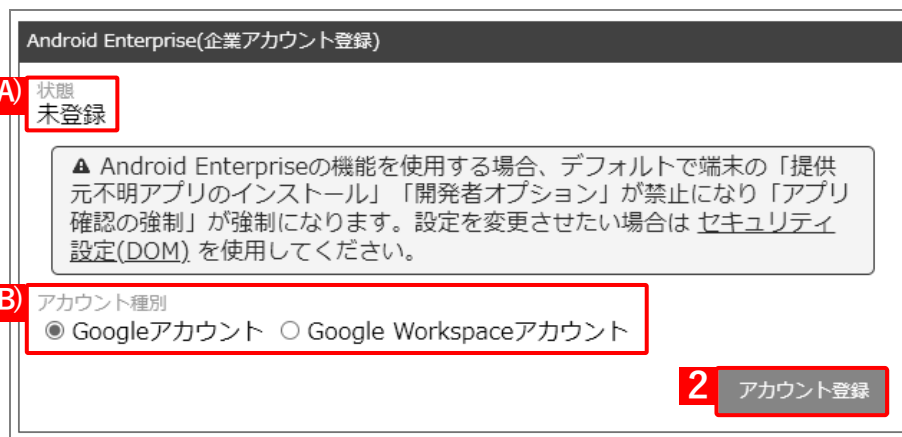
【2】 [アカウント登録] をクリックします。

📌 アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

✎ (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

✎ (B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。



【3】 企業ドメインのメールアドレスを入力します。

【4】 [次へ] をクリックします。

➔ 企業で初めて企業ドメインのメールアドレスを登録した場合は、手順【3】で入力したメールアドレスに、Google からメールが届きます。メールを確認してください。



- ❏すでに企業ドメインが登録されていた場合は、以下の画面が表示されます。
企業のドメイン管理者に連絡してください。企業のドメイン管理者が不明な場合は、Google に問い合わせてください。



- ❏ドメイン管理者のメールアドレスを他の企業で登録しようとした場合は、以下の画面が表示されます。
(A) [許可] をクリックすると、企業登録が完了します。



[5] メールの内容を確認して、[メールアドレスの確認] をクリックします。

⇒ 情報登録画面が表示されます。

**[6]** 名、姓、会社名を入力して、国を選択します。**[7]** [続行] をクリックします。

✎ 名、姓、会社名を入力すると、[続行] がクリックできます。



【8】 [次へ] をクリックします。



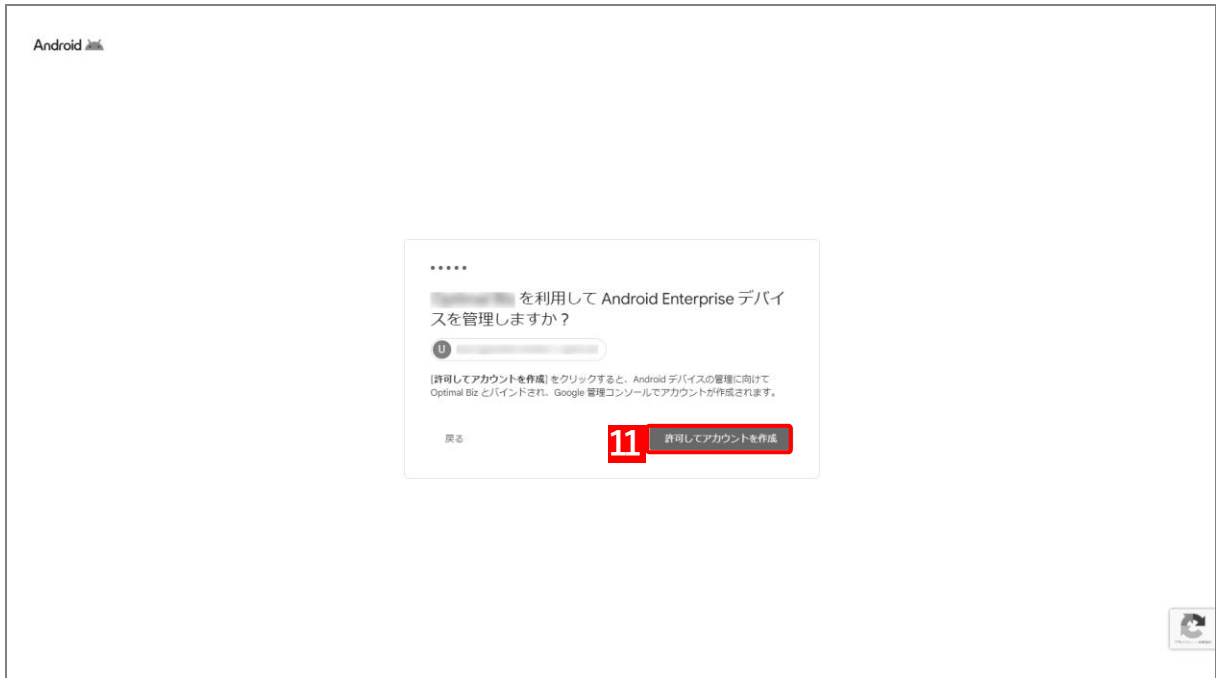
【9】 8 文字以上のパスワードを入力します。

【10】 [同意して続行] をクリックします。

パスワードを入力すると、[同意して続行] がクリックできます。

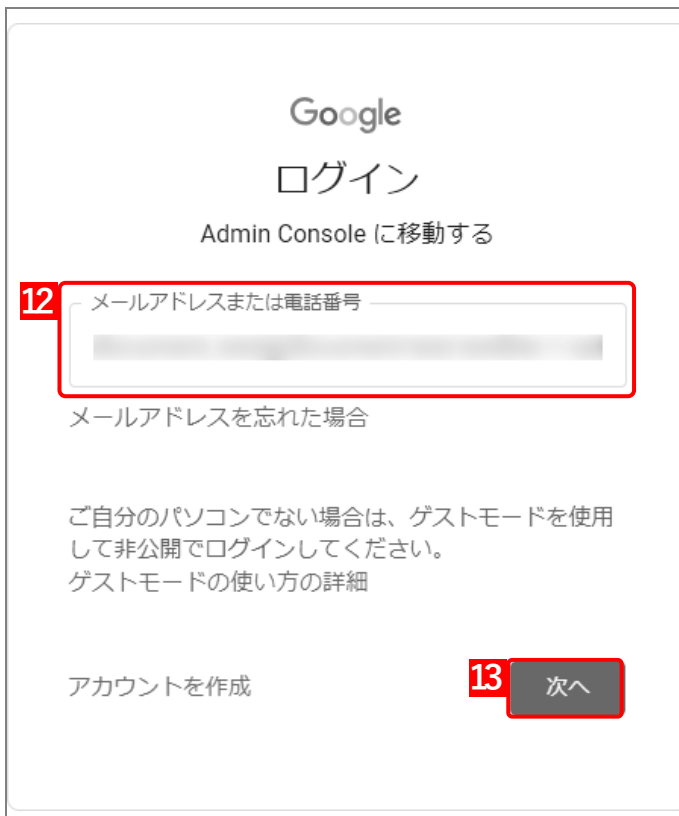


【11】 [許可してアカウントを作成] をクリックします。



【12】 手順【3】で入力した企業ドメインのアドレスを入力します。

【13】 [次へ] をクリックします。



【14】 手順【9】で入力したパスワードを入力します。

【15】 [次へ] をクリックします。

⇒本人確認の画面が表示されます。


The screenshot shows the Google login interface. At the top, it says "Google ようこそ". Below that is a profile selection dropdown. A red box labeled "14" highlights the password input field, which contains ".....". Below the password field is a checkbox labeled "パスワードを表示する". At the bottom left, there is a link "パスワードをお忘れの場合". At the bottom right, there is a button labeled "15 次へ".

- 【16】** 確認コードを受け取る電話番号を入力します。
- 【17】** 確認コードの受け取り方法を選択します。
- 【18】** [コードを取得] をクリックします。

Google

本人確認の実施

アクセスしようとしているアカウントで通常とは異なるアクティビティが検出されました。続行するには、以下の手順に沿って操作してください。



電話番号を指定して続行してください。ログインに使用できる確認コードを送信します。

国名
[日本]

電話番号

16

この番号はセキュリティ保護の目的でのみ使用されます。通常のテキストメッセージ料金がかかります。

確認コードの受け取り方法:

17 テキストメッセージ (携帯電話のメール)
 自動音声通話

18

確認コードが届かない場合は、サポート オプションをご確認ください。

【19】 手順【16】で入力した電話番号で受け取った確認コードを入力します。

【20】 [確認] をクリックします。

Google

本人確認の実施

確認コードを入力してください

19

20 確認

【21】 [理解しました] をクリックします。

⇒アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。

Google

新しいアカウントへようこそ

新しいアカウント () へようこそ。このアカウントを使用してアクセスできる Google Workspace サービスは、 () の管理者によって設定されます。

管理者が管理するサービス (Google Workspace など) にアクセスする権限が組織から付与されている場合、これらのサービスの使用には組織の企業契約が適用されます。Google は、これらの規約に加えて、Google Cloud のプライバシーに関するお知らせも公開しています。

このアカウント () にログイン中に、Google Workspace とその他の Google サービスを使用する場合、これらのサービスの使用には、Google 利用規約、Google プライバシーポリシー、各 Google サービスに固有の利用規約など、それぞれの規約が適用されます。これらの規約に同意しない場合、または Google がこのような方法でデータを取り扱うことを許可しない場合は、このアカウント () でその他の Google サービスを使用しないでください。プライバシー設定は、myaccount.google.com でカスタマイズすることもできます。

21 理解しました

- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 「アカウントメールアドレス」にアカウント登録で使用したメールアドレスが表示されています。
- ✎ (C) 「組織 ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意的識別子が表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
登録済

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別
Googleアカウント

(B) アカウントメールアドレス

(C) 組織ID

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ [同意する] にチェックを入れて [アカウント削除] をクリックしてください。

同意する

アカウント削除

8.1.2 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを登録する場合

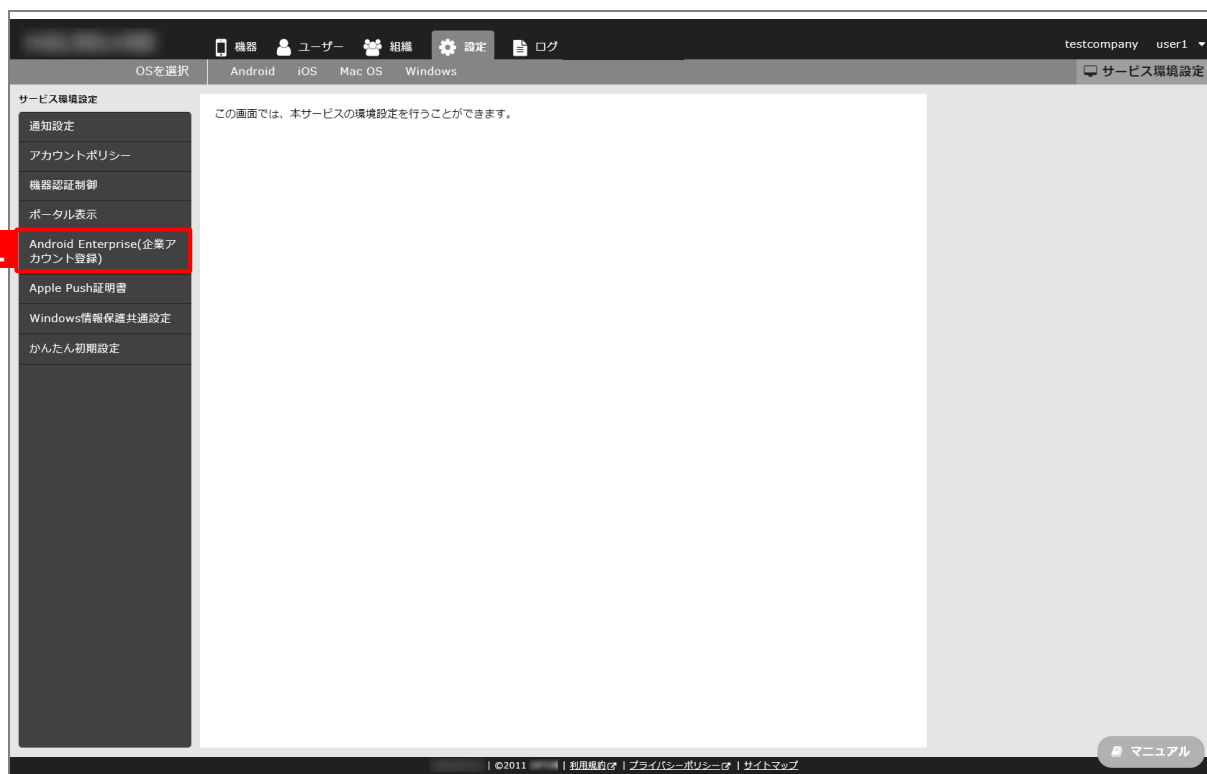
Microsoft ID アカウントのメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

🔗 Microsoft ID アカウントのメールアドレスは、Microsoft Entra ID でシングルサインオンが構成済みのものを使用してください。認証を行うため自動的に Microsoft の画面が表示されます。

📖 Microsoft ID アカウントについての詳細は、以下を参照してください。

👉 <https://learn.microsoft.com/ja-jp/entra/identity-platform/v2-protocols-oidc>

[1] [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise (企業アカウント登録)] をクリックします。



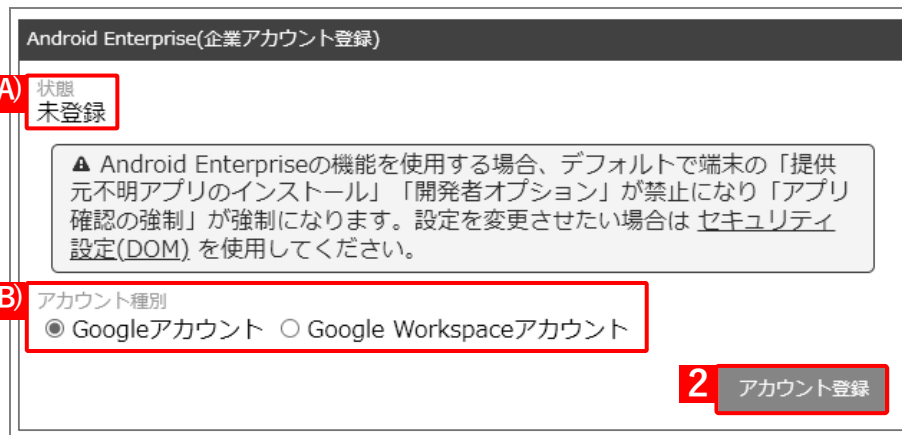
【2】 [アカウント登録] をクリックします。

📌 アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

✍ (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

✍ (B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。



【3】 Microsoft ID アカウントのメールアドレスを入力します。

【4】 [次へ] をクリックします。



[5] [Microsoft でログイン] をクリックします。

⇒ Microsoft の登録画面が表示されます。画面の指示にしたがい登録を行ってください。



⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。

- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 「アカウントメールアドレス」にアカウント登録で使ったメールアドレスが表示されています。
- ✎ (C) 「組織 ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意的識別子が表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
登録済

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別
Googleアカウント

(B) アカウントメールアドレス

(C) 組織ID

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ【同意する】にチェックを入れて【アカウント削除】をクリックしてください。

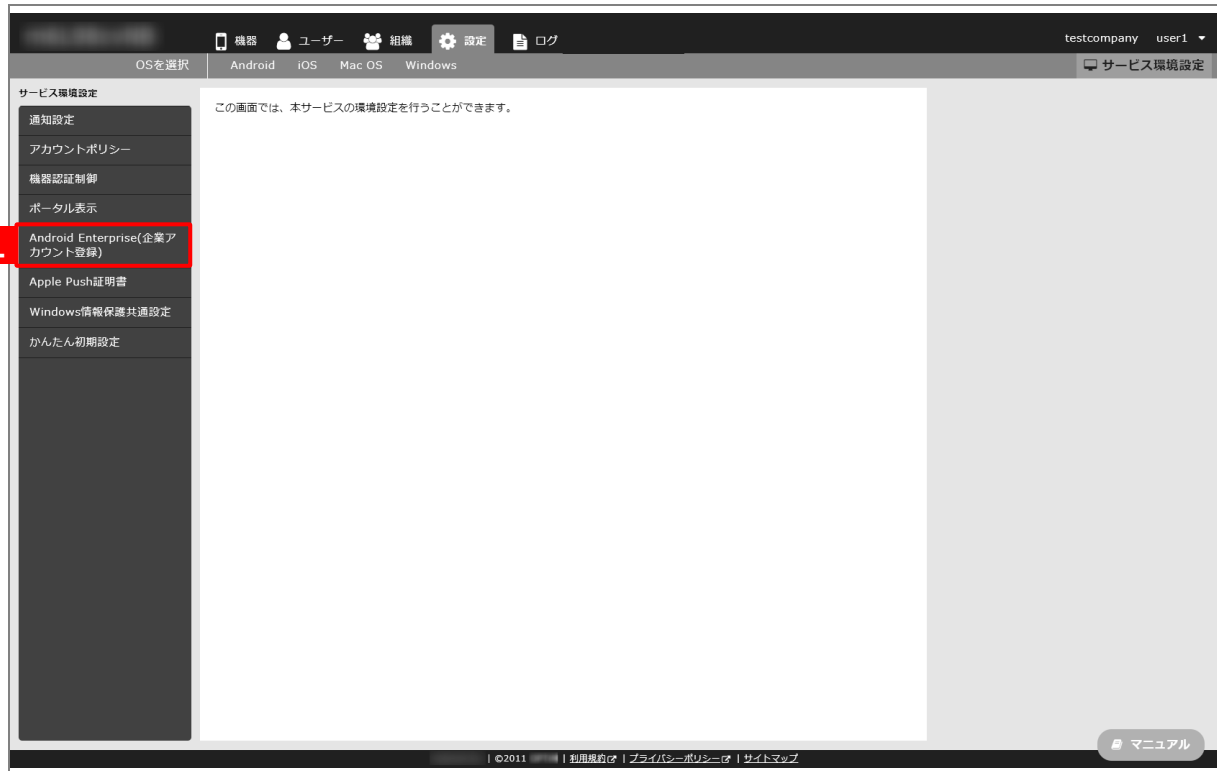
同意する

アカウント削除

8.1.3 Gmail のメールアドレスを登録する場合

Gmail のメールアドレスを Android Enterprise 連携するための Google アカウントとして、管理サイトに登録します。

- [1]** [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise (企業アカウント登録)] をクリックします。



- [2]** [アカウント登録] をクリックします。

アカウント登録が完了すると、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」、「開発者向けオプション」が「禁止」、「アプリ確認の強制」が「強制する」に設定されます。「セキュリティ設定 (DOM)」で「提供元不明アプリのインストール」を許可する設定セットを作成し、機器に割り当てて同期を行ってください。

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

(A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

(B) 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。



[3] Gmail のメールアドレスを入力します。

[4] [次へ] をクリックします。

Android 

.....

管理者アカウントを作成する

3 仕事用メールアドレスを入力してください*

例: [名前]@[会社名].com

4 次へ

Android はあらゆるビジネスで利用できるパワフルなプラットフォームです

- ✓ モバイル デバイスを管理して企業アプリをインストール
- ✓ エンタープライズクラスのセキュリティを活用してデータを保護
- ✓ 仕事用プロフィールを使ってデバイスを仕事とプライベートの両用に

[5] 「Android のみ登録」の「登録」をクリックします。

⇒ Google Play ストアが表示されます。

Android 

.....@gmail.com
は個人のメールアドレス
のようです

次のいずれかを選ぶことができます

 仕事用メールアドレスで登録 お申し込みには、 name@company.com のような仕事 用メールアドレスが必要です 仕事用メールアドレスで再試行	 会社のドメインを購入 company.com などのドメインや対 応する name@company.com のメ ールアドレスがない場合は、新しい ドメインを購入してから登録を再試 行できます。 新規ドメインを購入する	 Android のみ登録 Android デバイスのみをデプロイす る場合は、managed Google Play アカウントエンタープライズを作 成できます。 このアカウントを使用して、 Chromebook や Chrome ブラウザ などの他の Google サービスを管理 することはできません。詳細
---	---	---

5 登録

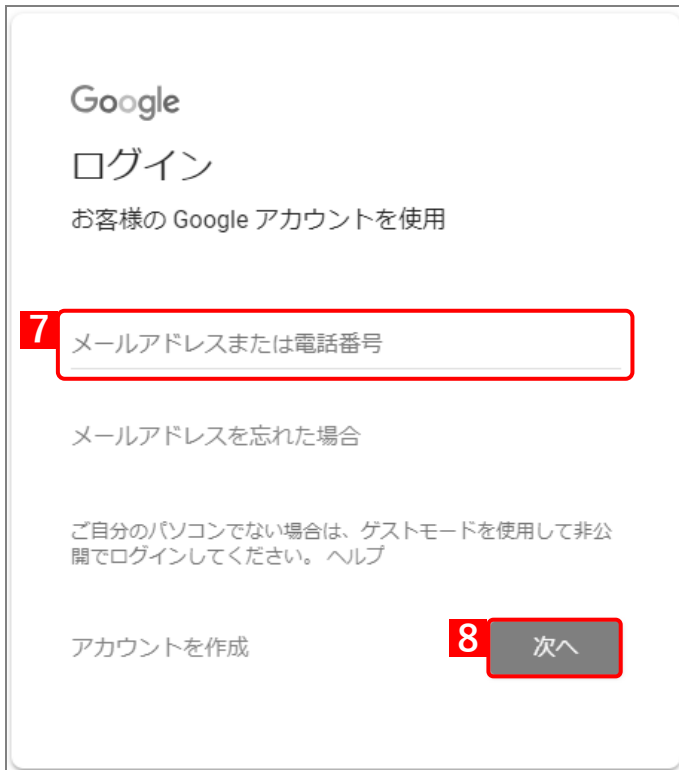
【6】 [ログイン] をクリックします。

☑利用しているブラウザにより、Google Play ストアが正常に動作しないことがあります。



【7】 手順【3】で入力した Gmail のメールアドレスを入力します。

【8】 [次へ] をクリックします。



【9】 パスワードを入力します。

【10】 [次へ] をクリックします。

Google
ようこそ

9 パスワードを入力

パスワードをお忘れの場合 10 次へ

【11】 [完了] をクリックします。

Google
アカウントの保護

パスワードを忘れてしまったり、アカウントにアクセスできなくなったり、アカウントで不審なアクティビティが検出されたりした場合に Google から連絡を受け取る方法を設定します

予備の電話番号
電話番号がありません

再設定用のメールアドレス
再設定用のメールアドレスがありません

更新 11 完了

【12】 [スタートガイド] をクリックします。



【13】 「組織名」を入力します。

【14】 [次へ] をクリックします。



【15】 規約を確認し、同意にチェックを入れます。

【16】 [確認] をクリックします。

- (A) データの保護責任者および EU 担当者は、任意入力です。必要に応じて入力します。データの保護責任者、EU 担当者についての詳細は、以下を参照してください。

<https://support.google.com/googleplay/work/answer/7681629>

連絡先情報

連絡先情報を入力してください

Google では、データ保護に関する法規制を遵守するための取り組みとして、顧客データ保護責任者様と EU 担当者様の連絡先情報を保管する必要があります。この情報は、Google のサービス内にあるデータのプライバシーやセキュリティに関する質問またはお知らせについてご連絡する場合に使用します。

この情報をまだご用意できていない場合は、managed Google Play の [管理者設定] から後で追加できます。

(A) データ保護責任者

名前

メール

モバイル端末

EU 担当者

名前

メール

モバイル端末

15 managed Google Play 契約を確認しました。この内容に同意します。

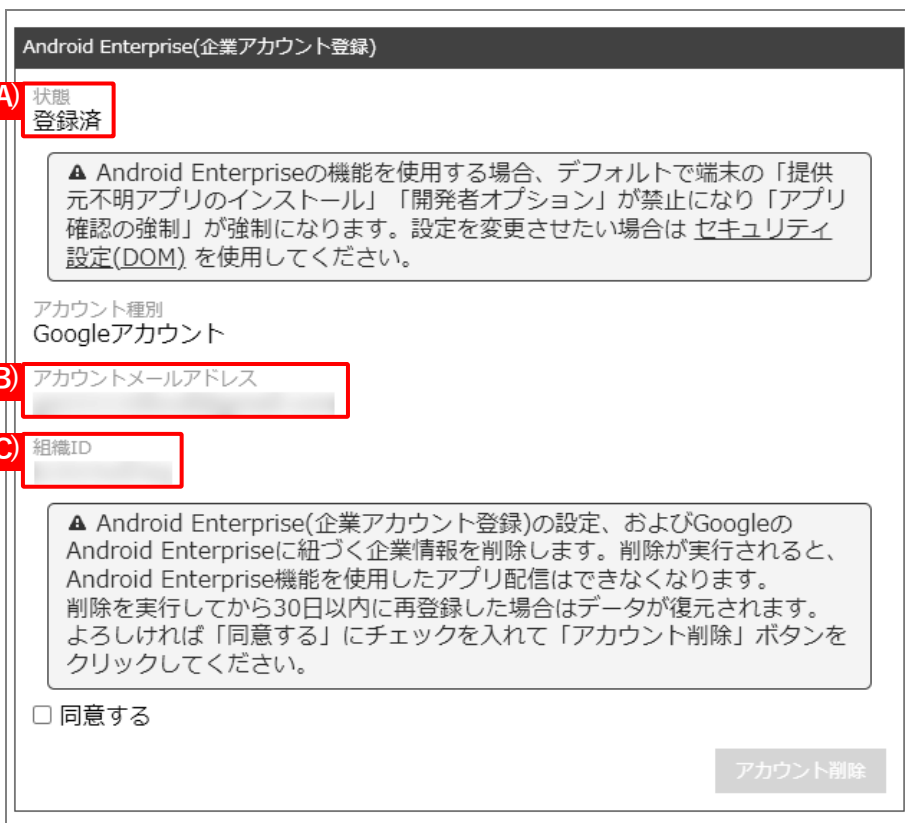
前へ **16** 確認

【17】 [登録を完了] をクリックします。

⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。



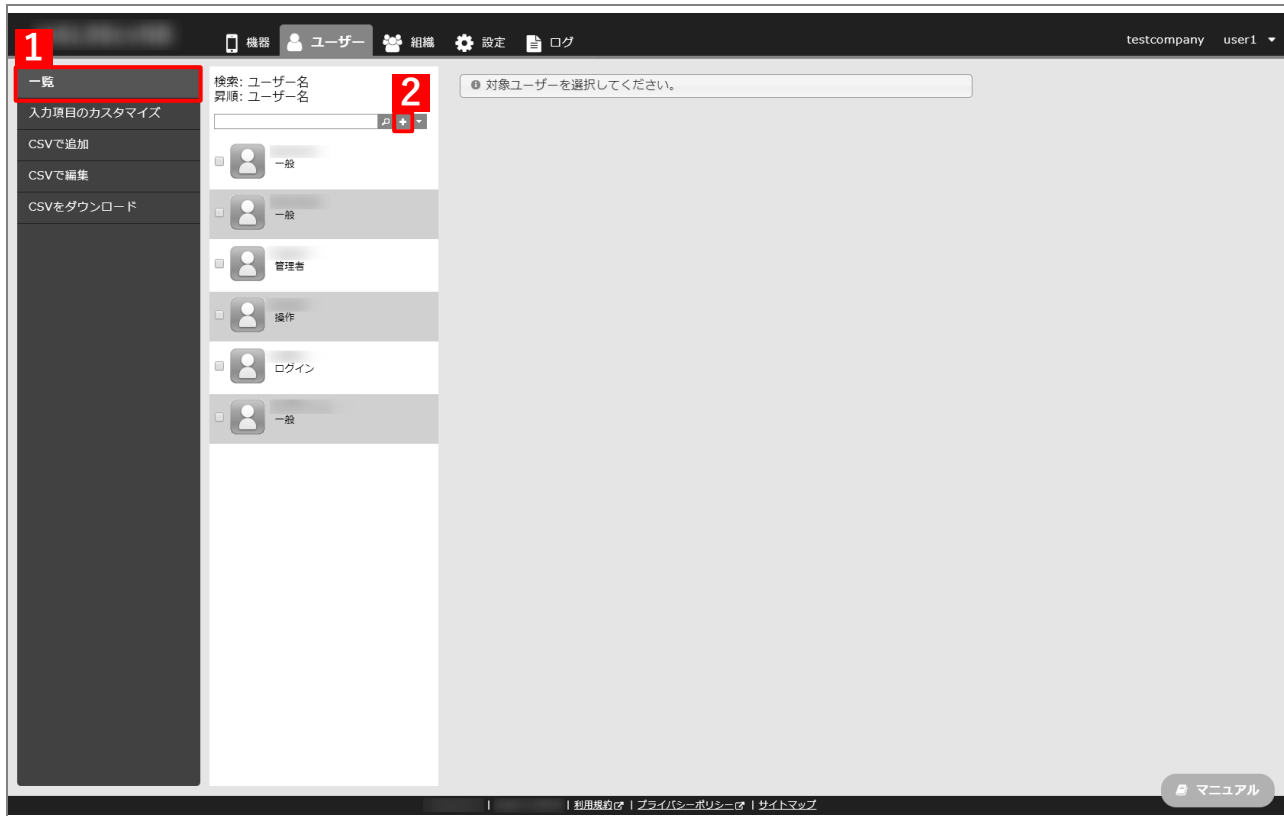
- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。
- ✎ (B) 「アカウントメールアドレス」に Google Play ストアで登録したメールアドレスが表示されています。
- ✎ (C) 「組織 ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意的識別子が表示されています。




8.2 ユーザーを作成する

以下の手順で、ユーザーを作成します。

- [1]** [ユーザー] → [一覧] をクリックします。
- [2]** **+** をクリックします。



【3】 「名前」 に任意の名前を入力します。

 その他の入力および設定項目の詳細については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「ユーザー」 - 「一覧」 - 「ユーザーの作成」

【4】 「保存」 をクリックします。

⇒ユーザーが作成されます。



管理情報 - 編集

名前

フリガナ

姓

名

ユーザーID

メールアドレス

ユーザー種別

- 管理者 (全ての操作ができます)
- 操作
- 閲覧者 (変更操作ができません)
- ロック・ワイプ
- ログイン (個別に権限を設定)
- 一般 (ログインできません)

組織

分類

(未分類)

機器認証制限

- 制限なし
- 制限あり 台
- 認証禁止

パスワード

現在のパスワード

編集

機器

機器数
0

取消 保存

8.3 KME を利用するための準備を行う

管理サイトと連携するために、Galaxy アカウントを会社用メールアドレスに関連付けます。

- ✍ 管理用のメールアドレスを 1 つ用意してください。管理者個人のメールアドレスではなく、管理担当部署のメーリングリストなどを推奨します。
- ✍ すでに Knox API ポータルを利用している、または管理サイトに JSON ファイルがアップロードされている場合は、本操作は不要です。

8.3.1 Galaxy アカウントを取得する

以下を参照して、Galaxy アカウントを取得します。

🔍 『Knox Mobile Enrollment (KME) の運用フロー』の「端末購入前の事前準備」 - 「Galaxy Account の取得」

8.3.2 KME の申請をする

以下を参照して、KME の申請を行います。

🔍 『Knox Mobile Enrollment (KME) の運用フロー』の「端末購入前の事前準備」 - 「Knox Mobile Enrollment の申請」

8.3.3 Knox API ポータルにログインできるようにする

Knox API ポータルのログインができるように、サムスン電子社へ依頼します。

✍ 詳細については、サムスン電子社にお問い合わせください。

- ➊ <https://www2.samsungknox.com/user> にアクセスして、Knox ダッシュボードを表示します。
- ➋ 「Email」に Galaxy アカウントを入力します。
- ➌ 「Password」にパスワードを入力します。
- ➍ 「SIGN IN」をクリックします。

Galaxy Account

2 Email

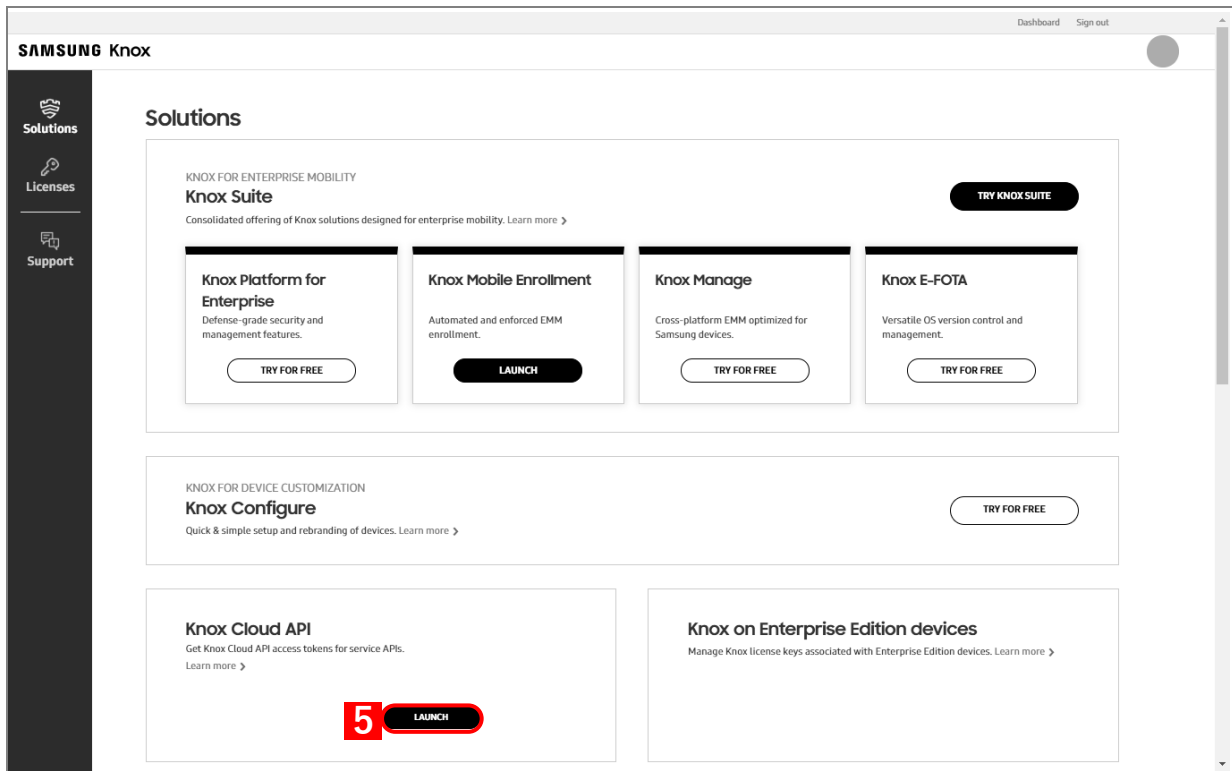
3 Password

Remember my ID


4 SIGN IN

[Find ID or Reset password?](#)
or [Sign up here](#)

【5】 「Knox Cloud APIs」 の [Launch] をクリックします。



【6】 以降の操作は、画面の指示に従い、申請を行ってください。

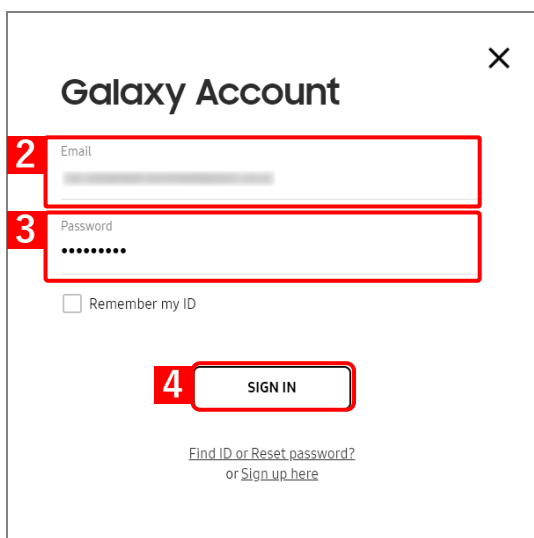
 詳細については、サムスン電子社にお問い合わせください。

8.3.4 JSON ファイルのダウンロードおよびクライアント識別子を取得する

Knox API ポータルで、JSON ファイルのダウンロードおよびクライアント識別子を取得します。

🔗 JSON ファイルのダウンロードは、1つの Galaxy アカウントにつき初回ログイン時の1回のみです。紛失しても再発行はされません。ダウンロードした JSON ファイルが、任意の場所に保存されていることを必ず確認してください。

- 1) <https://eu-kcs-api.samsungknox.com/kapi/> にアクセスして、Knox API ポータルを表示します。
- 2) 「Email」に Galaxy アカウントを入力します。
🔗 Knox API ポータルに初めてログインする Galaxy アカウントを入力してください。
- 3) 「Password」にパスワードを入力します。
- 4) 「SIGN IN」をクリックします。



- 5) JSON ファイルが表示されます。

🔗 JSON ファイルは、Knox API ポータルに初めてログインする Galaxy アカウントのみ表示されます。
🔗 言語は英語で表示されます。(A) をクリックして言語一覧から日本語を選択してください。

- 6) 「JSON ファイルをダウンロード」をクリックします。

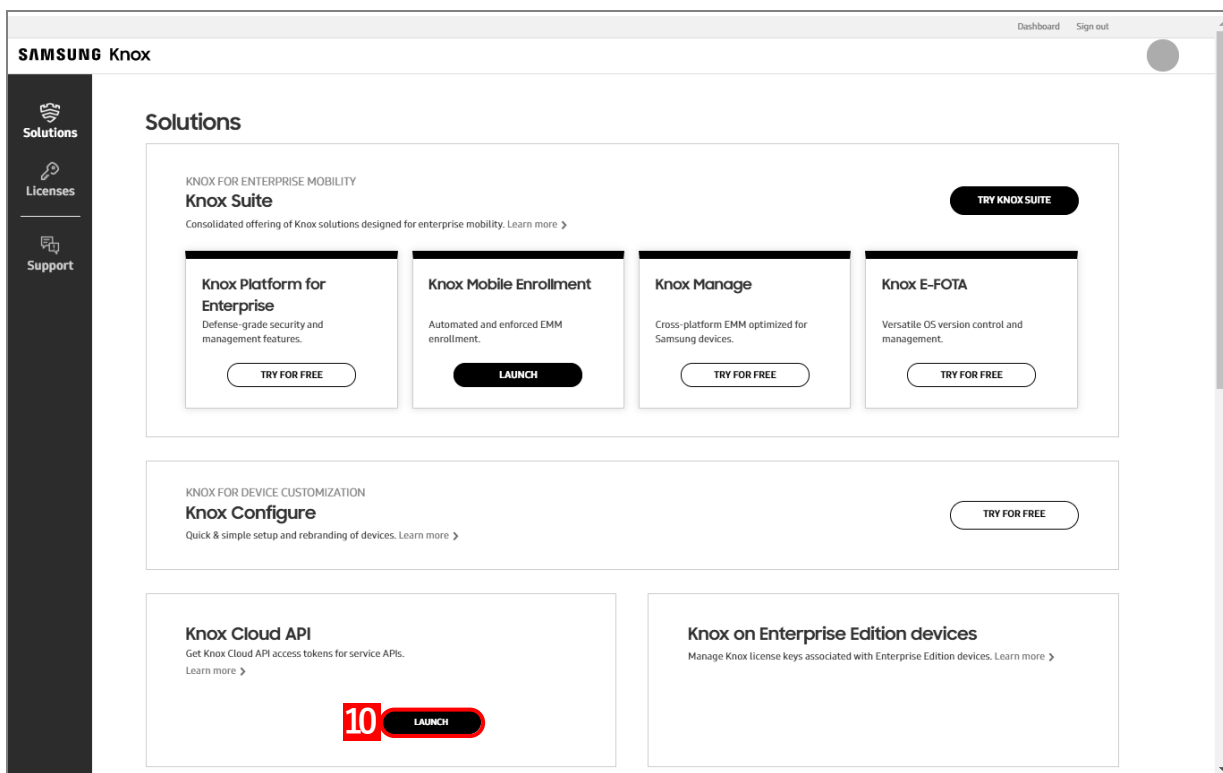
⇒ JSON ファイルのダウンロードが開始されます。




[7] JSON ファイルのダウンロードが完了しました。

✍️ JSON ファイルの再発行はされません。必ず保存されていることを確認してください。


📁 任意の場所にファイルを保存します。



[8] メッセージを確認して、[確認済み] をクリックします。**[9] [Samsung Knox Dashboard] をクリックします。****[10] 「Knox Cloud API」の [Launch] をクリックします。**

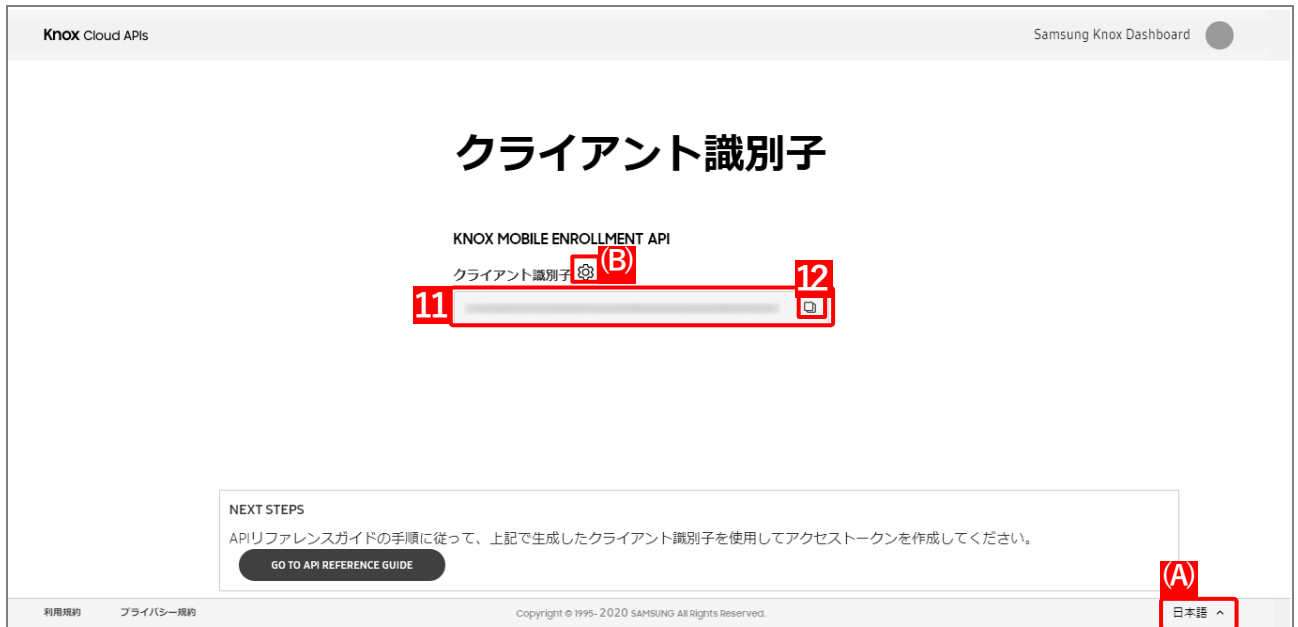
[11] クライアント識別子が表示されます。

 言語は英語で表示されます。(A) をクリックして言語一覧から日本語を選択してください。

[12]  をクリックすると、クライアント識別子がクリップボードにコピーされます。


 メモ帳などにペーストして保存してください。


 クライアント識別子を再生成する場合は、(B)  をクリックします。



Knox Cloud APIs Samsung Knox Dashboard

クライアント識別子

KNOX MOBILE ENROLLMENT API
クライアント識別子 

11 **12** 



NEXT STEPS
APIリファレンスガイドの手順に従って、上記で生成したクライアント識別子を使用してアクセストークンを作成してください。
[GO TO API REFERENCE GUIDE](#)

利用規約 プライバシー規約 Copyright © 1995-2020 SAMSUNG All Rights Reserved. **(A)** 日本語 ^

8.3.5 Knox カスタマーID を取得する

KME コンソールで、Knox カスタマーID を取得します。

- [1] <https://eu-kme.samsungknox.com/itadmin> にアクセスして、Knox API ポータルを表示します。
- [2] 「Email」 に Galaxy アカウントを入力します。
- [3] 「Password」 にパスワードを入力します。
- [4] 「SIGN IN」 をクリックします。

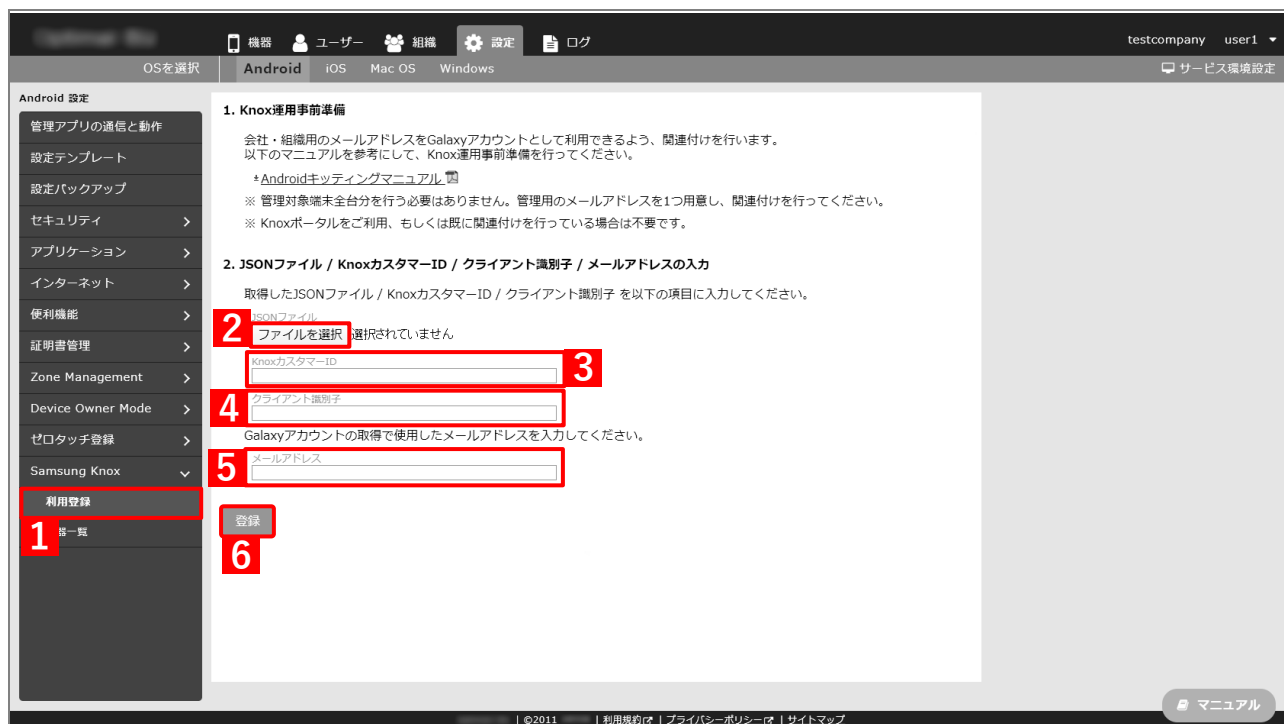
- [5] ユーザーアイコンをクリックします。
 - [6] Knox カスタマーID が表示されます。
 - [7]  をクリックすると、Knox カスタマーID がクリップボードにコピーされます。
-  メモ帳などにペーストして保存してください。

RESELLER NAME	UPLOADED	DEVICES	UPLOAD APPROVAL	DETAILS
KDDI NW service EMM reseller	23 Mar	1	• Approved	View
KDDI NW service EMM reseller	01 Oct 2019	2	• Approved	View

8.4 Knox 認証情報および Knox プロファイル情報を設定する

Knox API ポータルでダウンロードした JSON ファイルを管理サイトにアップロードし、機器情報を登録します。

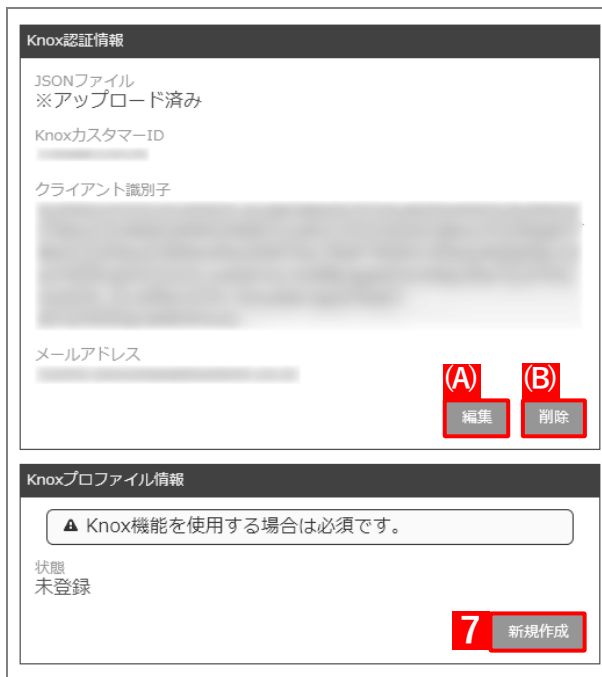
- [1]** [設定] → [Android] → [Samsung Knox] → [利用登録] をクリックします。
- [2]** [ファイル選択] をクリックし、ダウンロードした JSON ファイルを選択します。
- [3]** KME コンソールで取得した「Knox カスタマーID」を入力します。
- [4]** Knox API ポータルで取得した「クライアント識別子」を入力します。
- [5]** 「メールアドレス」に Galaxy アカウントを入力します。
- [6]** [登録] をクリックします。



【7】 「Knox プロファイル情報」 の 「新規作成」 をクリックします。

✎ 変更する場合は、(A) [編集] をクリックします。

✎ 削除する場合は、(B) [削除] をクリックします。

**【8】 「サポート企業名」 に 「SMSM」 と入力します。****【9】 「サポートメールアドレス」 を入力します。****【10】 「サポート電話番号」 を入力します。****【11】 [保存] をクリックします。**

- 【12】** (A) 「処理中です。」と表示されたあと約 1 分が経過したら、手動でブラウザを再読み込みします。



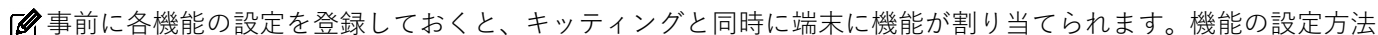
⇒ Knox プロファイル情報の登録が完了し、利用登録画面が以下のように表示されます。


- ✎ 変更する場合は、(B) [編集] をクリックします。
- ✎ 削除する場合は、(C) [削除] をクリックします。



8.5 KME サーバーに同期する


以下の手順で KME サーバーとの同期を行い、管理サイトに端末の情報を表示させます。


 事前に各機能の設定を登録しておく、キッキングと同時に端末に機能が割り当てられます。機能の設定方法は、以下を参照してください。


 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」


[1] [設定] → [Android] → [Samsung Knox] → [機器一覧] をクリックします。


[2] [Knox サーバ同期] をクリックします。


 Samsung Knox 機器一覧で表示された KME 端末は、機器画面の機器一覧で、認証待ち機器として表示されます。

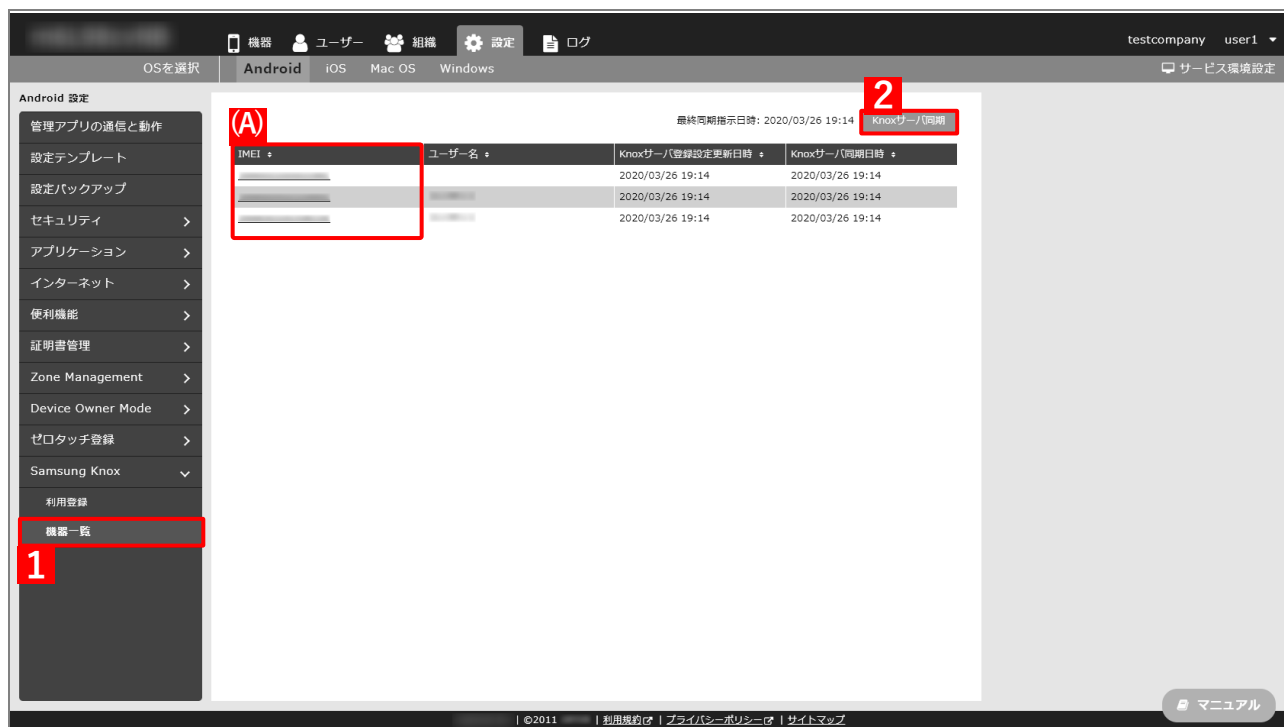
 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」 - 「一覧」 - 「機器一覧」

 Samsung Knox 機器一覧では、機器の削除はできないので、機器画面の機器一覧から削除してください。機器画面の機器一覧で削除したら、Samsung Knox 機器一覧からも削除されます。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』「機器」 - 「一覧」 - 「機器の個別削除」

 機器画面から KME 端末の新規作成は行わないでください。

 (A) [IMEI] をクリックすると、機器画面の機器一覧が表示されます。



Android 設定

OSを選択 Android iOS Mac OS Windows

testcompany user1

サービス環境設定

Android 設定

管理アプリの通信と動作

設定テンプレート

設定バックアップ

セキュリティ >

アプリケーション >

インターネット >

便利機能 >

証明書管理 >

Zone Management >

Device Owner Mode >

ゼロタッチ登録 >

Samsung Knox

利用登録

機器一覧 **1**

最終同期指示日時: 2020/03/26 19:14

2 Knoxサーバ同期

IMEI (A)	ユーザー名	Knoxサーバ(登録設定更新日時)	Knoxサーバ(同期日時)
_____	_____	2020/03/26 19:14	2020/03/26 19:14
_____	_____	2020/03/26 19:14	2020/03/26 19:14
_____	_____	2020/03/26 19:14	2020/03/26 19:14

©2011 | 利用規約 | プライバシーポリシー | サイトマップ

マニュアル

8.6 KME (Google アカウント利用) でキッティングする

以下の手順で KME 端末のキッティングを行います。

- 管理サイトの「アプリケーション禁止」で「禁止するアプリケーション」、および「アプリケーション非表示」に「Google Play 開発者サービス (com.google.android.gms)」を設定していると、正常にキッティングが完了できない場合があります。以下を参照して、事前に設定を解除してから、キッティングを行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「アプリケーション」 - 「アプリケーション禁止」

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「アプリケーション非表示」

- 本キッティング方法は、KME に対応した一部の Samsung 製端末でのみ利用できます。
- 端末によっては手順が異なる場合があります。その場合は、実際の画面の案内に従って操作してください。
- 手順【12】の画面は、機種や OS によって表示されるタイミングが異なる場合があります。

【1】 端末を起動します。

⇒ 「開始！」画面が表示されます。

【2】 ➡ をタップします。



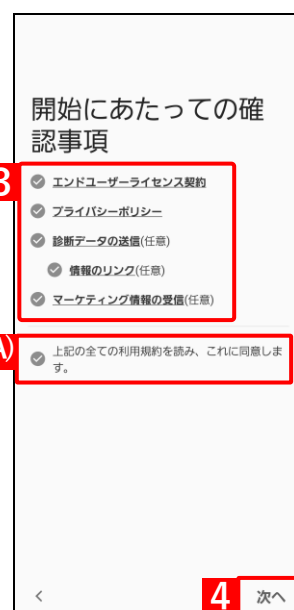
【3】 各項目をタップして内容を確認し、チェックを入れます。

- 🔍 (A) [上記全ての利用規約を読み、これに同意します。] をタップすると、すべての項目にチェックが入ります。


【4】 [次へ] をタップします。

- 以降の手順【5】～【9】は、端末に SIM カードが挿入されている場合の操作です。SIM カードが挿入されていない場合の操作については、以下を参照してください。

🔍 「端末に SIM カードが挿入されていない場合」 278 ページ



【5】使用するネットワーク接続方法に応じて、以下のいずれかの操作を行います。

必ずネットワークに接続して、以降の手順を進めてください。

《モバイルネットワークを使用する場合》


(A) [続行] をタップし、手順【10】に進みます。

⇒「端末を設定してください」画面が表示されるまでお待ちください。

《Wi-Fi ネットワークを使用する場合》

(B) [設定] をタップし、次の手順に進みます。

【6】接続する Wi-Fi ネットワークを選択します。

 (A) が「OFF」に設定されている場合は、「接続可能なネットワーク」にネットワークが表示されません。必ず「ON」に設定してください。

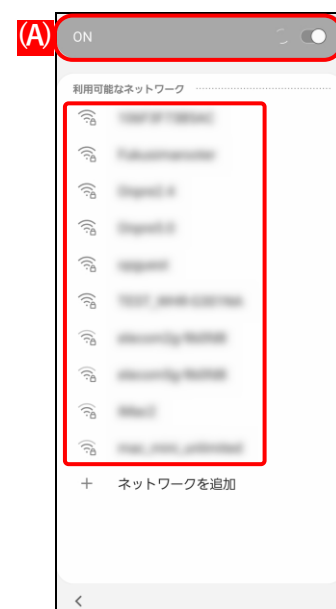
【7】「パスワード」を入力します。

【8】[接続] をタップします。



(B) 設定

(A) 続行



(A)




7

8

【9】 **<** をタップします。

⇒ 「端末を設定してください」画面が表示されるまでお待ちください。

 (A) 「現在のネットワーク」に、接続中の W-Fi ネットワークが表示されています。



【10】 「同意して続行」をタップします。



【11】 「次へ」をタップします。



【12】 [OK] をタップします。




【13】 画面下部からスワイプします。

⇒ ホーム画面に移動します。



【14】 [KDDI Safety Manager] をタップします。

 ホーム画面にアイコンが表示されない場合は、アプリ一覧を確認してください。



【15】 [ライセンス認証] をタップします。



【16】 [OK] をタップします。



【17】 利用規約の [確認・同意] をタップします。



【18】 「利用規約に同意する」にチェックを入れます。

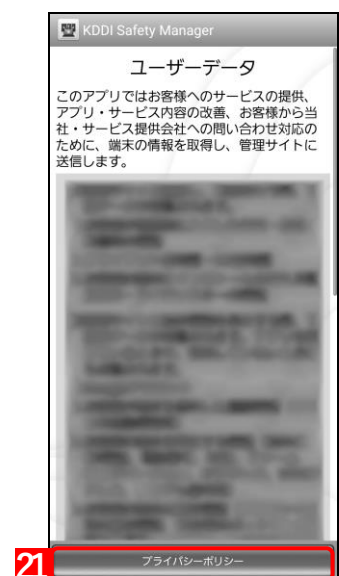
【19】 [OK] をタップします。



【20】 プライバシーポリシーの [確認・同意] をタップします。



【21】 ユーザーデータについて確認して、[プライバシーポリシー] をタップします。

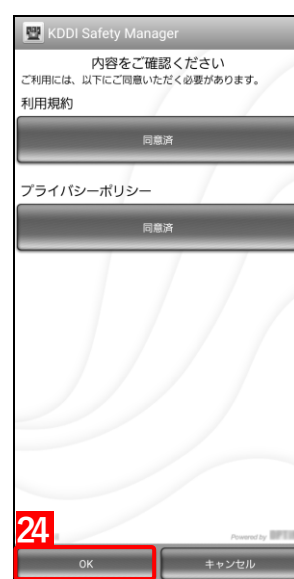


【22】 「プライバシーポリシーに同意する」にチェックを入れます。

【23】 [OK] をタップします。

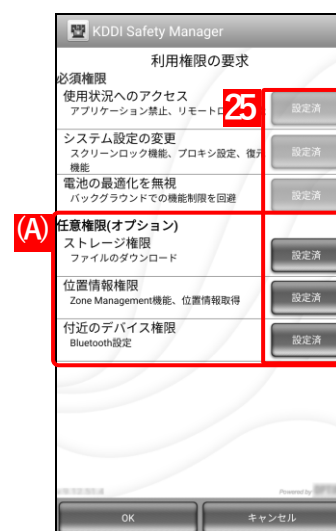


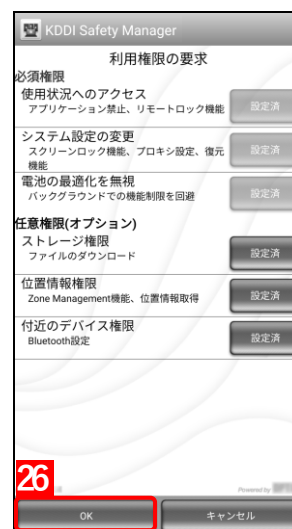
【24】 [OK] をタップします。



【25】 画面の案内に従って設定を行ってください。

- ✍️ Android 12 以上でエージェントバージョン 9.14.0 以上の場合、
(A) 任意権限に「付近のデバイス権限」が表示されます。
- ✍️ Android 13 以上でエージェントバージョン 9.16.0 以上の場合、
(A) 任意権限にの「通知権限」が表示されます。「ストレージ権限」は表示されません。



【26】 [OK] をタップします。**【27】 「ユーザーID またはメールアドレス」「パスワード」を入力します。**

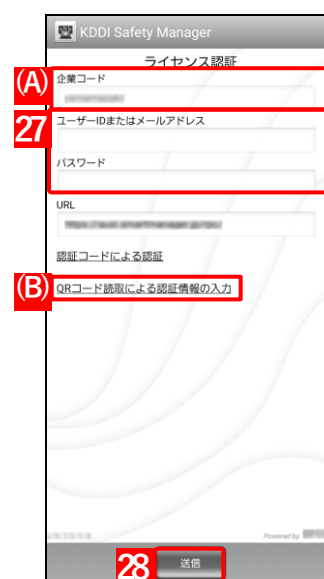
ユーザーID またはメールアドレス、パスワードは管理者にお問い合わせください。

(A) 「企業コード」は、自動で入力されています。

(B) [QR コード読取による認証情報の入力] をタップして、エージェント認証用 QR コードを読み取ると、「企業コード」、「認証コード」、「URL」が自動で入力されます。QR コードは、管理者にお問い合わせください。


【28】 [送信] をタップします。

⇒ ライセンス認証完了の画面が表示されます。

**【29】 [OK] をタップします。**

⇒ 初期登録画面が表示されます。

手順【30】～【34】の初期登録画面は、管理サイトでポータル表示を「表示」に設定している場合のみ表示されます。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「サービス環境設定」－「ポータル表示」



【30】 社員番号、姓、名を入力します。

【31】 [次へ] をタップします。

⇒機器にユーザーが紐づきます。

- ❏登録したユーザーを変更することはできません。
- ❏すでにユーザーが端末に紐づけられている場合は、ユーザーが紐づけられているメッセージが表示されます。
- ❏ユーザー情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。



【32】 必要事項を選択、入力します。

【33】 [次へ] をタップします。

- ❏あらかじめ、管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で入力項目を追加してください。追加するとき、「機器から入力可」にチェックを入れてください。チェックが入っていない場合は、項目が表示されません。

🔍『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「入力項目のカスタマイズ」

- ❏管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で設定した内容により、画面に表示される「分類」と「自由入力項目」の内容が異なります。
- ❏機器情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。



【34】 [OK] をタップします。

⇒キッティングおよびライセンス認証が完了しました。



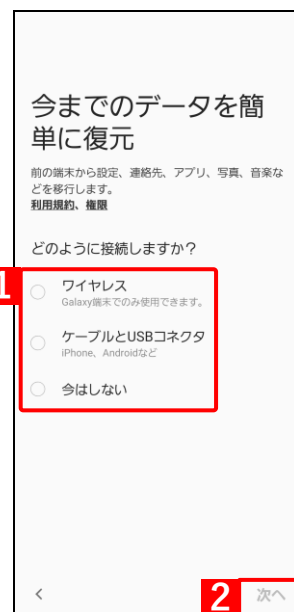
端末に SIM カードが挿入されていない場合

「KME（Google アカウント利用）でキティングする」の手順【4】のあと、以下の操作を行います。

【1】 これまで使用していた端末との接続方法を選択します。

📝 これまで使用していた端末から、設定や連絡先、アプリ、写真、音楽などのデータを移行できます。

【2】 [次へ] をタップします。

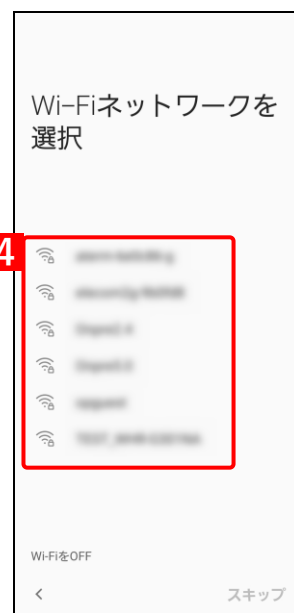


【3】 画面の案内に従って設定を行います。

📝 選択した接続方法によって操作が異なります。

【4】 接続する Wi-Fi ネットワークを選択します。

📝 必ずネットワークに接続して、以降の手順を進めてください。



【5】 「パスワード」を入力します。

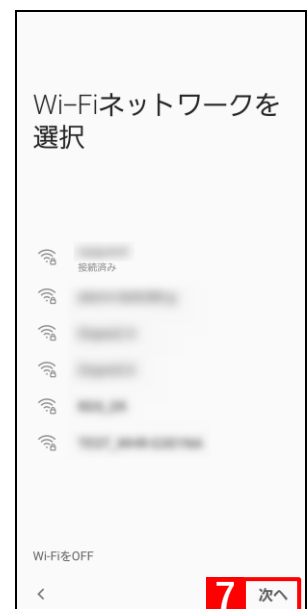
【6】 「接続」 タップします。



【7】 「次へ」 をタップします。

⇒ 「KME (Google アカウント利用) でキッティングする」の手順 **【10】** に進んでください。


「端末を設定してください」画面が表示されるまでお待ちください。



9 Google Workspace アカウントで KME を利用して Android Enterprise 連携を行う

Knox Mobile Enrollment (KME) とは、Samsung の提供するエージェントのキッティング方法の 1 つです。この方法ではキッティング手順が省略化され、大規模な端末の導入を簡単かつ迅速に行うことができます。KME に対応した端末には、エージェントが自動的に Device Owner Mode としてインストールされるため、よりセキュアな端末管理が可能です。


KME キッティングの方法については、以下を参照してください。


 「KME (Google Workspace アカウント利用) でキッティングする」 304 ページ


KME サーバーとの連携を行うと、端末が本製品の機器一覧に事前機器として表示されます。

注意

- 本キッティング方法を利用するには、あらかじめ Samsung 製の KME 対応端末を購入する必要があります。
- KME 対応端末を購入する場合は、あらかじめ販売元に KME の利用方法についてご確認ください。
- その他 KME の詳細については、KME 対応端末の販売元にお問い合わせください。
- 以下の項目は、初回のキッティング時のみ必要な操作です。

 「トークンを発行する」 281 ページ


 「Google Workspace アカウントを登録する」 287 ページ

 「KME を利用するための準備を行う」 294 ページ


 「Knox 認証情報および Knox プロファイル情報を設定する」 300 ページ

参考

- 本製品と連携しない場合は、管理サイトに Knox 認証情報および Knox プロファイル情報を設定する必要はありません。以下を参照して、端末購入前の事前準備をすべて行ってから、KME 対応端末のキッティングをしてください。

 『Knox Mobile Enrollment (KME) の運用フロー』

- あらかじめ管理サイトで Android Enterprise の「アプリケーション配信」機能を設定しておく、キッティングの完了後、ライセンス認証と同時に特定のアプリを端末に配信できます。アプリケーション配信の詳細については、以下を参照してください。

 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』の「アプリをインストールする」

9.1 トークンを発行する

以下の手順で、Google Workspace アカウントを利用して本製品と Google 間の連携設定を行います。

- [1] Google 管理コンソール (<https://admin.google.com>) を表示します。**
- [2] [アプリ] をクリックします。**



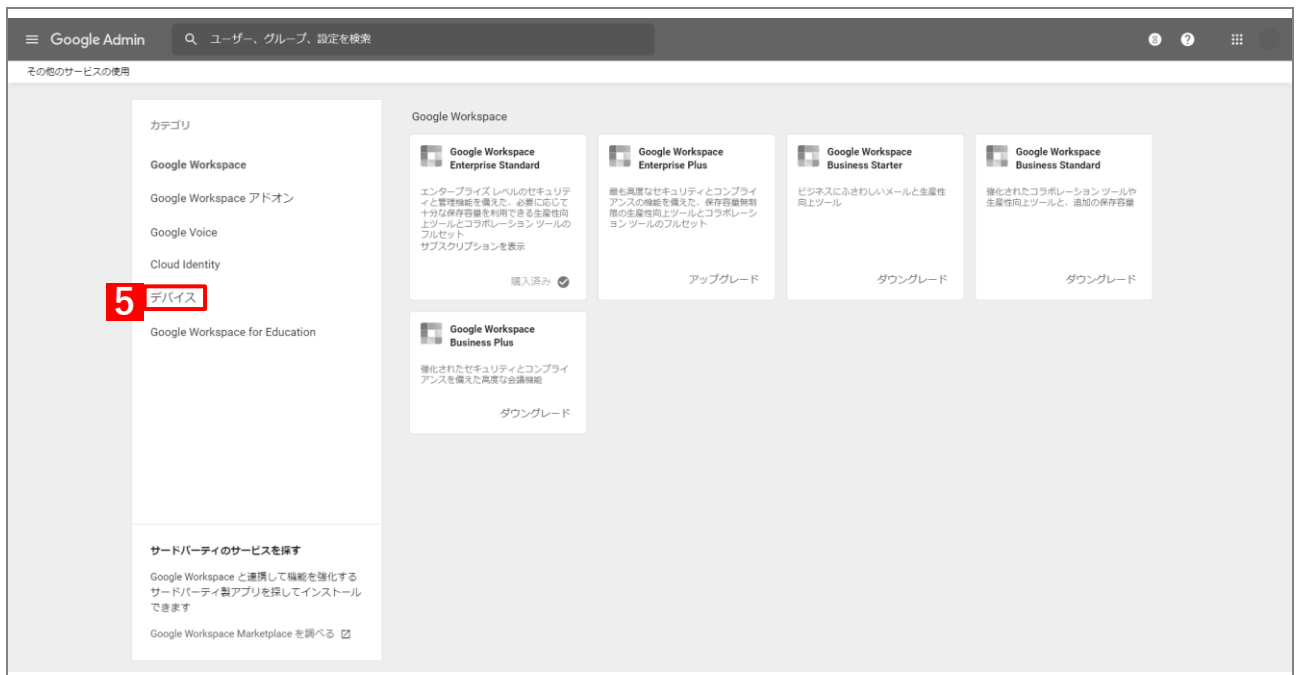
- [3] [Google Workspace] をクリックします。**




[4] [サービスを追加] をクリックします。

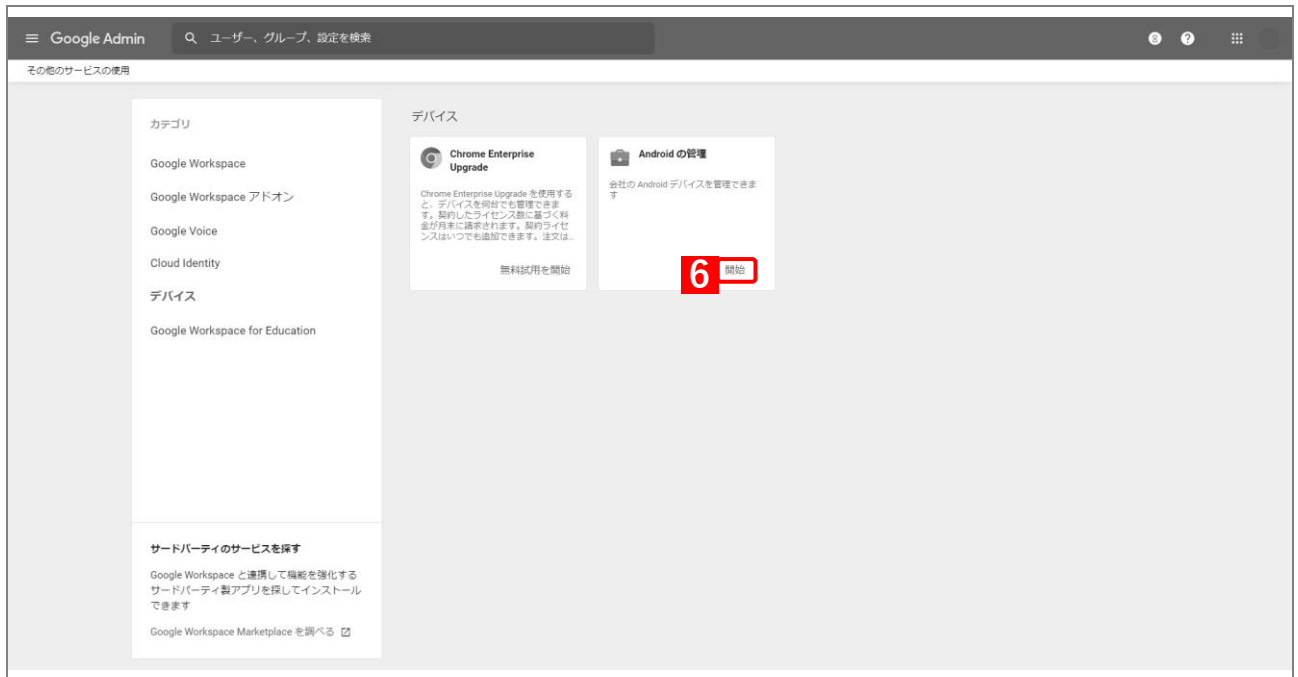


[5] [デバイス] をクリックします。



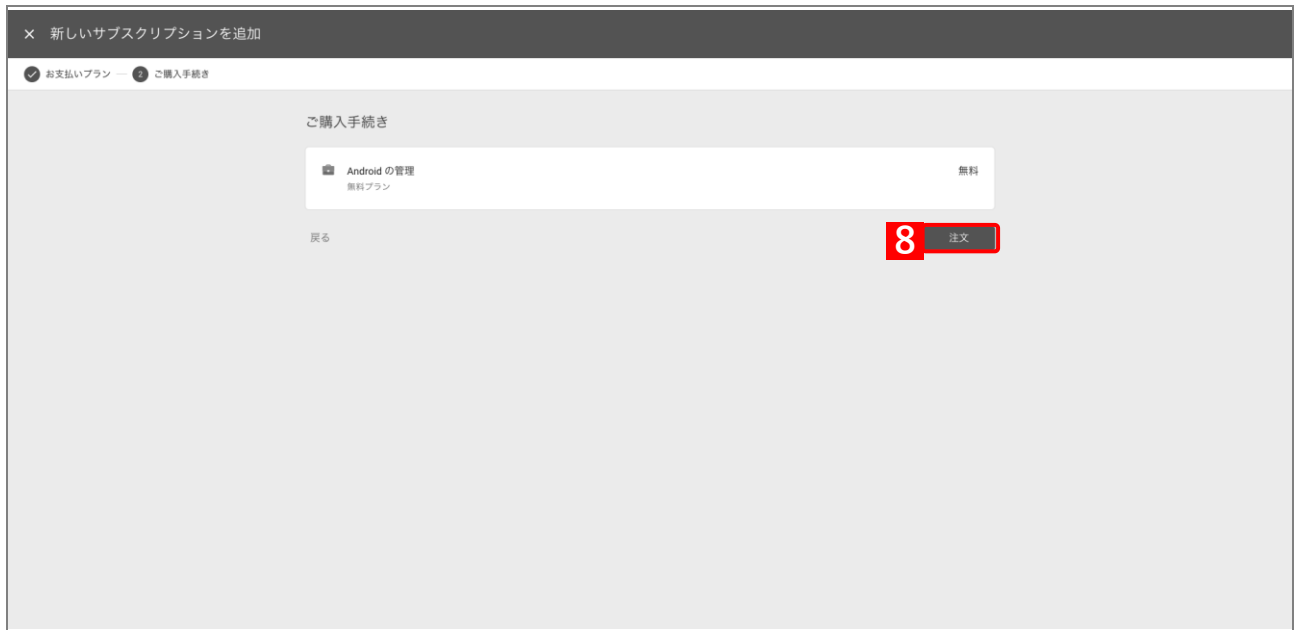
[6] 「Android の管理」の「開始」をクリックします。

 本操作により、料金が発生することはありません。

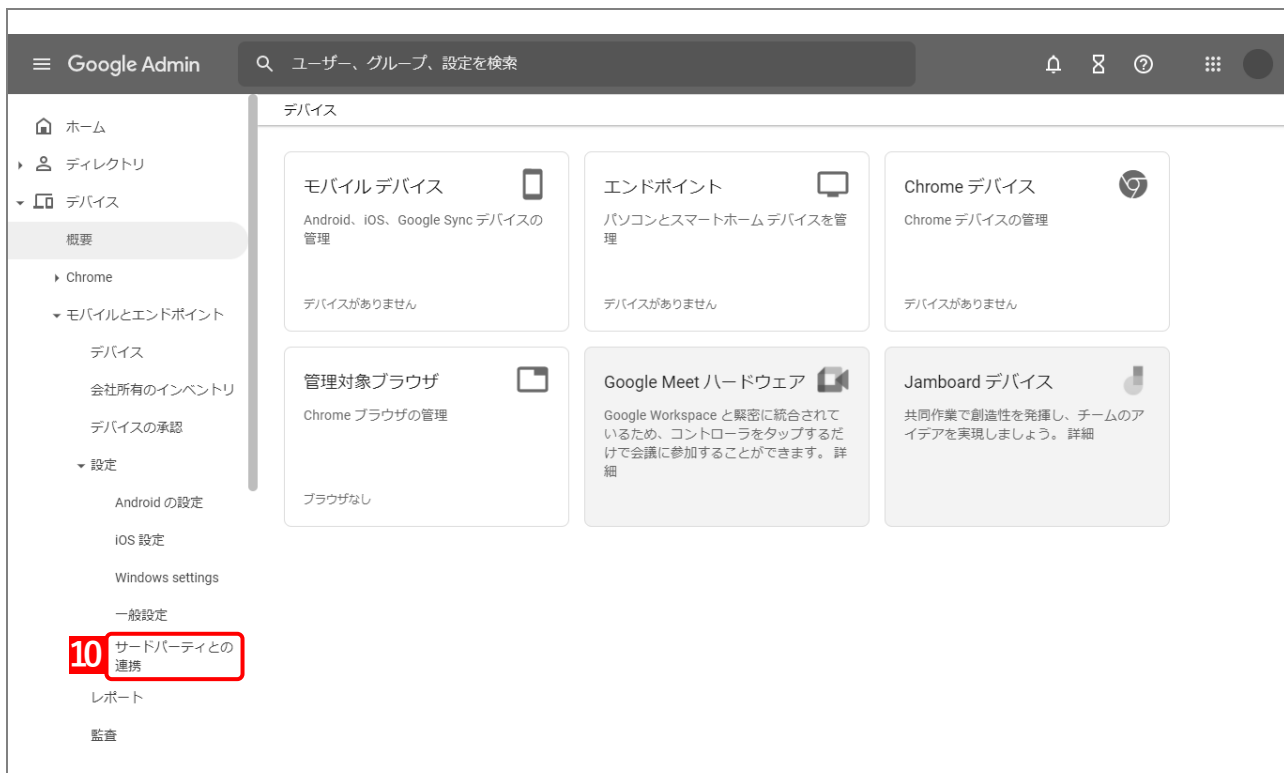
**[7]** 「ご購入手続き」をクリックします。

【8】 [注文] をクリックします。

⇒管理コンソールが表示されます。

**【9】 [デバイス] をクリックします。**

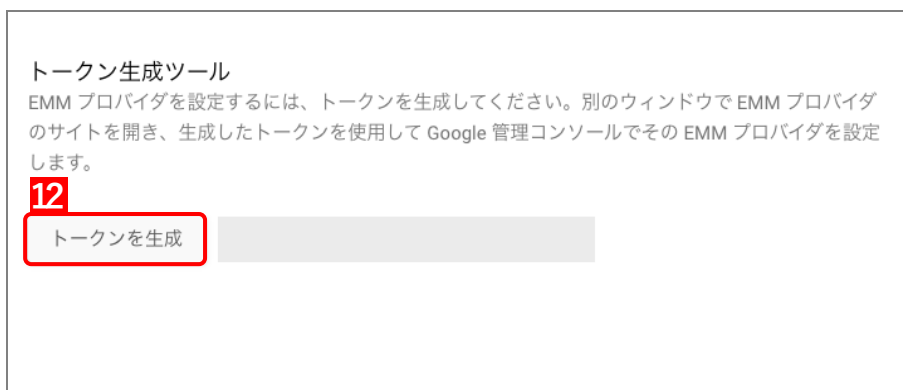
【10】 [モバイルとエンドポイント] → [設定] → [サードパーティとの連携] をクリックします。



【11】 [Android EMM] の [EMM プロバイダを追加] をクリックします。



【12】 [トークンを生成] をクリックします。



【13】 トークンが表示されます。アカウント登録に必要となりますのでメモしてください。

トークン生成ツール

EMM プロバイダを設定するには、トークンを生成してください。別のウィンドウで EMM プロバイダのサイトを開き、生成したトークンを使用して Google 管理コンソールでその EMM プロバイダを設定します。

トークンを生成 **13** コピー

このトークンは、30 日が経過した時点、またはプロバイダの設定に使用された時点で失効します

【14】 「Android EMM」の「サードパーティの Android モバイル管理を有効にする」にチェックを入れます。**【15】 [保存] をクリックします。**

Android EMM
「」で適用しました

サードパーティの Android モバイル管理

14 サードパーティの Android モバイル管理を有効にする

EMM プロバイダの管理

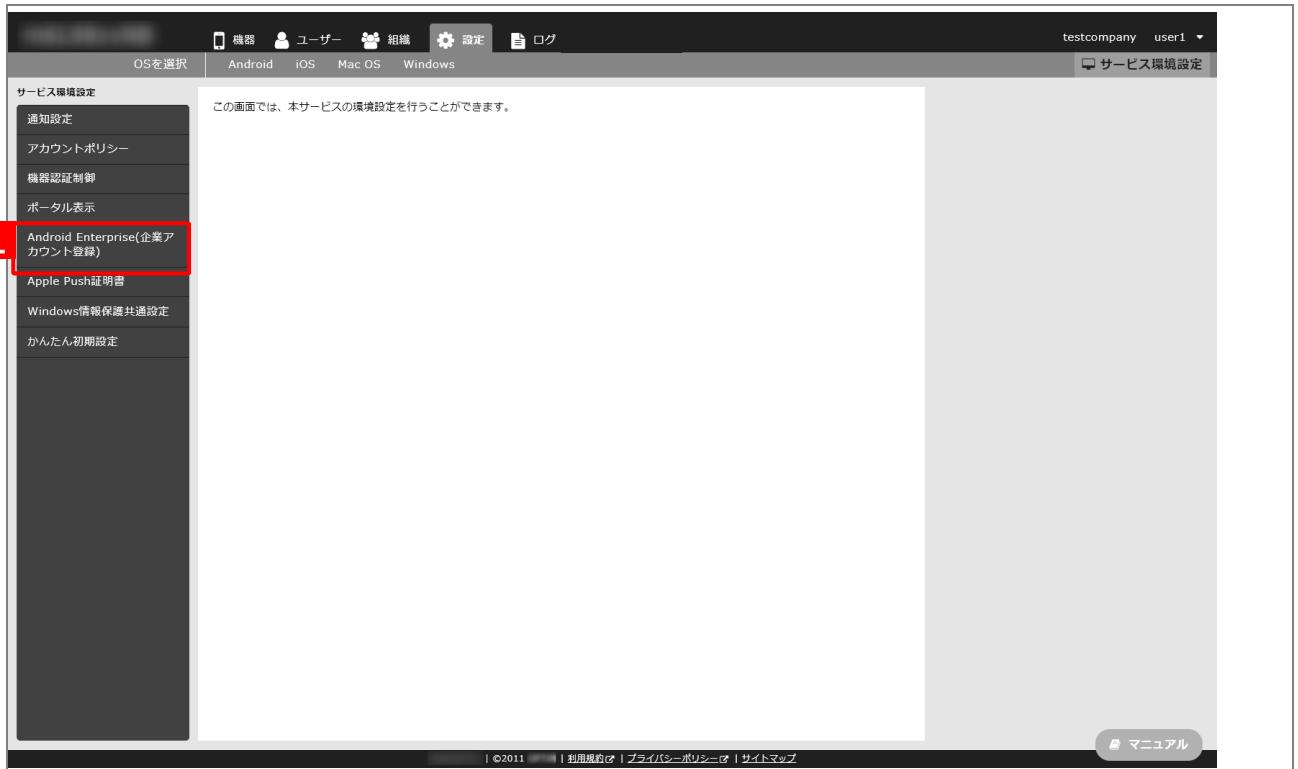
未保存の変更が 1 件あります キャンセル **15**

9.2 Google Workspace アカウントを登録する

以下の手順で、管理サイトに Google Workspace アカウントを登録します。

- ☑ Google Workspace アカウントを登録後は、Google 側の設定変更は行わないでください。
- ☑ Google Workspace 標準の「モバイル管理機能」を使っていた場合はモバイル管理機能の「端末」情報を削除してください。

[1] [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise (企業アカウント登録)] をクリックします。



[2] 「Google Workspace アカウント」を選択します。

✎ 「アカウント種別」の初期値は「Google アカウント」が選択されています。

✎ (A) 「状態」は「未登録」と表示されています。

[3] <https://play.google.com/work/termsofservice> にアクセスして、利用規約に同意します。**[4] 「ドメイン」、「EMM トークン」を入力します。**

✎ 「ドメイン」には、契約している Google Workspace アカウントのドメインを入力してください。
Google Workspace アカウントが「XXXXX@xxxx.co.jp」の場合は、ドメインは「xxxx.co.jp」になります。

[5] [アカウント登録] をクリックします。

⇒ アカウント登録済みの画面が表示されます。

The screenshot shows the 'Android Enterprise(企業アカウント登録)' screen. It includes a status indicator '(A) 状態 未登録', a warning box about security settings, an account type selection section where 'Google Workspaceアカウント' is selected (callout 2), a URL 'https://play.google.com/work/termsofservice' (callout 3), input fields for 'ドメイン' and 'EMMトークン' (callout 4), and a 'アカウント登録' button (callout 5).

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
未登録

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別

○ Googleアカウント ● Google Workspaceアカウント

▲ Google Workspaceアカウント連携をご利用の方は、特権管理者アカウントで Google Workspaceにログイン後、下記URLへアクセスし規約に同意してください。

3 <https://play.google.com/work/termsofservice>

4 ドメイン
EMMトークン

5 アカウント登録

- ✎ (A) 「状態」は「登録済」と表示されます。
- ✎ (B) 手順【4】で入力した「ドメイン」、「EMM トークン」が表示されています。
- ✎ (C) 「組織ID」に managed Google Play ストアでの組織の一意的識別子が表示されています。

(A) Android Enterprise(企業アカウント登録)

状態
登録済

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別
Google Workspaceアカウント

(B) ドメイン
[入力されたドメイン名]
EMMトークン
[入力されたEMMトークン]

(C) 組織ID
[組織ID]

▲ Google Workspaceアカウント連携をご利用の方は、特権管理者アカウントで Google Workspaceにログイン後、下記URLへアクセスし規約に同意してください。
<https://play.google.com/work/termservice>

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。

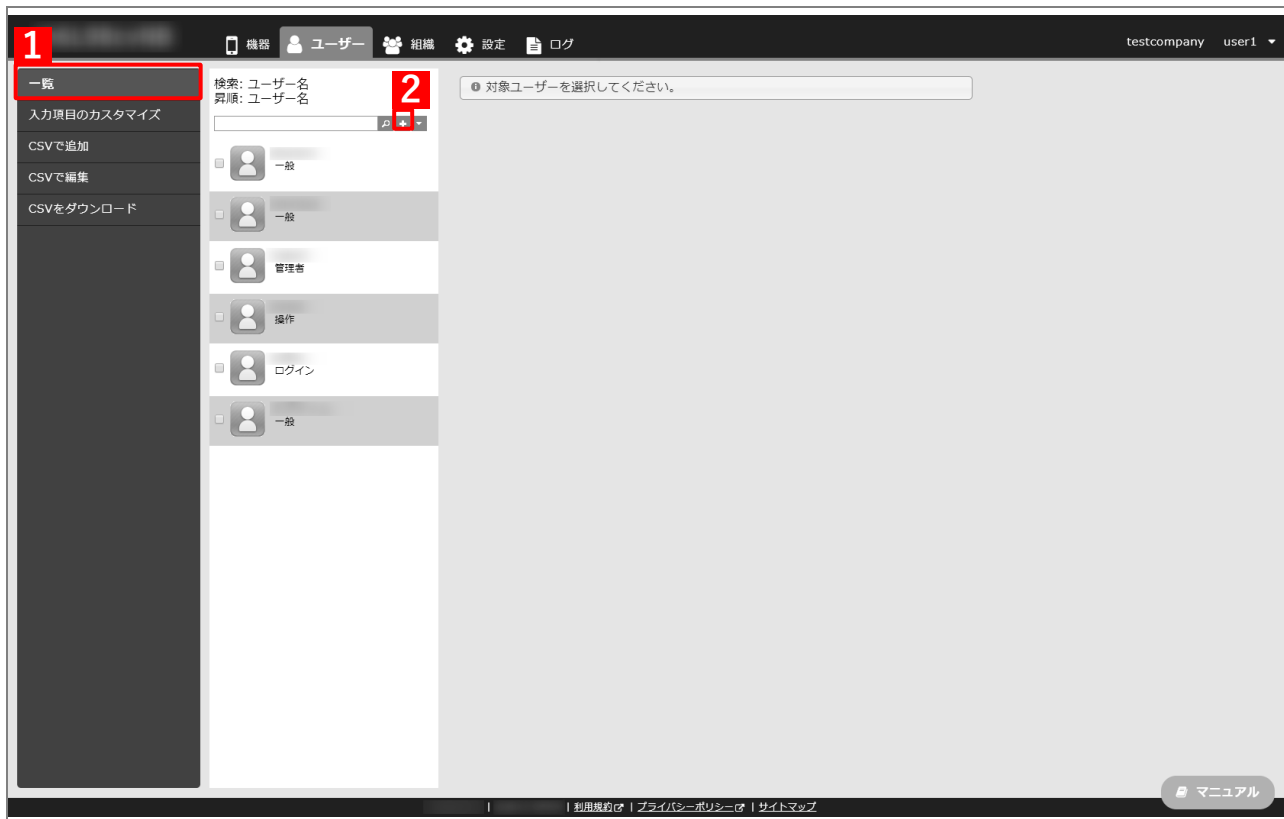
同意する

アカウント削除


9.3 ユーザーを作成する

以下の手順で、ユーザーを作成します。

- [1]** [ユーザー] → [一覧] をクリックします。
- [2]** **+** をクリックします。



【3】 「名前」 に任意の名前を入力します。

 その他の入力および設定項目の詳細については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「ユーザー」 - 「一覧」 - 「ユーザーの作成」

【4】 「保存」 をクリックします。

⇒ユーザーが作成されます。



管理情報 - 編集

名前 **3**

フリガナ

姓

名

ユーザーID

メールアドレス

ユーザー種別

- 管理者 (全ての操作ができます)
- 操作
- 閲覧者 (変更操作ができません)
- ロック・ワイブ
- ログイン (個別に権限を設定)
- 一般 (ログインできません)

組織

分類

(未分類)

機器認証制限

- 制限なし
- 制限あり 台
- 認証禁止

取消 **4** 保存

パスワード

現在のパスワード

編集

機器

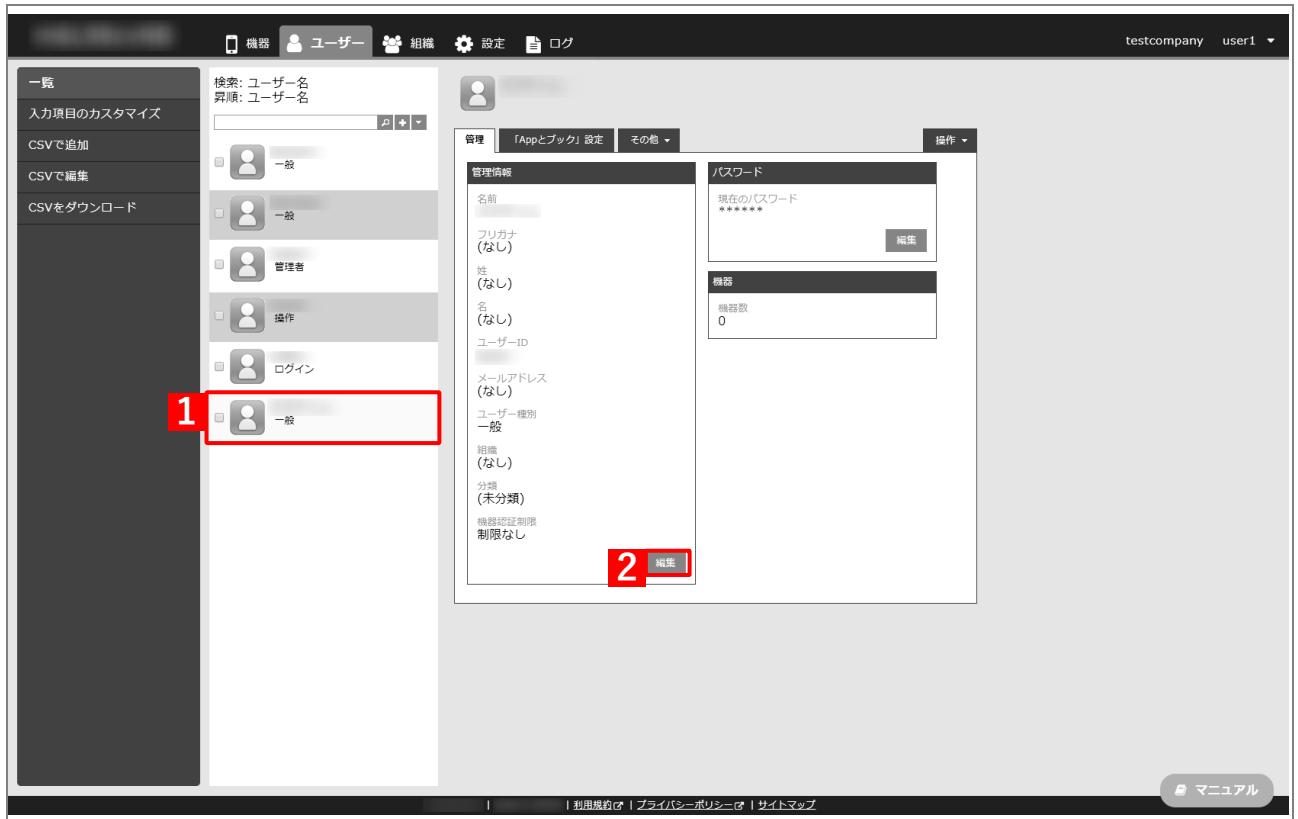
機器数
0

9.3.1 既存のユーザーに Google Workspace アカウントを登録する

既存のユーザーに対して Google Workspace アカウントを登録するには、以下の操作を行います。

🔗 Google Workspace アカウントが登録されていない場合は、キティング時のライセンス認証に失敗します。

- [1]** [ユーザー] → [一覧] → 一覧から対象ユーザーを選択します。
- [2]** [編集] をクリックします。



【3】 「メールアドレス」 に Google Workspace アカウントを入力します。

【4】 [保存] をクリックします。

⇒ユーザーにメールアドレスが登録されます。

The screenshot displays the '管理情報 - 編集' (Management Information - Edit) form for a user. The form is divided into several sections:

- 管理情報 - 編集**: Contains input fields for '名前' (Name), 'フリガナ' (Kana), '姓' (Surname), '名' (Given Name), 'ユーザーID' (User ID), and 'メールアドレス' (Email Address). The 'メールアドレス' field is highlighted with a red box and labeled '3'. Below these fields are radio buttons for 'ユーザー種別' (User Type): '管理者 (全ての操作ができます)' (Administrator), '操作' (Operator), '閲覧者 (変更操作ができません)' (Viewer), 'ロック・ワイプ' (Lock/Wipe), 'ログイン (個別に権限を設定)' (Login), and '一般 (ログインできません)' (General). There are also dropdown menus for '組織' (Organization) and '分類' (Classification), and radio buttons for '機器認証制限' (Device Authentication Limitation): '制限なし' (No Limitation), '制限あり' (Limitation), and '認証禁止' (Prohibit Authentication).
- パスワード**: Contains a '現在のパスワード' (Current Password) field with a '編集' (Edit) button.
- 機器**: Shows '機器数' (Number of Devices) as 0.

At the bottom of the form, there are two buttons: '取消' (Cancel) and '保存' (Save). The '保存' button is highlighted with a red box and labeled '4'.

9.4 KME を利用するための準備を行う

管理サイトと連携するために、Galaxy アカウントを会社用メールアドレスに関連付けます。

- ☑ 管理用のメールアドレスを 1 つ用意してください。管理者個人のメールアドレスではなく、管理担当部署のメーリングリストなどを推奨します。
- ☑ すでに Knox API ポータルを利用している、または管理サイトに JSON ファイルがアップロードされている場合は、本操作は不要です。

9.4.1 Galaxy アカウントを取得する

以下を参照して、Galaxy アカウントを取得します。

🔍 『Knox Mobile Enrollment (KME) の運用フロー』の「端末購入前の事前準備」 - 「Galaxy Account の取得」

9.4.2 KME の申請をする

以下を参照して、KME の申請を行います。

🔍 『Knox Mobile Enrollment (KME) の運用フロー』の「端末購入前の事前準備」 - 「Knox Mobile Enrollment の申請」

9.4.3 Knox API ポータルにログインできるようにする

Knox API ポータルのログインができるように、サムスン電子社へ依頼します。

📝 詳細については、サムスン電子社にお問い合わせください。

- 【1】 <https://www2.samsungknox.com/user> にアクセスして、Knox ダッシュボードを表示します。
- 【2】 「Email」に Galaxy アカウントを入力します。
- 【3】 「Password」にパスワードを入力します。
- 【4】 「SIGN IN」をクリックします。

Galaxy Account

2 Email

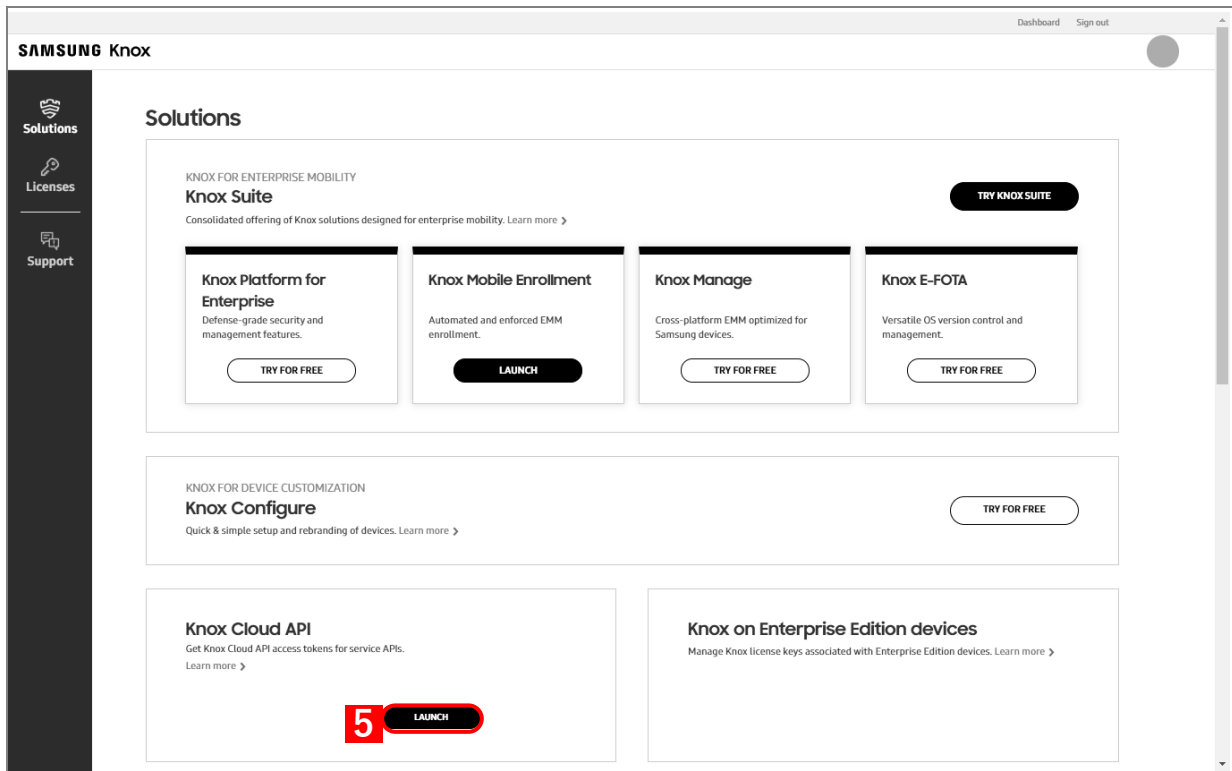
3 Password

Remember my ID

4 SIGN IN

[Find ID or Reset password?](#)
or [Sign up here](#)

【5】 「Knox Cloud APIs」 の [Launch] をクリックします。



【6】 以降の操作は、画面の指示に従い、申請を行ってください。

☑ 詳細については、サムスン電子社にお問い合わせください。

9.4.4 JSON ファイルのダウンロードおよびクライアント識別子を取得する

Knox API ポータルで、JSON ファイルのダウンロードおよびクライアント識別子を取得します。

📌 JSON ファイルのダウンロードは、1つの Galaxy アカウントにつき初回ログイン時の1回のみです。紛失しても再発行はされません。ダウンロードした JSON ファイルが、任意の場所に保存されていることを必ず確認してください。

- 【1】 <https://eu-kcs-api.samsungknox.com/kapi/> にアクセスして、Knox API ポータルを表示します。
- 【2】 「Email」 に Galaxy アカウントを入力します。
 - 📌 Knox API ポータルに初めてログインする Galaxy アカウントを入力してください。
- 【3】 「Password」 にパスワードを入力します。
- 【4】 「SIGN IN」 をクリックします。

- 【5】 JSON ファイルが表示されます。

📌 JSON ファイルは、Knox API ポータルに初めてログインする Galaxy アカウントのみ表示されます。
 📌 言語は英語で表示されます。(A) をクリックして言語一覧から日本語を選択してください。

- 【6】 「JSON ファイルをダウンロード」 をクリックします。

⇒ JSON ファイルのダウンロードが開始されます。

【7】 JSON ファイルのダウンロードが完了しました。

✍️ JSON ファイルの再発行はされません。必ず保存されていることを確認してください。

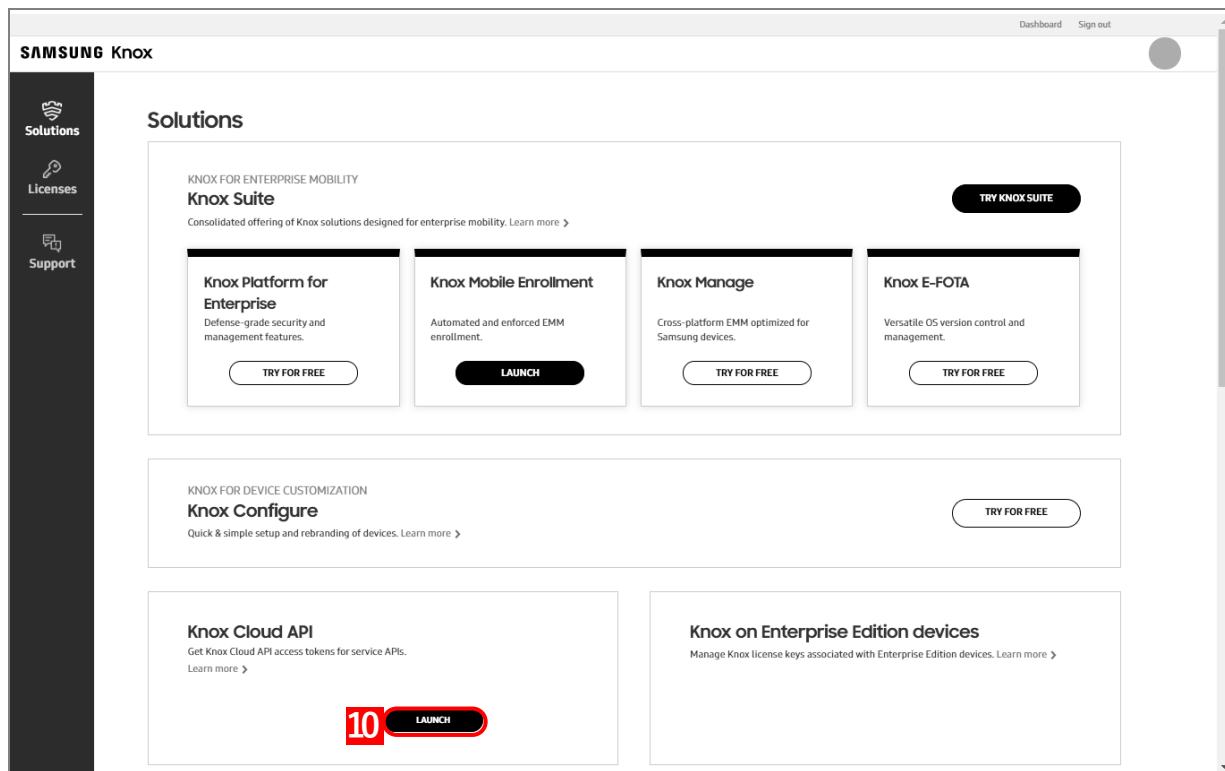
📁 任意の場所にファイルを保存します。

【8】 メッセージを確認して、[確認済み] をクリックします。


【9】 [Samsung Knox Dashboard] をクリックします。




【10】 「Knox Cloud API」の [Launch] をクリックします。





[11] クライアント識別子が表示されます。

 言語は英語で表示されます。(A) をクリックして言語一覧から日本語を選択してください。

[12]  をクリックすると、クライアント識別子がクリップボードにコピーされます。

 メモ帳などにペーストして保存してください。

 クライアント識別子を再生成する場合は、(B)  をクリックします。



Knox Cloud APIs Samsung Knox Dashboard

クライアント識別子

KNOX MOBILE ENROLLMENT API
クライアント識別子  

11

NEXT STEPS

APIリファレンスガイドの手順に従って、上記で生成したクライアント識別子を使用してアクセストークンを作成してください。

[GO TO API REFERENCE GUIDE](#)



(A) 日本語 ^

利用規約 プライバシー規約 Copyright © 1995-2020 SAMSUNG All Rights Reserved.

9.4.5 Knox カスタマーID を取得する

KME コンソールで、Knox カスタマーID を取得します。

- [1]** <https://eu-kme.samsungknox.com/itadmin> にアクセスして、Knox API ポータルを表示します。
- [2]** 「Email」 に Galaxy アカウントを入力します。
- [3]** 「Password」 にパスワードを入力します。
- [4]** 「SIGN IN」 をクリックします。

- [5]** ユーザーアイコンをクリックします。
- [6]** Knox カスタマーID が表示されます。
- [7]**  をクリックすると、Knox カスタマーID がクリップボードにコピーされます。
 メモ帳などにペーストして保存してください。

RESELLER NAME	UPLOADED	DEVICES	UPLOAD APPROVAL	DETAILS
KDDI NW service EMM reseller	23 Mar	1	• Approved	View
KDDI NW service EMM reseller	01 Oct 2019	2	• Approved	View

9.5 Knox 認証情報および Knox プロファイル情報を設定する

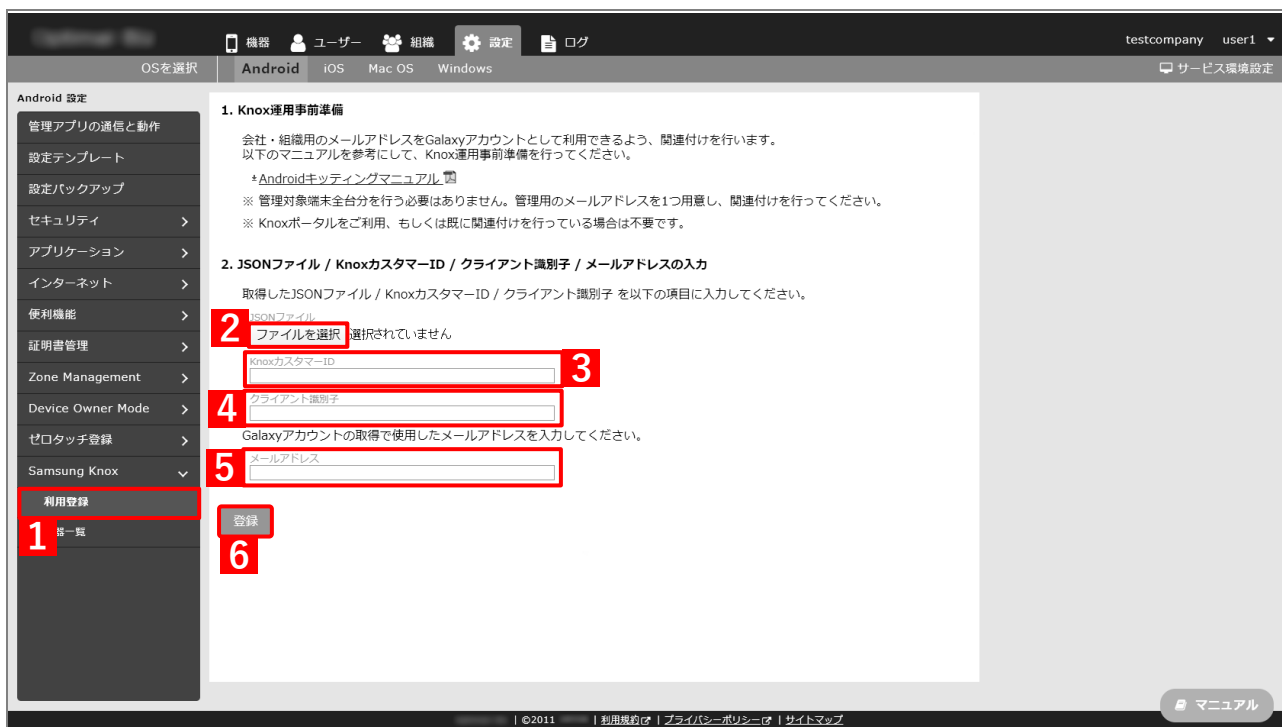
Knox API ポータルでダウンロードした JSON ファイルを管理サイトにアップロードし、機器情報を登録します。

📌 ゼロタッチ端末を Google Workspace アカウントで利用する場合は、本製品と Google Workspace アカウントの連携設定が必要です。Knox 認証情報および Knox プロファイル情報の設定後に、Google Workspace アカウントの連携設定はできません。そのため、必ずあらかじめ以下の操作を行ってください。

🔗 「トークンを発行する」 281 ページ

🔗 「Google Workspace アカウントを登録する」 287 ページ

- [1]** [設定] → [Android] → [Samsung Knox] → [利用登録] をクリックします。
- [2]** [ファイル選択] をクリックし、ダウンロードした JSON ファイルを選択します。
- [3]** KME コンソールで取得した「Knox カスタマーID」を入力します。
- [4]** Knox API ポータルで取得した「クライアント識別子」を入力します。
- [5]** 「メールアドレス」に Galaxy アカウントを入力します。
- [6]** [登録] をクリックします。



【7】 「Knox プロファイル情報」 の 「新規作成」 をクリックします。

✎ 変更する場合は、(A) [編集] をクリックします。

✎ 削除する場合は、(B) [削除] をクリックします。

Knox認証情報

JSONファイル
※アップロード済み

KnoxカスタマーID

クライアント識別子

メールアドレス

(A) 編集 (B) 削除

Knoxプロフィール情報

▲ Knox機能を使用する場合は必須です。

状態
未登録

7 新規作成

【8】 「サポート企業名」 に 「SMSM」 と入力します。**【9】 「サポートメールアドレス」 を入力します。****【10】 「サポート電話番号」 を入力します。****【11】 [保存] をクリックします。**

Knoxプロフィール情報 - 編集

8 サポート企業名

9 サポートメールアドレス

10 サポート電話番号

取消 保存

11

- 【12】** (A) 「処理中です。」と表示されたあと約 1 分が経過したら、手動でブラウザを再読み込みします。



The screenshot shows the Knox profile registration interface. At the top, a notification bar states: 「Knoxプロフィール情報の登録を受け付けました。」 Below this, the 'Knox認証情報' section is visible, containing fields for 'JSONファイル ※アップロード済み', 'KnoxカスタマーID', 'クライアント識別子', and 'メールアドレス'. At the bottom right of this section are buttons for '編集' and '削除'. The 'Knoxプロフィール情報' section below shows a status of '処理中' (Processing), which is highlighted with a red box and labeled (A). Below the status, the text '状態 処理中' is displayed.

⇒ Knox プロファイル情報の登録が完了し、利用登録画面が以下のように表示されます。

✎ 変更する場合は、(B) [編集] をクリックします。

✎ 削除する場合は、(C) [削除] をクリックします。



The screenshot shows the 'Knoxプロフィール情報' screen after registration. It contains three input fields: 'サポート企業名', 'サポートメールアドレス', and 'サポート電話番号'. At the bottom right, there are two buttons: (B) [編集] and (C) [削除], both highlighted with red boxes.

9.6 KME サーバーに同期する

以下の手順で KME サーバーとの同期を行い、管理サイトに端末の情報を表示させます。

✎ 事前に各機能の設定を登録しておく、キッキングと同時に端末に機能が割り当てられます。機能の設定方法は、以下を参照してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」

[1] [設定] → [Android] → [Samsung Knox] → [機器一覧] をクリックします。

[2] [Knox サーバ同期] をクリックします。

✎ Samsung Knox 機器一覧で表示された KME 端末は、機器画面の機器一覧で、認証待ち機器として表示されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』「機器」 - 「一覧」 - 「機器一覧」

✎ Samsung Knox 機器一覧では、機器の削除はできないので、機器画面の機器一覧から削除してください。機器画面の機器一覧で削除したら、Samsung Knox 機器一覧からも削除されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」 - 「一覧」 - 「機器の個別削除」

✎ 機器画面から KME 端末の新規作成は行わないでください。

✎ (A) [IMEI] をクリックすると、機器画面の機器一覧が表示されます。

The screenshot shows the Samsung Knox management interface. The top navigation bar includes '機器' (Devices), 'ユーザー' (Users), '組織' (Organizations), '設定' (Settings), and 'ログ' (Logs). The main content area is titled 'Android 設定' (Android Settings) and has tabs for 'Android', 'iOS', 'Mac OS', and 'Windows'. On the left, a sidebar menu lists various settings, with '機器一覧' (Device List) highlighted by a red box labeled '1'. The main area shows a table of devices with columns for 'IMEI', 'ユーザー名' (User Name), 'Knoxサーバ(登録設定更新日時)' (Knox Server (Registration Setting Update Date)), and 'Knoxサーバ(同期日時)' (Knox Server (Sync Date)). A red box labeled '(A)' highlights the 'IMEI' column header. In the top right of the main area, there is a 'Knoxサーバ(同期)' button highlighted by a red box labeled '2'. The table contains three rows of device information, all with a registration date of 2020/03/26 19:14.

IMEI	ユーザー名	Knoxサーバ(登録設定更新日時)	Knoxサーバ(同期日時)
[REDACTED]	[REDACTED]	2020/03/26 19:14	2020/03/26 19:14
[REDACTED]	[REDACTED]	2020/03/26 19:14	2020/03/26 19:14
[REDACTED]	[REDACTED]	2020/03/26 19:14	2020/03/26 19:14

9.7 KME (Google Workspace アカウント利用) でキッティングする

以下の手順で KME 端末のキッティングを行います。

- 管理サイトの「アプリケーション禁止」で「禁止するアプリケーション」、および「アプリケーション非表示」に「Google Play 開発者サービス (com.google.android.gms)」を設定していると、正常にキッティングが完了できない場合があります。以下を参照して、事前に設定を解除してから、キッティングを行ってください。

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「アプリケーション」 - 「アプリケーション禁止」

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「アプリケーション非表示」

- 本キッティング方法は、KME に対応した一部の Samsung 製端末でのみ利用できます。
- 端末によっては手順が異なる場合があります。その場合は、実際の画面の案内に従って操作してください。
- 手順【12】の画面は、機種や OS によって表示されるタイミングが異なる場合があります。

【1】 端末を起動します。

⇒ 「開始！」画面が表示されます。

【2】 ➡ をタップします。



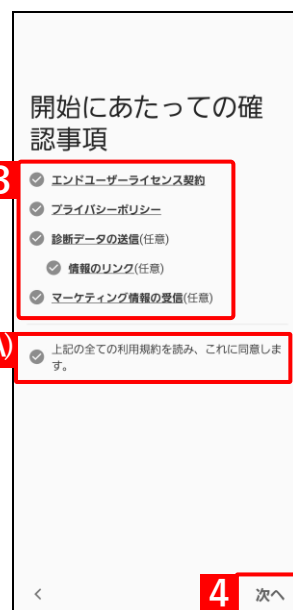
【3】 各項目をタップして内容を確認し、チェックを入れます。

- (A) [上記全ての利用規約を読み、これに同意します。] をタップすると、すべての項目にチェックが入ります。

【4】 [次へ] をタップします。

- 以降の手順【5】～【9】は、端末に SIM カードが挿入されている場合の操作です。SIM カードが挿入されていない場合の操作については、以下を参照してください。

🔗 「端末に SIM カードが挿入されていない場合」 315 ページ



【5】使用するネットワーク接続方法に応じて、以下のいずれかの操作を行います。

☑必ずネットワークに接続して、以降の手順を進めてください。

《モバイルネットワークを使用する場合》

(A) [続行] をタップし、手順【10】に進みます。

⇒「端末を設定してください」画面が表示されるまでお待ちください。

《Wi-Fi ネットワークを使用する場合》

(B) [設定] をタップし、次の手順に進みます。

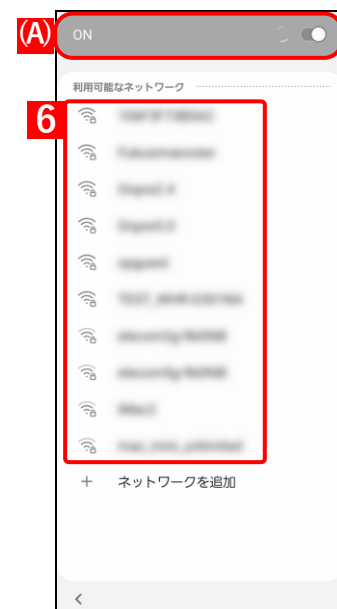
【6】接続する Wi-Fi ネットワークを選択します。

☑(A) が「OFF」に設定されている場合は、「接続可能なネットワーク」にネットワークが表示されません。必ず「ON」に設定してください。



(B) 設定

(A) 続行



(A)

6

【7】「パスワード」を入力します。

【8】[接続] をタップします。



7

8

【9】 < をタップします。

⇒ 「端末を設定してください」画面が表示されるまでお待ちください。

✎ (A) 「現在のネットワーク」に、接続中の W-Fi ネットワークが表示されています。

**【10】** [同意して続行] をタップします。**【11】** [次へ] をタップします。


【12】 [OK] をタップします。

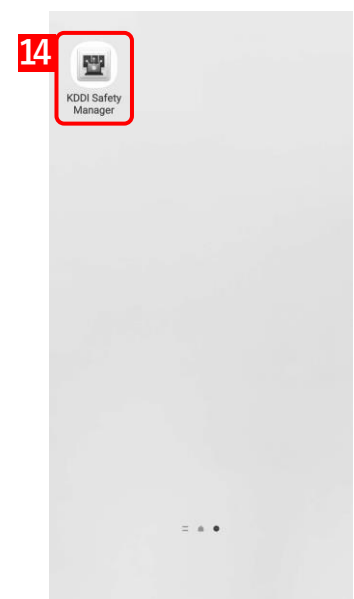


【13】 画面下部からスワイプします。
⇒ ホーム画面に移動します。



【14】 [KDDI Safety Manager] をタップします。

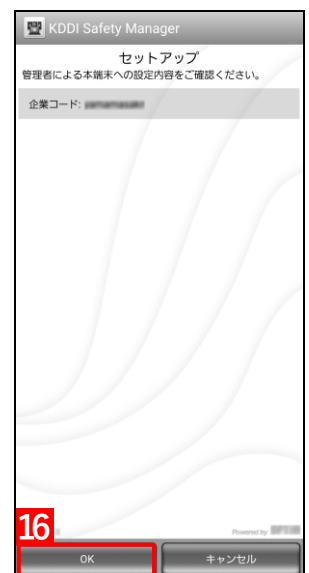
 ホーム画面にアイコンが表示されない場合は、アプリ一覧を確認してください。



【15】 [ライセンス認証] をタップします。



【16】 [OK] をタップします。



【17】 [OK] をタップします。



【18】 [次へ] をタップします。

Google
ログイン
Google アカウントでログインしましょう。
詳細

メールアドレスまたは電話番号

メールアドレスを忘れた場合

アカウントを作成

18 次へ

【19】 パスワードを入力します。

【20】 [次へ] をタップします。

Google
ようこそ

19 パスワードを入力

パスワードを表示します

パスワードをお忘れの場合

20 次へ

【21】 [同意する] をタップします。

Google
ようこそ

Google では、サービスをご利用になる際の注意点を
ご理解いただけるよう Google 利用規約を公開し
ています。[同意する] をクリックすると、この規約
に同意したことになります。

Google Play 利用規約にも同意すると、アプリの検
索や管理を行えるようになります。

また、Google プライバシー ポリシーもご確認くだ
さい。Google サービスのご利用時に生成される情
報を Google がどのように取り扱うかについて記載
されています。Google アカウント
(account.google.com) にアクセスすることで、
いつでもプライバシー診断を実施したり、プライバ
シーの管理方法を調整したりできます。

21 同意する

【22】 利用規約の [確認・同意] をタップします。



【23】 「利用規約に同意する」にチェックを入れます。

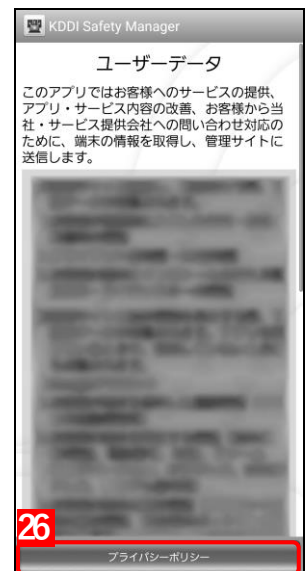
【24】 [OK] をタップします。



【25】 プライバシーポリシーの [確認・同意] をタップします。



【26】 ユーザーデータについて確認して、[プライバシーポリシー] をタップします。



【27】 「プライバシーポリシーに同意する」にチェックを入れます。

【28】 [OK] をタップします。

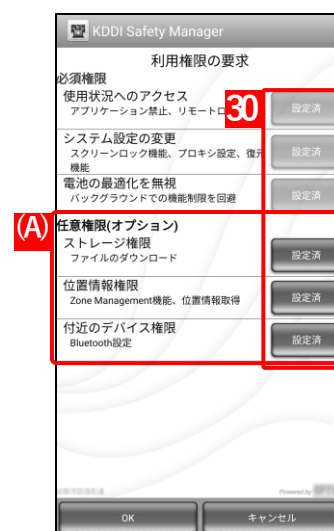


【29】 [OK] をタップします。

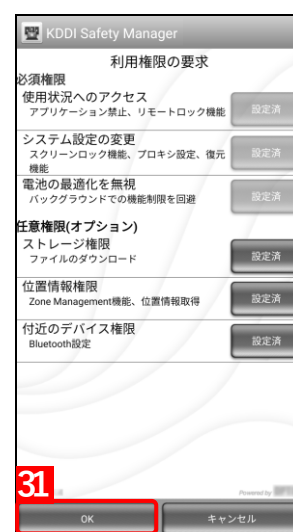


【30】 画面の案内に従って設定を行ってください。

- ☑ Android 12 以上でエージェントバージョン 9.14.0 以上の場合、
(A) 任意権限に「付近のデバイス権限」が表示されます。
- ☑ Android 13 以上でエージェントバージョン 9.16.0 以上の場合、
(A) 任意権限にの「通知権限」が表示されます。「ストレージ権限」は表示されません。

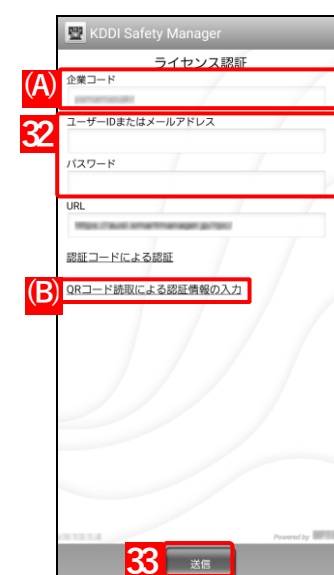


【31】 [OK] をタップします。



【32】 「ユーザーID またはメールアドレス」「パスワード」を入力します。

- ☑ ユーザーID またはメールアドレス、パスワードは管理者にお問い合わせください。
- ☑ (A) 「企業コード」は、自動で入力されています。
- ☑ (B) [QR コード読取による認証情報の入力] をタップして、エージェント認証用 QR コードを読み取ると、「企業コード」、「認証コード」、「URL」が自動で入力されます。QR コードは、管理者にお問い合わせください。



【33】 [送信] をタップします。

⇒ ライセンス認証完了の画面が表示されます。

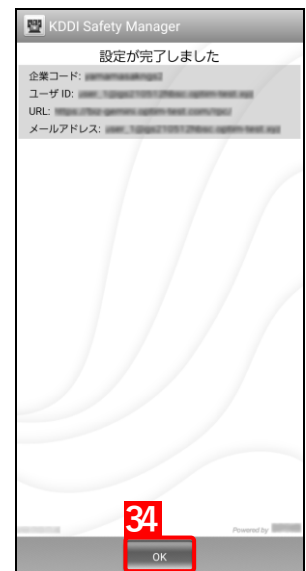
33 [送信]

【34】 [OK] をタップします。

⇒ 初期登録画面が表示されます。

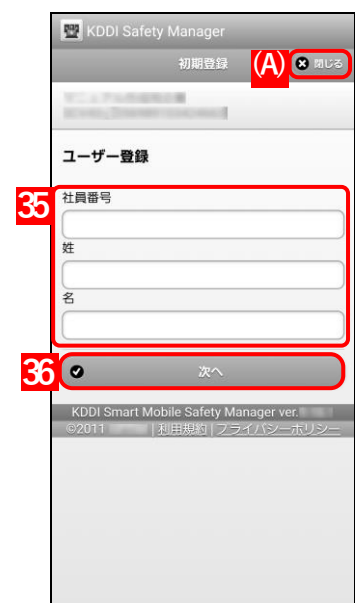
- ✎ 手順【35】～【39】の初期登録画面は、管理サイトでポータル表示を「表示」に設定している場合のみ表示されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「サービス環境設定」－「ポータル表示」

**【35】 社員番号、姓、名を入力します。****【36】 [次へ] をタップします。**

⇒ 機器にユーザーが紐づきます。

- ✎ 登録したユーザーを変更することはできません。
- ✎ すでにユーザーが端末に紐づけられている場合は、ユーザーが紐づけられているメッセージが表示されます。
- ✎ ユーザー情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。

**【37】 必要事項を選択、入力します。****【38】 [次へ] をタップします。**

- ✎ あらかじめ、管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で入力項目を追加してください。追加するとき、「機器から入力可」にチェックを入れてください。チェックが入っていない場合は、項目が表示されません。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「入力項目のカスタマイズ」

- ✎ 管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で設定した内容により、画面に表示される「分類」と「自由入力項目」の内容が異なります。
- ✎ 機器情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。



[39] [OK] をタップします。

⇒ キットティングおよびライセンス認証が完了しました。



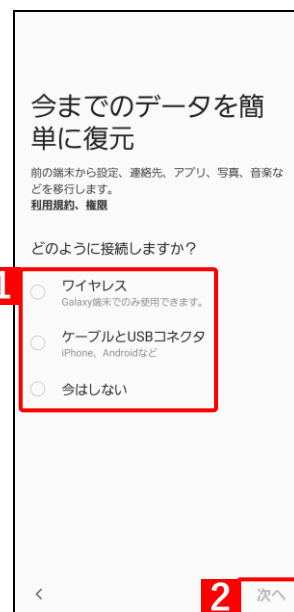
端末に SIM カードが挿入されていない場合

「KME（Google Workspace アカウント利用）でキティングする」の手順【4】あと、以下の操作を行います。

【1】 これまで使用していた端末との接続方法を選択します。

☑ これまで使用していた端末から、設定や連絡先、アプリ、写真、音楽などのデータを移行できます。

【2】 [次へ] をタップします。

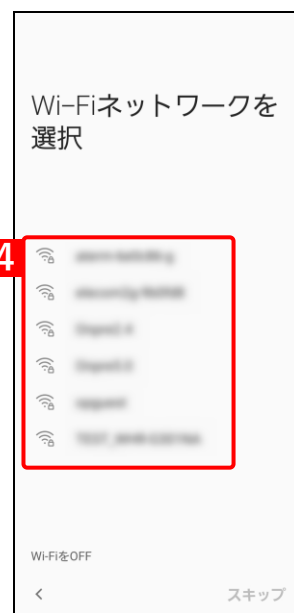


【3】 画面の案内に従って設定を行います。

☑ 選択した接続方法によって操作が異なります。

【4】 接続する Wi-Fi ネットワークを選択します。

☑ 必ずネットワークに接続して、以降の手順を進めてください。



【5】 「パスワード」を入力します。

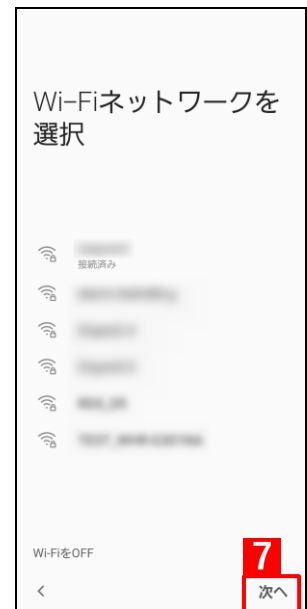
【6】 「接続」 タップします。



【7】 「次へ」をタップします。

⇒ 「KME (Google Workspace アカウント利用) でキッピングする」の手順【10】に進みます。

「端末を設定してください」画面が表示されるまでお待ちください。



10 その他のキッティング方法

QRコードまたは NFC で、端末のキッティングを行います。

利用している端末やアカウントにより、キッティング方法が異なります。適切なキッティング方法を選んでください。


注意

- キッティングを行うには、端末を工場出荷状態（初期設定画面）にする必要があります。
- Android Enterprise を利用している場合は、あらかじめ管理サイトに Google アカウントの登録が必要です。詳細については、以下を参照してください。

 「Google アカウントで Android Enterprise 連携を行う」 21 ページ

- Android 6.0 以上の端末で利用できます。ただし、端末によっては対応していない場合があります。詳細については、以下を参照してください。


 『Android 対応端末表』

 動作保証の対象は、Android 11 以上です。

- 従来版エージェントから切り替える場合は、端末を初期化してからキッティングを行ってください。

参考

- あらかじめ管理サイトで Android Enterprise の「アプリケーション配信」機能を設定しておく、キッティングの完了後、ライセンス認証と同時に特定のアプリを端末に配信できます。アプリケーション配信の詳細については、以下を参照してください。

 『Android Enterprise アプリケーション配信 手順書』の「アプリをインストールする」

10.1 QR コードでキッティングする

QR コードを読み込んで、キッティングができます。

10.1.1 QR コードを表示する

- [1]** [機器] → [認証手順] をクリックします。
- [2]** [キッティング用 QR コード] をクリックします。

⇒ Device Owner Mode キッティング用 QR コードが表示されます。

表示された QR コードは「QR コードを端末に読み込む」手順 **[2]** で端末に読み込みます。

- ✓ エージェントのバージョンが上がると、QR コードも変更になります。最新の QR コードは管理サイトを確認してください。

The screenshot shows a web interface for device management. The top navigation bar includes '機器' (Devices), 'ユーザー' (Users), '組織' (Organizations), '設定' (Settings), 'ログ' (Logs), and '関連サービス' (Related Services). The user is logged in as 'testcompany user1'. The left sidebar has a menu with '認証手順' (Authentication Procedure) highlighted in red. The main content area is titled '認証手順' and contains the following text:

Android用エージェント
工場出荷初期状態の端末を用意し、いずれかの方法で認証を行ってください。
efw識別子によるDevice Owner Modeキッティング
efw識別子: efw#Kmsm
Google WorkspaceアカウントによるDevice Owner Modeキッティング
QRコードによるDevice Owner Modeキッティング
キッティング用QRコード
※Android 7.0以降の端末で利用可能です。
NFCによるDevice Owner Modeキッティング

各認証手順の詳細はAndroidキッティングマニュアルを参照してください。
エージェント認証情報は以下のQRコードでも入力できます。
エージェント認証用QRコード

iOS用セットアップ
<https://...> にiOS端末からアクセス

Mac OS用セットアップ
<https://...> にMac OS端末からアクセス

Windows用エージェント
<https://...> にWindows端末からアクセス

企業コード
[Redacted]

認証コード
[Redacted]

The footer of the page contains: ©2011 | 利用規約 | プライバシーポリシー | サイトマップ | マニュアル

10.1.2 QR コードを端末に読み込む

工場出荷状態（初期設定画面）から設定を行います。

🔍 管理サイトの「アプリケーション禁止」で「禁止するアプリケーション」、および「アプリケーション非表示」に「Google Play 開発者サービス (com.google.android.gms)」を設定していると、正常にキッティングが完了できない場合があります。以下を参照して、事前に設定を解除してから、キッティングを行ってください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定—Android」—「アプリケーション」—「アプリケーション禁止」

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定—Android」—「Device Owner Mode」—「アプリケーション非表示」

📝 手順【8】の画面は、機種や OS によって表示されるタイミングが異なる場合があります。

【1】初期設定画面を 6 回タップします。

⇒ カメラが起動します。

🔍 [始める] や [緊急連絡先]などを避けて、タップしてください。

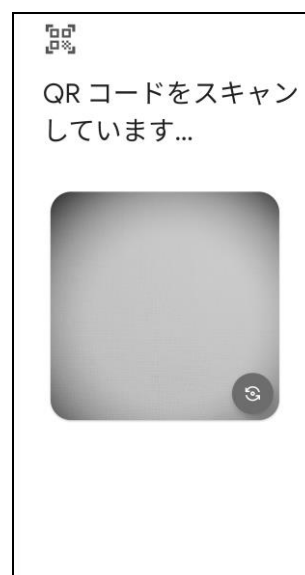
🔍 SIM を挿入している場合、モバイルネットワーク接続が開始されます。



【2】以下を参照して、管理サイトに表示されている Device Owner Mode キッティング用 QR コードを読み込みます。

🔍 詳細は、以下を参照してください。

🔍 「QR コードを表示」 318 ページ



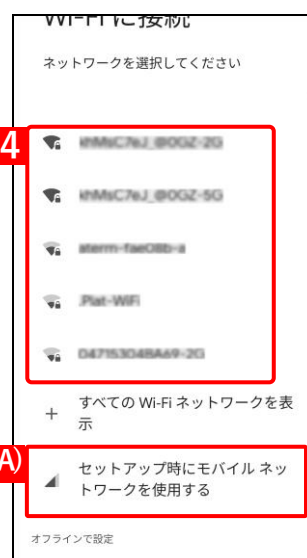
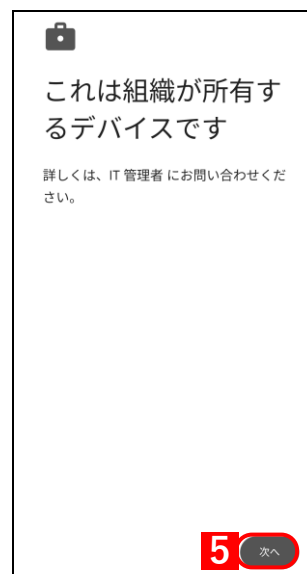
[3] [スキップ] をタップします。

- ✎ モバイルネットワークを利用する場合は、SIM を挿入してください。

**[4] 接続したい Wi-Fi の SSID をタップして、Wi-Fi に接続してください。**

⇒ ネットワーク接続が開始されます。

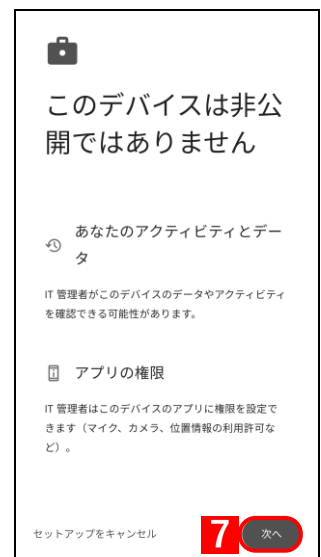
- ✎ 必ずネットワークに接続して、以降の手順を進めてください。
- ✎ Android 13 以上、かつ有線 LAN を接続している場合でも Wi-Fi 接続が必要です。有線 LAN 接続を解除して Wi-Fi 接続を行ったあと、有線 LAN に接続し直してください。
- ✎ モバイルネットワークを利用する場合は、(A) [セットアップ時にモバイルネットワークを使用する] をタップします。表示されるポップアップのメッセージを確認してください。

**[5] [次へ] をタップします。**

【6】 [同意して続行] をタップします。



【7】 [次へ] をタップします。

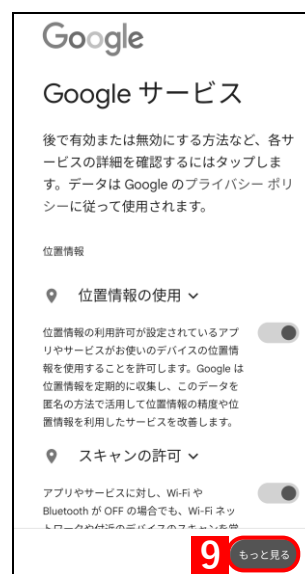


【8】 [OK] をタップします。

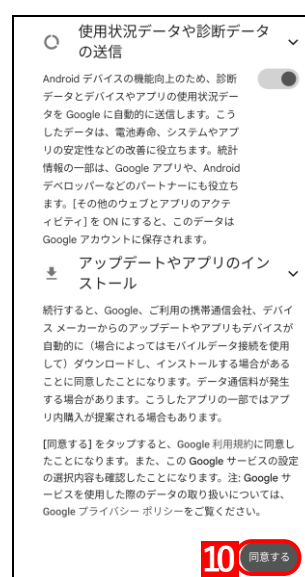


【9】 [もっと見る] をタップします。

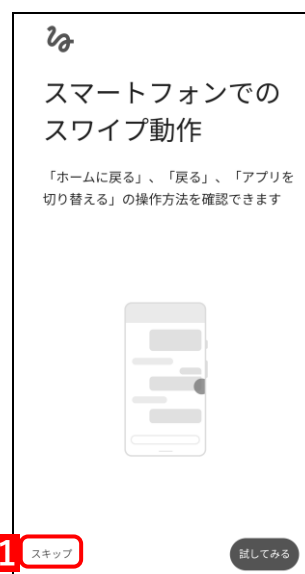
☑端末によっては [もっと見る] が数回表示されます。[同意する] が表示されるまで、[もっと見る] をタップします。



【10】 [同意する] をタップします。

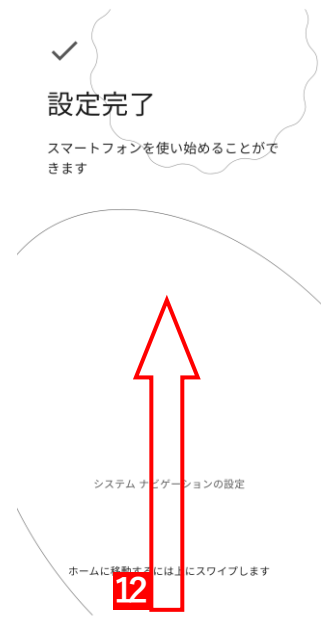


【11】 [スキップ] をタップします。




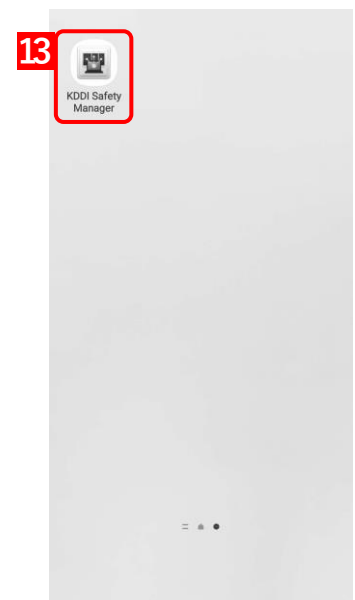
【12】 画面下部からスワイプします。

⇒ ホーム画面に移動します。



【13】 [KDDI Safety Manager] をタップします。

 ホーム画面にアイコンが表示されない場合は、アプリ一覧を確認してください。

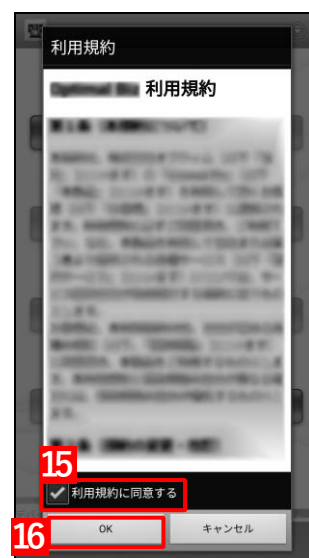


【14】 [ライセンス認証] をタップします。

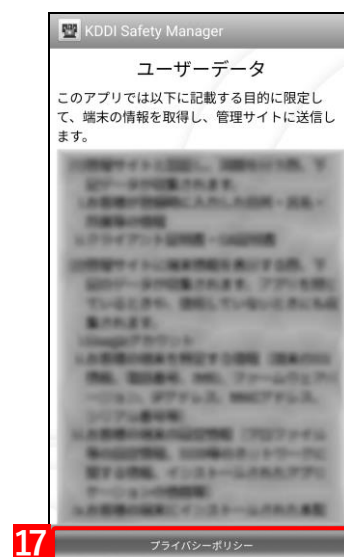


【15】 「利用規約に同意する」にチェックを入れます。

【16】 [OK] をタップします。



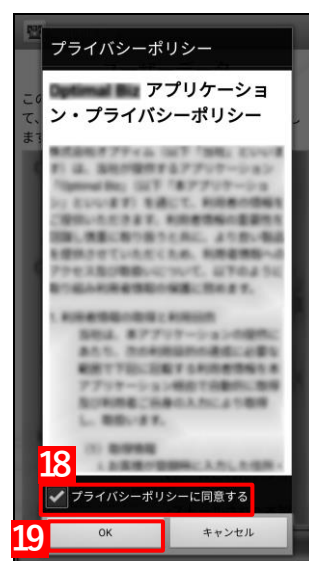
【17】 ユーザーデータについて確認して、[プライバシーポリシー] をタップします。



【18】 「プライバシーポリシーに同意する」にチェックを入れます。

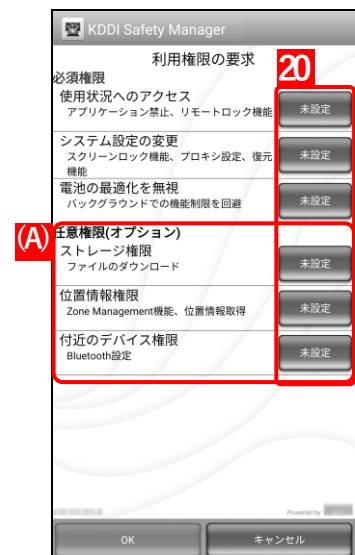
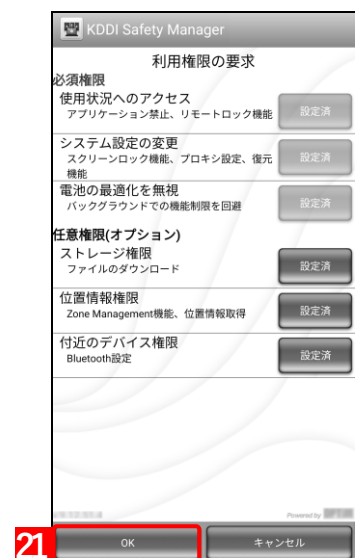
【19】 [OK] をタップします。

⇒ 権限要求画面が表示されます。



【20】 画面の案内に従って設定を行ってください。

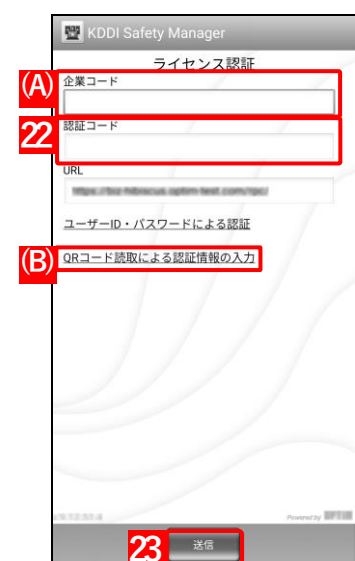
- ✎ Android 12 以上でエージェントバージョン 9.14.0 以上の場合、
(A) 任意権限に「付近のデバイス権限」が表示されます。
- ✎ Android 13 以上でエージェントバージョン 9.16.0 以上の場合、
(A) 任意権限に「通知権限」が表示されます。「ストレージ権限」は表示されません。

**【21】 [OK] をタップします。****【22】 「認証コード」を入力します。**

- ✎ 認証コードは管理者にお問い合わせください。
- ✎ (A) 「企業コード」は、自動で入力されています。
- ✎ (B) [QRコード読取による認証情報の入力] をタップして、エージェント認証用 QRコードを読み取ると、「企業コード」、「認証コード」、「URL」が自動で入力されます。QRコードは、管理者にお問い合わせください。

【23】 [送信] をタップします。

⇒ ライセンス認証完了の画面が表示されます。

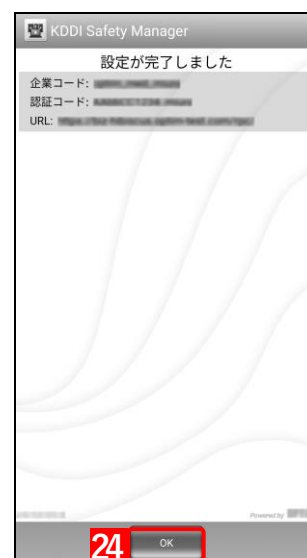


【24】 [OK] をタップします。

⇒ 初期登録画面が表示されます。

- ✎ 手順【25】～【29】の初期登録画面は、管理サイトでポータル表示を「表示」に設定している場合のみ表示されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「サービス環境設定」－「ポータル表示」

**【25】 社員番号、姓、名を入力します。****【26】 [次へ] をタップします。**

⇒ 機器にユーザーが紐づきます。

- ✎ 登録したユーザーを変更することはできません。
- ✎ すでにユーザーが端末に紐づけられている場合は、ユーザーが紐づけられているメッセージが表示されます。
- ✎ ユーザー情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。

**【27】 必要事項を選択、入力します。****【28】 [次へ] をタップします。**

- ✎ あらかじめ、管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で入力項目を追加してください。追加するとき、「機器から入力可」にチェックを入れてください。チェックが入っていない場合は、項目が表示されません。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「入力項目のカスタマイズ」

- ✎ 管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で設定した内容により、画面に表示される「分類」と「自由入力項目」の内容が異なります。
- ✎ 機器情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。



【29】 [OK] をタップします。

⇒キッティングおよびライセンス認証が完了しました。



10.2 NFC でキッティングする

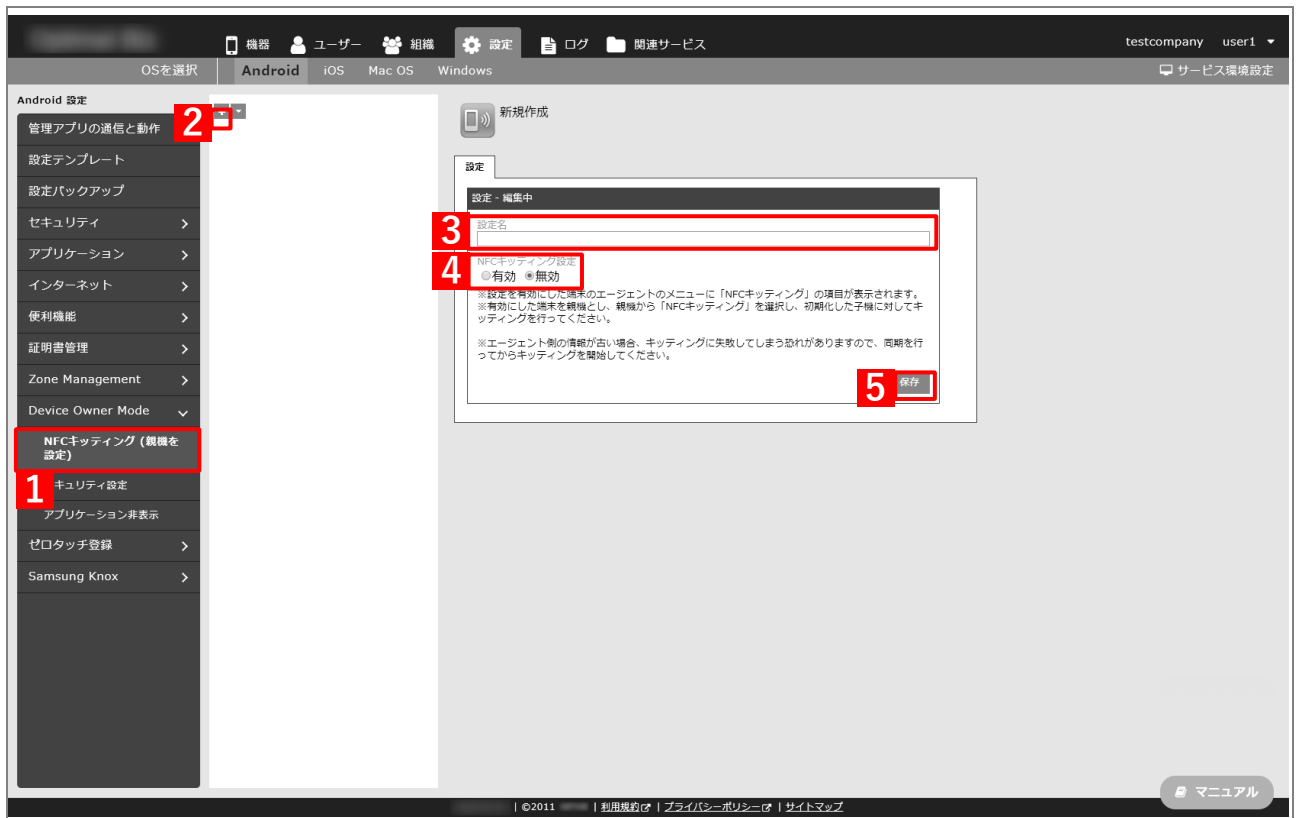
NFC を利用すると、親機の設定を行うことによって、簡単に複数の子機（キッティング対象端末）のキッティングを行うことができます。

📌 Android 6.0～9 の NFC 対応端末で利用できますが、動作保証の対象外です。NFC 対応端末については、以下を参照してください。

📄 『Android 対応端末表』

10.2.1 設定セットを作成する

- [1]** [設定] → [Android] → [Device Owner Mode] → [NFC キッティング (親機を設定)] をクリックします。
- [2]** **+** をクリックし、作成画面を表示します。
📌 設定セットは最大 50 件まで作成できます。
- [3]** 設定名を入力します。
- [4]** NFC キッティング設定の [有効] を選択します。
- [5]** [保存] をクリックします。



- [6]** 作成した設定セットを親機とする端末に [機器] → [一覧] → 対象の機器を選択 → ⏪ → 「設定」の [設定の割り当て] → [NFC キッティング設定] から適用します。
適用の詳細については、以下を参照してください。

📄 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」 - 「一覧」 - 「機器の設定」 - 「(設定 - Android) 設定の割り当て」

10.2.2 親機を設定する

親機にする端末に NFC キッティングの設定を行います。

- ☑ 管理サイト上で、NFC キッティングが有効に設定されていない場合は、本機能は使用できません。
- ☑ 親機となる端末のエージェント情報が古い場合、キッティングに失敗してしまう恐れがあります。あらかじめ同期を行い、エージェントアプリを最新にしてからキッティングを開始してください。

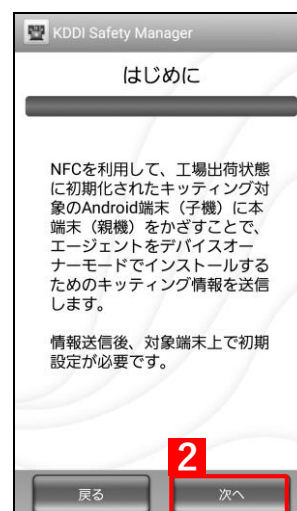
- 【1】** エージェントのメニュー画面で、(A) メニューボタンをタップしてオプションメニューを表示し、[NFC キッティング] をタップします。

⇒キッティング手順を案内するメッセージが表示されます。



- 【2】** [次へ] をタップします。

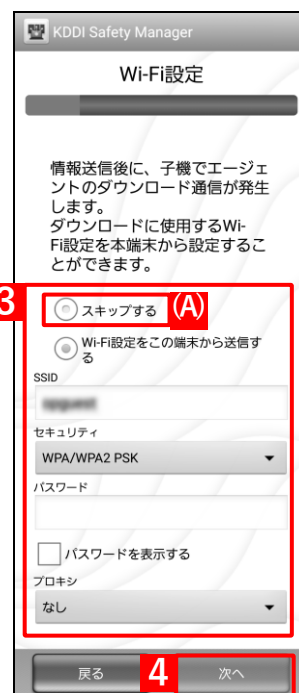
⇒Wi-Fi の設定画面が表示されます。



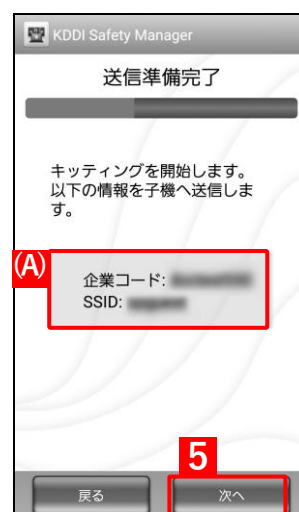
- 【3】** Wi-Fi の設定画面が表示されます。[Wi-Fi 設定をこの端末から送信する] を選択し、接続したい Wi-Fi の「SSID」、「パスワード」を入力、「プロキシ」を選択します。

✎ (A) [スキップする] を選択した場合は、子機の設定時に Wi-Fi ネットワークの情報を入力します。

- 【4】** [次へ] をタップします。



- 【5】** (A) 「企業コード」および「SSID」の表示に誤りがないか確認し、[次へ] をタップします。



- 【6】** 子機を裏向きにします。

✎ 子機は工場出荷状態（初期設定画面）にする必要があります。

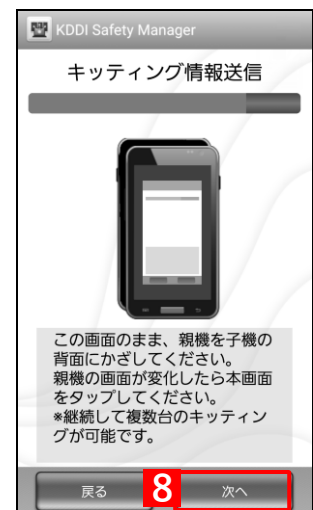
✎ 親機の画面に表示されるアニメーションを参考にしてください。

- 【7】** [次へ] をタップします。



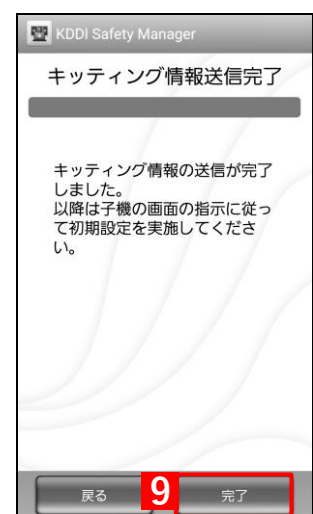
[8] 親機を子機の背面にかざします。親機の画面が変化したら、親機の画面をタップします。[次へ] をタップします。

- ☑ 複数の端末を連続してキッティングする場合は、[次へ] はタップせずに、この画面のまま連続して子機にかざしてください。
- ☑ 端末によっては、背面に NFC がない場合があります。NFC の位置は、端末の説明書を確認してください。
- ☑ 子機では、機種によって暗号化が始まる場合があります。電池残量が少ない場合は、失敗することがありますので、注意してください。



[9] キッティング情報の送信が完了しました。子機の画面の指示に従って、初期設定を行ってください。[完了] をタップすると、エージェントのメニュー画面に戻ります。

- ☑ 子機が NFC 未対応機種の場合は、親機で情報送信が完了の表示になっても子機側で何も反応しません。



10.2.3 子機を設定する

子機に NFC キッティングでキッティングします。

- ☑ キッティングを行う場合は、あらかじめ NFC キッティング設定を有効にした親機を用意する必要があります。
- ☑ 子機は工場出荷状態（初期設定画面）にする必要があります。

【1】 初期設定画面を表示させた子機を裏向きにし、親機をかざします。

- ☑ 詳細については、「親機を設定する」の手順【6】～【8】を参照してください。



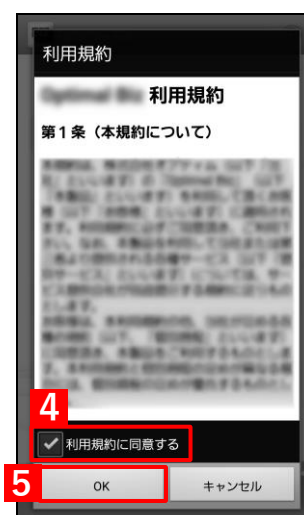
【2】 [KDDI Safety Manager] をタップします。



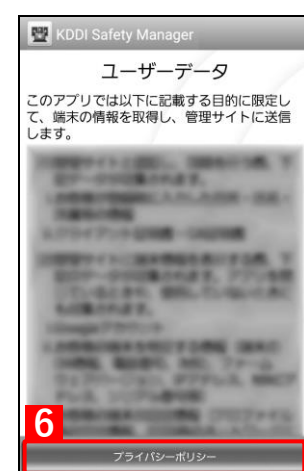
【3】 [ライセンス認証] をタップします。



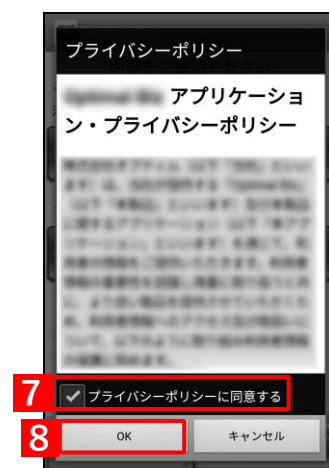
- 【4】** 「利用規約に同意する」にチェックを入れます。
- 【5】** [OK] をタップします。



- 【6】** ユーザーデータについて確認して、[プライバシーポリシー] をタップします。



- 【7】** 「プライバシーポリシーに同意する」にチェックを入れます。
- 【8】** [OK] をタップします。
⇒ 権限要求画面が表示されます。



【9】 画面の案内に従って設定を行ってください。

【10】 [OK] をタップします。

⇒キッティングが完了しました。

以下に進んでください。

🏠 「ライセンス認証を行う」 335 ページ



10.3 ライセンス認証を行う

キッティングが完了したら、ユーザーID または企業コード・認証コードでライセンス認証を行います。

- ☑ QR コードでのキッティングを行った場合は、キッティングでライセンス認証を行っているため、本操作は不要です。
- ☑ ベーシックパックプラスを利用している場合は、KDDI Business ID で作成したユーザーID が管理サイトに登録されます。ただし、ユーザーID/パスワードによるライセンス認証はできません。

10.3.1 ユーザーID で認証する

【1】 [ユーザーID・パスワードによる認証] をタップします。

✎ (A) 「企業コード」は、自動で入力されています。

【2】 「企業コード」、「ユーザーID またはメールアドレス」、「パスワード」を入力します。

☑ 企業コード、ユーザーID、パスワードは、管理者にお問い合わせください。

✎ (A) URL は変更不要です。

【3】 [送信] をタップします。

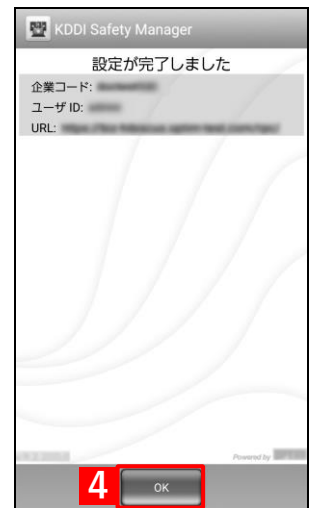
⇒ ライセンス認証完了の画面が表示されます。

[4] [OK] をタップします。

⇒ エージェントのメニュー画面が表示されます。

- ✎ ライセンス認証後、管理サイトで初回の認証が完了するまでは、エージェントを操作することができません。エージェントのメニュー画面や操作については、以下を参照してください。

📖 『Android クライアント リファレンスマニュアル』



10.3.2 企業コード・認証コードで認証する

- Android Enterprise を利用している場合は、ライセンス認証完了後に、管理サイトで端末に該当ユーザーを割り当ててください。

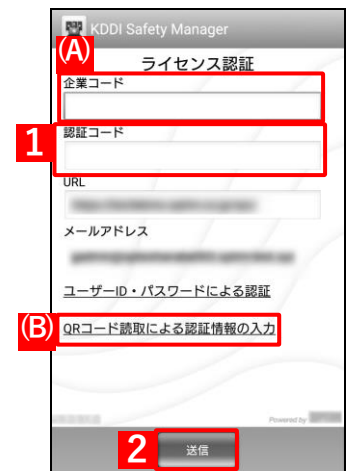
『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」 - 「一覧」 - 「機器の管理情報」

【1】 「認証コード」を入力します。

- 認証コードは管理者にお問い合わせください。
- (A) 「企業コード」は、自動で入力されています。
- (B) [QRコード読取による認証情報の入力] をタップして、エージェント認証用 QRコードを読み取ると、「企業コード」、「認証コード」、「URL」が自動で入力されます。QRコードは、管理者にお問い合わせください。

【2】 [送信] をタップします。

⇒ライセンス認証完了の画面が表示されます。

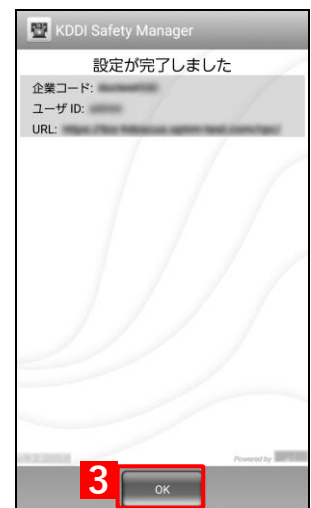


【3】 [OK] をタップします。

⇒初期登録画面が表示されます。

- 手順【4】～【8】の初期登録画面は、管理サイトでポータル表示を「表示」に設定している場合のみ表示されます。

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「サービス環境設定」 - 「ポータル表示」

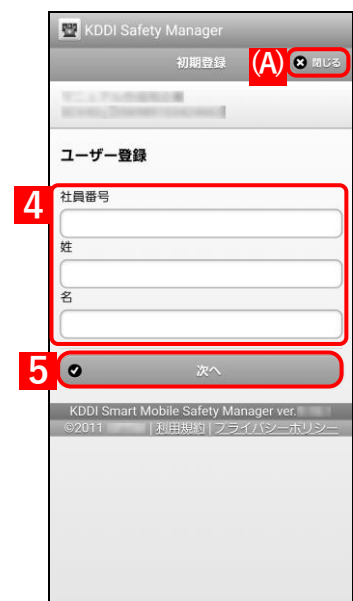


【4】 社員番号、姓、名を入力します。

【5】 [次へ] をタップします。

⇒機器にユーザーが紐づきます。


- 登録したユーザーを変更することはできません。
- すでにユーザーが端末に紐づけられている場合は、ユーザーが紐づけられているメッセージが表示されます。
- ユーザー情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。



[6] 必要事項を選択、入力します。

[7] [次へ] をタップします。

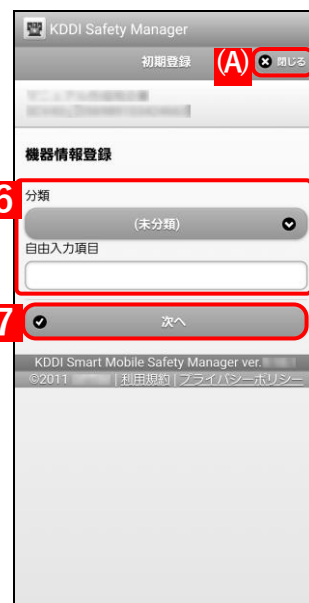
- ☑ あらかじめ、管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で入力項目を追加してください。追加するとき、「機器から入力可」にチェックを入れてください。チェックが入っていない場合は、項目が表示されません。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「入力項目のカスタマイズ」

- ☑ 管理サイトの [入力項目のカスタマイズ] で設定した内容により、画面に表示される「分類」と「自由入力項目」の内容が異なります。

- ☑ 機器情報の登録が不要の場合は、(A) [閉じる] をタップするか、端末の戻るボタンで画面を閉じてください。

[8] [OK] をタップします。



11 KDDI Smart Mobile Safety Manager – Google 間の連携設定を変更する

「Google アカウントで Android Enterprise 連携を行う」で登録した Google アカウントまたは、Google Workspace アカウントの削除や再登録ができます。

11.1 Google アカウントを削除する

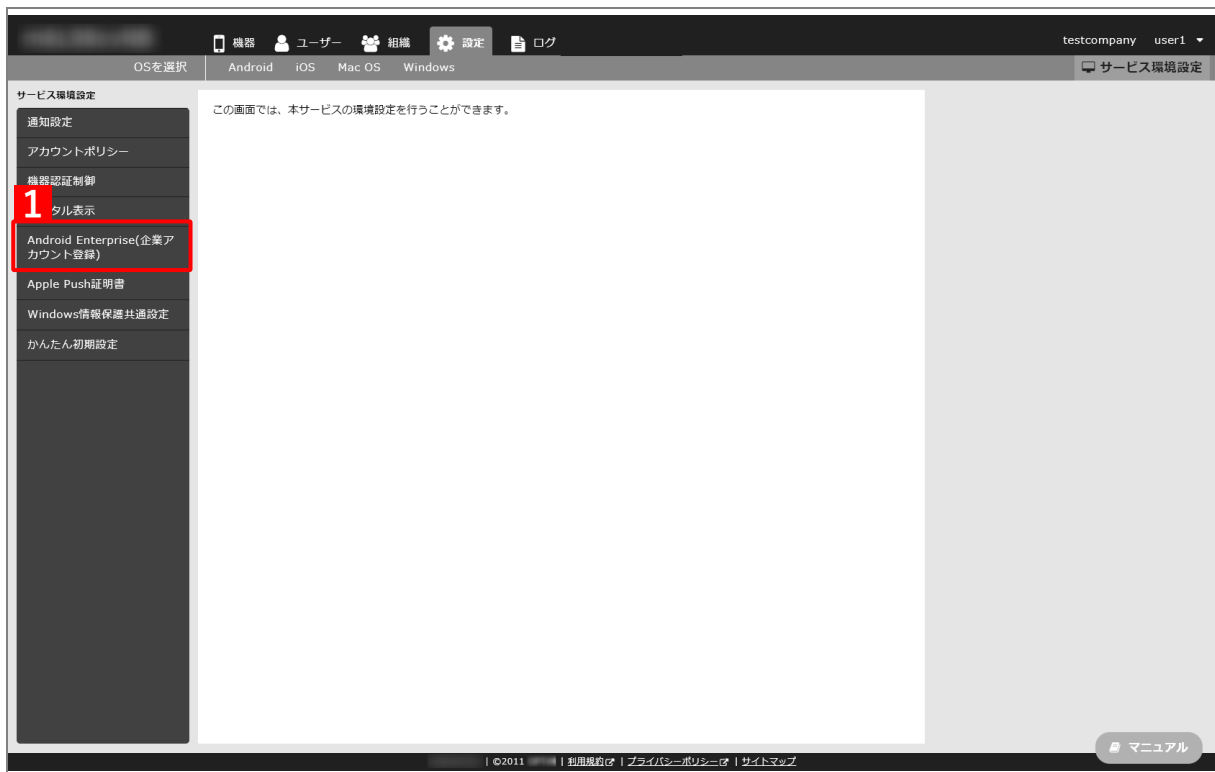
登録している Google アカウントが利用できなくなった場合などは、以下の手順で削除してください。

☑ Google アカウントを削除したあと、別の Google アカウントを再登録した場合は、端末を再度キッティングする必要があります。

☑ Google アカウントを削除すると、Android Enterprise の設定もすべて削除されます。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 – Android」 – 「アプリケーション」 – 「Android Enterprise」

[1] [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise (企業アカウント登録)] をクリックします。



- [2]** 「同意する」にチェックを入れます。
- [3]** 「アカウント削除」をクリックします。

⇒アカウント未登録の画面が表示されます。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

状態
登録済

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別
Googleアカウント

アカウントメールアドレス
[REDACTED]

組織ID
[REDACTED]

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ「同意する」にチェックを入れて「アカウント削除」ボタンをクリックしてください。

同意する

2 **3** アカウント削除

✎ (A) 「状態」に「未登録(復元データあり)」とデータ保持期限が表示されます。

✎ 同じアカウントを再登録する場合は、(C) [アカウント再登録] をクリックします。詳細については、以下を参照してください。

🔗 「Google アカウントを再登録する」 343 ページ

✎ 別のアカウントを登録する場合は、(B) [アカウント新規登録] をクリックします。詳細については、以下を参照してください。

🔗 「Google アカウントを登録する」 22 ページ

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態
未登録(復元データあり)
データ保持期限: 2018/05/17

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別
Googleアカウント

アカウントメールアドレス
[Redacted]

組織ID
[Redacted]

▲ データ保持期限内にアカウントを再登録した場合、以前のアカウントデータが引き継がれます。
データ保持期限が過ぎた後は引き継ぎデータは削除されます。

(B) アカウント新規登録 (C) アカウント再登録

11.2 Google アカウントを再登録する

削除した Google アカウントを、再登録します。

Google アカウントに応じて、いずれかの方法で再登録してください。

● 企業ドメインのメールアドレスで再登録する場合

● Gmail のメールアドレスで再登録する場合

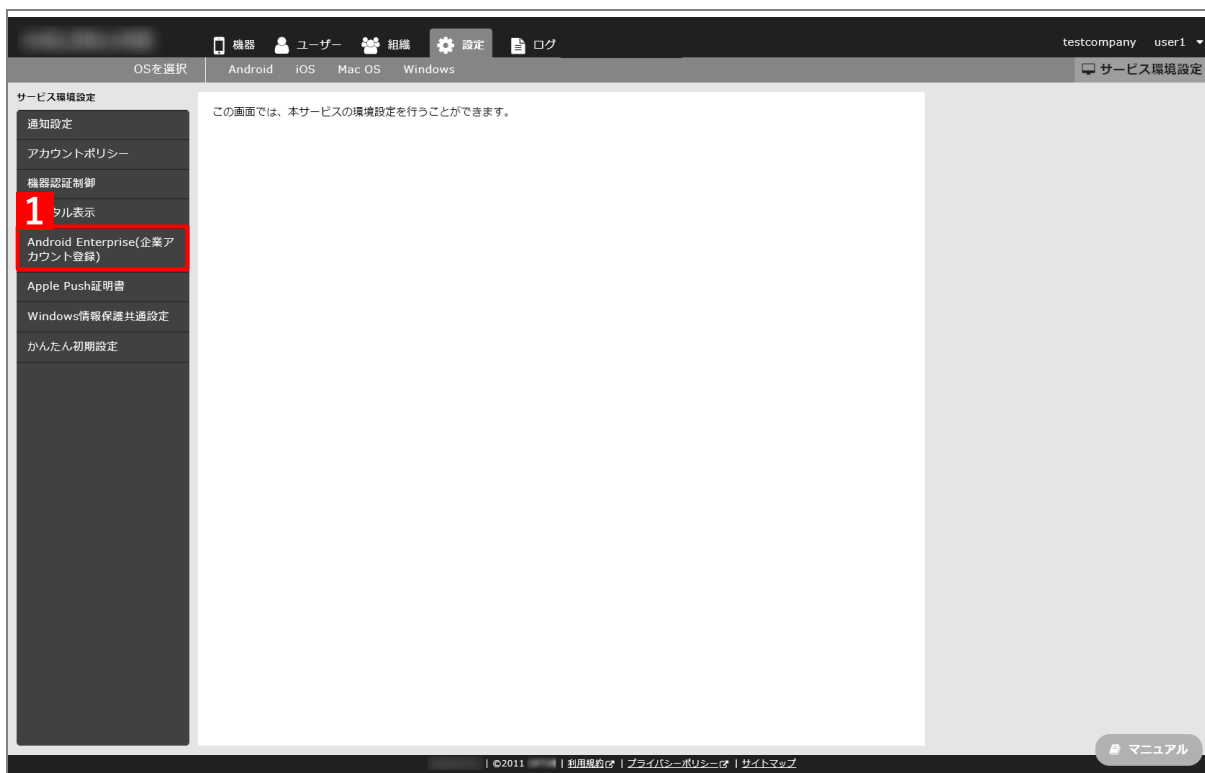
☑ 再登録できるのは、直前に削除した Google アカウントのみです。

☑ Google アカウントを再登録しても、Android Enterprise の設定はすべて再登録されません。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 – Android」 – 「アプリケーション」 – 「Android Enterprise」

11.2.1 企業ドメインのメールアドレスで再登録する場合

[1] [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。



[2] [アカウント再登録] をクリックします。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

状態
未登録(復元データあり)
データ保持期限: 2018/05/17

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は セキュリティ設定(DOM) を使用してください。

アカウント種別
Googleアカウント

アカウントメールアドレス
[マスク]

組織ID
[マスク]

▲ データ保持期限内にアカウントを再登録した場合、以前のアカウントデータが引き継がれます。
データ保持期限が過ぎた後は引継ぎデータは削除されます。

アカウント新規登録
2 アカウント再登録

[3] 企業ドメインのメールアドレスを入力します。

[4] [次へ] をクリックします。

Android 

.....

管理者アカウントを作成する

3 仕事用メールアドレスを入力してください*

[マスク]

例: [名前]@[会社名].com

4 次へ



Android はあらゆるビジネスで利用できるパワフルなプラットフォームです

- ✓ モバイルデバイスを管理して企業アプリをインストール
- ✓ エンタープライズクラスのセキュリティを活用してデータを保護
- ✓ 仕事用プロフィールを使ってデバイスを仕事とプライベートの両用に

[5] 再登録したい削除済みアカウントの組織 ID を選択します。

[6] [確認] をクリックします。

⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。

Android

.....

バインディング オプションを選択

U

最近 EMM バインディングが削除されたようです。以前のバインディングを再度有効にするか、新しいバインディングを作成できます。

確認 をクリックすると、管理対象の Google アカウントが にバインドされ、 コンソールを使用して Android Enterprise デバイスを管理できるようになります。

5

- (2024年3月13日 に無効になりました)
- (2024年4月4日 に無効になりました)
- (2024年3月28日 に無効になりました)
- (2024年4月5日 に無効になりました)
- を使用して新しいバインディングを作成する

6 確認

Google プライバシー ポリシー 利用規約 Cookies Management Controls

(A) 「状態」は「登録済」と表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

(A) 状態 登録済

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別
Googleアカウント

アカウントメールアドレス
[Redacted]

組織ID
[Redacted]

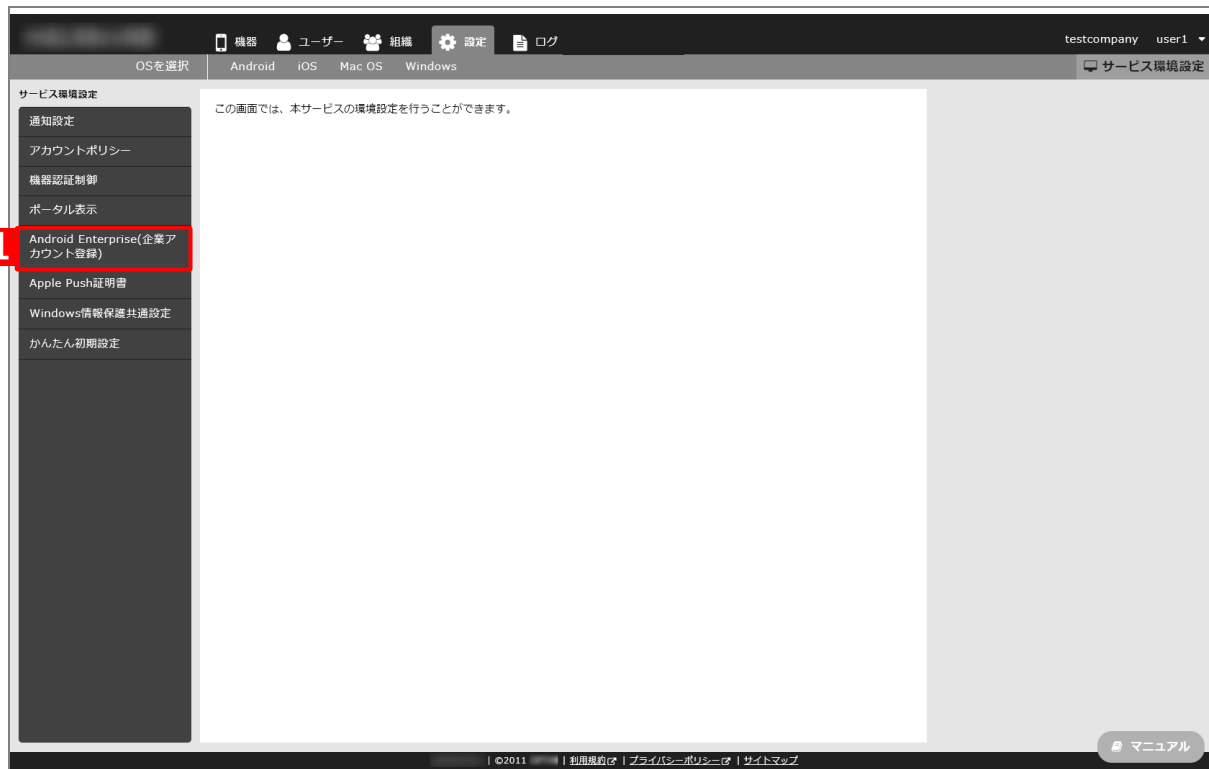
▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ「同意する」にチェックを入れて「アカウント削除」ボタンをクリックしてください。

同意する

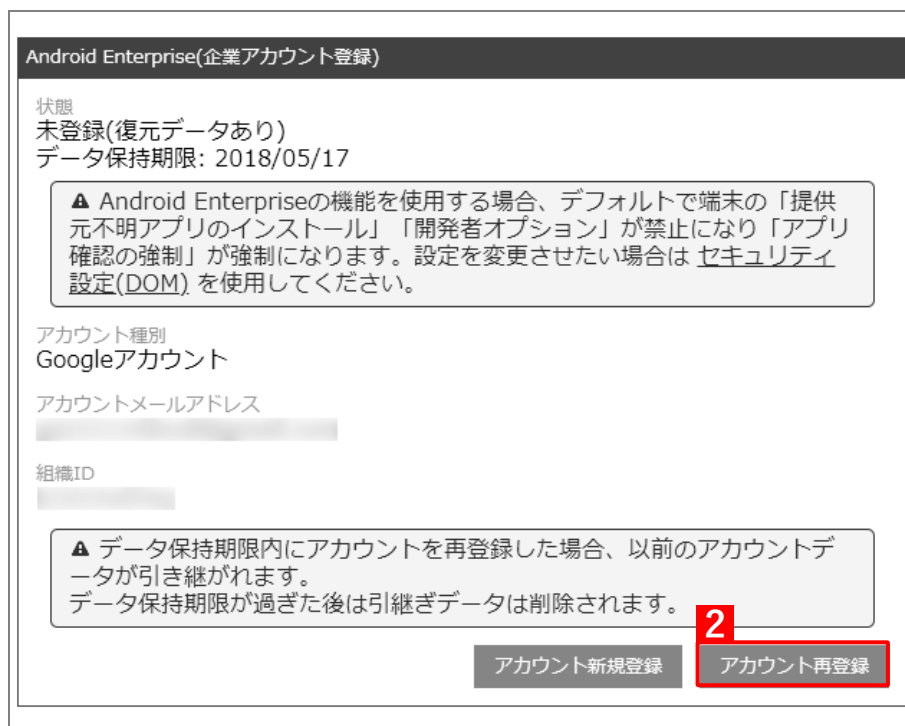
アカウント削除

11.2.2 Gmail のメールアドレスで再登録する場合

- [1]** [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise(企業アカウント登録)] をクリックします。



- [2]** [アカウント再登録] をクリックします。



[3] Gmail のメールアドレスを入力します。

[4] [次へ] をクリックします。

Android 

.....

管理者アカウントを作成する

3 仕事用メールアドレスを入力してください*

例: [名前]@[会社名].com

4 次へ



Android はあらゆるビジネスで利用できるパワフルなプラットフォームです

- ✓ モバイル デバイスを管理して企業アプリをインストール
- ✓ エンタープライズクラスのセキュリティを活用してデータを保護
- ✓ 仕事用プロフィールを使ってデバイスを仕事とプライベートの両用に

[5] 「Android のみ登録」の「登録」をクリックします。

⇒ Google Play ストアが表示されます。

利用しているブラウザにより、Google Play ストアが正常に動作しないことがあります。

Android 

 @gmail.com
 は個人のメールアドレス
 のようです

次のいずれかを選ぶことができます

 <p>仕事用メールアドレスで登録</p> <p>お申し込みには、 name@company.com のような仕事 用メールアドレスが必要です</p> <p>仕事用メールアドレスで再試行</p>	 <p>会社のドメインを購入</p> <p>company.com などのドメインや対 応する name@company.com のメ ールアドレスがない場合は、新しい ドメインを購入してから登録を再試 行できます。</p> <p>新規ドメインを購入する</p>	 <p>Android のみ登録</p> <p>Android デバイスのみをデプロイす る場合は、managed Google Play アカウントエンタープライズを作 成できます。</p> <p>このアカウントを使用して、 Chromebook や Chrome ブラウザ などの他の Google サービスを管理 することはできません。詳細</p>
---	---	---

5 登録

[6] [再登録] をクリックします。

⇒ アカウント登録済みの管理サイトの画面が表示されます。



✏️ (A) 「状態」は「登録済」と表示されています。

Android Enterprise(企業アカウント登録)

**(A) 状態
登録済**

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は **セキュリティ設定(DOM)** を使用してください。

アカウント種別
Googleアカウント

アカウントメールアドレス
[redacted]

組織ID
[redacted]

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleのAndroid Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。削除を実行してから30日以内に再登録した場合はデータが復元されます。よろしければ「同意する」にチェックを入れて「アカウント削除」ボタンをクリックしてください。

同意する

アカウント削除

11.3 Google Workspace アカウントを削除する

登録している Google Workspace アカウントが利用できなくなった場合などは、以下の手順で削除してください。

[1] Google 管理コンソール (<https://admin.google.com>) を表示し、[デバイス] をクリックします。



[2] [設定] → [サードパーティとの連携] をクリックします。

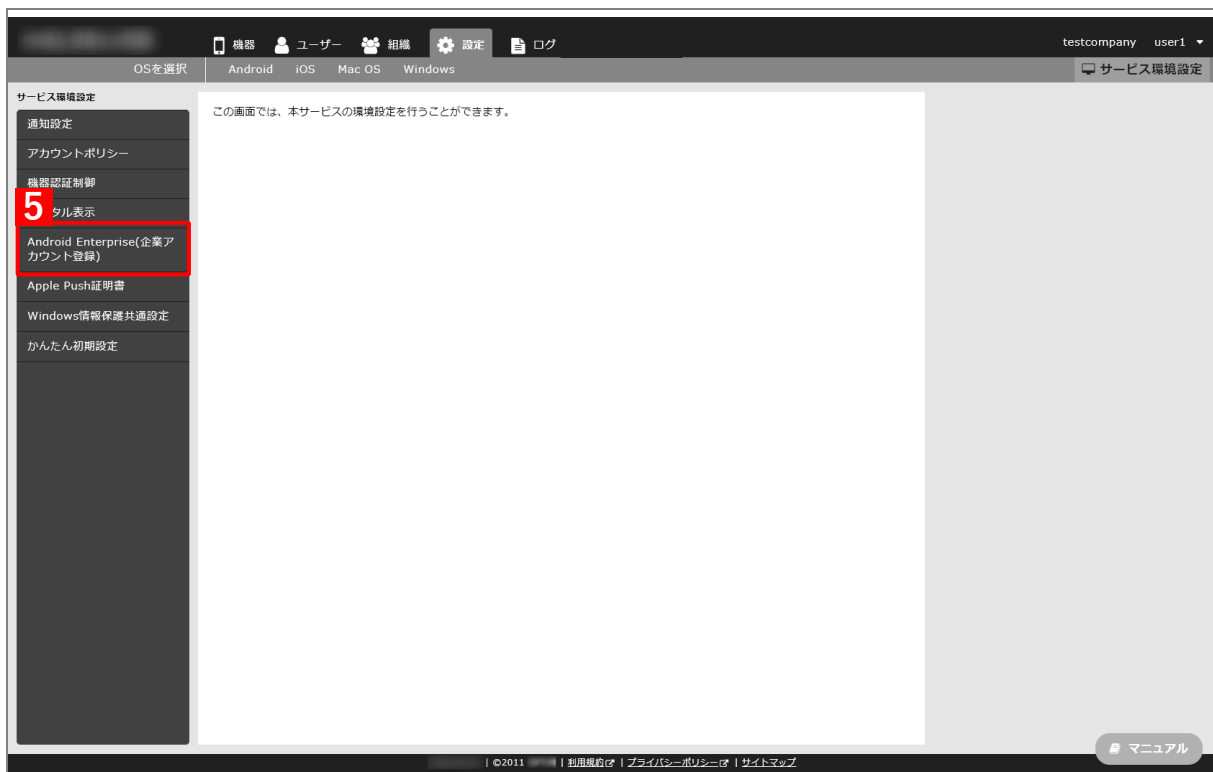


- 【3】** 「Android EMM」の「サードパーティの Android モバイル管理を有効にする」のチェックを外します。
- 【4】** 「保存」をクリックします。



以下の操作は、管理サイトで行います。

- 【5】** 「設定」 → 「サービス環境設定」 → 「Android Enterprise (企業アカウント登録)」をクリックします。




【6】 「同意する」 にチェックを入れます。

【7】 [アカウント削除] をクリックします。

⇒アカウント未登録の画面が表示されます。

 再びアカウントを登録する場合は、以下を参照してください。

 「Google Workspace アカウントを登録する」 106 ページ

Android Enterprise(企業アカウント登録)

状態
登録済

▲ Android Enterpriseの機能を使用する場合、デフォルトで端末の「提供元不明アプリのインストール」「開発者オプション」が禁止になり「アプリ確認の強制」が強制になります。設定を変更させたい場合は [セキュリティ設定\(DOM\)](#) を使用してください。

アカウント種別
Google Workspaceアカウント

ドメイン
[Redacted]

EMMトークン
[Redacted]

組織ID
[Redacted]

▲ Google Workspaceアカウント連携をご利用の方は、特権管理者アカウントで Google Workspaceにログイン後、下記URLへアクセスし規約に同意してください。
<https://play.google.com/work/termservice>

▲ Android Enterprise(企業アカウント登録)の設定、およびGoogleの Android Enterpriseに紐づく企業情報を削除します。削除が実行されると、Android Enterprise機能を使用したアプリ配信はできなくなります。

同意する

6 **7** アカウント削除